# 鹿角市地域防災計画

# 【資料編】

平成27年3月

## 鹿角市防災会議

沿革

| | |
|---|---|
| 昭和 47年 4月 | 作　　成 |
| 昭和 54年 3月 | 第１次修正 |
| 昭和 58年 11月 | 第２次修正 |
| 平成 4年 3月 | 第３次修正 |
| 平成 16年 1月 | 第４次修正 |
| 平成 27年 3月 | 第５次修正 |

# 目　　次


**第１　防災組織に関する資料・・・

**第４　避難・救出に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　資料-36**
４－１　避難場所一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

**第 11　危険物等に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-93**
11－１　一般高圧ガス製造所及び販売所一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-93
11－２　ＬＰガス供給所一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-93

**第 12　備蓄計画に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-94**
12－１　県と市町村の共同備蓄品目と備蓄すべき数量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-94
12－２　防災備蓄備品整備状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-95
12－３　燃料調達先一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-96

**第 13　給食、給水に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-97**
13－１　簡易水道、小規模水道一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-97
13－２　飲料水の採水施設一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-97
13－３　給水機械、資材調達先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-97

**第 14　防疫及び清掃に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98**
14－１　防疫資機材および薬剤調達先一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98
14－２　ごみ処理施設一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98
14－３　し尿処理施設一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98
14－４　し尿許可業者運搬車保有状況一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98
14－５　ごみ委託業者運搬車保有状況一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98
14－６　ごみ許可業者運搬車保有状況一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-98

**第 15　文教対策に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-99**
15－１　国、県、市指定文化財一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-99

**第 16　過去における災害に関する資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-101**
16－１　鹿角市災害年表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-101

**第 17　鹿角広域行政組合本部における業務協定等に関する資料・・・・・・ 資料-109**
17－１　秋田県広域消防相互応援協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-109
17－２　秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書・・・・・・・・・・ 資料-112
17－３　十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定・・・・・・・・ 資料-113
17－４　十和田八幡平国立公園八幡平地域における
　　消防相互応援協定に基づく覚書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-115
17－５　秋田県消防防災ヘリコプター応援協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-117
17－６　十和田地域広域消防事務組合と
　　鹿角広域行政組合における消防応援協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-119
17－７　東北自動車道消防相互応援協定（小坂ＪＴＣ～碇ヶ関ＩＣ間）・・・・・・ 資料-122

17－８　東北自動車道消防相互応援協定(鹿角八幡平ＩＣ～安代ＩＣ間)…… 資料-124
17－９　東北自動車道における救急業務の実施についての覚書…… 資料-126
17－10　秋田自動車道消防相互応援協定（大館北ＩＣ～小坂北ＩＣ）…… 資料-127
17－11　秋田自動車道消防相互応援協定覚書（大館北ＩＣ～小坂北ＩＣ）…… 資料-128
17－12　鉄道災害発生時における消防活動に関する協定…… 資料-130
17－13　大館能代空港における
　　航空機事故に対する消火救難活動に関する協定…… 資料-133
17－14　鹿角市小坂町消防団相互応援協定書…… 資料-135

**第 18　鹿角市における防災業務協定等に関する資料　・・・・・・・・・・・ 資料-137**
18－１　災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定書…… 資料-137
18－２　災害時における相互援助に関する協定書（秋田県内１３市）…… 資料-139
18－３　災害時応援協定一覧 …… 資料-141

**第 19　鹿角市の状況に関する資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-142**
19－１　気象状況 …… 資料-142

# 資　料　編

## 第1 防災組織に関する資料

### 1－1 鹿角市防災会議条例

昭和 47 年 4 月 1 日　条例第 87 号
改正　昭和 58 年 9 月 26 日　条例第 52 号
平成 6 年 9 月 30 日　条例第 31 号
平成 12 年 3 月 21 日　条例第 23 号
平成 20 年 6 月 24 日　条例第 20 号
平成 24 年 9 月 28 日　条例第 16 号

（目的）

**第１条**　この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号。以下「法」という。）第 16 条第 6 項の規定に基づき、鹿角市防災会議（以下「防災会議」という。）の所掌事務及び組織に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（所掌事務）

**第２条**　防災会議は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

(1) 鹿角市地域防災計画を作成し、及びその実施を推進すること。

(2) 市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。

(3) 前号に規定する重要事項に関し、市長に意見を述べること。

(4) 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 33 条の規定に基づく鹿角市水防計画その他水防に関し重要な事項を調査審議すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、法律又はこれに基づく政令によりその権限に属する事務

（会長及び委員）

**第３条**　防災会議は、会長及び委員をもって組織する。

2　会長は、市長をもって充てる。

3　会長は、会議を代表し、会務を総理する。

4　会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

5　委員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。

(1) 指定地方行政機関の職員のうちから市長が任命する者

(2) 秋田県の知事の部内の職員のうちから市長が任命する者

(3) 秋田県警察の警察官のうちから市長が任命する者

(4) 市長がその部内の職員のうちから指名する者

(5) 鹿角市教育委員会の職員のうちから市長が任命する者

(6) 鹿角広域行政組合消防長及び鹿角市消防団長

(7) 指定公共機関及び指定地方公共機関の職員のうちから市長が任命する者

(8) 自主防災組織（法第５条第２項の自主防災組織をいう。）を構成する者又は学識経験のある者のうちから市長が任命する者

６　前項に規定する委員の定数は、27 人以内とする。

７　第５項第７号及び第８号の委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

８　前項の委員は、再任されることができる。

**（専門委員）**

**第４条**　防災会議に、専門の事項を調査させるため、専門委員を置くことができる。

２　専門委員は、関係地方行政機関の職員、秋田県の職員、市の職員、関係指定公共機関の職員、関係指定地方公共機関の職員及び学識経験のある者のうちから、市長が任命する。

３　専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

**（議事等）**

**第５条**　前各条に定めるもののほか、防災会議の議事その他防災会議の運営に関し必要な事項は、会長が防災会議にはかつて定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（昭和 58 年９月 26 日条例第 52 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成６年９月 30 日条例第 31 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成 12 年３月 21 日条例第 23 号抄）

**（施行期日）**

**第１条**　この条例は、平成 12 年４月１日から施行する。

附　則（平成 20 年６月 24 日条例第 20 号）

この条例は、公布の日から施行し、改正後の鹿角市防災会議条例の規定は、平成 20 年４月１日から適用する。

附　則（平成 24 年９月 28 日条例第 16 号）

この条例は、公布の日から施行する。

## 1－2 鹿角市防災会議の委員

| 会　長　　鹿　角　市　長　（電話番号：３０－０２９９） | | |
|---|---|---|
| 委　　員 | 電話番号 | 決定区分<br>（第３条第５項　関係） |
| 東北森林管理局米代東部森林管理署長 | 0186-48-6921 | 条例第３条第５項（１） |
| 鹿角地域振興局長 | 22-0456 | 条例第３条第５項（２） |
| 鹿角地域振興局　総務企画部長<br>（兼）地域防災監 | 22-0456 | 〃 |
| 〃　農林部長 | 23-2123 | 〃 |
| 〃　建設部長 | 23-2301 | 〃 |
| 〃　福祉環境部長 | 0186-52-3955 | 〃 |
| 鹿角警察署長 | 23-3321 | 条例第３条第５項（３） |
| 鹿角市副市長 | 30-0299 | 条例第３条第５項（４） |
| 〃　総務部長 | 30-0200 | 〃 |
| 〃　市民部長 | 30-0220 | 〃 |
| 〃　産業部長 | 30-0240 | 〃 |
| 〃　建設部長 | 30-0661 | 〃 |
| 〃　教育長 | 30-0290 | 条例第３条第５項（５） |
| 〃　教育部長 | 30-0289 | 〃 |
| 鹿角広域行政組合消防長 | 23-5601 | 条例第３条第５項（６） |
| 鹿角市消防団長 | 23-5601 | 〃 |
| 日本郵便局㈱花輪郵便局長 | 23-2472 | 条例第３条第５項（７） |
| 東日本電信電話㈱宮城事業部秋田支店長 | 018-836-8781 | 〃 |
| 東北電力㈱鹿角営業所長 | 23-3206 | 〃 |
| 日通大館運輸㈱鹿角営業所長 | 23-2037 | 〃 |
| 東日本旅客鉄道㈱鹿角花輪駅長 | 23-3412 | 〃 |
| 秋北バス㈱花輪営業所長 | 23-2183 | 〃 |
| (一社)鹿角市鹿角郡医師会長 | 22-1251 | 〃 |
| 鹿角市男女共同参画推進会議委員（あきたＦ・Ｆ委員）<br>成田　智枝子 | 35-4292 | 条例第３条第５項（８） |
| 鹿角市消防団本部班長<br>安保　千夏 | 23-5561 | 〃 |

## 1－3 鹿角市災害対策本部条例

昭和 47 年 4 月 1 日　条例第 88 号
改正　平成 12 年 3 月 21 日　条例第 22 号
平成 24 年 9 月 28 日　条例第 17 号

（目的）

**第１条**　この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 23 条の２第８項の規定に基づき、鹿角市災害対策本部に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（組織）

**第２条**　災害対策本部長は、災害対策本部の事務を総括し、所部の職員を指揮監督する。

２　災害対策副本部長は、災害対策本部長を助け、災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

３　災害対策本部員は、災害対策本部長の命を受け、災害対策本部の事務に従事する。

（部）

**第３条**　災害対策本部長は、必要と認めるときは、災害対策本部に部を置くことができる。

２　部に属すべき災害対策本部員は、災害対策本部長が指名する。

３　部に部長を置き、災害対策本部長の指名する災害対策本部員がこれに当る。

４　部長は、部の事務を掌理する。

（雑則）

**第４条**　前各条に定めるもののほか、災害対策本部に関し必要な事項は、災害対策本部長が定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

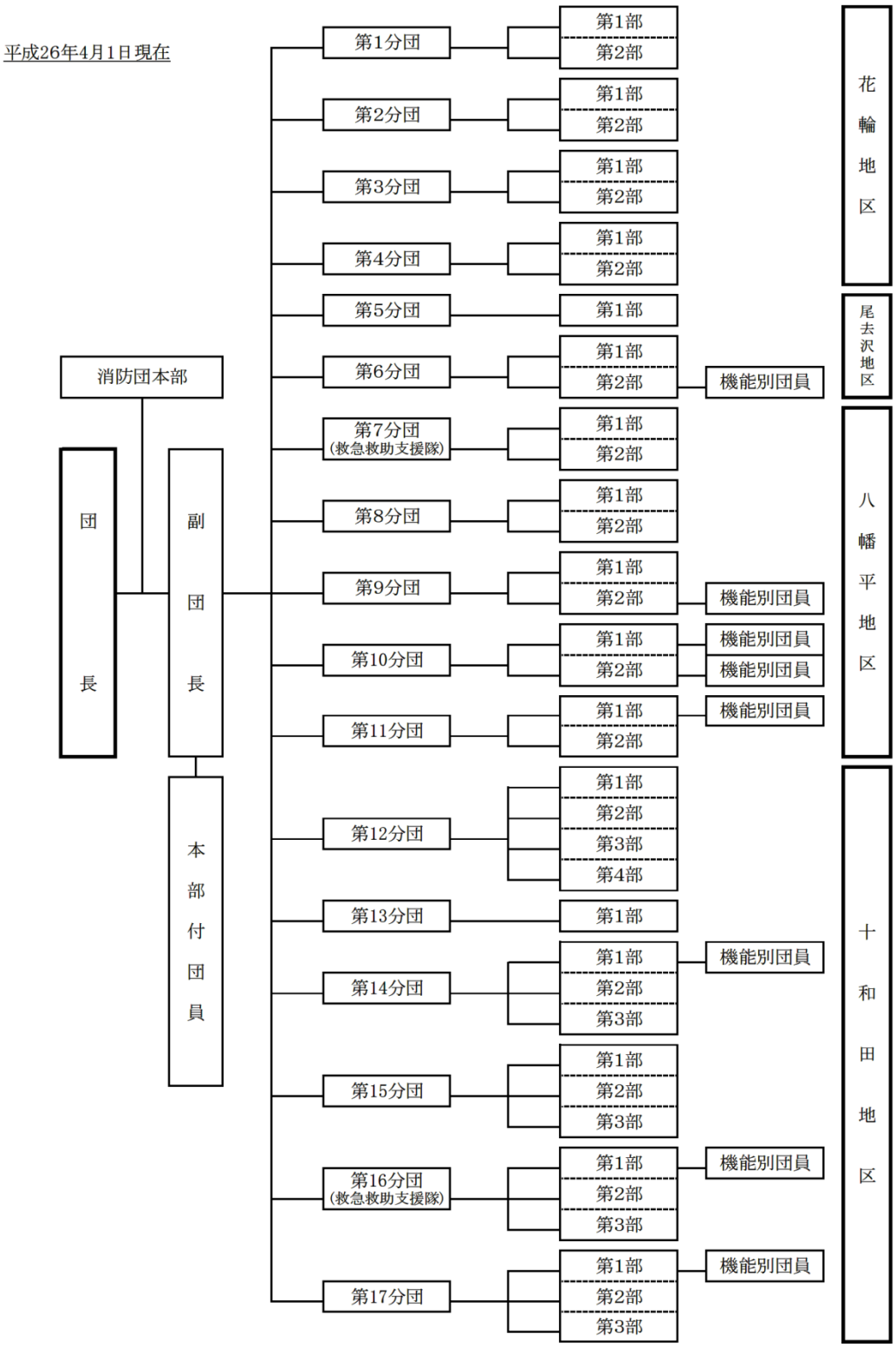
附　則（平成 12 年 3 月 21 日条例第 22 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成 24 年 9 月 28 日条例第 17 号）

この条例は、公布の日から施行する。

# 1－4　消防団組織編成表




**《救急救助支援隊》** 本市は広大な面積を有することから、消防署から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通・災害事故等に対応するため、消防本部と消防団が連携を持ち、一体となって救急救助活動をすることを目的としています。（八幡平坂比平から岩手県境、大湯中滝から青森県境）

**《機能別団員》** 消防団員の活動を全て行うのではなく、活動を限定して一定の役割を行う団員を言います。

## 1－5 消防団協力事業所

| 番号 | 協力事業所名 | 住所 | 電話番号 | 市表示証<br>交 付 日 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | かづの農業協同組合 | 鹿角市花輪字下中島 10-25 | 22-2001 | H23.1.4 |
| 2 | ㈱ミートランド | 鹿角市八幡平字外川原 31-1 | 32-3010 | H23.1.4 |
| 3 | ㈱柳沢建設 | 鹿角市十和田大湯字川原ノ湯 15-10 | 37-2129 | H23.1.4 |
| 4 | ㈱新東組 | 鹿角市八幡平字永代地 50 | 32-2222 | H23.1.4 |
| 5 | ハタリキ㈱ | 鹿角市十和田錦木字向谷地 9-1 | 35-2121 | H23.1.4 |
| 6 | ㈱浅利佐助商店 | 鹿角市花輪字観音堂 27-3 | 23-3127 | H23.1.4 |
| 7 | 工藤製作所 | 鹿角市尾去沢字麦沢 22 | 23-7283 | H23.1.4 |
| 8 | ㈱米村組 | 鹿角市尾去沢字山根 20-3 | 23-2330 | H23.4.1 |
| 9 | ㈱石川組 | 鹿角市と粟田大湯字中田 1-3 | 37-3041 | H23.4.1 |
| 10 | ㈱小板橋建設 | 鹿角市花輪字寺ノ後 7 | 23-2631 | H23.5.1 |
| 11 | 八重樫建設㈱ | 鹿角市十和田大湯字荒瀬 12-2 | 37-2045 | H24.5.1 |
| 12 | ㈱田中建設 | 鹿角市花輪字大川添 26 | 22-0774 | H25.4.1 |
| 13 | 明治安田生命保険相互会社<br>秋田支社鹿角営業所 | 鹿角市花輪字上花輪 150 | 23-4313 | H27.3.1 |

# 1－6 防災関係機関一覧表

| 機関・団体名 | 電話番号 | 防災上の役割 |
|---|---|---|
| 東北森林管理局米代東部森林管理署 | 0186-48-6921 | 国有林野内に関すること |
| 八幡平自然保護官事務所 | 30-0330 | 国立公園内に関すること |
| 東北農政局秋田地域センター　北秋田支所 | 0186-43-3135 | 主要食糧に関すること |
| 国土交通省東北地方整備局　能代河川国道事務所 | 0185-70-1001 | 国の直轄土木施設に関すること |
| 国土交通省　秋田地方気象台 | 018-824-0376 | 気象情報に関すること |
| 鹿角警察署 | 23-3321 | 治安維持に関すること |
| 日本道路公団東北支社　十和田管理事務所 | 35-3300 | 高速道路に関すること |
| 鹿角地域振興局　総務企画部地域企画課 | 22-0456 | 県の出先機関の調整に関すること |
| 〃　農林部 | 23-2123 | 農林施設に関すること |
| 〃　建設部 | 23-2301 | 土木施設に関すること |
| 〃　福祉環境部(北秋田地域振興局兼務) | 0186-52-3955 | 医療及び救護に関すること |
| 日本郵便局㈱花輪郵便局 | 23-3471 | 郵便等に関すること |
| 東日本旅客鉄道㈱鹿角花輪駅 | 23-3412 | 鉄道施設、救助物資に関すること |
| 東日本電信電話㈱宮城事業部秋田支店 | 018-836-8781 | 電気通信施設等に関すること |
| 東北電力㈱鹿角営業所 | 23-3206 | 電力施設等に関すること |
| 日本通運㈱鹿角営業所 | 23-2037 | 緊急物資等の輸送に関すること |
| 三八五流通㈱鹿角支店 | 35-3858 | 〃 |
| ヤマト運輸㈱鹿角営業所 | 35-4256 | 〃 |
| 秋北バス㈱花輪営業所 | 23-2183 | 人員輸送に関すること |
| （一社）鹿角市鹿角郡医師会 | 22-1251 | 医療及び助産活動に関すること |
| 秋田魁新報社鹿角支局 | 22-1234 | 災害情報等の報道に関すること |
| 北鹿新聞鹿角支局 | 23-3324 | 〃 |
| 米代新報㈱ | 23-2911 | 〃 |
| かづの農業協同組合 | 22-2001 | 農作物の災害応急対策に関すること |
| 鹿角森林組合 | 23-3315 | 林産物の災害応急対策に関すること |
| 鹿角市河川漁業協同組合 | 35-2622 | 水産物の災害応急対策に関すること |
| 鹿角市社会福祉協議会 | 23-2165 | 被災生活困窮者の援護に関すること |
| かづの商工会 | 22-0050 | 商工業関係被災調査等に関すること |
| 秋田銀行　花輪支店 | 23-3003 | 被災事業者に対する資金融資に関すること |
| 北日本銀行　鹿角支店 | 23-3284 | 〃 |
| 東北銀行　鹿角支店 | 23-3480 | 〃 |
| 北都銀行　鹿角支店 | 23-3181 | 〃 |
| 秋田県信用組合　花輪支店 | 23-3260 | 〃 |
| 秋田県労働金庫　鹿角支店 | 23-5000 | 〃 |
| 鹿角青年会議所 | 22-2022 | 災害対策本部への協力及び支援に関すること |

# 1－7 自主防災組織一覧表

(1/2)

| 番号 | 結成年月日 | 名称 | 代表者氏名 | 代表者住所 | 電話番号 | 隊員数(人) | 地域 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 世帯数(戸) | 人口(人) |
| 1 | H5.4.1 | 湯瀬温泉地区防災会 | 高畑　直 | 八幡平字湯瀬30-12 | 33-2053 | 122 | 159 | 450 |
| 2 | H5.4.1 | 小枝指地区防災会 | 千葉昭三 | 花輪字小枝指39 | 25-3628 | 30 | 74 | 296 |
| 3 | H7.6.1 | 松館地区防災会 | 山崎道博 | 八幡平字松館28 | 32-2303 | 80 | 63 | 255 |
| 4 | H7.6.1 | 下モ平地区防災会 | 関　堯 | 尾去沢字下モ平7 | 23-4008 | 144 | 133 | 407 |
| 5 | H8.4.1 | 六日町防災会 | 田村重樹 | 花輪字上花輪169 | 30-1270 | 67 | 63 | 189 |
| 6 | H8.5.1 | 組丁地区防災会 | 三森吉次 | 花輪字沢小路6-5 | 23-6143 | 70 | 67 | 228 |
| 7 | H8.6.1 | 舟場町防災会 | 菅原和男 | 花輪字新田町19-5 | 23-2551 | 70 | 59 | 220 |
| 8 | H9.1.10 | 浜田防災会 | 田口誠三 | 錦木字浜田6-1 | 35-3135 | 42 | 53 | 170 |
| 9 | H9.4.1 | 石鳥谷地区防災会 | 戸舘　誠 | 八幡平字田中49-6 | 32-2965 | 33 | 45 | 217 |
| 10 | H12.1.30 | 南町内地区防災会 | 湯澤　勉 | 毛馬内字焼山下タ63-2 | 35-2209 | 74 | 140 | 465 |
| 11 | H12.4.1 | 土深井防災会 | 柳沢　均 | 末広字高梨子館25 | 35-2017 | 55 | 49 | 211 |
| 12 | H12.4.1 | 丁内地区防災会 | 田口政喜 | 大湯字大湯204 | 37-2044 | 37 | 34 | 88 |
| 13 | H12.4.1 | 大湯中町自主防災会 | 中村三千夫 | 大湯字大湯202 | 37-2165 | 25 | 41 | 120 |
| 14 | H15.2.1 | 谷内地区防災会 | 阿部邦宏 | 八幡平字仲ノ沖100 | 34-2117 | 200 | 203 | 752 |
| 15 | H16.3.21 | 蟹沢自主防災会 | 藤原純一 | 尾去沢字蟹沢10 | 23-4808 | 50 | 98 | 298 |
| 16 | H16.4.1 | 大欠自主防災会 | 村木俊三 | 末広字沖ノ平57 | 35-3811 | 50 | 50 | 163 |
| 17 | H17.7.1 | 下川原自主防災会 | 佐藤　忠 | 花輪字下川原63 | 25-3054 | 63 | 63 | 223 |
| 18 | H17.9.21 | 三ノ丸自主防災会 | 中村隆俊 | 毛馬内字柏野8-1 | 35-2258 | 34 | 157 | 422 |
| 19 | H17.1.23 | 下タ町自主防災会 | 成田伸世 | 花輪字下タ町112-18 | 23-3818 | 58 | 210 | 700 |
| 20 | H18.10.3 | 上町自主防災会 | 竹越政光 | 毛馬内字毛馬内9-2 | 35-2483 | 41 | 21 | 41 |
| 21 | H18.11.16 | 陣場自主防災会 | 敦賀三郎 | 毛馬内字中陣場45-2 | 35-4486 | 75 | 242 | |
| 22 | H19.3.25 | 松山自主防災会 | 村木亨吉 | 末広字不動平26 | 35-3771 | 41 | 150 | 467 |
| 23 | H19.3.25 | 館自主防災会 | 内藤新次 | 毛馬内字柏崎42-1 | 35-2329 | 30 | 40 | 119 |
| 24 | H19.4.1 | 白欠自主防災会 | 綱木忠治 | 八幡平字白欠11 | 32-3340 | 51 | 17 | 60 |
| 25 | H19.8.1 | 鶴田自主防災会 | 金澤良一 | 花輪字諏訪野56-1 | 25-3656 | 40 | 151 | 463 |
| 26 | H19.9.28 | 大川添団地自主防災会 | 阿部　勇 | 花輪字大川添3-11 | 23-7480 | 24 | 70 | 180 |
| 27 | H20.4.6 | 上台・長野自主防災会 | 児玉忠治 | 花輪字下モ平65-2 | 25-2350 | 25 | 77 | 331 |
| 28 | H20.4.21 | 川部自主防災会 | 神田昭治 | 八幡平字川部上川原6-3 | 32-2149 | 31 | 31 | 118 |
| 29 | H20.5.1 | 川原自主防災会 | 高橋幸司 | 毛馬内字休堂40 | 35-2464 | 20 | 40 | 120 |
| 30 | H20.7.22 | 川原町自主防災会 | 丸岡初弥 | 花輪字下花輪117 | 23-5646 | 30 | 76 | 240 |
| 31 | H20.8.1 | 小豆沢自主防災会 | 千田俊夫 | 八幡平字小山122-2 | 32-3220 | 30 | 174 | 547 |
| 32 | H20.9.20 | 小坂三区自主防災会 | 畠山卓蔵 | 花輪字合野130-3 | 23-2700 | 59 | 111 | 323 |
| 33 | H21.1.30 | 新斗米自主防災会 | 成田喜代美 | 花輪字間名市12-1 | 25-2626 | 25 | 24 | 79 |
| 34 | H21.1.11 | 夏井自治会自主防災会 | 金澤文好 | 八幡平字夏井87 | 34-2333 | 31 | 105 | 450 |
| 35 | H21.2.21 | 新町自治会自主防災会 | 土舘　昇 | 花輪字下花輪1-3 | 22-2130 | 39 | 41 | 95 |
| 36 | H21.4.1 | 久保田自主防災会 | 田中教雄 | 花輪字八正寺35-1 | 23-5201 | 19 | 226 | 552 |
| 37 | H21.7.1 | 大里自主防災会 | 浅石恒美 | 八幡平字大里川原60 | 32-3237 | 15 | 171 | 526 |
| 38 | H21.7.20 | 川原ノ湯自主防災会 | 和井内貞光 | 大湯字川原ノ湯20-8 | 37-2159 | 40 | 105 | 270 |
| 39 | H21.7.25 | 扇の間自主防災会 | 赤坂金次 | 花輪字外扇ノ間63-11 | 22-1311 | 14 | 42 | 105 |
| 40 | H21.8.2 | 市街地自主防災会 | 田村秀一 | 尾去沢字軽井沢44-5 | 23-2430 | 37 | 89 | 224 |
| 41 | H21.8.2 | 長嶺自主防災会 | 阿部隆雄 | 八幡平字長嶺前田5-1 | 32-3222 | 45 | 83 | 329 |
| 42 | H21.7.17 | 中田自主防災会 | 三上祐一 | 大湯字中田12 | 37-3921 | 16 | 64 | 191 |
| 43 | H21.9.1 | 東町自主防災会 | 木村修一 | 花輪字中屋布102-1 | 23-5093 | 27 | 160 | 560 |
| 44 | H21.9.12 | 三ツ矢沢中新田自主防災会 | 岩城勝義 | 尾去沢字中綱出口40 | 23-3276 | 25 | 12 | 41 |

(2/2)

| 番号 | 結成年月日 | 名称 | 代表者氏名 | 代表者住所 | 電話番号 | 隊員数(人) | 地域 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 世帯数(戸) | 人口(人) |
| 45 | H21.9.24 | 下新田自主防災会 | 渡部　寛 | 尾去沢字麦沢 58-2 | 23-5696 | 20 | 13 | 35 |
| 46 | H21.10.26 | 高市自主防災会 | 小舘　司 | 花輪字高市 80-1 | 25-3085 | 35 | 62 | 230 |
| 47 | H21.11.15 | 大久保自主防災会 | 根本正男 | 八幡平字横手前田 26-3 | 32-3387 | 25 | 31 | 113 |
| 48 | H21.12.13 | 新堀自主防災会 | 田中一雄 | 尾去沢字新山 33 | 23-6738 | 30 | 202 | 380 |
| 49 | H22.1.1 | 腰廻自主防災会 | 目時俊徳 | 大湯字長渉 11-2 | 37-3803 | 42 | 42 | 170 |
| 50 | H22.9.21 | 横丁自主防災会 | 倉沢　孝 | 花輪字下花輪 152-3 | 23-5737 | 25 | 40 | 100 |
| 51 | H22.10.31 | 長者久保自主防災会 | 木村浩久 | 山根字田中 5 | 35-4312 | 9 | 25 | 85 |
| 52 | H23.1.16 | 下ノ湯自主防災会 | 杉江喜一 | 大湯字下ノ湯 7-11 | 37-2176 | 25 | 51 | 123 |
| 53 | H23.2.5 | 上野自主防災会 | 又賀喜代美 | 花輪字馬場 73-5 | 23-4878 | 162 | 70 | 189 |
| 54 | H23.3.1 | 寺坂自主防災会 | 兎澤悦雄 | 花輪字村後 1-2 | 25-2544 | 32 | 94 | 280 |
| 55 | H23.2.17 | 神田自治会自主防災会 | 青山恵雄 | 末広字上屋布 86 | 35-3225 | 57 | 82 | 246 |
| 56 | H23.3.26 | 軽井沢自主防災会 | 兎澤秀隆 | 尾去沢字軽井沢 23-52 | 23-6114 | 30 | 61 | 153 |
| 57 | H23.8.1 | 級ノ木自主防災会 | 兎沢　清 | 花輪字雁府 24 | 25-3318 | 30 | 62 | 217 |
| 58 | H23.12.1 | 永田自主防災会 | 渋谷勝彦 | 八幡平字上平 183-2 | 34-2918 | 48 | 32 | 125 |
| 59 | H23.5.24 | 中町自主防災会 | 勝又幹雄 | 毛馬内字城ノ下 96-1 | 35-3317 | 23 | 21 | 51 |
| 60 | H23.12.26 | 旭町二区自主防災会 | 三森吉男 | 花輪字八正寺 19-14 | 23-2563 | 34 | 69 | |
| 61 | H24.1.7 | 松の木自主防災会 | 豊下　茂 | 錦木字冠田 90-2 | 35-3022 | 27 | 40 | 120 |
| 62 | H24.3.25 | 菩提野自主防災会 | 児玉和男 | 花輪字本苗代 47-6 | 25-2879 | 14 | 14 | 35 |
| 63 | H24.4.28 | 下町(毛馬内)自主防災会 | 榊　英雄 | 毛馬内字高田 54-10 | 35-3522 | 30 | 40 | 130 |
| 64 | H24.6.10 | 四ノ岱自主防災会 | 谷地富徳 | 大湯字白山 4-14 | 37-3530 | 52 | 70 | 192 |
| 65 | H24.3.11 | 甚兵エ川原自主防災会 | 田原久雄 | 毛馬内字中台地 11-2 | 35-4869 | 13 | 29 | 100 |
| 66 | H24.11.2 | 三ケ田自主防災会 | 阿部浩一 | 八幡平字三ケ田 4 | 32-3120 | 19 | 44 | 146 |
| 67 | H24.11.15 | 西道口自主防災会 | 佐藤榮治 | 尾去沢字西道口 79-3 | 23-6173 | 30 | 156 | 372 |
| 68 | H25.1.7 | 古川自主防災会 | 湯沢政和 | 錦木字山谷 28-2 | 35-5344 | 27 | 84 | 340 |
| 69 | H24.11.26 | 大町・仲町・中堰向自主防災会 | 石木田幸一郎 | 花輪字中花輪 120-2 | 22-0055 | 59 | 53 | 144 |
| 70 | H25.3.10 | 水沢自主防災会 | 栗木忠一 | 八幡平字平 29-12 | 31-2517 | 65 | 42 | 153 |
| 71 | H25.3.24 | 東山自主防災会 | 相川安孝 | 花輪字赤坂 64-9 | 23-5225 | | 80 | 130 |
| 72 | H25.4.21 | 荒瀬自主防災会 | 木村鵜郎 | 大湯字荒瀬 5-10 | 37-2387 | 35 | 66 | 170 |
| 73 | H25.7.28 | 長牛自主防災会 | 佐々木忠臣 | 八幡平指鳥 1-1 | 32-3312 | 27 | 55 | 168 |
| 74 | H25.9.7 | 湯ノ岱自主防災会 | 安保岩夫 | 大湯字湯ノ岱 1-23 | 37-3139 | 62 | 82 | 217 |
| 75 | H25.9.1 | 沢尻自主防災会 | 沢田人美 | 錦木字下野 29 | 35-2748 | 35 | 46 | 142 |
| 76 | H25.10.27 | 小坂1区自主防災会 | 荒谷　功 | 花輪字合ノ野 305 | 23-4520 | 19 | 64 | 190 |
| 77 | H25.11.10 | 小坂2区自主防災会 | 花ノ木和儀 | 花輪字福士 63-6 | 22-0665 | 28 | 74 | 220 |
| 78 | H26.3.29 | 館自主防災隊 | 安保　豊 | 花輪字八幡館 3-2 | 25-2412 | 47 | 72 | 228 |
| 79 | H26.6.1 | 新田町自主防災会 | 小田嶋健一 | 花輪字高井田 6 | 23-2066 | 40 | 51 | 140 |
| 80 | H26.12.4 | 旭町三区自主防災会 | 石木田誠一 | 花輪字下中島 104 | 23-3517 | 27 | 29 | 72 |

※隊員数、世帯数、人口は結成当時の数

# 第2 通信に関する資料

## 2－1 鹿角市防災行政無線局管理運用要綱

制定　平成４年１月１日

（目的）

**第１条**　この要綱は、鹿角市防災行政用無線局の管理及び運用について、電波法（昭和 5 年法律第 131 号。以下「法」という。）及び関係法令に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

（定義）

**第２条**　この要綱において使用する用語の意義は、次の各号に定めるところによる。

(1) 無線局　　鹿角市防災行政用無線局の無線設備及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。

(2) 基地局　　鹿角市役所本庁に設置する統制台及びその付帯設備をいう。

(3) 陸上移動局　　陸上を移動して運用する車載型又は携帯型の無線設備をいう。

(4) 運用　　無線局を使用して無線交信を行うことをいう。

（無線局の構成等）

**第３条**　無線局の構成及び配置は、別表第１のとおりとする。

２　無線局の呼出名称は、「ぼうさいかづの」とする。

（無線統轄管理者）

**第４条**　無線局に無線統轄管理者を置くものとし、基地局の所管課の長の職にある者を充てる。

２　無線統轄管理者は、無線局の管理及び運用の業務を統括する。

３　無線統轄管理者は、第７条に規定する無線従事者の中から１名を無線取扱責任者に指名する。

（無線従事者）

**第５条**　無線従事者は、市長が任命する。

２　無線従事者は、無線統轄管理者の命を受け、法及び関係法令を遵守して基地局及び陸上移動局の管理及び運用の実務を行う。

（無線管理者）

**第６条**　無線管理者は、各陸上移動局の所管課の長の職にある者を充てる。

２　無線管理者は、所管する陸上移動局の管理及び運用の業務を分掌する。

３　無線管理者は、無線統轄管理者の研修を受けた職員の中から無線取扱者を指名し、無線統轄管理者に報告するものとする。

（無線取扱責任者）

**第７条**　無線取扱責任者は、無線統轄責任者の命を受け、法及び関係法令を遵守して無線局の管理及び運用の実務を行う。

（無線取扱者）

**第８条**　無線取扱者は、無線管理者の命を受け、法及び関係法令を遵守して所管する陸上移動局の運用の実務を行う。

（業務書類等）

**第９条**　無線業務日誌（様式第 1）の記載は、所管課の無線取扱者が交信の都度に行い月ごとに

無線管理者の査閲を受けるものとする。

2　無線取扱者は、無線業務日誌を必要に応じて査閲するものとする。

3　無線取扱者は、毎年1月から12月までの無線業務日誌妙録（様式第2）を毎年12月末までに作成し、無線統轄管理者の査閲を受けるものとする。

4　業務書類等の報告等は、基地局の所管課において取り行うこととする。

**（無線局の運用）**

**第10条**　無線局を運用するときは、法及びこの要綱に定めるもののほか鹿角市役所無線電話装置取扱説明書によるものとする。

2　基地局に配備された無線従事者は、無線統轄管理者の指示のあるときは、無線局の運用の統制の業務を行うものとする。

**（災害時の活用）**

**第11条**　無線局は、災害時において有線通信が途絶したときの情報の収集、伝達及び防災関係機関の通信連絡に活用するものとする。

**（保守点検）**

**第12条**　無線局の正常な機能を維持するため、次のとおり保守点検を行う。

(1) 日常点検　毎日行う点検

(2) 定期点検　１年ごと又は６ヵ月ごとに行う点検

2　点検項目等は、業者の様式によるものとする。

3　保守点検の実施は、次のとおりとする。

(1) 日常点検は、所管課ごとに無線取扱者が行うものとする。

(2) 定期点検は、基地局の所管課が行うものとする。

4　点検により、異常を発見したときは、直ちに無線統轄責任者に報告するものとする。

**（通信訓練）**

**第13条**　無線統轄管理者は、災害の発生に備え、無線局の機能の確認及び運用の習熟を図るため、定期的に通信訓練を行うものとする。

**（研修）**

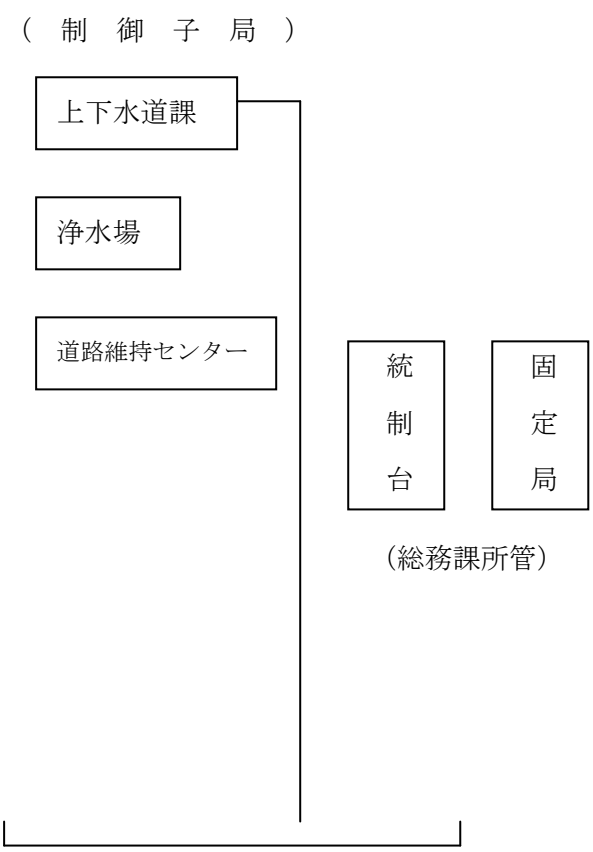
**第14条**　無線統轄管理者は、無線取扱者等に対して法及び関係法令、要綱並びに陸上移動局の取扱要領等の研修を行うものとする。

附　則

この要綱は、平成4年4月1日から施行する。

別表第1

## 無 線 局 の 構 成 及 び 配 置




（ 陸 上 移 動 局 ）

| 呼出呼称 | 種別 | セレコール | 所管課 |
|---|---|---|---|
| ぼうさいかづの8 | 携帯 | 121 | 総務課 |
| ぼうさいかづの9 | 携帯 | 122 | 〃 |
| ぼうさいかづの10 | 携帯 | 123 | 〃 |
| ぼうさいかづの12 | 携帯 | 124 | 〃 |
| ぼうさいかづの16 | 携帯 | 125 | 〃 |
| ぼうさいかづの4 | 車載 | 312 | 上下水道課 |
| ぼうさいかづの5 | 車載 | 313 | 〃 |
| ぼうさいかづの7 | 車載 | 314 | 〃 |
| ぼうさいかづの19 | 車載 | 315 | 浄水場 |
| ぼうさいかづの3 | 車載 | 115 | 都市整備課 |
| ぼうさいかづの6 | 車載 | 412 | 〃 |
| ぼうさいかづの13 | 車載 | 413 | 〃 |
| ぼうさいかづの15 | 車載 | 415 | 〃 |
| ぼうさいかづの17 | 車載 | 416 | 〃 |
| ぼうさいかづの20 | 車載 | 418 | 〃 |
| ぼうさいかづの21 | 車載 | 419 | 〃 |

## 2－2 防災行政無線局の概要

| | |
|---|---|
| 名　　称 | 鹿角市防災行政用無線局 |
| 免許年月日 | 昭和６０年７月２３日 |
| 目　　的 | 防災行政用 |
| 呼出呼称 | ぼうさいかづの |
| 使用周波数 | 移動系<br>１５０．８１MHz |
| 無線局数 | 統制台：１<br>制御子局：３<br>固定系：１<br>移動系：車載１６<br>携帯　４ |
| 概　　要 | ・ 市庁舎屋上にアンテナを設置<br>・ 鹿角市全域が交信可能<br>・ 選択呼出し方式により、個別呼び出しが可能<br>・ 災害時において統制台から一斉通信が可能<br>・ 移動局等の増設が可能 |

## 2－3 防災行政無線の設置箇所一覧

| 課所室名 | 電話型制御局 | 移動局（車載） | 移動局（携帯） |
|---|---|---|---|
| 総務部　総務課 | ○ | ○ | ○ |
| 建設部　都市整備課 | ○ | ○ | |
| 建設部　上下水道課 | ○ | ○ | ○ |

鹿角市防災行政用無線局　呼出し番号簿

| 部局名等 | 課所室名等 | 呼称 | 無線局形態 | セレコール | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 000 | 一斉指令 |
| 総務部 | 総　務　課 | ***ぼうさいかづの*** | ***固定局*** | ***111*** | ***統制台*** |
| | | ぼうさいかづの8 | ハンディ | 121 | |
| | | ぼうさいかづの9 | ハンディ | 122 | |
| | | ぼうさいかづの10 | ハンディ | 123 | |
| | | ぼうさいかづの12 | ハンディ | 124 | |
| | | ぼうさいかづの16 | ハンディ | 125 | |
| 建設部 | 上下水道課 | ***ぼうさいかづの*** | ***固定局*** | ***311*** | ***制御子局*** |
| | | ぼうさいかづの4 | 車載移動局 | 312 | 秋田 800 さ 7533 |
| | | ぼうさいかづの5 | 車載移動局 | 313 | 秋田 800 さ 5443 |
| | | ぼうさいかづの7 | 車載移動局 | 314 | 秋田 480 あ 4115 |
| | 浄　水　場 | ***ぼうさいかづの*** | ***固定局*** | ***333*** | ***制御子局*** |
| | | ぼうさいかづの19 | 車載移動局 | 315 | 秋田 800 さ 7002 |
| | 都市整備課<br>道路維持センター | ***ぼうさいかづの*** | ***固定局*** | ***411*** | ***制御子局*** |
| | | ぼうさいかづの3 | 車載移動局 | 115 | 秋田 300 ひ 9320 |
| | | ぼうさいかづの6 | 車載移動局 | 412 | 秋田 400 す 7073 |
| | | ぼうさいかづの13 | 車載移動局 | 413 | 秋田 11 ち 1459 |
| | | ぼうさいかづの15 | 車載移動局 | 415 | 秋田 100 さ 23 |
| | | ぼうさいかづの17 | 車載移動局 | 416 | 秋田 00 ま 4160 |
| | | ぼうさいかづの20 | 車載移動局 | 418 | 秋田 00 ま 4379 |
| | | ぼうさいかづの21 | 車載移動局 | 419 | 秋田 00 ま 5247 |
| 広域行政組　合 | 消防本部 | ぼうさいかづの2 | 移動局 | 911 | |

## 2－4 鹿角広域行政組合消防本部無線通信一覧表

| | | 本部署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 計 | 周波数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 固定局（免許状） | | 1 | 1 | 1 | 3 | 市町村波　153.31MHz（1CH）<br>県内波　153.53MHz（2CH）<br>全国波　150.73MHz（3CH）<br>救急波　146.08MHz（4CH）<br>救急波　142.08MHz（4CH） |
| 基地局 | 免許状 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| | 無線機 | 4 | 2 | 3 | 9 | |
| 移動局 | 車載型 | １２ | 3 | 3 | １８ | |
| | 携帯型 | １７ | 7 | 8 | ３２ | |
| | 免許状 | ２９ | １０ | １１ | ５０ | |

## 2－5 市内アマチュア無線クラブ代表者一覧表

| クラブ名 | 代表者名 | 電話 |
|---|---|---|
| 鹿角アマチュア無線災害ネットワーク<br>（十和田八幡平アマチュア無線クラブ） | 駒ヶ嶺　政也 | 22-1713 |

## 2－6 特設公衆電話設置場所

| No. | 避難施設名称<br>及び設置場所 | 所在地 | 連絡先<br>電話番号 | 設置<br>台数 | 特設公衆電話<br>番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文化の杜交流館（コモッセ）<br>（市民センター事務室前） | 鹿角市花輪字八正寺 13 | 0186-23-3351 | 5 | 0186-22-1649<br>0186-22-1654<br>0186-22-1664<br>0186-22-1679<br>0186-22-1684 |
| 2 | 柴平地域活動センター<br>（事務室前） | 鹿角市花輪字八幡平 12-1 | 0186-25-2180 | 2 | 0186-25-3074<br>0186-25-3079 |
| 3 | 交流センター<br>（事務室前） | 鹿角市花輪字荒田 1-1 | 0186-22-2611 | 5 | 0186-23-5694<br>0186-23-5734<br>0186-23-5744<br>0186-23-5754<br>0186-23-5759 |
| 4 | 大湯地区市民センター体育場<br>（事務室前） | 鹿角市十和田大湯字権現堂 22-1 | 0186-37-2057 | 5 | 0186-37-4799<br>0186-37-4804<br>0186-37-4809<br>0186-37-4814<br>0186-37-4819 |
| 5 | 十和田市民センター<br>（事務室前） | 鹿角市十和田毛馬内<br>字城ノ下 7-5 | 0186-35-3045 | 5 | 0186-35-4174<br>0186-35-4179<br>0186-35-4194<br>0186-35-4209<br>0186-35-4214 |
| 6 | 錦木地区市民センター<br>（事務室前） | 鹿角市十和田錦木字浜田 91-1 | 0186-35-4477 | 4 | 0186-35-5364<br>0186-35-5406<br>0186-35-5424<br>0186-35-5426 |
| 7 | 尾去沢市民センター<br>（事務室前） | 鹿角市尾去沢字軽井沢 46-5 | 0186-23-2553 | 4 | 0186-22-2574<br>0186-22-2576<br>0186-22-2584<br>0186-22-2586 |
| 8 | 八幡平市民センター<br>（事務室前） | 鹿角市八幡平字堂の上 64-1 | 0186-32-2029 | 5 | 0186-32-2819<br>0186-32-2839<br>0186-32-2849<br>0186-32-2854<br>0186-32-2886 |
| 9 | 記念スポーツセンター<br>（事務室前） | 鹿角市花輪字荒田 4-1 | 0186-23-5850 | 5 | 0186-23-3639<br>0186-23-3649<br>0186-23-3654<br>0186-23-3669<br>0186-23-3674 |

# 第3 災害援護に関する資料

## 3−1 災害援護資金等の貸付

1 災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和 48 年法律第 82 号）

一部改正：平成 3 年 6 月 3 日以降発生災害から適用

ア 法の適用対象となる災害

○災害弔慰金 a 当該市町村区域内で住居の滅失(100%)した世帯数 5 以上の災害

b 当該都道府県区域内で災害救助法が適用された災害

c a 又はｂと同等と認められる特別の事情がある場合で、厚生労働大臣が別に定めるもの

○災害援護資金 当該都道府県区域内で災害救助法が適用された災害

イ 所得制限

災害援護資金 同一世帯における合算した市町村民税の所得割の課税標準収入

同一世帯に属するものが

1 人のときは 220 万円

2 人のときは 430 万円

3 人のときは 620 万円

4 人のときは 730 万円

5 人以上は 730 万円に 4 人を除き 1 人増すごとに 30 万円を加算した額

ウ 弔慰金及び貸付金の額等

○災害弔慰金（国 2/4、県 1/4、市町村 1/4）

世帯主 500 万円

その他 250 万円

○災害援護資金（国 2/3、県 1/3）

| 区 分 | 負傷のみの場合 | 家財が 1/3 以上の損害 | 住家の半 壊 | 〃 全 壊 | 〃 滅失・流失 | 条 件 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 世帯主の負傷1ヵ月（療養）以上の場合 | 万円 １５０ | 万円 ２５０ | 万円 ２７０ | 万円 ３５０ | 万円 | ○１０年償還（うち３年据置） |
| 世帯主の負傷がない場合 | | １５０ | １７０（２５０） | ２５０（３５０） | ３５０ | ○年利３％（ ）は特認 |

**償還方法**

個人 10 年 3% → 市町村 11 年 無利子 → 県 12 年 無利子 → 国

2 生活福祉資金貸付制度要綱（国 1/2、県 1/2）

| 資金種類 | 貸付限度額 | 据置期間 | 償還期間 | 貸付利子 |
|---|---|---|---|---|
| 災害援護資金 | 1,500,000 円以内 | 貸付の日から 1 年以内 | 7 年以内 | 年 3% |
| 低所得者世帯に対し、災害を受けたことによる困窮から自立更生するのに必要な経費。 | | | | |

注 災害弔慰金の支給等に関する法律(昭和 48 年法律第 82 号)に基づく災害援護資金の貸付対象となる世帯は、原則として重複貸付はできない。

3　母子寡婦福祉資金（国 2/3、県 1/3、激甚災害の場合　国 3/4、県 1/4）

母子福祉資金　２０歳未満の児童を扶養している母子家庭
寡婦福祉資金　かつて母子家庭であって現に配偶者のいない家庭

住宅資金　200 万円（ただし、災害の場合の貸付限度額引上げによるもの（一般 150 万円））
6ヶ月据置　6 年償還　利子　3%
　└災害の場合 2 年据置、7 年償還

事業開始資金（283 万円　1 年据置　7 年償還）
事業継続資金（142 万円　6 ヶ月据置　7 年償還）
→ 被災した場合据置期間が 2 年延長される。

4　秋田県災害援護基金貸付要綱（県 1/2、市町村 1/2）

・償還方法

個人　10 年 3%　→　市町村　11 年 無利子　→　県

・貸付限度額

| 被害の種類及び程度 | 限　度　額 |
|---|---|
| ① 世帯主の 1 ヶ月以上の負傷 | 1,500,000 円 |
| ② 家財等の損害 | |
| (ア)家財の 3 分の 1 以上の損害 | 1,500,000 |
| (イ)住居の半壊 | 1,700,000 |
| (ウ)住居の全壊（(エ)の場合を除く） | 2,500,000 |
| (エ)住居全体の滅失又は流失 | 3,500,000 |
| ③ ①と②が重複した場合 | |
| (ア)①と②の(ア)が重複した場合 | 2,500,000 |
| (イ)①と②の(イ)が重複した場合 | 2,700,000 |
| (ウ)①と②の(ウ)が重複した場合 | 3,500,000 |
| ④ 次のいずれかの事由の１に該当する場合であって、被災した住居を建て直すに際し、残存部分を取り壊さざるを得ない場合等特別の事情がある場合 | |
| (ア)②のイの場合 | 2,500,000 |
| (イ)②のウの場合 | 3,500,000 |
| (ウ)③のイの場合 | 3,500,000 |

## 3－2 経営資金

1 ㈱日本政策金融公庫資金

被災農林漁業者等に対し、農林漁業の生産力維持増進施設等の災害復旧時に必要な長期かつ低利の資金を㈱日本政策金融公庫が融通するものとする。

ア 農業関係

① 農業経営基盤強化基金
② 経営体育成強化資金
③ 振興山村・過疎地域経営改善資金
④ 畜産経営環境調和推進資金
⑤ 農林漁業セーフティーネット資金

イ 林業関係

① 林業基盤整備資金（造林資金）
② 林業基盤整備資金（利用間伐推進基金）
③ 森林整備活性化資金
④ 農林漁業セーフティーネット資金

ウ 漁業関係

① 漁業経営改善支援資金
② 農林漁業セーフティーネット資金

2 天災融資法による災害経営資金

暴風雨および豪雨等により農林漁業者等が被害を受けた場合、国、県および市町村が農協系金融機関や銀行等に対し利子補給を行い、再生産確保のための経営資金等を融資するものとする。

なお、貸付け限度、償還期限等については、天災の都度政令で指定する。

3　災害および激甚災害に伴う中小企業優遇措置等一覧

| 区分 | | | | 使途 | 限度 | 期間 | 返済方法 | 保証人等 | 利息 | 保証料 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 融資制度 | 県制度 | 中小企業災害復旧資金 | 激甚災害 | 設置運転 | 1,000万円 | 10年以内 | 据置1年以内 | 1人以上 | 別に知事が定める | | |
| | 国民金融公庫 | 災害貸付 | 災害 | 〃 | 3,000万円 | 10年以内 | 〃 2年以内 | 原則として1人以上 | 年 2.9% | | 既貸付金の償還延長等については実情に応じ弾力的に対応 |
| | | | 激甚 | 特別利率の内容は、その都度閣議決定による。 | | | | | | | |
| | 中小企業金融公庫 | 災害貸付 | 災害 | 〃 | 15,000万円<br>(代理費 7,500万円) | 10年以内 | 〃 2年以内 | 〃 | 〃 2.9% | | |
| | | | 激甚 | 特別利率の内容は、その都度閣議決定による。 | | | | | | | |
| | 商工組合中央金庫 | 災害復旧資金 | 災害 | 〃 | 組合員 20億円<br>組合 200億円 | 設 20年以内<br>運 10年以内 | 〃 3年以内 | 原則として必要 | 長期プライムレート<br>(10年経過後5年ごとに見直し) | | 融資限度額は一般融資との合計額 |
| | | | 激甚 | 特別利率の内容は、その都度閣議決定による。 | | | | | | | |
| | 中小企業事業団 | 小規模企業共済契約者貸付 | 災害 | 〃 | 共済掛金の7割～9割まで | 3年以内 | 半年賦 | | 〃 3.1% | | |
| 信用保証協会 | | 激甚災害復旧融資保証 | 激甚 | 〃 | 別枠個人法人 23,500万円<br>組合 43,500万円 | 10年以内 | | 1人以上 | | 年 0.85% | |
| 中小企業設備近代化資金等 | | (特別措置) | 激甚 | 2年を超えない範囲で償還期間延長 | | | | | | | |
| | | | 災害 | 貸付の対象となった設備が滅失した場合、経済産業大臣の承認を得て、貸付金の全部又は一部の償還を免除することができる。 | | | | | | | |
| 高度化資金 | | 災害復旧高度化事業 | 災害 | | 事業費の90%以内 | 20年以内 | 据置3年以内 | | 無利子 | | |
| | | 共同防災事業 | 〃 | | 事業費の80%以内 | 20年以内 | 〃 3年以内 | | 無利子 | | |
| | | (特別措置) | 激甚 | 激甚災害の指定を受けて中小企業庁が償還期間の延長措置を決定したとき、それに対応する。 | | | | | | | |

注（1）区分欄「激甚」欄は激甚災害の指定を受けた災害の場合の特例措置である。

（2）「特別災害者」＝事業用不動産の70%以上又は事業収入の10%の被害を受けた者。

4　環境衛生金融公庫

ア　災害貸付（個人・会社に係る設備資金）

(ア) 貸付限度額

一般貸付限度額のほかに 3,000 万円（特別な場合 6,000 万円まで）以上上乗せ（一般貸付限度額、飲食店、喫茶店、理容、美容業、氷雪販売、食肉販売および食鳥肉販売は、7,200 万円、興行場 2 億円、旅館 3 億円、浴場業 2 億 4,000 万円、クリーニング業、9,600 万円）

(イ) 貸付期間

13 年以内（特に必要があると認められた場合にこれを超えることができる）

(ウ) 据置期間

2 年以内（特に必要があると認められた場合にこれを超えることができる）

(エ) 利率

年利 2.3%（異例の災害に係る貸付にあたって一定額以下については特別利率を適用する。内容についてはその都度決定される。）

※ この他、環境衛生同業組合等の団体についても災害貸付制度（設備資金のほかに運転資金）がある。

イ　既住の借入者に対する特別措置

(ア) 支払猶予（被災時から 1 年以内の元金支出）

(イ) 貸付期間の延長（通常の貸付期間の範囲での延長）

## 3－3 税の減免

（1） 国税

(ア) 所得税法の雑損控除による方法（所得税法第 72 条 1 項）

災害、盗難又は横領により資産に損害を受けた場合、次のうちいずれか多い方の金額を雑損控除額として所得金額から控除する。

① （損害金額－保険金等で補てんされる金額）－総所得金額等の合計額×10%

② 災害関連支出の金額－5 万円

(イ) 災害被害者に対する租税の減免、徴収猶予等に関する法律による方法

a 所得税の減免（災害減免法第 2 条）

災害により住宅又は家財について、その時価の 2 分の 1 以上の損害（保険金等で補填される金額を除く。）を受けた者で、その年の合計所得金額が 1,000 万円以下であるものに対し、次により減免を行う。

合計所得金額が 500 万円以下 全額

500 万円超 750 万円以下 2 分の 1

750 万円超 1,000 万円以下 4 分の 1

b 相続税、贈与税の免除（災害減免法第 4 条）

相続、遺贈又は贈与により取得した財産について、申告書の提出期限後に甚大な損害を受けたものに対し、被害を受けた部分に対する税額を免除する。

（2） 地方税

(ア) 県税

a 個人の県民税（地方税法第 45 条）

市町村長が個人の市町村民税を減免した場合、各市町村税条例による減免額と同じ割合で減免

b 個人の事業税（条例第 62 条）

当該年度の前年度の事業税の最終の納期限の翌日から当該年度の最終の納期限の日までの間に災害により損害を受けたものに対し、次により減免を行う。

(a) 災害により事業用資産の損害額が、資産価格総額の 10 分の 3 以上であり、かつ、事業の所得金額が 1,000 万円以下の者

事業の所得金額が 500 万円以下 全額

500 万円超 750 万円以下 2 分の 1

750 万円超 1,000 万円以下 4 分の 1

(b) 自己又は控除対象配偶者もしくは扶養家族の所有する住宅又は家財の損害額が資産価格総額の 10 分の 3 以上であり、かつ、合計所得金額が 1,000 万円以下の者

合計所得金額が 400 万円以下 2 分の 1

400 万円超 500 万円以下 4 分の 1

※ (a)・(b) とも、損害額は保険金・損害賠償金等で補填される金額を差し引い

た後の金額

c　不動産取得税（条例第 79 条）

(a) 災害により滅失又は損壊した不動産に代わる不動産を取得する場合、滅失又は損壊した不動産価格に税率を乗じて得た額を限度に、滅失又は損壊の日から 3 年以内に取得したものに限り減免

(b) 取得した不動産が、その取得の日から 1 年以内に災害により滅失又は損壊した場合、その不動産の取得に対し減免

d　自動車税（条例第 135 条）

当該課税年度の納期限が未到来で、災害により自動車に損害を受け、その修繕に要した費用の額が自動車税の年額を超える場合、次により減免

修繕費が自動車税の年額の２倍を超える場合　　2 分の 1

〃　　年額を超え２倍以下の場合　　4 分の 1

なお、修繕に要した費用の額は、保険金・損害賠償金等で補填される金額を差し引いた後の金額である。

(イ) 市町村税

地方税法に基づき、市町村条例の規定により減免

a　個人の市町村民税（地方税法第 323 条）

b　固定資産税　　（地方税法第 367 条）

c　国民健康保険税　（地方税法第 717 条）

## 3－4 災害り災者に対する見舞金給付要綱（秋田県）

（目的）

**第１条** この要綱は、暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他の異常な自然現象による災害（以下「災害」という）により被害を受けたり災者に対し、見舞金の給付を行い、その自立更生を助長することを目的とする。

（対象）

**第２条** この要綱による見舞金の給付対象は、次のとおりとする。

一　災害により死者または行方不明者を出した世帯。

二　災害により精神または身体に著しい障害を受けた者。

三　災害により住家を全壊、流失又は半壊した世帯。

四　床上浸水により住家に被害を受けた世帯。

五　前各号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認めたもの。

（見舞金の額）

**第３条** 見舞金の給付は、次の範囲内で行うものとする。

一　前条第１項第１号及び２号　60 万円

二　前条第１項第３号及び第４号

（一）自己所有家屋で現に居住の用に供している家屋の被災世帯主

全壊、流失　60 万円

半壊、床上浸水　20 万円

（二）借家で現に居住している家屋の被災世帯主

全壊、流失　20 万円

半壊、床上浸水　6 万円

（市町村長の報告）

**第４条** 市町村長は、災害により見舞金の給付対象となりうるり災世帯が発生した場合は、災害見舞金給付適用報告書（様式第１ 号）を県地域振興局総務企画部長に提出するものとする。ただし、大規模な災害により当該する世帯が多い場合は、報告書を省略することができるものとする。

（給付の方法）

**第５条** 知事は、見舞金の給付を決定したときは、当該市町村長に通知するとともに、り災者に交付するものとする。

２　前項の見舞金の給付の決定の通知及び見舞金の給付は、地域振興局総務企画部長が行うものとする。

３　地域振興局総務企画部長は、り災者に見舞金を交付完了したときは、見舞金交付調書（様式第２号）に様式第１号の写しを添えて速やかに総合防災課長に提出するものとする。

附　則

1　この要綱は、昭和 47 年 9 月 1 日から施行する。

2　小災害り災者に対する見舞措置要綱（昭和 39 年 6 月 15 日施行）は廃止する。

3　この要綱は、昭和 50 年 7 月 11 日発生の災害から施行する。

4　この要綱は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

5　この要綱は、昭和 59 年 8 月 1 日から施行する。

6　この要綱は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

7　この要綱は、平成 9 年 10 月 1 日から施行する。

8　この要綱は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

9　この要綱は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

10　この要綱は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

11　この要綱は、平成 19 年 9 月 17 日から施行する。

# 3－5 鹿角市災害弔慰金の支給等に関する条例

昭和49年 6 月22日　条例第41号
改正　昭和50年 3 月27日　条例第 4 号
昭和51年12月24日　条例第42号
昭和53年 7 月 6 日　条例第25号
昭和60年12月26日　条例第33号
昭和62年 3 月24日　条例第14号
平成 3 年12月21日　条例第42号

## 第１章　総則

（目的）

**第１条**　この条例は、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号。以下「法」という。）及び同法施行令（昭和 48 年政令第 374 号。以下「令」という。）の規定に準拠し、暴風豪雨等の自然災害により死亡した市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民に災害障害見舞金の支給並びに被害を受けた世帯の世帯主に対する災害援護資金の貸付けを行い、もつて市民の福祉及び生活の安定に資することを目的とする。

（定義）

**第２条**　この条例において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に掲げるところによる。

(1) 災害　暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震その他異常な自然現象により被害が生ずることをいう。

(2) 市民　災害により被害を受けた当時、鹿角市の区域内に住所を有した者をいう。

## 第２章　災害弔慰金の支給

（災害弔慰金の支給）

**第３条**　市は、市民が令第１条に規定する災害（以下この章及び次章において単に「災害」という。）により死亡したときは、その者の遺族に対し、災害弔慰金を支給するものとする。

（災害弔慰金を支給する遺族）

**第４条**　災害弔慰金を支給する遺族の範囲は、法第３条第２項の遺族の範囲とし、その順位は、次に掲げるとおりとする。

(1) 死亡者の死亡当時において、死亡者により生計を主として維持していた遺族を先にし、その他の遺族を後にする。

(2) 前号の場合において、同順位の遺族については、次に掲げる順序とする。

イ　配偶者
ロ　子
ハ　父母
ニ　孫

ホ　祖父母

2　前項の場合において、同順位の父母については、養父母を先にし、実父母を後にし、同順位の祖父母については、養父母の父母を先にし、実父母の父母を後にし父母の養父母を先にし、実父母を後にする。

3　遺族が遠隔地にある場合、その他の事情により前２項の規定により難いときは、前２項の規定にかかわらず、第１項の遺族のうち、市長が適当と認める者に支給することができる。

4　前３項の場合において、災害弔慰金の支給を受けるべき同順位の遺族が２人以上あるときは、その１人に対してした支給は、全員に対してなされたものとみなす。

**（災害弔慰金の額）**

**第５条**　災害により死亡した者１人当たりの災害弔慰金の額は、その死亡者が死亡当時において、その死亡に関し災害弔慰金を受けることができることとなる者の生計を主として維持していた場合にあっては 500 万円とし、その他の場合にあっては 250 万円とする。ただし、死亡者がその死亡に係る災害に関し既に次章に規定する災害障害見舞金の支給を受けている場合は、これらの額から当該支給を受けた災害障害見舞金の額を控除した額とする。

**（死亡の推定）**

**第６条**　災害の際現にその場にいあわせた者についての死亡の推定については、法第４条の規定によるものとする。

**（支給の制限）**

**第７条**　災害弔慰金は、次の各号の一に該当する場合には支給しない。

(1) 当該死亡者の死亡が、その者の故意又は重大な過失により生じたものである場合

(2) 令第２条に規定する場合

(3) 災害に際し、市長の避難の指示に従わなかったこと、その他の特別の事情があるため、市長が支給を不適当と認めた場合

**（支給の手続）**

**第８条**　市長は、災害弔慰金の支給を行うべき事由があると認めるときは、規則で定めるところにより支給を行うものとする。

2　市長は、災害弔慰金の支給に関し、遺族に対し必要な報告又は書類の提出を求めることができる。

## 第３章　災害障害見舞金の支給

**（災害障害見舞金の支給）**

**第９条**　市は、市民が災害により負傷し又は疾病にかかり、治つたとき（その症状が固定したときを含む。）に法別表に掲げる程度の障害があるときは、当該市民（以下「障害者」という。）に対し、災害障害見舞金の支給を行うものとする。

**（災害障害見舞金の額）**

**第 10 条**　障害者１人当たりの災害障害見舞金の額は、当該障害者が災害により負傷し又は疾病にかかった当時において、その属する世帯の生計を主として維持していた場合にあっては 250 万円とし、その他の場合にあっては 125 万円とする。

（準用規定）

**第 11 条**　第７条及び第８条の規定は、災害障害見舞金について準用する。

## 第４章　災害援護資金の貸付

（災害援護資金の貸付）

**第 12 条**　市は、令第３条に掲げる災害により、法第 10 条第１項各号に掲げる被害を受けた世帯の市民である世帯主に対し、その生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行うものとする。

２　前項に掲げる世帯は、その所得について法第 10 条第１項に規定する要件に該当するものでなければならない。

（災害援護資金の限度額等）

**第 13 条**　災害援護資金の一災害における１世帯当たりの貸付限度額は、災害による当該世帯の被害の種類及び程度に応じ、それぞれ次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 療養に要する期間がおおむね１月以上である世帯主の負傷（以下「世帯主の負傷」という。）があり、かつ、次のいずれかに該当する場合

イ　家財についての被害金額が、その家財の価格のおおむね３分の１以上である損害（以下「家財の損害」という。）及び住居の損害がない場合　150 万円

ロ　家財の損害があり、かつ、住居の損害がない場合　250 万円

ハ　住居が半壊した場合　270 万円

ニ　住居が全壊した場合　350 万円

(2) 世帯主の負傷がなく、かつ、次のいずれかに該当する場合

イ　家財の損害があり、かつ、住居の損害がない場合　150 万円

ロ　住居が半壊した場合　170 万円

ハ　住居が全壊した場合（ニの場合を除く。）　250 万円

ニ　住居の全体が滅失若しくは流出した場合　350 万円

(3) 第１号のハ又は前号のロ若しくはハにおいて、被災した住居を建て直すに際し、その住居の残存部分を取り壊さざるを得ない場合等特別の事情がある場合には、「270 万円」とあるのは「350 万円」と、「170 万円」とあるのは「250 万円」と、「250 万円」とあるのは「350 万円」と読み替えるものとする。

２　災害援護資金の償還期間は 10 年とし、据置期間はそのうち３年（令第７条第２項括弧書の場合は、５年）とする。

（利率）

**第 14 条**　災害援護資金は、据置期間中は無利子とし、据置期間経過後は、その利率を延滞の場合を除き年３パーセントとする。

（償還等）

**第 15 条**　災害援護資金は、年賦償還又は半年賦償還とする。

２　償還方法は、元利均等償還の方法とする。ただし、貸付金の貸付けを受けた者は、いつでも繰上償還することができる。

3　償還免除、保証人、一時償還、違約金及び償還金の支払猶予については、法第 13 条第１項、令第８条から第 12 条までの規定によるものとする。

**（規則への委任）**

**第 16 条**　この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行し、昭和 49 年４月１日から適用する。

附　則（昭和 50 年３月 27 日条例第４号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（昭和 51 年 12 月 24 日条例第 42 号）

この条例は、公布の日から施行し、昭和 51 年 10 月 26 日から適用する。

附　則（昭和 53 年７月６日条例第 25 号）

この条例は、公布の日から施行し、改正後の第５条の規定は、昭和 53 年１月 14 日以後に生じた災害により死亡した住民の遺族に対する災害弔慰金の支給について、改正後の第 10 条第１項の規定は、当該災害により被害を受けた世帯の世帯主に対する災害援護資金の貸付けについて適用する。

附　則（昭和 60 年 12 月 26 日条例第 33 号）

この条例は、公布の日から施行し、昭和 60 年１月１日から適用する。

附　則（昭和 62 年３月 24 日条例第 14 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成３年 12 月 21 日条例第 42 号）

この条例は、公布の日から施行し、改正後の第５条の規定は平成３年６月３日以後に生じた災害により死亡した住民の遺族に対する災害弔慰金の支給について、改正後の第 10 条の規定は当該災害により負傷し又は疾病にかかった住民に対する災害障害見舞金の支給について、改正後の第 13 条第１項の規定は同年５月 26 日以後に生じた災害により被害を受けた世帯の世帯主に対する災害援護資金の貸付について適用する。

## 3－6 鹿角市災害弔慰金の支給等に関する条例施行規則

昭和 49 年 6 月 27 日　規則第 30 号
改正　昭和 60 年 12 月 26 日　規則第 18 号

### 第１章　総則

（目的）

**第１条**　この規則は、鹿角市災害弔慰金の支給等に関する条例（昭和 49 年鹿角市条例第 41 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

### 第２章　災害弔慰金の支給

（支給の手続）

**第２条**　市長は、条例第３条の規定により災害弔慰金を支給するときは、次に掲げる事項の調査を行ったうえ災害弔慰金の支給を行うものとする。

(1) 死亡者（行方不明者を含む。以下同じ。）の氏名、性別、生年月日
(2) 死亡（行方不明を含む。）の年月日及び死亡の状況
(3) 死亡者の遺族に関する事項
(4) 支給の制限に関する事項
(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

（必要書類の提出）

**第３条**　市長は、鹿角市の区域外で死亡した市民の遺族に対し、死亡地の官公署の発行する被災証明書を提出させるものとする。

２　市長は、市民でない遺族に対しては、遺族であることを証明する書類を提出させるものとする。

### 第３章　災害障害見舞金の支給

（支給の手続）

**第４条**　市長は、条例第９条の規定により災害障害見舞金を支給するときは、次に掲げる事項の調査を行ったうえ、災害障害見舞金の支給を行うものとする。

(1) 障害者の氏名、性別、生年月日
(2) 障害の原因となる負傷又は疾病の状態となった年月日及び負傷又は疾病の状況
(3) 障害の種類及び程度に関する事項
(4) 支給の制限に関する事項
(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

（必要書類の提出）

**第５条**　市長は、鹿角市の区域外で障害の原因となる負傷又は疾病の状態となった市民に対し、負傷し又は疾病にかかった地の官公署の発行する被災証明書を提出させるものとする。

２　市長は、障害者に対し、法別表に規定する障害を有することを証明する医師の診断書（様式第１号）を提出させるものとする。

## 第４章　災害援護資金の貸付

**（借入れの申込）**

**第６条**　災害援護資金（以下「資金」という。）の貸付けを受けようとする者（以下「借入申込者」という。）は、災害援護資金借入申込書（様式第２号）を市長に提出しなければならない。２　借入申込書には次に掲げる書類を添えなければならない。

(1) 世帯主の負傷を理由とする借入申込者にあっては、医師の療養見込期間及び療養概算額を記載した診断書

(2) 被害を受けた日の属する年の前年（当該被害を１月から５月までの間に受けた場合にあっては前々年とする。以下この号において同じ。）において、他の市町村に居住していた借入申込者にあっては、当該世帯の前年の所得に関する当該市町村長の証明書

(3) その他市長が必要と認めた書類

３　借入申込者は、借入申込書を、その者の被災の日の属する月の翌月１日から起算して３カ月を経過する日までに提出しなければならない。

**（調査）**

**第７条**　市長は、借入申込書の提出を受けたときは、速やかにその内容を検討のうえ、当該世帯の被害の状況、所得その他必要な事項について調査を行うものとする。

**（貸付けの決定）**

**第８条**　市長は、借入申込者に対して資金を貸付ける旨を決定したときは、災害援護資金貸付決定通知書（様式第３号）を借入申込者に交付するものとする。

２　市長は、借入申込者に対して資金を貸付けない旨を決定したときは、災害援護資金貸付決定不承認通知書（様式第４号）を借入申込者に交付するものとする。

**（借用書の提出）**

**第９条**　貸付決定通知書の交付を受けた者は、速やかに連帯保証人の連署した災害援護資金借用書（様式第５号）に、資金の貸付けを受けた者（以下「借受人」という。）及び連帯保証人の印鑑証明書を添えて市長に提出しなければならない。

**（貸付金の交付）**

**第 10 条**　市長は、前条の借用書と引き換えに貸付金を交付するものとする。

**（償還の完了）**

**第 11 条**　市長は、借受人が貸付金の償還を完了したときは、当該借受人に係る借用書及びこれに添えられた印鑑証明書を遅滞なく返還するものとする。

**（繰上償還の申出）**

**第 12 条**　繰上償還をしようとする者は、繰上償還申出書（様式第６号）を市長に提出するものとする。

**（償還金の支払猶予）**

**第 13 条**　借受人は、償還金の支払猶予を申請しようとするときは、償還金支払猶予申請書（様式第７号）を市長に提出しなければならない。

２　市長は、支払いの猶予を認める旨を決定したときは、支払猶予承認通知書（様式第８号）を当該借受人に交付するものとする。

3　市長は、支払いの猶予を認めない旨を決定したときは、支払猶予不承認通知書（様式第９号）を当該借受人に交付するものとする。

**（違約金の支払免除）**

**第 14 条**　借受人は、違約金の支払免除を申請しようとするときは、違約金支払免除申請書（様式第 10 号）を市長に提出しなければならない。

2　市長は、違約金の支払免除を認める旨を決定したときは、違約金支払免除承認通知書（様式第 11 号）を当該借受人に交付するものとする。

3　市長は、違約金の支払免除を認めない旨を決定したときは、違約金支払免除不承認通知書（様式第 12 号）を当該借受人に交付するものとする。

**（償還免除）**

**第 15 条**　災害援護資金の償還未済額の全部又は一部の償還の免除を受けようとする者（以下「償還免除申請者」という。）は、災害援護資金償還免除申請書（様式第 13 号）を市長に提出しなければならない。

2　前項の申請書には、次に掲げるいずれかの書類を添えなければならない。

(1) 借受人の死亡を証する書類

(2) 借受人が精神若しくは身体に著しい障害を受けて貸付金を償還することができなくなったことを証する書類

3　市長は、償還の免除を認める旨を決定したときは、災害援護資金償還免除承認通知書（様式第 14 号）を当該償還免除申請者に交付するものとする。

4　市長は、償還の免除を認めない旨を決定したときは、災害援護資金償還免除不承認通知書（様式第 15 号）を当該償還免除申請者に交付するものとする。

**（督促）**

**第 16 条**　市長は、償還金を納付期限までに納入しない者があるときは、督促状を発行するものとする。

**（氏名又は住所の変更届等）**

**第 17 条**　借受人又は連帯保証人について、氏名又は住所の変更等、借用書に記載した事項に異動を生じたときは、借受人は速やかに、その旨を市長に氏名等変更届（様式第 16 号）を提出しなければならない。ただし、借受人が死亡したときは、同居の親族又は連帯保証人が代ってその旨を届け出るものとする。

**第 18 条**　この規則に定めるもののほか、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給並びに災害援護資金の貸付けの手続きについて必要な事項は、別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行し、昭和 49 年４月１日から適用する。

附　則（昭和 60 年 12 月 26 日規則第 18 号）

この規則は、公布の日から施行し、昭和 60 年１月１日から適用する。

## 3−7 鹿角市災害見舞金支給要綱

昭和 47 年 4 月 4 日　施行
改正　昭和 50 年 8 月 1 日
平成 3 年 10 月 1 日　訓令第 19 号

**（目的）**

**第１条**　この要綱は、本市に住居を有する者で災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）第２条の対象にならない災害の罹災者に対して、見舞金を支給することを目的とする。

**（見舞金の額）**

**第２条**　前条の規定による見舞金は、別表に規定する被害の基準により、次の各号に掲げる区分に従って支給する。

(1) 住家の全焼、全壊、流失により被害を受けた世帯　50,000 円

(2) 住家の半焼、半壊により被害を受けた世帯　30,000 円

(3) 住家の床上浸水又は屋根部分等に損害を受け、一時的に住家として使用に耐えなくなった世帯　20,000 円

**（雑則）**

**第３条**　特別の事情によりこの要綱の規定により難い場合、又はこの規定によることが著しく不適当であると認められる場合は市長が別に定める。

附　則

（施行期日）

この要綱は、昭和 47 年４月１日から施行する。

附　則（昭和 50 年８月１日）

この要綱は、昭和 50 年８月１日から適用する。

附　則（平成３年 10 月１日訓令第 19 号）

この要綱は、平成３年９月 29 日から施行する。

別表（第２条関係）

| 用　　語 | 被　害　の　認　定　基　準 |
|---|---|
| 全壊、全焼又は流失 | 住宅（専用住宅又は併用住宅をいう。以下同じ。）が滅失したもので、具体的には住家の損壊、滅失若しくは、流失した部分の床面積が、当該住宅の延床面積の 70%以上に達した程度のもの、又は住宅の主要構造部の被害額が当該住宅の評価額（固定資産台帳に登載されている額又はこれに準じる額。以下同じ。）の 50%以上に達した程度のもの |
| 半壊又は半焼 | 住宅の損壊が顕著であるが、補修により現状に回復できるもので、具体的には、損壊部分が当該住宅の延床面積の 20%以上 70%未満の程度のもの、又は住宅の主要構造部の被害額が該当住宅の評価額の 20%以上 50%未満の程度のもの |
| 床上浸水 | 浸水が当該住宅の床より上に浸水したもの、又は半壊には該当しないが、土砂、竹木等の堆積により、一時的に居住することができないもの。 |
| 屋根部分等に損害を受け、住家として使用に耐えない状態 | 住宅の屋根部分又は外壁部分等に損害を受け、当該部分の補修に要した経費がおおむね 30 万円以上のもので、一時的に居住することができないもの |

## 3－8 災害り災に対する法外援護要綱

平成４年４月１日　施行

**（目的）**

**第１**　この要綱は、災害対策基本法第２条第１項第１号に掲げる災害以外の小規模災害（以下「災害」という。）法」という。）及び関係法令に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

**（対象）**

**第２**　この要綱による援護の対象は、次のとおりである。

(1) 市内に居住する個人所有に係る住宅及び店舗とする。

(2) 前号のほか、特に市長が必要と認めるもの

**（種類）**

**第３**　この要綱による援護の種類は、次のとおりとする。

(1) 災害を受けた対象物の撤去

(2) 災害によって生じた土石、竹木等で日常生活に著しい支障を及ぼすものの撤去

(3) し尿くみ取り並びに災害によって生じた粗大ゴミ等の運搬処分

(4) 災害跡地の消毒

(5) 前各号のほか、特に市長が必要と認めるもの

**（担当区分）**

**第４**　この要綱の実施に当たる総合窓口は、総務部とし、第３の援護の担当区分は次のとおりとする。

| 第３の援護の区分 | 担当部 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 建設部 | |
| 2 | 建設部 | |
| 3 | 市民部 | |
| 4 | 市民部 | 床上浸水の消毒 |
| | 市民部 | 床上浸水の消毒 |

附　則

この要綱は、平成４年４月１日から施行する。

## 3－9 り災証明に関する様式

（火災以外の場合のり災証明書様式）

| り　災　証　明　願 | |
|---|---|
| 平成　　年　　月　　日<br><br>鹿角市長　　様<br><br>申請者　住　所<br><br>氏　名　　印 | |
| り　災　年　月　日 | |
| り　災　場　所 | |
| り　災　内　容 | |
| 証 明 書 提 出 先 | |
| 証明書の使用目的 | |
| 上記のとおり相違ないことを証明します。<br><br>平成　　年　　月　　日<br><br>鹿角市長　　印 | |

# 第4　避難･救出に関する資料

## 4－1　避難場所一覧表

（1）　避難地

ア. 一時避難地

避難地までの距離がやや遠くなる地域については、各集落または自主防災会ごとに集落内の安全な場所等を一時避難地として活用し、これを経由して避難地へ避難するものとする。

イ. 避難地

| 地区 | 番号 | 名　　称 | 所　　在　　地 | プール | グラウンド等面積（㎡） | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 花輪 | 1 | 鹿角市役所敷地内 | 花輪字荒田 4-1 | | 55,185 | 30-0203 |
| | 2 | 平元小学校　グラウンド | 花輪字源田平 6-1 | ○ | 5,465 | 25-2204 |
| | 3 | 花輪小学校　グラウンド | 花輪字中花輪 88 | ○ | 12,752 | 23-2007 |
| | 4 | 花輪北小学校　グラウンド | 花輪字新川端 20 | ○ | 8,334 | 23-2603 |
| | 5 | 花輪第一中学校　グラウンド | 花輪字陣場 125 | ○ | 32,200 | 23-2257 |
| | 6 | 花輪第二中学校　グラウンド | 花輪字高市向 22 | ○ | 24,170 | 25-2221 |
| | 7 | 花輪高校　グラウンド | 花輪字明堂長根 12 | ○ | 39,891 | 23-2126 |
| | 8 | 鹿角アメニティパーク多目的グラウンド | 花輪字小坂 8-1 | | 16,863 | 22-2525 |
| | 9 | 上中島街区公園 | 花輪字上中島 94 | | 2,200 | |
| | 10 | 西街区公園 | 花輪字上中島 150 | | 3,000 | |
| | 11 | 柴内街区公園 | 花輪字地羅野 1-7 | | 2,100 | |
| | 12 | 桜山地区公園 | 花輪字荒屋敷 51-1 | | 38,000 | |
| 大湯 | 13 | 中滝ふるさと学舎　グラウンド | 十和田大湯字白沢 45-1 | ○ | 8,431 | 37-2700 |
| | 14 | 大湯小学校　グラウンド | 十和田大湯字権現堂 15-1 | ○ | 8,562 | 37-2040 |
| | 15 | 草木小学校　グラウンド | 十和田草木字大畑 70 | ○ | 5,516 | 37-2120 |
| | 16 | 大湯運動広場・四の岱街区公園 | 十和田大湯字五の岱 53-43～44 | | 21,946 | |
| 十和田 | 17 | 十和田小学校　グラウンド | 十和田毛馬内字上新田 1-1 | ○ | 12,718 | 35-2042 |
| | 18 | 旧山根分校　グラウンド | 十和田山根字大畑 32 | ○ | 1,288 | 35-2471 |
| | 19 | 末広小学校　グラウンド | 十和田末広字不動平 4-1 | ○ | 12,500 | 35-3304 |
| | 20 | 十和田中学校　グラウンド | 十和田毛馬内字上土ヶ久保 22-1 | ○ | 35,762 | 35-2164 |
| | 21 | 十和田高校　グラウンド | 十和田毛馬内字下寄熊 9 | ○ | 14,206 | 35-2062 |
| | 22 | 錦木塚公園・錦木塚伝説公園 | 十和田錦木字浜田 83-1~下田表 1 | | 9,700 | |
| | 23 | 弁天崎街区公園 | 十和田毛馬内字下小路 67 | | 3,200 | |
| | 24 | 陣場街区公園 | 十和田毛馬内字中陣場 4-1 | | 6,300 | |
| | 25 | 毛馬内運動公園 | 十和田毛馬内字古館 16 | | 34,145 | |
| | 26 | 十和田市民センター前広場 | 十和田毛馬内字城ノ下 7-5 | | 16,083 | |
| 尾去沢 | 27 | 尾去沢小学校　グラウンド | 尾去沢字上山 201-1 | ○ | 7,217 | 23-3201 |
| | 28 | 尾去沢中学校　グラウンド | 尾去沢字上山 239 | ○ | 21,505 | 23-2270 |
| | 29 | 城山野球場 | 尾去沢字新堀 3-2 | | 13,420 | |
| 八幡平 | 30 | 八幡平小学校　グラウンド | 八幡平字長嶺川原 1 | ○ | 19,751 | 32-2011 |
| | 31 | 八幡平中学校　グラウンド | 八幡平字諸田 4-1 | ○ | 17,930 | 32-2226 |
| | 32 | 谷内運動広場・谷内街区公園 | 八幡平字堰の下 104 | ○ | 11,944 | |
| | 33 | 小豆沢街区公園 | 八幡平字堂の上 64-1 | | 2,100 | |
| | 34 | 旧曙運動広場 | 八幡平字長内 2-2 | | 4,778 | |
| | 35 | 八幡平運動広場 | 八幡平字小豆沢碇 114 | | 19,335 | |

ウ．広域避難地

| 地区 | 番号 | 名　　称 | 所　　在　　地 | プール | グラウンド等面積（㎡） | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 花輪 | 1 | 鹿角市総合運動公園 | 花輪字赤坂 160 | | 363,000 | 23-8000 |

（2） 避難所

ア. 一時避難所

避難所までの距離がやや遠くなる地域については、各集落または自主防災会ごとに集落内の安全な集会所、公民館、寺院等を一時避難所として活用するものとする。

イ. 避難所

| 地区 | 番号 | 名称 | 所在地 | 電話番号 | 屋体面積（㎡） | 収容人数（人） | 給食設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 花輪 | 1 | 花輪小学校 | 花輪字中花輪 88 | 23-2007 | 7,583 | 1,770 | |
| | 2 | 花輪北小学校 | 花輪字新川端 20 | 23-2603 | 3,721 | 870 | |
| | 3 | 平元小学校 | 花輪字源田平 6-1 | 25-2204 | 2,491 | 580 | |
| | 4 | 花輪第一中学校 | 花輪字陣場 125 | 23-2257 | 7,769 | 1,810 | |
| | 5 | 花輪第二中学校 | 花輪字高市向 35-2 | 25-2221 | 4,006 | 930 | |
| | 6 | 花輪高等学校 | 花輪字明堂長根 12 | 23-2126 | 9,881 | 2,300 | ○ |
| | 7 | 文化の杜交流館（コモッセ） | 花輪字八正寺 13 | 23-3351 | 7,172 | 720 | ○ |
| | 8 | 柴平地域活動センター | 花輪字八幡平 12-1 | 25-2180 | 721 | 170 | ○ |
| | 9 | 下川原地域活動センター | 花輪字下川原 35-4 | 25-3600 | 385 | 90 | |
| | 10 | 鹿角アメニティパーク倶楽部ハウス | 花輪字小坂 8-1 | 22-2525 | 1,200 | 280 | |
| | 11 | 記念スポーツセンター | 花輪字荒田 4-1 | 23-5850 | 3,216 | 750 | |
| | 12 | 鹿角トレーニングセンター（アルパス） | 花輪字百合沢 81-1 | 23-8000 | 7,089 | 1,560 | ○ |
| | 13 | 山村開発センター | 花輪字荒田 4-1 | 22-2204 | 1,303 | 300 | ○ |
| | 14 | 交流センター | 花輪字荒田 1-1 | 22-2611 | 2,144 | 220 | ○ |
| | 15 | 福祉プラザ | 花輪字上中島 93 | 30-1780 | 1,797 | 180 | |
| 十和田 | 16 | 大湯小学校 | 十和田大湯字権現堂 15-1 | 37-2040 | 4,577 | 1,070 | |
| | 17 | 草木小学校 | 十和田草木字大畑 70 | 37-2120 | 2,866 | 670 | |
| | 18 | 老人福祉センター（かくら荘） | 十和田大湯字中田 34-9 | 37-3330 | 677 | 70 | ○ |
| | 19 | 大湯地区市民センター | 十和田大湯字権現堂 22-1 | 37-2057 | 2,179 | 510 | |
| | 20 | 十和田小学校 | 十和田毛馬内字上新田 1-1 | 35-2042 | 5,973 | 1,390 | |
| | 21 | 十和田中学校 | 十和田毛馬内字上土ヶ久保 22-1 | 35-2164 | 7,073 | 1,650 | |
| | 22 | 十和田高等学校 | 十和田毛馬内字下寄熊 12 | 35-2062 | 9,088 | 2,120 | ○ |
| | 23 | 十和田市民センター | 十和田毛馬内字城の下 8 | 35-3045 | 2,743 | 430 | ○ |
| | 24 | 錦木地区市民センター | 十和田錦木字浜田 91-1 | 35-4477 | 1,374 | 320 | ○ |
| | 25 | 末広小学校 | 十和田末広字不導平 4-1 | 35-3304 | 2,409 | 560 | |
| 尾去沢 | 26 | 尾去沢小学校 | 尾去沢上山 201-11 | 23-3201 | 5,126 | 1,200 | |
| | 27 | 尾去沢中学校 | 尾去沢上山 239-1 | 23-2270 | 4,224 | 990 | |
| | 28 | 尾去沢市民センター | 尾去沢字軽井沢 46-5 | 23-2553 | 1,399 | 140 | ○ |
| | 29 | 尾去沢デイサービスセンター | 尾去沢字軽井沢 47-9 | 22-1450 | 1,350 | 140 | ○ |
| 八幡平 | 30 | 八幡平小学校 | 八幡平字長嶺川原 1 | 32-2011 | 6,125 | 1,430 | |
| | 31 | 八幡平中学校 | 八幡平字諸田 4-1 | 32-2226 | 4,964 | 1,160 | |
| | 32 | 八幡平市民センター | 八幡平字堂の上 64-1 | 32-2029 | 1,484 | 350 | ○ |
| | 33 | 八幡平体育館 | 八幡平字小豆沢碇 114 | 32-2553 | 729 | 170 | |
| | 34 | 湯瀬体育館 | 八幡平字湯瀬一羽根 45-2 | 33-2308 | 436 | 100 | |
| | 35 | 谷内地区市民センター | 八幡平字仲の沖 100 | 34-2336 | 1,102 | 260 | |

## 4－2 緊急指定避難場所及び指定避難場所

| 地区 | 番号 | 緊急避難場所・指定避難所 | 所在地 | 電話番号 | 浸水想定（m） | 避難所 | 災害種別ごと適否 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 洪水 | 土石災害 | 地震 | 大火事 | 内水氾濫 | 火山現象 |
| 花輪 | 1 | 文化の杜交流館(コモッセ) | 花輪字八正寺 13 | 23-3351 | ～0.5 | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 2 | 柴平地域活動センター | 花輪字八幡平 12-1 | 25-2180 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3 | 交流センター | 花輪字荒田 1-1 | 22-2611 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 4 | 鹿角市役所敷地内 | 花輪字荒田 4-1 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 | 花輪小学校 | 花輪字中花輪 88 | 23-2007 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 6 | 花輪北小学校 | 花輪字新川端 20 | 23-2603 | － | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 7 | 平元小学校 | 花輪字源田平 6-1 | 25-2204 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 8 | 花輪第一中学校 | 花輪字陳場 125 | 23-2257 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 9 | 花輪第二中学校 | 花輪字高市向 22 | 25-2221 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 10 | 花輪高校 | 花輪字明堂長根 12 | 23-2126 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 11 | 下川原地域活動センター | 花輪字下川原 35-4 | 25-3600 | ～0.5 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 12 | 福祉プラザ | 花輪字上中島 93 | 30-1780 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 13 | アメニティパーク | 花輪字小坂 8-1 | 22-2525 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 14 | 記念スポーツセンター | 花輪字荒田 4-1 | 23-5850 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 15 | 鹿角トレーニングセンター(アルパス) | 花輪字百合沢 81-53 | 23-8000 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 16 | 山村開発センター | 花輪字荒田 4-1 | 30-0252 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 17 | 上中島街区公園 | 花輪字上中島 94 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 18 | 西街区公園 | 花輪字上中島 150 | － | ～0.5 | 緊 | ● | ○ | ○ | ● | ● | ○ |
| | 19 | 柴内街区公園 | 花輪字地羅野 1-7 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 20 | 桜山地区公園 | 花輪字荒屋敷 51-1 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 21 | 鹿角市総合運動公園 | 花輪字赤坂 160 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 十和田 | 22 | 大湯地区市民センター | 十和田大湯字権現堂 22-1 | 37-2057 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 23 | 十和田市民センター | 十和田毛馬内字城ノ下 7-5 | 35-3045 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 24 | 錦木地区市民センター | 十和田錦木字浜田 91-1 | 35-4477 | ～2.0 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 25 | 大湯小学校 | 十和田大湯字権現堂 15-1 | 37-2040 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 26 | 草木小学校 | 十和田草木字大畑 70 | 37-2120 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 27 | 老人福祉センター(かくら荘) | 十和田大湯字中田 34-9 | 37-3330 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 28 | 末広小学校 | 十和田末広字不動平 4-1 | 35-3304 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 29 | 十和田小学校 | 十和田毛馬内字上新田 1-1 | 35-2042 | ～5.0 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 30 | 十和田中学校 | 十和田毛馬内字上土ヶ久保 22-1 | 35-2164 | ～5.0 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 31 | 十和田高校 | 十和田毛馬内字下寄熊 12 | 35-2062 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 32 | 中滝ふるさと学舎グラウンド | 十和田大湯字白沢 45-1 | 30-4021 | － | 緊 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 33 | 大湯運動公園・四の岱街区公園 | 十和田大湯字五の岱 53-44 | － | － | 緊 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 34 | 旧山根分校グラウンド | 十和田山根字大畑 32 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 35 | 錦木塚公園・錦木塚伝説公園 | 十和田錦木字浜田 83-1～下田表 1 | － | ～1.0 | 緊 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 36 | 弁天崎街区公園 | 十和田毛馬内下小路 67 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 37 | 陣場街区公園 | 十和田毛馬内字中陣場 4-1 | － | ～2.0 | 緊 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 38 | 毛馬内運動公園 | 十和田毛馬内字古館 16 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 尾去沢 | 39 | 尾去沢市民センター | 尾去沢字軽井沢 46-5 | 23-2553 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 40 | 尾去沢小学校 | 尾去沢字上山 201-1 | 23-3201 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 41 | 尾去沢中学校 | 尾去沢字上山 239 | 23-2270 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 42 | 尾去沢デイサービスセンター | 尾去沢字軽井沢 47-9 | 23-2770 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 43 | 城山野球場 | 尾去沢字新堀 3-2 | 22-0413 | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 八幡平 | 44 | 八幡平市民センター | 八幡平字堂の上 64-1 | 32-2029 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 45 | 八幡平小学校 | 八幡平字長嶺川原 1 | 32-2011 | － | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| | 46 | 八幡平中学校 | 八幡平字諸田 4-1 | 32-2226 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 47 | 八幡平体育館 | 八幡平字小豆沢碇 114 | 32-2553 | ～0.5 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| | 48 | 湯瀬体育館 | 八幡平字湯瀬一羽根 45-2 | 33-2308 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 49 | 谷内地区市民センター | 八幡平字仲の沖 100 | 34-2336 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 50 | 谷内運動広場・谷内街区公園 | 八幡平字堰の下 104 | － | － | 緊 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 51 | 旧曙運動広場 | 八幡平字長内 2-2 | － | － | 緊 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 52 | 八幡平運動広場 | 八幡平字小豆沢碇 144 | － | ～0.5 | 緊 | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |

（注１）学校については、地震・大火事の場合の緊急避難場所はグラウンド、それ以外の場合の緊急避難場所及び避難所は体育館として、その適否等を記載
（注２）浸水想定（m）は、秋田県が管理する河川の浸水情報を重ね合わせた時の最大浸水深
（注３）避難所欄の「○」避難所と緊急避難場所を兼ねる場所、「緊」は緊急避難場所を表す
（注４）災害種別ごとの適否の凡例「○」：適　「●」：不適

# 4－3　福祉避難所として指定する施設一覧

| 地区 | 番号 | 緊急避難場所・指定避難場所 | 所在地 | 電話番号 | 浸水想定(m) | 避難所 | 災害種別ごと適否 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 洪水 | 土石災害 | 地震 | 大火事 | 内水氾濫 | 火山現象 |
| 花輪 | 1 | 文化の杜交流館(コモッセ) | 花輪字八正寺 13 | 23-3351 | ～0.5 | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| | 2 | 柴平地域活動センター | 花輪字八幡平 12-1 | 25-2180 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3 | 交流センター | 花輪字荒田 1-1 | 22-2611 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 十和田 | 4 | 大湯地区市民センター体育場 | 十和田大湯字権現堂 22-1 | 37-2057 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 | 十和田市民センター | 十和田毛馬内字城ノ下 7-5 | 35-3045 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 6 | 錦木地区市民センター | 十和田錦木字浜田 91-1 | 35-4477 | ～2.0 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 尾去沢 | 7 | 尾去沢市民センター | 尾去沢字軽井沢 46-5 | 23-2553 | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 八幡平 | 8 | 八幡平市民センター | 八幡平字堂の上 64-1 | 32-2029 | － | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ |

# 第5 救急医療に関する資料

## 5－1 医療機関一覧表

（1）医 科

| 名称 | 所在地 | 電話番号 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 大里医院 | 花輪字堰向 56 | 22-1251 | 内科 |
| 三ケ田内科循環器科医院 | 花輪字下花輪 133-1 | 31-1231 | 内科・循環器科・小児科 |
| 村木小児科内科医院 | 花輪字上中島 118 | 22-2005 | 小児科・内科・皮膚科 |
| 笹村整形外科 | 花輪字扇ノ間 79 | 30-0035 | 整形 |
| かづの厚生病院 | 花輪字向畑 18 | 23-2111 | 総合 |
| 長橋医院 | 花輪字八正寺 40 | 23-7612 | 内科・胃腸科 |
| 鹿角中央病院 | 花輪字六月田 97 | 23-4131 | 内科・歯科 |
| いけがみクリニック | 花輪字合ノ野 245-7 | 30-0111 | 産婦人科・内科 |
| こいずみ眼科 | 花輪字鉄砲平 5-1 | 23-6500 | 眼科 |
| なかの消化器内科クリニック | 花輪字下中島 81-2 | 22-7335 | 内科・呼吸器科・消化器科 |
| 大湯リハビリ温泉病院 | 十和田大湯字湯ノ岱 16-2 | 37-3511 | 内科・理学・整形・歯科・神内 |
| 福永医院 | 十和田毛馬内字下寄熊 6-9 | 35-3117 | 内科・小児科 |
| 本田医院 | 十和田毛馬内字古下 51 | 35-3002 | 内科・胃腸科・小児科 |
| 小笠原医院 | 十和田毛馬内字城ノ下 19 | 35-2011 | 内科・外科・皮膚科 |

（2）歯 科

| 名称 | 所在地 | 電話番号 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 石木田歯科医院 | 花輪字堰向 32 | 23-2239 | |
| おりと歯科医院 | 花輪字堰向 55 | 23-6600 | |
| 近江歯科クリニック | 花輪字下タ町 117-1 | 23-7228 | |
| 駒ヶ嶺歯科医院 | 花輪字下中島 141 | 22-1173 | |
| 山内歯科医院 | 花輪字下中島 76 | 23-2866 | |
| 昆歯科医院 | 花輪字上中島 134-1 | 22-0272 | |
| オーラルクリニックかづの | 花輪字新田町 25-8 | 25-8615 | |
| あんどう歯科医院 | 花輪字八正寺 7-2 | 23-3927 | |
| 鹿角中央病院 | 花輪字六月田 97 | 23-4131 | |
| 花のまち歯科医院 | 花輪字蒼前平 72-1 | 23-6408 | |
| かづの大湯歯科診療所 | 十和田大湯字上ノ湯 56-3 | 37-4555 | |
| 大湯リハビリ温泉病院 | 十和田大湯字湯ノ岱 16-2 | 37-3511 | |
| なら歯科 | 十和田大湯字川原の湯 13-9 | 22-7337 | |
| 八幡歯科医院 | 十和田毛馬内字下タ道 19-22 | 35-2858 | |
| 田子歯科医院 | 十和田毛馬内字城ノ下 73 | 35-3639 | |
| 小野寺歯科クリニック | 十和田毛馬内字毛馬内 106-1 | 35-2771 | |
| ちゃこ歯科クリニック | 十和田毛馬内字上寄熊 15-1 | 35-2110 | |

（3）整骨院等

| 名　称 | 所　在　地 | 電話番号 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| とちない整骨院 | 花輪字堰向 55 | 30-1061 | |
| 末広整骨院 | 花輪字堰向 74 | 22-1357 | |
| 黒沢指圧治療院 | 花輪字堰根川原 31-18 | 23-3574 | |
| 阿部整骨院 | 花輪字下タ町 151-6 | 23-2122 | |
| 木村整骨院 | 花輪字下花輪 72-1 | 22-0088 | |
| 安保指圧マッサージ | 花輪字上中島 13-13 | 22-0542 | |
| 木村鍼灸治療室 | 花輪字下中島 79 | 23-6065 | |
| 佐藤輝夫治療院 | 花輪字合野 214-1 | 23-6813 | |
| 中央整骨院 | 花輪字上花輪 103 | 23-3753 | |
| たむら整骨院 | 花輪字上花輪 269 | 23-7978 | |
| とうげん堂はり灸院 | 花輪字上花輪 103 | 22-1810 | |
| 田口治療院 | 花輪字諏訪野 56-2 | 25-3505 | |
| 柳沢整体療術院 | 花輪字中花輪 42 | 22-2210 | |
| カイロプラテッィク院・楽喜・児玉 | 花輪字蒼前平 73 | 22-2296 | |
| カイロプラテッィク院お季楽八 | 花輪字八正寺 105-3 | 22-2793 | |
| 西村鍼灸整骨院 | 十和田大湯字権現堂 30-2 | 37-2442 | |
| 瀬川整骨院 | 十和田大湯字中田 34-6 | 37-3150 | |
| 木村整体院 | 十和田大湯字上の湯 2 丁目 40 | 37-2756 | |
| 鹿角整体療術健友館 | 十和田末広字紀ノ元 10-8 | 35-3180 | |
| 豊口治療院 | 十和田毛馬内字古下 35-11 | 35-3243 | |
| 高野治療院 | 十和田毛馬内字南陣場 6-12 | 35-5523 | |
| 整骨院なごみ | 十和田毛馬内字毛馬内 122-1 | 35-5753 | |

## 5－2 医薬衛生材料調達先一覧表

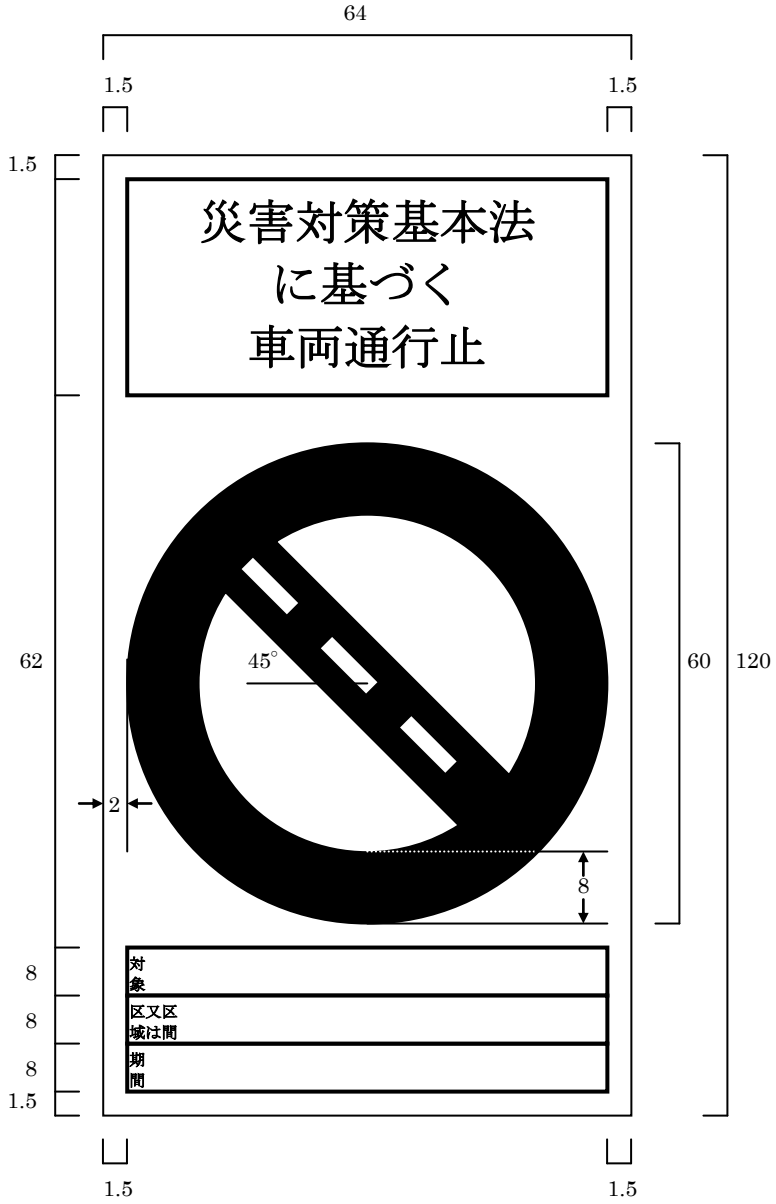
| 名　称 | 所　在　地 | 電話番号 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| クスリ木村（いとく鹿角 SC 内） | 花輪字下タ町 164-1 | 30-0789 | |
| ツルハドラッグ鹿角店 | 花輪字下タ町 202 | 31-0010 | |
| 金山薬局花輪店 | 花輪字下花輪 1-8 | 23-5626 | |
| 柳沢薬局 | 花輪字下花輪 26 | 23-7652 | |
| かづの調剤薬局 | 花輪字下中島 121 | 30-0085 | |
| ナリタ薬局 | 花輪字下中島 132 | 22-0028 | |
| 杉本健康堂 | 花輪字下中島 96 | 23-2088 | |
| ファミリー薬局鹿角店 | 花輪字下中島 81-6 | 30-1850 | |
| ツルハドラッグ鹿角中央店 | 花輪字下中島 1 | 30-1268 | |
| 朝日屋薬局 | 花輪字上花輪 168 | 23-3031 | |
| ドラッグストア森調剤薬局 | 花輪字扇ノ間 2-4 | 30-0051 | |
| そうごう薬局花輪店 | 花輪字扇ノ間 6-8 | 31-0161 | |
| 成田薬店 | 花輪字外扇ノ間 16-13 | 23-3690 | |
| タムラ泰生堂薬店 | 花輪字中花輪 53 | 23-3133 | |
| 村木薬局 | 花輪字八正寺 15-11 | 22-0372 | |
| クリス調剤薬局 | 花輪字八正寺 9-12 | 23-5121 | |
| そうごう薬局鹿角店 | 花輪字柳田 75 | 30-0051 | |
| 日本調剤鹿角薬局 | 花輪字小沼 97-3 | 30-1193 | |
| 花輪調剤薬局 | 花輪字小沼 95-1 | 30-0066 | |
| ドラッグストア森柳田店 | 花輪字柳田 75 | 23-8399 | |
| ファーマックスかづの薬局 | 花輪字向畑 89-1 | 30-0033 | |
| ヘルシークラブかづの厚生病院前薬局 | 花輪字向畑 93-1 | 30-0080 | |
| ニシムラ薬局 | 十和田大湯字川原ノ湯 11-11 | 37-2027 | |
| 薬局高橋屋 | 十和田大湯字湯ノ岱 2-15 | 37-4700 | |
| 金山薬局 | 十和田毛馬内字古下 26 | 35-2188 | |
| 黒沢薬局 | 十和田毛馬内字古下 33-3 | 35-3200 | |
| くすり勝又 | 十和田毛馬内字毛馬内 23 | 35-3317 | |
| 成田薬店 | 尾去沢字軽井沢 43-4 | 23-2474 | |

# 第6 交通輸送に関する資料

## 6−1 市保有車両一覧表

| 車種別／課別 | 大型バス | 中型バス | 普通乗用 | 小型乗用 | ワゴン車 | ライトバン | 軽自動車 | ローター リー | タイヤドーザー | グレーダー | ショベルローダー | バックホー | 中型ダンプ | 小型ダンプ | トラック | トラクタ | 身障者輸送車 | 入浴車 | 図書車 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策企画課 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 総務課 | | 1 | 2 | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 財政課 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 税務課 | | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 市民共動課 | | | 1 | 5 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 健康推進課 | | | | | 1 | 1 | 10 | | | | | | | | | | | | | 12 |
| 福祉課 | | | | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 6 |
| 農林課 | | | 1 | 2 | | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 3 | 1 | | | | 12 |
| 観光振興課 | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 商工振興課 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 都市整備課 | | | 2 | | | 3 | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | 3 | | | | | 13 |
| 上下水道課 | | | 2 | 2 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 教育委員会 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 大湯財産区 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 計 | 1 | 1 | 11 | 12 | 3 | 7 | 27 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 6 | 1 | 1 | 1 | 0 | 79 |

## 6－2 通行の禁止または制限についての標識




備　考

1　色彩は、文字、縁線及び区分線を青色、斜めの帯および枠を赤色、地を白色とする。

2　縁線および区分線の太さは、１センチメートルとする。

3　図示の長さの単位は、センチメートルとする。

4　道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法を２倍まで拡大し、または、図示の寸法の２分の１まで縮小することができる。

## 6－3 緊急輸送車両に関する様式

（様式１）

年　　月　　日

秋 田 県 知 事
様
秋田県公安委員会

申請者住所
氏　　名
企業の名称

### 緊急輸送車両確認申請書

つぎのとおり緊急輸送を行いたいので確認のうえ証明書を交付してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 車　両　番　号 | | | |
| 輸　送　人　員<br>又　は　品　名 | | | |
| 使　用　者　の<br>住　所　・　氏　名 | | | |
| 輸　送　日　時 | 月　　日出発　　月　　日　　時到着予定 | | |
| 輸　送　経　路 | 出　発　地 | 主　要　経　路 | 目　的　地 |
| | | | |

（様式２）

第　　号

年　月　日

# 緊急輸送車両確認証明書

秋田県知事
印
秋田県公安委員会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 番号標に表示されている番号 | | | |
| 車両の用途（緊急輸送を行う場合にあっては、輸送人員又は品名） | | | |
| 使用車 | 住所 | | |
| | 氏名 | | |
| 輸送目的 | | | |
| 輸送経路 | 出発地 | 主要経由地 | 目的地 |
| | | | |
| 備考 | | | |

（様式３）

## 災害対策基本法施行規則第３条に基づく標章

備　考

１　色彩は、記号を黄色、縁および「緊急」の文字を赤色、「登録（車両）番号」、「有効期限」、「年」、「月」および「日」の文字を黒色、登録（車両）番号並びに年、月、および日を表示する部分を白色、地を銀色とする。

２　記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。

３　図示の長さの単位はセンチメートルとする。

（様式４）

## 緊急輸送車両確認申請受理簿

| 受付年月日 | 受付番号 | 確認番号 | 申請者 | | 輸送目的 | 車両番号 | 期間 | 輸送経路 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 住所 | 氏名 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

## 6－4 緊急輸送道路ネットワーク

| 第１次・第２次緊急輸送路<br>第３次緊急輸送路 | 指　定　拠　点 | 拠　点　機　能 |
|---|---|---|
| 国道２８２号 | 鹿角市役所及び市役所駐車場 | 防災拠点<br>備蓄集積拠点<br>ヘリポート |
| | 鹿角建設事務所 | 防災拠点 |
| | 鹿角警察署 | 防災拠点 |
| | 鹿角広域行政組合消防本部・消防署 | 防災拠点 |
| | 東北電力㈱鹿角営業所 | 電力拠点 |
| | 鹿角花輪駅 | 救援物資集積拠点 |
| | 道の駅「あんとらあ」 | 避難地 |
| | かづの厚生病院 | 医療拠点 |
| | 毛馬内運動広場 | 避難地 |
| 県道田山花輪線・市道東山線 | 花輪スキー場 | 広域避難地<br>ヘリポート |
| 県道十二所花輪大湯線 | 花輪第二中学校 | 避難地 |
| | アメニティパーク | 避難地 |
| 市道六日町三日市線 | 花輪高校 | ヘリポート |
| 市道一中環状線・一中通り線 | 花輪第一中学校 | 避難地 |
| 市道沢小路三日市線 | 花輪小学校 | 避難地 |
| 市道大湯水晶山線 | 尾去沢小学校 | 避難地 |
| 市道笹小屋線・城山線 | 春木沢グラウンド | ヘリポート |
| 国道１０３号・高速東北道 | 日本道路公団十和田管理事務所 | 道路公団 |
| 市道室田松山線 | 末広小学校 | 避難地 |
| 市道十和田中学校通り線 | 十和田中学校 | 避難地<br>ヘリポート |
| 市道大湯小学校通り１号線 | 大湯小学校 | 避難地 |
| 国道３４１号 | 八幡平小学校 | 避難地 |
| 県道比内大葛鹿角線 | 八幡平中学校 | ヘリポート |

# 第7 派遣･要請に関する資料

## 7－1 自衛隊の災害派遣要請に関する様式

第　　号
年　月　日

秋 田 県 知 事　　様

鹿角市長　　印

### 自衛隊の災害派遣要請について（依頼）

このことについて、自衛隊法第 83 条の規定による自衛隊の派遣を、次のとおり依頼します。

1. 災害の状況及び派遣要請の理由
   （1） 災 害 の 種 類　水害、地震、津波、風害、火災、土砂崩れ、遭難、交通事故、航空機救難、船舶遭難、その他
   （2） 災害発生時の日時　年　月　日
   （3） 場　　所　県　市　字
   （4） 被 害 状 況

   （5） 要請する理由

2. 派遣を必要とする期間　自　年　月　日
   至　年　月　日

3. 派遣を希望する人員･機材　名　機材

4. 派遣を希望する区域及び活動内容
   （1） 派遣を希望する区域　県　市
   （2） 派遣内容
5. その他参考事項（判明している事項でよい）
   （1） 現地において協力しうる団体、人員、機材等の数量及びその状況
   （2） 派遣部隊の宿営（宿泊）地又は宿泊施設の状況
   （3） 現地における要請者側の責任者及びその連絡方法

様式第１号

第　　号
年　　月　　日

様

鹿　角　市　長　　印

# 災害による応援職員派遣要請について

災害による応援復旧等のため職員を次により応援派遣してくださるようお願いいたします。

記

（１）　災　害　の　状　況

（２）　派遣を必要とする理由

（３）　職員の職種別人員数

（４）　派遣を必要とする期間

（５）　活　　動　　内　　容

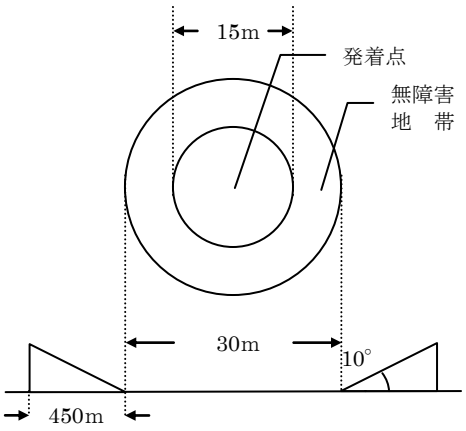
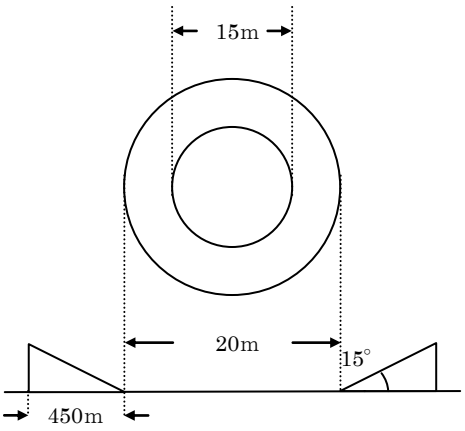
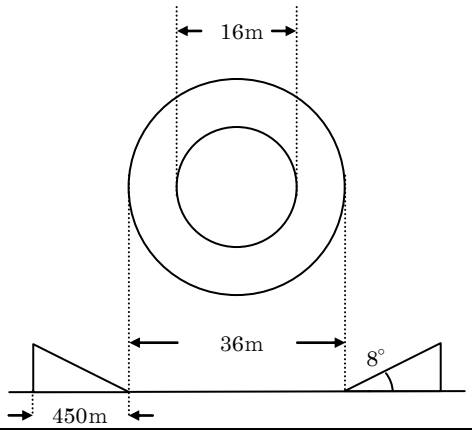
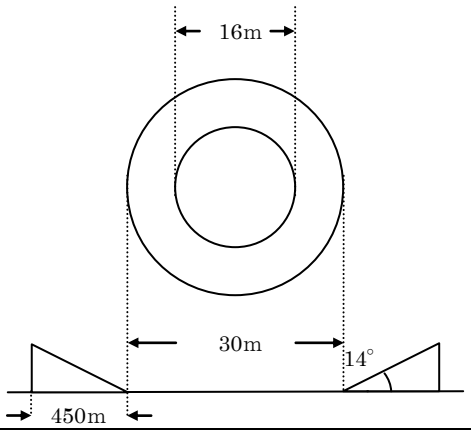
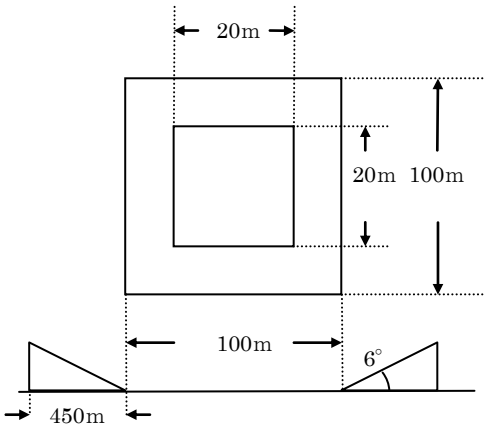
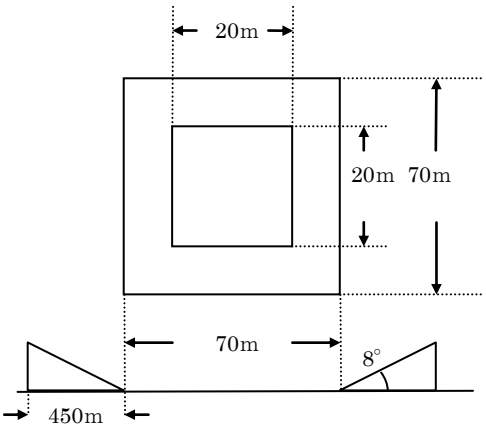
（６）　集　　結　　場　　所

（７）　担　当　責　任　者

（８）　そ　　の　　他

## 7－2 臨時ヘリポート設定基準

1　離着陸発着のための必要最小限度の地積

| 区分／項目 | 標　準 | 応　急 |
|---|---|---|
| 小型<br>(OH-6) |  |  |
| 中型<br>(BK-117)<br>(UH-1)<br>(UH-60J) |  |  |
| 大型<br>(CH-47) |  |  |

注１　発着点とは、安全･容易に接地するため準備された地点

　２　無障害地帯とは、離陸に障害とならない地域

　３　夜間については、発着場に簡易な照明必要

2　地表面

⑴舗装された場所が最も望ましい。

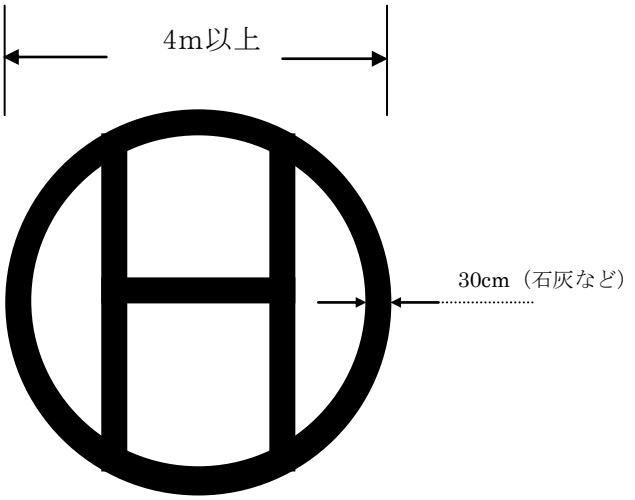
⑵グラウンド等の場合、板、トタン、砂塵が巻き上がらないよう処置すること。

（地表面が乾燥している場合は、砂塵の巻き上げ防止のため十分な散水を行う）

⑶草地の場合は硬質低草地であること。

3　着陸点

着陸点（直径 30m）のほぼ中央に石灰等で直径 4m の正円を描き、中央に H 記号を風と並行方向に向けて標示する。




4　着陸帯付近

着陸点中央からなるべく離れた地点で地形、施設等による風の影響の少ない場所に吹流し、又は旗を立てる。

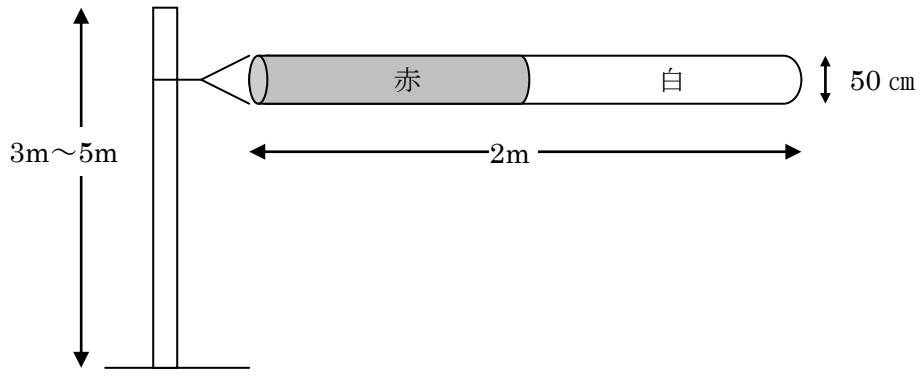
⑴布製

⑵風速 25m／秒程度に耐えられる強度

⑶吹き流しがない場合は、吹き流しに準ずる規格の旗を掲揚

⑷救急車等、車両の出入の便がよい場所であること

⑸電話等、通信手段の利用が可能であること



## 7－3 秋田県消防防災ヘリコプター臨時離着陸場

| 名称 | 所在地 | 広　さ<br>幅×長さ | 消防署からの所要時間<br>（分） |
|---|---|---|---|
| 熊取開拓地 | 十和田大湯字熊取平 115 | 20,000<br>200×100 | 40 |
| 大湯黒森山自然公園 | 十和田大湯字上内野 100-1 | 20,000<br>200×100 | 15 |
| 秋田八幡平スキー場 | 八幡平字国有林 33 林班 | 20,000<br>200×100 | 40 |
| 鹿角市総合運動公園 | 花輪字百合沢地内 | 16,500<br>110×150 | 10 |
| かづの厚生病院ヘリポート | 花輪字向畑 18 | 324<br>18×18 | 10 |

## 7－4 秋田県ドクターヘリ臨時離着陸場

| 名称 | 所在地 |
|---|---|
| 熊取開拓地 | 十和田大湯字熊取平 115 |
| 大湯四の岱グラウンド | 十和田大湯字五の岱 53-44 |
| 旧錦木中学校跡地 | 十和田末広字和田 15-1 |
| かづの厚生病院 | 花輪字向畑 18 |
| 鹿角市総合運動公園多目的広場（花輪スキー場） | 花輪字百合沢地内 |
| 史跡　尾去沢鉱山駐車場 | 尾去沢字獅子沢 9-7 |
| 谷内児童公園 | 八幡平字堰の下 15 |
| 秋田八幡平スキー場 | 八幡平字熊沢国有林 33 林班 |
| 大湯小学校グラウンド | 十和田大湯字権現堂 15-1 |
| 十和田中学校グラウンド | 十和田毛馬内字上土ヶ久保 22-1 |
| 山根農村公園 | 十和田山根字不動沢地内 |
| 末広小学校グラウンド | 十和田末広字不動平 4-1 |
| 花輪第一中学校グラウンド | 花輪字陳場 125 |
| 花輪第二中学校グラウンド | 花輪字高市向 22 |
| 花輪小学校グラウンド | 花輪字中花輪 88 |
| 尾去沢中学校グラウンド | 尾去沢字上山 239 |
| 八幡平運動場 | 八幡平字小豆沢碇 114 |
| 花輪北小学校グラウンド | 花輪字新川端 20 |
| サンスポーツランド | 八幡平字切留平地内 |
| 水沢グラウンド | 八幡平字湯坂 62-46 |

# 第8 災害危険箇所に関する資料

## 8－1 土砂災害警戒区域等指定一覧

(1/4)

| 番号 | 指定区域名 | 所在地 | | 自然現象の種類 | 箇所番号1 | 関係自治会 | 指定状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 大字 | 小字 | | | | 県告示番号 | 告示年月日 | 警戒区域 | 特別警戒区域 |
| 1 | 湯ノ岱沢 | 十和田大湯 | 湯ノ岱 | 土石流 | 209-I-050 | 湯ノ岱 | 139 | H17.2.15 | ○ | |
| 2 | 大湯沢１ | 十和田大湯 | 湯ノ岱 | 土石流 | 209-I-051 | 湯ノ岱、上の湯 | | | ○ | |
| 3 | 湯の沢 | 十和田大湯 | 湯ノ岱 | 土石流 | 209-I-052 | 湯ノ岱 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 上の湯 | | | 上の湯 | | | | |
| 4 | 大湯沢２ | 十和田大湯 | 湯ノ岱 | 土石流 | 209-I-053 | 湯ノ岱、上町 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 上の湯 | | | 上の湯 | | | | |
| 5 | 寺の沢川 | 十和田大湯 | 和町 | 土石流 | 209-I-054 | 中町 | | | ○ | |
| 6 | 寺の沢１ | 十和田大湯 | 大湯 | 土石流 | 209-I-055 | 中町 | | | ○ | |
| 7 | 大湯沢３ | 十和田大湯 | 大湯 | 土石流 | 209-I-056 | 中町 | | | ○ | |
| 8 | 大湯沢４ | 十和田大湯 | 大湯 | 土石流 | 209-I-057 | 中町、丁内、中田 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 川原ノ湯 | | | 川原ノ湯 | | | | |
| | | 十和田大湯 | 下ノ湯 | | | 下ノ湯 | | | | |
| 9 | 在郷坂の沢 | 十和田大湯 | 下ノ湯 | 土石流 | 209-I-058 | 下ノ湯、丁内 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 川原ノ湯 | | | 川原ノ湯 | | | | |
| 10 | 在郷坂西の沢 | 十和田大湯 | 下ノ湯 | 土石流 | 209-I-059 | 下ノ湯 | | | ○ | |
| 11 | 湯の岱 | 十和田大湯 | 湯の岱 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-6 | 湯ノ岱 | | | ○ | |
| 12 | 湯の岱１号 | 十和田大湯 | 湯の岱 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-7-1 | 湯ノ岱 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 大湯 | | Ⅰ-7-2 | 上町 | | | | |
| | | 十和田大湯 | 上の湯 | | | | | | | |
| 13 | 湯の岱２号 | 十和田大湯 | 湯の岱 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-7 | 湯ノ岱 | | | ○ | |
| 14 | 大湯１ | 十和田大湯 | 下ノ湯 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-10 | 下ノ湯、川原ノ湯 | | | ○ | |
| 15 | 大湯２ | 十和田大湯 | 大湯 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-11-1 | 丁内 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | | | Ⅰ-11-2 | 丁内、下ノ湯 | | | | |
| | | 十和田大湯 | 下ノ湯 | | Ⅰ-11-3 | 丁内、下ノ湯 | | | | |
| 16 | 四岱 | 十和田大湯 | 五ノ岱 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-3 | 四ノ岱､四ノ岱住宅 | 1043 | H17.12.13 | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 上内野 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 中岱 | | Ⅰ-4 | 中岱 | | | | |
| 17 | 焼山下 | 十和田岡田 | 焼山下タ | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-21-1 | 蟹沢 | | | ○ | |
| | | 十和田岡田 | 蟹沢村下 | | | | | | | |
| | | 十和田岡田 | 蟹沢 | | | | | | | |
| 18 | 室の沢口 | 十和田大湯 | 室の沢口 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-9 | 川原ノ湯 | | | ○ | |
| 19 | 腰廻 | 十和田大湯 | 腰廻 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-16 | 腰廻 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 吹越 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 壁堀平 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 長渡 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 箕ノ輪 | | | | | | | |
| 20 | 関上 | 十和田大湯 | 関上 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-17-1 | 関上 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 村下タ | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 大足 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 下タノ平 | | Ⅰ-17-2 | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 村下モ | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 内前田 | | | | | | | |
| 21 | 蟹沢 | 十和田岡田 | 蟹沢 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-19 | 蟹沢 | | | ○ | |
| | | 十和田岡田 | 焼山下タ | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 三ノ丸 | | | | | | | |
| 22 | 蟹沢１号 | 十和田岡田 | 蟹沢 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-20 | 蟹沢 | | | ○ | |
| | | 十和田岡田 | 焼山下タ | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 三ノ丸 | | | 三の丸 | | | | |
| 23 | 焼山下 | 十和田岡田 | 焼山下タ | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-21-2 | 蟹沢 | | | ○ | |
| | | 十和田岡田 | 蟹沢村下 | | | | | | | |
| | | 十和田岡田 | 蟹沢 | | | | | | | |

(2/4)

| 番号 | 指定区域名 | 所在地 | | 自然現象の種類 | 箇所番号1 | 関係自治会 | 指定状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 大字 | 小字 | | | | 県告示番号 | 告示年月日 | 警戒区域 | 特別警戒区域 |
| 24 | 下小路 | 十和田毛馬内 | 横道 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-23 | 下小路（上）、下小路(下) | 1043 | H17.12.13 | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 番屋平 | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 寺ノ上 | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 上道 | | | | | | | |
| 25 | 三の丸１号 | 十和田毛馬内 | 押出 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-24 | 南 | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 古下タ | | | 館 | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 柏崎 | | | 三の丸 | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 三ノ丸 | | | | | | | |
| | | 十和田岡田 | 焼山下タ | | | | | | | |
| 26 | 三の丸 | 十和田毛馬内 | 古下タ | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-25 | 館、古町 | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 柏崎 | | | 城ノ下 | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 城ノ下 | | | 南 | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 押出 | | | | | | | |
| 27 | 曹洞ノ下 | 十和田毛馬内 | 毛馬内 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-26-1 | 下町、川原 | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 休堂 | | Ⅰ-26-2 | 下町、川原、横丁 | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 曹洞ノ下 | | | | | | | |
| 28 | 上道 | 十和田毛馬内 | 上道 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-1101 | 下小路（上） | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 寺ノ上 | | | | | | | |
| 29 | 古舘後沢 | 十和田大湯 | 大諏訪 | 土石流 | 209-Ⅱ-063 | 川原ノ湯 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 下ノ湯 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 上屋布 | | | | | | | |
| 30 | 屋布沢 | 十和田大湯 | 上屋布 | 土石流 | 209-Ⅱ-064 | 川原ノ湯 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 大諏訪 | | | | | | | |
| 31 | 壁堀平沢 | 十和田大湯 | 壁堀 | 土石流 | 209-Ⅱ-065 | 腰廻 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 腰廻 | | | | | | | |
| 32 | 村下タ沢 | 十和田大湯 | 村下タ | 土石流 | 209-Ⅱ-066 | 関上 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 下タノ平 | | | | | | | |
| 33 | 蟹沢 | 十和田岡田 | 蟹沢 | 土石流 | 209-Ⅱ-067 | 蟹沢 | | | ○ | |
| | | 十和田岡田 | 焼山下タ | | | | | | | |
| 34 | 大足 | 十和田大湯 | 大足 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-10 | 関上 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 村下タ | | | | | | | |
| | | 十和田岡田 | 蟹沢 | | | | | | | |
| | | 十和田岡田 | 竹林 | | | | | | | |
| 35 | 村下タ | 十和田大湯 | 村下タ | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-11 | 関上 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 内前田 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 関上 | | | | | | | |
| 36 | 中岱１号 | 十和田大湯 | 中岱 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-43 | 中岱 | | | ○ | |
| | | 十和田大湯 | 大橋向 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 権現堂 | | | | | | | |
| | | 十和田大湯 | 下内野 | | | | | | | |
| 37 | 上芦名沢 | 十和田山根 | 大清水 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-12 | 上芦名沢 | 838 | H18.12.26 | ○ | |
| 38 | 上芦名沢１号 | 十和田山根 | 長畑 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-13 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 熊坂 | | | | | | | |
| 39 | 下芦名沢 | 十和田山根 | 前田 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-14-1 | 下芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 大畑 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 柳平 | | Ⅰ-14-2 | | | | | |
| | | 十和田山根 | 森崎 | | | | | | | |
| 40 | 長土路 | 十和田山根 | 長土路 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-15 | 下芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 下川原 | | | | | | | |
| 41 | 毛馬内古舘 | 十和田毛馬内 | 古舘 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-28 | 下小路（上） | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 小比泥 | | | | | | | |
| | | 小坂町荒谷 | 野月 | | | | | | | |
| | | 小坂町荒谷 | 横道 | | | | | | | |
| 42 | 前舘 | 十和田毛馬内 | 前舘 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-4 | 下小路（上） | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 古舘 | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 下タ道 | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 小比泥 | | | | | | | |
| 43 | 下タ道 | 十和田毛馬内 | 下タ道 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-5-1 | 下小路（上） | | | ○ | |
| | | 十和田毛馬内 | 前舘 | | Ⅱ-5-2 | | | | | |

(3/4)

| 番号 | 指定区域名 | 所在地 | | 自然現象の種類 | 箇所番号1 | 関係自治会 | 指定状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 大字 | 小字 | | | | 県告示番号 | 告示年月日 | 警戒区域 | 特別警戒区域 |
| 44 | 長土路1号 | 十和田山根 | 長土路 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-8 | 下芦名沢 | 838 | H18.12.26 | ○ | |
| | | 十和田山根 | 志和長根 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 不動沢 | | | | | | | |
| 45 | 堂ノ下 | 十和田山根 | 堂ノ下 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-9-1 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 野鳥沢 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 堂ノ上 | | Ⅱ-9-2 | | | | | |
| 46 | 堂ノ下1号 | 十和田山根 | 堂ノ下 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-29-1 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | | | Ⅱ-29-2 | | | | | |
| 47 | 堂ノ下2号 | 十和田山根 | 堂ノ下 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-37 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 堂ノ上 | | | | | | | |
| 48 | 狐森 | 十和田山根 | 狐森 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-39 | 下芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 汁毛川 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 坂ノ上 | | | | | | | |
| | | 十和田毛馬内 | 汁毛川 | | | | | | | |
| 49 | 長土路2号 | 十和田山根 | 長土路 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-40 | 下芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 志和長根 | | | | | | | |
| 50 | ゲッケイ沢 | 十和田山根 | 大清水 | 土石流 | 209-Ⅰ-060 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 堂ノ下 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 向田 | | | | | | | |
| 51 | 上芦名沢 | 十和田山根 | 大清水 | 土石流 | 209-Ⅰ-061 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 長畑 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 向田 | | | | | | | |
| 52 | 野鳥沢 | 十和田山根 | 堂ノ下 | 土石流 | 209-Ⅱ-068 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| 53 | 熊坂沢 | 十和田山根 | 熊坂 | 土石流 | 209-Ⅲ-020 | 上芦名沢 | | | ○ | |
| | | 十和田山根 | 長畑 | | | | | | | |
| | | 十和田山根 | 向田 | | | | | | | |
| 54 | 高屋 | 花輪 | 館ノ沢 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-41 | 高屋 | 500 | H19.10.12 | ○ | |
| | | 花輪 | 太田谷地 | | | | | | | |
| 55 | 中屋布 | 花輪 | 中屋布 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-44-1 | 東町 | | | ○ | |
| | | 花輪 | | | Ⅰ-44-2 | 東町 | | | | |
| | | 花輪 | 西町 | | Ⅰ-44-3 | 東町、西町 | | | | |
| 56 | 陣場1号 | 花輪 | 福士川 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-50-1 | 東山 | | | ○ | |
| | | | | | Ⅰ-50-2 | | | | | |
| 57 | 陣場2号 | 花輪 | 古館 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-51 | 東山 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 案内 | | | | | | | |
| 58 | 花輪古館1号 | 花輪 | 古館 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-1102 | 東山、福士川 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 福士川 | | | | | | | |
| 59 | 地羅野 | 花輪 | 地羅野 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-1105 | 東町 | | | ○ | |
| 60 | 小枝指2号 | 花輪 | 小枝指 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-1662 | 小枝指 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 館神 | | | | | | | |
| 61 | 高屋 | 花輪 | 高屋 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-15 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 伊坂 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 後谷地 | | | | | | | |
| 62 | 高屋1号 | 花輪 | 高屋 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-16 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 伊坂 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 三ツ権現 | | | | | | | |
| 63 | 太田谷地 | 花輪 | 太田谷地 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-17 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 高屋 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 三ツ権現 | | | | | | | |
| 64 | 万松寺 | 花輪 | 西町 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-19 | 西町 | | | ○ | |
| 65 | 西町 | 花輪 | 西町 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-35 | 西町 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 乳牛平 | | | | | | | |
| 66 | 小枝指 | 花輪 | 館神 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-47-1 | 小枝指 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 小枝指 | | Ⅱ-47-2 | | | | | |
| | | 花輪 | 平元古館 | | | | | | | |
| 67 | 小枝指1号 | 花輪 | 小枝指 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-48 | 小枝指 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 平元古館 | | | | | | | |
| 68 | 館 | 花輪 | 鳥野 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-50 | 館 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 八幡館 | | | | | | | |

(4/4)

| 番号 | 指定区域名 | 所在地 | | 自然現象の種類 | 箇所番号1 | 関係自治会 | 指定状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 大字 | 小字 | | | | 県告示番号 | 告示年月日 | 警戒区域 | 特別警戒区域 |
| 69 | 新斗米 | 花輪 | 新斗米 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅱ-51-1 | 新斗米 | 500 | H19.10.12 | ○ | |
| | | 花輪 | 天王平 | | Ⅱ-51-2 | | | | | |
| 70 | 鎌柄沢 | 花輪 | 鎌柄沢 | 土石流 | 209-Ⅰ-041-1 | 東山 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 百合沢 | | 209-Ⅰ-041-2 | | | | | |
| | | 花輪 | 横沢 | | | | | | | |
| 71 | 稲荷川原 | 花輪 | 稲荷川原 | 土石流 | 209-Ⅰ-042 | 東山 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 百合沢 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 赤坂 | | | | | | | |
| 72 | 館の沢 | 花輪 | 館の沢 | 土石流 | 209-Ⅱ-029 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 上ミ田表 | | | | | | | |
| 73 | 高屋北沢 | 花輪 | 高屋 | 土石流 | 209-Ⅱ-037 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 後谷地 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 伊坂 | | | | | | | |
| 74 | 高屋北沢２ | 花輪 | 三ツ権現 | 土石流 | 209-Ⅲ-013 | 高屋 | | | ○ | |
| | | 花輪 | 伊坂 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 高屋 | | | | | | | |
| | | 花輪 | 後谷地 | | | | | | | |
| 75 | 上山 | 尾去沢 | 上山 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-68 | 上山、下モ平、西道口 | 17 | H22.1.15 | ○ | ○ |
| | | | 山根 | | | | | | | |
| | | | 前田 | | | | | | | |
| 76 | 西道口 | 尾去沢 | 下モ平 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-69-1 | 下モ平、西道口 | | | ○ | |
| | | | 西道口 | | | | | | | |
| | | 尾去沢 | 西道口 | | Ⅰ-69-2 | 西道口 | | | | |
| | | 尾去沢 | 西道口 | | Ⅰ-69-3 | 西道口 | | | | ○ |
| 77 | 新山２号 | 尾去沢 | 新堀 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-70 | 城山、下タ町 | | | ○ | ○ |
| | | | 上山 | | | | | | | |
| 78 | 尾去沢 | 尾去沢 | 上山 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-71 | 下タ町 | | | ○ | ○ |
| 79 | 新山３号 | 尾去沢 | 上山 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-72 | 下タ町 | | | ○ | ○ |
| 80 | 春木沢 | 尾去沢 | 瓜畑 | 急傾斜地の崩壊 | Ⅰ-73-1 | 瓜畑 | | | ○ | ○ |
| | | | 春木沢 | | | | | | | |
| | | 尾去沢 | 瓜畑 | | Ⅰ-73-2 | 瓜畑 | | | | |
| | | | 軽井沢 | | | | | | | |
| 81 | 尾去沢２ | 尾去沢 | 獅子沢 | 土石流 | 209-Ⅰ-032 | | | | ○ | ○ |
| 82 | 上山沢 | 尾去沢 | 下大屋布 | 土石流 | 209-Ⅱ-026 | 西道口 | | | ○ | ○ |
| | | | 上大屋布 | | | | | | | |
| | | | 小林 | | | | | | | |
| | | | 上山 | | | | | | | |
| 83 | 尾去沢 | 尾去沢 | 獅子沢 | 土石流 | 209-Ⅱ-027 | | | | ○ | ○ |
| 84 | 下モ平沢 | 尾去沢 | 上山 | 土石流 | 209-Ⅱ-028 | 上山 | | | ○ | ○ |
| 85 | 赤沢川 | 尾去沢 | 上山 | 土石流 | 209-Ⅰ-036 | 下タ町、上山 | 18 | H22.1.5 | ○ | |
| | | | 新堀 | | | | | | | |
| 86 | 水晶山団地沢 | 尾去沢 | 上山 | 土石流 | 209-Ⅰ-037 | 水晶山、上山、下タ町、城山 | | | ○ | |
| | | | 新堀 | | | | | | | |
| | | | 新山 | | | | | | | |
| | | | 尾去沢国有林 | | | | | | | |

# 8－2 急傾斜地崩壊危険地域一覧表(県砂防課所管)

（1）ランクⅠ

(1/2)

| 番号 | 箇所名 | 大字 | 小字 | 人家 | 告示年月日 | 告示番号 | 面積 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 箒畑 | 十和田<br>大湯 | 箒畑 | 5 | | | | |
| 2 | 四岱 | 〃 | 四岱 | 26 | | | | |
| 3 | 中岱 | 〃 | 中岱 | 12 | | | | |
| 4 | 湯の岱 | 〃 | 湯の岱 | 5 | | | | |
| 5 | 湯の岱１号 | 〃 | 湯の岱 | 6 | H11.3.26 | 199 | 2.30 | |
| 6 | 室の沢口 | 〃 | 中川原 | 6 | | | | |
| 7 | 大湯１号 | 〃 | 下の湯 | 34 | S54.12.27 | 1035 | 0.60 | |
| 8 | 大湯２号 | 〃 | 下の湯 | 5 | S53.12.28 | 959 | 1.30 | |
| 9 | 上芦名沢 | 十和田<br>山根 | 上芦名沢 | 5 | | | | |
| 10 | 上芦名沢１号 | 〃 | 上芦名沢 | 5 | | | | |
| 11 | 下芦名沢 | 〃 | 下芦名沢 | 17 | | | | |
| 12 | 長土路 | 〃 | 長土路 | 6 | | | | |
| 13 | 腰廻 | 〃 | 下芦名沢 | 19 | | | | |
| 14 | 関上 | 十和田<br>大湯 | 関上 | 18 | | | | |
| 15 | 蟹沢 | 十和田<br>岡田 | 蟹沢 | 6 | | | | |
| 16 | 蟹沢１号 | 十和田<br>毛馬内 | 三ノ丸 | 16 | | | | |
| 17 | 焼山下 | 十和田<br>岡田 | 焼山下 | 7 | | | | |
| 18 | 福士１号 | 花輪 | 福士 | 9 | | | | |
| 19 | 下小路 | 十和田<br>毛馬内 | 番屋平<br>寺の上 | 23 | S45.9.17<br>S61.4.1 | 470<br>256 | 2.41 | |
| 20 | 三の丸１号 | 〃 | 上道 | 38 | | | | |
| 21 | 三の丸 | 十和田<br>毛馬内 | 古下 | 54 | S44.11.29 | 524 | 6.30 | |
| 22 | 曹洞ノ下 | 〃 | 休堂<br>曹洞ノ下 | 10 | S59.3.31<br>H5.3.19 | 210<br>199 | 0.98 | |
| 23 | 毛馬内古館 | 〃 | 古館 | 6 | H14.7.23 | 509 | 0.44 | |
| 24 | 五軒屋 | 十和田<br>錦木 | 五軒屋 | 12 | | | | |
| 25 | 曲谷地 | 〃 | 曲谷地 | 6 | | | | |
| 26 | 高市 | 花輪 | 高市 | 5 | | | | |
| 27 | 高屋 | 〃 | 高屋 | 7 | | | | |
| 28 | 中屋敷 | 〃 | 中屋敷 | 5 | | | | |
| 29 | 下タ町 | 〃 | 下タ町<br>陳場 | 9 | S61.10.11<br>H5.3.26 | 629<br>218 | 1.55 | |
| 30 | 下花輪２－２号 | 〃 | 陳場<br>下タ町 | 35 | S46.2.2<br>H9.3.25 | 66<br>203 | 5.16 | |
| 31 | 陳場 | 〃 | 陳場 | 11 | S54.12.27 | 1035 | 0.80 | |
| 32 | 陣場１号 | 花輪 | 陣場 | 5 | | | | |
| 33 | 陣場２号 | 〃 | 古館 | 2 | | | | |

(2/2)

| 番号 | 箇所名 | 大字 | 小字 | 人家 | 告示年月日 | 告示番号 | 面積 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 花輪古館 | 〃 | 古館<br>福士川 | 13 | S61.10.11 | 629 | 1.23 | |
| 35 | 中花輪 | 〃 | 沢小路 | 21 | S63.3.29 | 214 | 5.51 | |
| 36 | 中花輪１号 | 〃 | 中花輪 | 17 | S49.1.26<br>H8.12.13 | 54<br>798 | 9.53 | |
| 37 | 中花輪２号 | 〃 | 上花輪<br>上野馬場 | 11 | S46.2.2 | 66 | 1.20 | |
| 38 | 下花輪２－１号 | 〃 | 中花輪<br>馬場 | 19 | S46.2.2<br>S63.3.29 | 66<br>214 | 4.23 | |
| 39 | 荒屋敷 | 〃 | 荒屋敷<br>中花輪 | 8 | S62.10.30 | 640 | 2.80 | |
| 40 | 新堀１号 | 尾去沢 | 新山 | 11 | S63.3.29<br>H5.3.19 | 214<br>199 | 1.70 | |
| 41 | 山神社 | 〃 | 軽井沢 | 10 | S54.12.27 | 1035 | 0.80 | |
| 42 | 軽井沢 | 〃 | 軽井沢 | 26 | S45.9.17<br>H1.3.28 | 470<br>183 | 1.21 | |
| 43 | 新堀 | 〃 | 新山 | 7 | S45.9.17 | 470 | 1.26 | |
| 44 | 新山１号 | 〃 | 新山<br>蟹沢 | 29 | S45.9.17<br>H8.12.13 | 470<br>798 | 2.99 | |
| 45 | 上山 | 〃 | 山根 | 7 | | | | |
| 46 | 西道口 | 〃 | 西道口 | 34 | S63.7.29 | 214 | 2.04 | |
| 47 | 新山２号 | 〃 | 新堀 | 5 | S45.9.17 | 470 | 1.43 | |
| 48 | 尾去沢 | 〃 | 尾去山 | 10 | | | | |
| 49 | 新山３号 | 〃 | 新山 | 11 | | | | |
| 50 | 春木沢 | 〃 | 春木沢 | 6 | | | | |
| 51 | 三日市 | 〃 | 三日市<br>新発田 | 53 | S49.1.26 | 54 | 3.10 | |
| 52 | 大里 | 八幡平 | 大里 | 19 | H5.3.19 | 199 | 3.03 | |
| 53 | 小豆沢 | 〃 | 小豆沢 | 6 | S61.10.11<br>S63.3.29 | 629<br>214 | 1.51 | |
| 54 | 宮麓 | 〃 | 堂の上 | 1 | | | | |
| 55 | 長井田 | 〃 | 長内 | 7 | S45.11.14 | 589 | 3.90 | |
| 56 | 湯瀬 | 〃 | 湯瀬<br>古館 | 25 | | | | |
| 57 | 下谷内 | 〃 | 谷内 | 13 | S54.12.27<br>H1.3.28 | 1035<br>183 | 1.64 | |
| 58 | 上谷内 | 〃 | 上谷内 | 5 | H1.3.28 | 183 | 0.71 | |
| 59 | 志張 | 〃 | 志張 | 1 | H8.12.14 | 798 | 0.29 | |
| 60 | トロコ | 〃 | トロコ | 1 | | | | |
| 61 | 蒸ノ湯 | 〃 | 蒸ノ湯 | 1 | | | | |
| 62 | 後生掛 | 〃 | 後生掛 | 1 | | | | |
| 63 | 上道 | 十和田<br>毛馬内 | 上道 | 9 | | | | |
| 64 | 花輪古館１号 | 花　輪 | 古館 | 1 | | | | |
| 65 | 軽井沢２号 | 尾去沢 | 軽井沢 | 3 | | | | |
| 66 | 地羅野 | 花　輪 | 地羅野 | 7 | | | | |
| 67 | 小割沢 | 八幡平 | 小割沢 | 4 | | | | |
| 68 | 石野１号 | 十和田<br>瀬田石 | 上石野 | 3 | | | | |
| 69 | 小枝指２号 | 花　輪 | 小枝指 | 2 | | | | |
| 70 | 柏木森 | 花　輪 | 柏木森 | 6 | | | | |
| 71 | 新堀２号 | 尾去沢 | 新山 | 22 | | | | |

（2）ランクⅡ

(1/2)

| 番号 | 箇所名 | 大字 | 小字 | 人家 | 告示年月日 | 告示番号 | 面積 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 水無 | 十和田<br>毛馬内 | 水無 | 1 | | | | |
| 2 | 山田 | 〃 | 山田 | 3 | | | | |
| 3 | 山田１号 | 〃 | 山田 | 2 | | | | |
| 4 | 前館 | 〃 | 前館 | 1 | | | | |
| 5 | 下タ道 | 〃 | 下タ道 | 3 | | | | |
| 6 | 沼田 | 八幡平 | 沼田 | 1 | | | | |
| 7 | 湯ノ岱２号 | 十和田<br>大湯 | 湯ノ岱 | 4 | | | | |
| 8 | 長土路１号 | 十和田<br>山根 | 長土路 | 2 | | | | |
| 9 | 堂ノ下 | 〃 | 堂ノ下 | 1 | | | | |
| 10 | 大足 | 十和田<br>大湯 | 大足 | 2 | | | | |
| 11 | 村下タ | 十和田<br>岡田 | 村下タ | 1 | | | | |
| 12 | 八幡平 | 十和田<br>瀬田石 | 八幡平 | 4 | | | | |
| 13 | 八幡平１号 | 〃 | 〃 | 3 | | | | |
| 14 | 根市戸 | 十和田<br>錦木 | 根市戸 | 2 | | | | |
| 15 | 高屋 | 花輪 | 高屋 | 1 | | | | |
| 16 | 高屋１号 | 花輪 | 高屋 | 1 | | | | |
| 17 | 太田谷地 | 〃 | 太田谷地 | 1 | | | | |
| 18 | 新城 | 八幡平 | 新城 | 2 | | | | |
| 19 | 万松寺 | 花輪 | 西町 | 4 | | | | |
| 20 | 用野目 | 〃 | 用野目<br>川向 | 2 | | | | |
| 21 | 新山４号 | 尾去沢 | 新山 | 4 | | | | |
| 22 | 福士 | 花輪 | 福士 | 2 | | | | |
| 23 | 一の坂 | 尾去沢 | 一の坂 | 4 | | | | |
| 24 | 稲荷川原 | 花輪 | 稲荷川原 | 1 | | | | |
| 25 | 蟹沢 | 尾去沢 | 蟹沢 | 2 | | | | |
| 26 | 根市戸１号 | 十和田<br>錦木 | 根市戸 | 4 | | | | |
| 27 | 笹小屋 | 尾去沢 | 笹小屋 | 1 | S45.9.17 | 470 | 1.42 | |
| 28 | 松館下モ平 | 八幡平 | 松館<br>下モ平 | 2 | | | | |
| 29 | 堂ノ下１号 | 十和田<br>山根 | 堂ノ下 | 1 | | | | |
| 30 | 夏井１号 | 八幡平 | 夏井 | 2 | | | | |
| 31 | 弥蔵 | 〃 | 弥蔵 | 1 | | | | |
| 32 | 夏井 | 〃 | 夏井 | 3 | | | | |
| 33 | タタラ | 〃 | タタラ | 3 | | | | |
| 34 | 西町 | 花輪 | 西町 | 4 | | | | |
| 35 | 上沢田 | 八幡平 | 上沢田 | 4 | | | | |
| 36 | 堂ノ下２号 | 十和田<br>山根 | 堂ノ下 | 1 | | | | |
| 37 | 狐森 | 十和田<br>毛馬内 | 狐森 | 1 | | | | |

(2/2)

| 番号 | 箇所名 | 大字 | 小字 | 人家 | 告示年月日 | 告示番号 | 面積 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38 | 長土路２号 | 十和田<br>山根 | 長土路 | 1 | | | | |
| 39 | 稲荷川原１号 | 花輪 | 稲荷川原 | 1 | | | | |
| 40 | 白山 | 十和田<br>大湯 | 下折戸 | 3 | | | | |
| 41 | 中岱１号 | 〃 | 中岱 | 2 | | | | |
| 42 | 瀬田石 | 十和田<br>瀬田石 | 瀬田石 | 4 | | | | |
| 43 | 寺坂 | 花輪 | 寺坂 | 2 | | | | |
| 44 | 石野 | 十和田<br>瀬田石 | 石野 | 3 | | | | |
| 45 | 小枝指 | 花輪 | 小枝指 | 4 | | | | |
| 46 | 小枝指１号 | 〃 | 小枝指 | 1 | | | | |
| 47 | 館 | 〃 | 館 | 4 | | | | |
| 48 | 新斗米 | 〃 | 新斗米 | 2 | | | | |
| 49 | 曲沢 | 〃 | 曲沢 | 1 | S57.2.20 | 137 | 4.80 | |
| 50 | 曲沢１号 | 〃 | 〃 | 1 | | | | |
| 51 | 軽井沢１号 | 尾去沢 | 軽井沢 | 4 | | | | |

# 8－3 地すべり災害危険地域一覧表

## 東北森林管理局所管

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家 | 公共施設 | 道路 | |
| 209 | 1 | 八幡平 | ふけのゆ温泉 | 29.00 | 3 | | 市 | |
| 209 | 2 | 〃 | 澄川温泉 | 45.00 | 11 | | 〃 | |

## 県砂防課所管

| 番号 | 箇所名 | 大字 | 水系名 | 幹川名 | 渓流名 | 危険箇所面積 | 地すべり防止区域 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 指定年月日 | 告示番号 | 指定面積 |
| 1 | ベコ谷地 | 八幡平 | 米代川 | 熊沢川 | 澄川 | 340.1 | | | |
| 2 | 赤川 | 〃 | 〃 | 〃 | 赤川 | 9.9 | | | |
| 3 | トロコ | 〃 | 〃 | 〃 | 熊沢川 | 84.0 | S48.01.05 | 10 | 41.33 |
| 4 | 坂比平 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 15.9 | | | |
| 5 | 長谷川 | 〃 | 〃 | 〃 | 渕沢 | 24.8 | | | |
| 6 | 石鳥谷 | 尾去沢 | 〃 | 米代川 | 黒沢川 | 268.8 | | | |
| 7 | 軽井沢 | 〃 | 〃 | 〃 | 赤沢 | 15.0 | | | |
| 8 | 新堀 | 〃 | 〃 | 〃 | 赤金川 | 7.4 | | | |
| 9 | 新山 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 19.1 | S55.12.02 | 1805 | 19.10 |
| 10 | 中滝 | 大湯 | 〃 | 大湯川 | 大湯川 | 22.1 | | | |
| 11 | 蒸ノ湯温泉 | 八幡平 | 〃 | 熊沢川 | 赤川 | 185.0 | | | |

## 県森林整備課所管

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0001 | 十和田山根 | 堂ノ上 | 26.87 | | | 市道 | |
| 2094 | 0002 | 八幡平 | 樫内 | 8.60 | 10 | | 市道 | |
| 2094 | 0003 | 〃 | 永田根瀬 | 30.30 | 14 | | 県道 | |
| 2094 | 0004 | 〃 | 沢内 | 31.23 | | | 市道 | |
| 2094 | 0005 | 〃 | 林ノ外 | 29.57 | 60 | | 県道 | |
| 2094 | 0006 | 〃 | 田ノ沢A | 6.20 | | | 林道 | |
| 2094 | 0007 | 〃 | 老沢 | 539.73 | 20 | | 県道 | |
| 2094 | 0008 | 〃 | 蛇沢 | 5.00 | 8 | | 市道 | |
| 2094 | 0009 | 〃 | 田ノ沢B | 41.60 | 5 | | 林道 | |
| 2094 | 0010 | 〃 | 大滝頭 | 21.60 | | | 林道 | |

# 8－4 砂防指定地一覧表(県砂防課所管)

(1/3)

| 整理番号 | 告示年月日 | 告示番号 | 渓流名 | 所在地 大字 | 指定面積 (ha) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 52 | S28.4.27 | 641 | 熊沢川 | 八幡平 | 7.54 | |
| 53 | 〃 | 〃 | 汁毛川 | 十和田毛馬内 | | |
| 54 | 〃 | 〃 | 福士川 | 花輪 | 7.54 | |
| 61 | S28.5.29 | 958 | 黒沢川 | 花輪 | 7.54 | |
| 68 | S28.7.25 | 1192 | 大楽前沢川 | 十和田大湯 | 7.54 | |
| 72 | 〃 | 〃 | 草木川（芦名川） | 十和田大湯 | 7.54 | |
| 84 | S29.4.12 | 386 | 間瀬川 | 花輪 | 7.54 | |
| 97 | S29.10.9 | 1449 | 歌内川 | 八幡平 | 0.71 | |
| 99 | S29.11.8 | 1506 | 安久谷川 | 十和田大湯 | 2.22 | |
| 124 | S31.12.5 | 1900 | 夜明島川 | 八幡平 | 4.95 | |
| 125 | 〃 | 〃 | 浦志内川 | 八幡平 | 0.60 | |
| 139 | S32.11.25 | 1476 | 熊沢川 | 八幡平 | 4.85 | |
| 140 | 〃 | 〃 | 不動川 | 花輪 | 1.41 | |
| 156 | S33.11.15 | 1995 | 乳牛川 | 花輪 | 0.40 | |
| 159 | S34.10.6 | 1946 | 冷水川 | 花輪 | 1.72 | |
| 160 | 〃 | 〃 | 熊沢川 | 八幡平 | 1.92 | |
| 182 | S37.1.23 | 67 | 冷水川 | 花輪 | 0.50 | |
| 194 | S36.11.18 | 2671 | 熊沢川 | 八幡平 | 1.60 | |
| 196 | S36.12.10 | 3005 | 冷水川 | 花輪 | 0.80 | |
| 267 | S39.4.7 | 1144 | 乳牛川 | 花輪 | 4.86 | |
| 277 | 〃 | 1143 | 大楽前沢川 | 十和田大湯 | 6.30 | |
| 353 | S40.1.12 | 14 | 冷水川 | 花輪 | 4.87 | |
| 354 | 〃 | 〃 | 黒沢川 | 八幡平 | 7.60 | |
| 355 | 〃 | 〃 | 毛馬内沢川 | 十和田 | 3.25 | |
| 356 | 〃 | 〃 | 瀬田石川 | 十和田 | 3.00 | |
| 442 | S40.7.28 | 2055 | 新田沢川 | 尾去沢 | 14.86 | |
| 443 | 〃 | 〃 | 水沢川 | 尾去沢 | 2.59 | |
| 471 | S40.11.12 | 3214 | 不動川 | 花輪 | 3.90 | |
| 472 | 〃 | 〃 | 土深井沢川 | 十和田末広 | 7.70 | |
| 473 | 〃 | 〃 | 高清水川 | 末広山根 | 3.67 | |
| 474 | 〃 | 〃 | 芦内川 | 山根草木 | 4.22 | |
| 507 | S41.2.4 | 100 | 樫内川 | 八幡平 | 5.00 | |
| 508 | 〃 | 〃 | 歌内川 | 八幡平 | 3.89 | |
| 509 | 〃 | 〃 | 夏井川 | 八幡平 | 8.82 | |
| 510 | 〃 | 〃 | 折ヶ島川 | 八幡平 | 6.45 | |
| 511 | 〃 | 〃 | 小水沢川 | 八幡平 | 2.90 | |
| 512 | 〃 | 〃 | 水沢川 | 八幡平 | 10.99 | |
| 513 | 〃 | 〃 | 沢内川 | 八幡平 | 12.50 | |
| 514 | 〃 | 〃 | 杉谷倉川 | 八幡平 | 2.03 | |
| 515 | 〃 | 〃 | 寺の沢川 | 十和田大湯 | 1.40 | |
| 516 | 〃 | 〃 | 草木川 | 草木 | 10.62 | |
| 615 | S41.5.30 | 1635 | 小又沢川 | 十和田大湯 | 14.50 | |
| 618 | 〃 | 〃 | 熊沢川 | 八幡平 | 33.75 | |
| 627 | 〃 | 3458 | 猫沢川 | 八幡平 | 22.75 | |
| 670 | S42.10.11 | 3442 | 水沢川 | 八幡平 | 1.68 | |
| 801 | S44.3.31 | 804 | 赤川 | 八幡平 | 3.41 | |

(2/3)

| 整理番号 | 告示年月日 | 告示番号 | 渓流名 | 所在地 大字 | 指定面積 (ha) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 804 | S44.3.31 | 804 | 山中沢川 | 十和田大湯 | 21.3 | |
| 805 | S44.3.31 | 804 | 行内沢川 | 十和田大湯 | 5.32 | |
| 829 | S45.8.7 | 1211 | 堀内川 | 十和田大湯 | 7.80 | |
| 830 | 〃 | 〃 | 中の沢川 | 八幡平 | 4.20 | |
| 843 | S46.8.4 | 1327 | 寺の沢川及び支川 | 八幡平 | 3.75 | |
| 856 | 〃 | 〃 | 赤沢川 | 尾去沢 | 3.60 | |
| 868 | S47.2.8 | 175 | 浦志内川 | 八幡平 | 6.35 | |
| 869 | 〃 | 〃 | 硯川 | 八幡平 | 3.36 | |
| 875 | S47.2.4 | 149 | 寺沢川 | 八幡平 | 8.10 | |
| 878 | 〃 | 〃 | 樫内川 | 八幡平 | 3.12 | |
| 879 | 〃 | 〃 | 安久谷川 | 十和田大湯 | 2.52 | |
| 892 | S47.12.7 | 2047 | 黒沢川 | 八幡平 | 0.39 | S57.8.23(1509)改正 |
| 893 | 〃 | 〃 | 板戸川 | 八幡平 | 0.36 | |
| 894 | 〃 | 〃 | 田代川 | 十和田大湯 | 2.98 | |
| 933 | S48.6.20 | 1426 | 根津塔沢川 | 十和田大湯 | 0.99 | |
| 934 | 〃 | 〃 | 小又沢川 | 八幡平 | 0.47 | |
| 952 | S50.4.30 | 803 | 真金山沢川 | 八幡平 | 0.92 | |
| 963 | S51.4.14 | 742 | 門の沢川 | 十和田大湯 | 0.87 | |
| 964 | 〃 | 〃 | 大楽前沢川 | 十和田大湯 | 4.55 | |
| 966 | 〃 | 〃 | 大又沢川 | 八幡平湯瀬 | 3.27 | |
| 967 | 〃 | 〃 | 乳牛川 | 花輪 | 0.47 | |
| 1002 | S53.4.11 | 824 | 門の沢川 | 十和田大湯 | 0.62 | |
| 1014 | S54.5.19 | 998 | 小又沢川 | 八幡平湯瀬 | 0.43 | S55.8.13(1413)改正 |
| 1030 | S55.8.12 | 1406 | 東ノ又沢川 | 八幡平 | 1.43 | |
| 1031 | 〃 | 〃 | 寺沢川 | 八幡平 | 0.87 | |
| 1032 | 〃 | 〃 | 福草沢川 | 十和田草木 | 2.66 | |
| 1078 | S57.8.7 | 1470 | 間瀬川及びﾓﾄﾐﾀｹ沢川 | 花輪 | 1.31 | |
| 1079 | 〃 | 〃 | 草木川及び高井場沢川 | 十和田草木 | 2.98 | S60.6.8(923)改正 |
| 1102 | S59.3.24 | 707 | 水沢川及び支川 | 八幡平 | 3.18 | |
| 1103 | 〃 | 〃 | 蟹沢川 | 尾去沢 | 0.70 | |
| 1146 | S60.10.28 | 1432 | 戸倉沢川 | 十和田大湯 | 0.75 | |
| 1148 | 〃 | 〃 | 冷水、板川及び黒滝川 | 花輪 | 3.03 | |
| 1160 | S60.2.25 | 232 | 湯の沢川及び湯の沢 | 十和田大湯 | 0.93 | |
| 1205 | S63.1.25 | 123 | 湯の沢川 | 十和田大湯 | 0.56 | |
| 1226 | S63.3.8 | 627 | 高崩沢川 | 十和田大湯 | 0.61 | |
| 1259 | S63.11.11 | 2197 | 赤沢川 | 尾去沢 | 2.34 | |
| 1272 | H1.1.20 | 71 | 安久谷川 | 十和田大湯 | 1.74 | |
| 1273 | 〃 | 〃 | 角戸の沢川 | 十和田大湯 | 0.81 | |
| 1274 | 〃 | 〃 | 熊沢川 | 八幡平 | 0.21 | |
| 1275 | 〃 | 〃 | 不動川 | 花輪 | 0.50 | |
| 1285 | H1.10.6 | 1692 | 大平沢川及び同右支川 | 十和田大湯 | 1.66 | |
| 1320 | H3.2.18 | 217 | 青沢川 | 八幡平 | 25.25 | |
| 1321 | 〃 | 〃 | 杉谷地沢川 | 八幡平 | 289.81 | |
| 1322 | 〃 | 〃 | 蟹沢川 | 尾去沢 | 30.60 | |
| 1323 | 〃 | 〃 | 下モ平沢川 | 尾去沢 | 5.86 | |
| 1358 | H4.2.6 | 240 | 赤川 | 八幡平 | 0.42 | |
| 1359 | 〃 | 〃 | 熊沢沢川 | 八幡平 | 13.04 | |
| 1397 | H5.3.2 | 493 | 青沢川 | 八幡平 | 0.81 | |
| 1398 | 〃 | 〃 | 板割沢川 | 八幡平 | 1.54 | |

(3/3)

| 整理番号 | 告示年月日 | 告示番号 | 渓流名 | 所在地 大字 | 指定面積 (ha) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1399 | 〃 | 〃 | 芦内沢川 | 十和田草木 | 6.38 | |
| 1469 | H8.3.15 | 641 | 歌内川 | 八幡平 | 1.07 | |
| 1505 | H8.12.11 | 2244 | 中新田川 | 尾去沢 | 54.36 | |
| 1506 | 〃 | 〃 | 湯の岱沢 | 十和田大湯 | 0.74 | |
| 1525 | H9.12.22 | 2189 | 水晶山沢 | 尾去沢 | 2.62 | |
| 1538 | 〃 | 2190 | 熊沢川 | 八幡平 | 0.05 | |
| 1539 | 〃 | 〃 | 赤川 | 八幡平 | 0.54 | |
| 1549 | H11.2.12 | 183 | 蛇沢 | 八幡平 | 59.02 | |
| 1565 | H12.5.10 | 1275 | 硯川 | 八幡平 | 1.79 | |
| 1581 | H12.11.28 | 2228 | 硯川 | 八幡平 | 49.20 | |
| 1582 | 〃 | 〃 | 福士川 | 花輪 | 0.02 | |
| 1586 | H13.3.16 | 222 | 熊沢沢 | 八幡平 | 1.09 | |
| 1589 | 〃 | 〃 | 上芦名沢 | 十和田山根 | 0.95 | |
| 1598 | H14.5.8 | 359 | 沢内川 | 八幡平 | 7.89 | |
| 1620 | H16.3.10 | 240 | 折ケ島川 | 八幡平 | 1.44 | |
| 1668 | H19.5.22 | 651 | 小豆沢 | 八幡平 | 8.08 | |
| 1679 | H19.9.20 | 1211 | 熊沢川 | 八幡平 | 0.27 | |
| 1687 | H21.2.9 | 128 | 赤沢川 | 尾去沢 | 1.63 | |

# 8－5 土石流危険渓流一覧表(県砂防課所管)

（1）土石流危険渓流（Ⅰ）

(1/2)

| 渓流番号 | 水系名 | 河川名 | 渓流名 | 渓流所在地 字 | 流域面積 (㎢) | 保全対象 (戸) | 保全対象 災害弱者関連施設及び公共施設等 | 砂防指定地の有無 | 安全な避難場所の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| I-0001 | 米代川 | 米代川 | 板戸沢 | 湯瀬 | 0.02 | 0 | ホテル 1、国道 0.02km | | 湯瀬体育館 |
| I-0002 | 米代川 | 米代川 | 大沢 | 湯瀬 | 0.16 | 0 | ホテル 1 | | 湯瀬体育館 |
| I-0003 | 米代川 | 米代川 | 上山田沢 | 碇 | 0.57 | 0 | ホテル 1、国道 0.14 km | | 八幡平小学校 |
| I-0004 | 米代川 | 米代川 | 小豆沢 | 小豆沢 | 0.33 | 19 | 支所 1、市民センター1、高速道路 0.31km、鉄道 0.23km | | 八幡平小学校 |
| I-0005 | 米代川 | 赤川 | 湯の沢 | 蒸ノ湯 | 1.61 | 0 | 温泉 1 | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0006 | 米代川 | 赤川 | 蒸ノ湯沢 | 蒸ノ湯 | 0.12 | 0 | 温泉 1 | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0007 | 米代川 | 澄川 | 地獄谷 | 後生掛 | 0.07 | 0 | 旅館 1 | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0008 | 米代川 | 澄川 | 後生掛沢 | 後生掛 | 0.37 | 0 | 旅館 1 | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0009 | 米代川 | 澄川 | 後生掛沢 2 | 後生掛 | 1.87 | 0 | ホテル 1 | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0010 | 米代川 | 澄川 | ブナ森沢 | 後生掛 | 0.42 | 0 | ホテル 1、県道 0.10km | | 八幡平ビジターセンター |
| I-0011 | 米代川 | 熊沢川 | トロコ温泉売店裏沢 | トロコ | 0.05 | 0 | 旅館 1、除雪基地 1、国道 0.10km | | 八幡平サンスポーツランド |
| I-0012 | 米代川 | 熊沢川 | 熊沢沢 | 熊沢 | 0.08 | 9 | | | 熊沢自治会館 |
| I-0013 | 米代川 | 熊沢川 | 蛇沢 | 蛇沢 | 0.59 | 5 | 図書館 1 | | 熊沢自治会館 |
| I-0014 | 米代川 | 熊沢川 | 蛇沢 2 | 蛇沢 | 0.07 | 0 | 発電所 1 | | 熊沢自治会館 |
| I-0015 | 米代川 | 熊沢川 | 赤平沢 | 赤平 | 0.07 | 3 | 民宿 1、国道 0.18km | | 熊沢自治会館 |
| I-0016 | 米代川 | 熊沢川 | 青沢ﾄｳﾉ沢 | 赤平 | 0.30 | 6 | 民宿 1、国道 0.18km | 有 | 熊沢自治会館 |
| I-0017 | 米代川 | 熊沢川 | 平沢 | 谷内 | 0.58 | 20 | | | 谷内地区市民センター |
| I-0018 | 米代川 | 熊沢川 | 谷内沢 1 | 谷内 | 0.14 | 9 | | | 谷内地区市民センター |
| I-0019 | 米代川 | 熊沢川 | 谷内沢 2 | 谷内 | 0.63 | 31 | 幼稚園 1、消防団器具置場 1、郵便局 1 | | 谷内地区市民センター |
| I-0020 | 米代川 | 水沢川 | ヌカリ沢 1 | 小割沢 | 0.42 | 7 | | | 小割沢集会所 |
| I-0021 | 米代川 | 熊沢川 | 杉谷倉沢 | 谷内 | 1.35 | 65 | 寺 1、集会所 1 | 有 | 谷内地区市民センター |
| I-0022 | 米代川 | 熊沢川 | 長嶺沢 1 | 長嶺 | 0.30 | 11 | 国道 0.14 km | | 八幡平小学校 |
| I-0023 | 米代川 | 熊沢川 | 長嶺沢 2 | 長嶺 | 0.64 | 15 | 国道 0.17 km | | 八幡平小学校 |
| I-0024 | 米代川 | 米代川 | 寺の沢川 | 小豆沢 | 0.22 | 40 | 駅 1、自治会館 1、旅館 1、鉄道 0.29 km | 有 | 八幡平小学校 |
| I-0025 | 米代川 | 歌内川 | 歌内川 | 大里 | 3.03 | 42 | 集会所 1 | 有 | 青年会館 |
| I-0026 | 米代川 | 米代川 | 大里沢 1 | 大里 | 0.09 | 19 | 高速道路 0.13 km | | 青年会館 |
| I-0027 | 米代川 | 米代川 | 大里沢 2 | 大里 | 0.26 | 16 | 高速道路 0.29 km | | 青年会館 |
| I-0028 | 米代川 | 黒沢川 | 黒沢 1 | 黒沢 | 0.07 | 5 | 自治会館 1 | | |
| I-0029 | 米代川 | 黒沢川 | 黒沢 2 | 黒沢 | 0.31 | 3 | 自治会館 1 | | |
| I-0030 | 米代川 | 黒沢川 | 桐ノ木沢 | 石鳥谷 | 0.18 | 5 | | | 石鳥谷自治会館 |
| I-0031 | 米代川 | 米代川 | 下館沢 | 赤渕 | 0.11 | 0 | 高道管理事務所等 3 | | 玉内自治会館 |
| I-0032 | 米代川 | 米代川 | 尾去沢 2 | 尾去沢鉱山 | 0.16 | 0 | マインランド尾去沢 1 | | |
| I-0033 | 米代川 | 米代川 | 軽井沢 | 軽井沢 | 0.02 | 15 | 自治会館 1 | | 尾去沢体育館 |
| I-0034 | 米代川 | 米代川 | 松小沢 | 松小沢 | 0.02 | 43 | | | 尾去沢体育館 |
| I-0035 | 米代川 | 米代川 | 新堀沢 | 新堀 | 0.04 | 72 | 集会所 1 | 有 | 尾去沢体育館 |
| I-0036 | 米代川 | 米代川 | 赤沢川 | 水晶山団地 | 1.85 | 29 | 保育園 1 | 有 | 尾去沢小学校 |
| I-0037 | 米代川 | 米代川 | 水晶山団地沢 | 水晶山団地 | 0.27 | 32 | 保育園 1 | 有 | 尾去沢小学校 |
| I-0038 | 米代川 | 米代川 | 蟹沢 1 | 蟹沢 | 0.15 | 8 | | 有 | 尾去沢小学校 |
| I-0039 | 米代川 | 間瀬川 | ﾋﾁﾔﾏ山沢 | 上台 | 0.78 | 8 | | | 上台自治会館 |
| I-0040 | 米代川 | 間瀬川 | 上台沢 | 上台 | 0.08 | 8 | | | 上台自治会館 |
| I-0041 | 米代川 | 福士川 | 鎌柄沢 | 産土神 | 0.64 | 0 | 鹿角トレーニングセンター1 | | 花輪第一中学校 |
| I-0042 | 米代川 | 福士川 | 稲荷川原 | 産土神 | 0.08 | 6 | | | 花輪第一中学校 |
| I-0043 | 米代川 | 米代川 | 戸羽の沢 | 神田 | 0.06 | 14 | | | 神田自治会館 |
| I-0044 | 米代川 | 大清水川 | 戸倉沢 | 戸倉 | 0.21 | 0 | 国道 0.12km | 有 | 大清水分館跡 |
| I-0045 | 米代川 | 大湯川 | 押出沢 | 中滝 | 0.12 | 11 | 森林事務所 1、国道 0.14km | 有 | 中滝自治会館 |
| I-0046 | 米代川 | 大湯川 | 白沢 | 中滝 | 0.02 | 0 | 森林事務所 1、国道 0.12km | | 中滝自治会館 |
| I-0047 | 米代川 | 大湯川 | 高崩 | 大楽前 | 0.03 | 1 | 国道 0.13km | | |

(2/2)

| 渓流番号 | 水系名 | 河川名 | 渓流名 | 渓流所在地 字 | 流域面積 (㎢) | 保全対象 (戸) | 保全対象 災害弱者関連施設及び公共施設等 | 砂防指定地の有無 | 安全な避難場所の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| I-0048 | 米代川 | 大湯川 | 高崩沢 | 高崩 | 0.13 | 6 | 国道 0.14 km | 有 | |
| I-0049 | 米代川 | 大湯川 | 角戸の沢 | 扇ノ平 | 0.15 | 5 | | 有 | 箒畑自治会館 |
| I-0050 | 米代川 | 大湯川 | 湯ノ岱沢 | 湯ノ岱 | 0.06 | 4 | 病院 1 | 有 | 大湯小学校 |
| I-0051 | 米代川 | 大湯川 | 大湯沢 1 | 大湯 | 0.04 | 11 | 国道 0.10km | | 大湯小学校 |
| I-0052 | 米代川 | 大湯川 | 湯の沢 | 大湯 | 0.27 | 33 | 病院 1、森林事務所 1、旅館 1、国道 0.05km、県道 0.08km、福祉施設 | 有 | 大湯小学校 |
| I-0053 | 米代川 | 大湯川 | 大湯沢 2 | 大湯 | 0.05 | 23 | 自治会館 1、県道 0.10km | | 大湯小学校 |
| I-0054 | 米代川 | 大湯川 | 寺の沢川 | 大湯 | 0.54 | 24 | 寺 1、県道 0.20km | 有 | 大湯小学校 |
| I-0055 | 米代川 | 大湯川 | 寺の沢 1 | 大湯 | 0.23 | 24 | 寺 1、県道 0.20km | | 大湯小学校 |
| I-0056 | 米代川 | 大湯川 | 大湯沢 3 | 大湯 | 0.02 | 12 | 県道 0.11km | | 大湯小学校 |
| I-0057 | 米代川 | 大湯川 | 大湯沢 4 | 大湯 | 0.13 | 36 | 自治会館 1、県道 0.43km | | 大湯小学校 |
| I-0058 | 米代川 | 大湯川 | 在郷坂の沢 | 大湯 | 0.09 | 49 | 保育園 1、福祉施設 1、浴場 1 | | 大湯小学校 |
| I-0059 | 米代川 | 大湯川 | 在郷坂西の沢 | 大湯 | 0.03 | 45 | 福祉施設 1、浴場 1 | | 大湯小学校 |
| I-0060 | 米代川 | 汁毛川 | ｹﾞｯｹｲ沢 | 上芦名沢 | 0.16 | 7 | | | 上芦総合センター |
| I-0061 | 米代川 | 汁毛川 | 上芦名沢 | 上芦名沢 | 0.17 | 10 | | | 上芦総合センター |
| I-0062 | 米代川 | 米代川 | 石野沢 | 石野 | 0.05 | 7 | | | 末広小学校 |
| I-0063 | 米代川 | 米代川 | 松山 | 松山 | 0.02 | 8 | 鉄道 0.06km | | 末広小学校 |
| I-0064 | 米代川 | 米代川 | 曲沢 | 曲沢 | 0.12 | 2 | 自治会館 1 | | |
| I-0065 | 米代川 | 別所川 | 板割沢 | 下新田 | 1.14 | | 郵便局 1、自治会館 1、県道 0.18km | 有 | |

## （2）土石流危険渓流（Ⅱ）

(1/2)

| 渓流番号 | 水系名 | 河川名 | 渓流名 | 渓流所在地 字 | 流域面積 (㎢) | 保全対象 (戸) | 保全対象 災害弱者関連施設及び公共施設等 | 砂防指定地の有無 | 安全な避難場所の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅱ-0001 | 米代川 | 米代川 | 湯瀬才田 | 湯瀬才田 | 0.24 | 1 | 国道 0.11km、鉄道 0.21km | | 湯瀬体育館 |
| Ⅱ-0002 | 米代川 | 米代川 | 神田川 | 湯瀬 | 1.76 | 1 | 国道 0.17km | | 湯瀬体育館 |
| Ⅱ-0003 | 米代川 | 米代川 | 山堀沢 | 長嶺 | 0.37 | 1 | 国道 0.16km | | 八幡平小学校 |
| Ⅱ-0004 | 米代川 | 熊沢川 | 老沢 | 坂比平 | 0.08 | 3 | | | 水沢集落会館 |
| Ⅱ-0005 | 米代川 | 熊沢川 | 上水沢 | 坂比平 | 0.28 | 1 | | 有 | 水沢集落会館 |
| Ⅱ-0006 | 米代川 | 水沢川 | 深沢 1 | 深 | 0.05 | 2 | | | 水沢集落会館 |
| Ⅱ-0007 | 米代川 | 熊沢川 | 深沢 | 深 | 0.01 | 3 | | | 水沢集落会館 |
| Ⅱ-0008 | 米代川 | 熊沢川 | 下水沢 | 熊沢 | 0.17 | 1 | | | 熊沢自治会館 |
| Ⅱ-0009 | 米代川 | 熊沢川 | 熊沢沢 1 | 熊沢 | 0.21 | 2 | | 有 | 熊沢自治会館 |
| Ⅱ-0010 | 米代川 | 熊沢川 | 上柳沢 | 赤平 | 0.13 | 1 | | | 熊沢自治会館 |
| Ⅱ-0011 | 米代川 | 熊沢川 | 根瀬 1 | 根瀬 | 0.14 | 2 | | | 林崎研修集会施設 |
| Ⅱ-0012 | 米代川 | 熊沢川 | 根瀬 2 | 根瀬 | 0.36 | 3 | | | 林崎研修集会施設 |
| Ⅱ-0013 | 米代川 | 熊沢川 | 根瀬 3 | 根瀬 | 0.12 | 1 | 県道 0.11km | | 林崎研修集会施設 |
| Ⅱ-0014 | 米代川 | 熊沢川 | 上柳沢 | 永田 | 0.06 | 3 | 国道 0.03km | | 永田自治会館 |
| Ⅱ-0015 | 米代川 | 樫内川 | 樫内南の沢 | 樫内 | 0.14 | 1 | | | |
| Ⅱ-0016 | 米代川 | 樫内川 | 樫内の沢 | 樫内 | 0.14 | 1 | | | 林崎研修集会施設 |
| Ⅱ-0017 | 米代川 | 樫内川 | 樫内北の沢 | 樫内 | 0.17 | 1 | 県道 0.08km | | |
| Ⅱ-0018 | 米代川 | 水沢川 | ヌカリ谷地 2 | 小割沢 | 0.63 | 2 | | | 小割沢集会所 |
| Ⅱ-0019 | 米代川 | 熊沢川 | 竹内北の沢 | 竹内 | 0.02 | 3 | | | |
| Ⅱ-0020 | 米代川 | 熊沢川 | 谷内沢 3 | 谷内 | 0.79 | 4 | | | 八幡平小学校 |
| Ⅱ-0021 | 米代川 | 夜明島川 | 平尻 1 | 白欠 | 0.10 | 3 | | | 白欠集会所 |
| Ⅱ-0022 | 米代川 | 夜明島川 | 平尻 2 | 白欠 | 0.75 | 2 | | | 白欠集会所 |
| Ⅱ-0023 | 米代川 | 夜明島川 | コガミ沢 | 新田 | 0.27 | 2 | | | 長内集会施設 |
| Ⅱ-0024 | 米代川 | 夜明島川 | 新田沢 | 新田 | 0.23 | 2 | | | 長内集会施設 |
| Ⅱ-0025 | 米代川 | 黒沢川 | 黒沢 | 黒沢 | 1.53 | 2 | 県道 0.30km | | 黒沢自治会館 |
| Ⅱ-0026 | 米代川 | 米代川 | 小林沢 | 上山 | 0.09 | 3 | | | 尾去沢小学校 |
| Ⅱ-0027 | 米代川 | 米代川 | 尾去沢 | 尾去沢鉱山 | 0.33 | 4 | | | 尾去沢体育館 |
| Ⅱ-0028 | 米代川 | 米代川 | 下モ平沢 | 下モ平 | 0.03 | 1 | | 有 | 尾去沢小学校 |
| Ⅱ-0029 | 米代川 | 米代川 | 館の沢 | 高屋 | 0.11 | 3 | | | 高屋会館 |
| Ⅱ-0030 | 米代川 | 福士川 | 産土神西の沢 | 産土神 | 0.60 | 3 | | | |

(2/2)

| 渓流番号 | 水系名 | 河川名 | 渓流名 | 渓流所在地 | 流域面積 | 保全対象 | | 砂防指定地の有無 | 安全な避難場所の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 字 | (㎢) | (戸) | 災害弱者関連施設及び公共施設等 | | |
| Ⅱ-0031 | 米代川 | 乳牛川 | 女森 | 女森 | 0.42 | 2 | | | 大曲集落ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0032 | 米代川 | 乳牛川 | 蟹沢 | 女森 | 0.43 | 2 | | | 大曲集落ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0033 | 米代川 | 乳牛川 | 水ノ目沢 | 大曲 | 0.05 | 3 | | | 大曲集落ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0034 | 米代川 | 乳牛川 | 水ノ目沢 1 | 大曲 | 0.05 | 3 | | | 大曲集落ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0035 | 米代川 | 乳牛川 | 乳牛川 | 大曲 | 1.97 | 1 | | 有 | |
| Ⅱ-0036 | 米代川 | 乳牛川 | 乳牛右の沢 | 大曲 | 0.42 | 1 | | | |
| Ⅱ-0037 | 米代川 | 米代川 | 高屋北沢 | 高屋 | 0.02 | 1 | | | |
| Ⅱ-0038 | 米代川 | 草木川 | アンナイ | 砂派 | 0.74 | 4 | | | 菩提野自治会館 |
| Ⅱ-0039 | 米代川 | 豊真木沢川 | 根市 1 | 根市 | 0.04 | 4 | | | 根市会館 |
| Ⅱ-0040 | 米代川 | 豊真木沢川 | 根市 2 | 根市 | 0.05 | 2 | | | 根市会館 |
| Ⅱ-0041 | 米代川 | 大清水川 | 下ｼﾞｬｸｱｲ沢 | 大渉 | 0.20 | 1 | 国道 0.13km | | 大清水会館跡 |
| Ⅱ-0042 | 米代川 | 大清水川 | 下ﾖｼﾔﾁﾉ沢 | 大渉 | 0.12 | 1 | | | 大清水分館跡 |
| Ⅱ-0043 | 米代川 | 大清水川 | 大渉 | 大渉 | 0.07 | 1 | 国道 0.11km | | 大清水分館跡 |
| Ⅱ-0044 | 米代川 | 小国川 | 戸倉沢 | 大渉 | 0.19 | 1 | | | 大清水分館跡 |
| Ⅱ-0045 | 米代川 | 大湯川 | 大平沢 | 大平 | 0.40 | 1 | | 有 | 大平会館 |
| Ⅱ-0046 | 米代川 | 大湯川 | 白沢北の沢 | 白沢 | 1.70 | 3 | | 有 | |
| Ⅱ-0047 | 米代川 | 大湯川 | 寝津塔沢川 | 白沢 | 5.00 | 1 | 国道 0.13km | 有 | |
| Ⅱ-0048 | 米代川 | 大湯川 | 大楽前沢 2 | 大楽前 | 0.04 | 3 | 国道 0.07km | | |
| Ⅱ-0049 | 米代川 | 大湯川 | 高崩沢 2 | 高崩 | 0.08 | 3 | 国道 0.15km | | |
| Ⅱ-0050 | 米代川 | 大湯川 | 土沢 1 | 土沢 | 0.09 | 1 | 国道 0.10km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0051 | 米代川 | 大湯川 | 土沢川 | 土沢 | 0.84 | 1 | 国道 0.13km | | |
| Ⅱ-0052 | 米代川 | 大湯川 | 土沢 2 | 土沢 | 0.04 | 1 | 国道 0.09km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0053 | 米代川 | 大湯川 | 扇ノ平沢 | 扇ノ平 | 0.03 | 4 | | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0054 | 米代川 | 大湯川 | 御堂の沢 | 赤川 | 0.42 | 2 | 国道 0.19km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0055 | 米代川 | 大湯川 | 赤川 1 | 赤川 | 0.02 | 2 | 国道 0.16km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0056 | 米代川 | 大湯川 | 赤川 2 | 赤川 | 0.07 | 2 | 国道 0.13km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0057 | 米代川 | 大湯川 | 赤川 3 | 赤川 | 0.22 | 3 | 国道 0.16km | | 箒畑自治会館 |
| Ⅱ-0058 | 米代川 | 大湯川 | 二倉沢 | 堀内 | 0.05 | 1 | | | 堀内交流ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0059 | 米代川 | 大湯川 | 堀内沢 | 堀内 | 0.02 | 4 | | | 堀内交流ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0060 | 米代川 | 安久谷川 | 下折戸北沢 | 下折戸 | 2.15 | 2 | | | |
| Ⅱ-0061 | 米代川 | 安久谷川 | 下折戸 1 | 下折戸 | 0.04 | 1 | | | 大湯小学校 |
| Ⅱ-0062 | 米代川 | 大湯川 | 下折戸 2 | 四の岱 | 0.12 | 4 | | | 大湯小学校 |
| Ⅱ-0063 | 米代川 | 大湯川 | 古舘 1 | 大湯 | 0.02 | 2 | | | 大湯小学校 |
| Ⅱ-0064 | 米代川 | 大湯川 | 古舘 2 | 大湯 | 0.01 | 1 | | | 大湯小学校 |
| Ⅱ-0065 | 米代川 | 大湯川 | 壁堀平 | 腰廻 | 0.34 | 1 | | | 腰廻会館 |
| Ⅱ-0066 | 米代川 | 大湯川 | 下平沢 | 関上 | 0.04 | 4 | | | 関上生活改善ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0067 | 米代川 | 大湯川 | 蟹沢 | 蟹沢 | 0.02 | 4 | | | 十和田市民センター |
| Ⅱ-0068 | 米代川 | 大湯川 | 野鳥沢 | 上芦名沢 | 0.06 | 3 | | | 上芦総合ｾﾝﾀｰ |
| Ⅱ-0069 | 米代川 | 米代川 | 紀ノ国平 | 紀ノ国平 | 0.03 | 1 | | | 神田自治会館 |
| Ⅱ-0070 | 米代川 | 米代川 | 紀ノ国平沢 | 紀ノ国平 | 0.08 | 1 | 鉄道 0.08km | | 神田自治会館 |
| Ⅱ-0071 | 米代川 | 米代川 | 松山北沢 | 松山 | 0.03 | 1 | | | |
| Ⅱ-0072 | 米代川 | 米代川 | 曲沢 2 | 曲沢 | 0.13 | 1 | | | |
| Ⅱ-0073 | 米代川 | 米代川 | 長久保沢 | 土深井 | 0.05 | 1 | | | 土深井集会所 |
| Ⅱ-0074 | 米代川 | 吉　沢 | 中新田沢 | 中新田 | 0.08 | 1 | | | 三ツ矢沢自治会館 |
| Ⅱ-0075 | 米代川 | 別所川 | 田綱沢 | 下新田 | 0.13 | 2 | 県道 0.16km | | 下新田自治会館 |

# 8－6 山地危険地域一覧表

（1）山腹崩壊危険地

## 東北森林管理局所管

| 危険地区番号 | | 位　置 | | 面　積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地　区 | 大　字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 209 | 1 | 大　湯 | 高　崩　（　1　） | 1.00 | 2 | | 国 | |
| 〃 | 2 | 大　湯 | 高　崩　（　2　） | 1.00 | 2 | | 〃 | |
| 〃 | 3 | 大　湯 | 大　湯 | 1.00 | | | 〃 | |
| 〃 | 4 | 八幡平 | 赤　川　温　泉 | 2.00 | 4 | | 市 | |
| 〃 | 5 | 八幡平 | 後　生　掛　温　泉 | 1.00 | 13 | | | |
| 〃 | 6 | 八幡平 | 深　沢 | 1.00 | | | 国 | |

## 県森林整備課所管

(1/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0001 | 十和田瀬田石 | 白根 | 11.00 | 6 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0002 | 十和田瀬田石 | 白根 | 11.00 | 8 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0003 | 十和田瀬田石 | 上石野 | 15.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0004 | 十和田瀬田石 | 民部沢 | 10.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0005 | 十和田瀬田石 | 茂谷前 | 18.00 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0006 | 十和田瀬田石 | 八幡平 | 7.00 | 7 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0007 | 十和田瀬田石 | 八幡平 | 3.00 | 16 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0008 | 十和田瀬田石 | 大久保袖狐 | 7.00 | 7 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0009 | 十和田毛馬内 | 水無 | 16.00 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0010 | 十和田毛馬内 | 山田 | 5.00 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0011 | 十和田毛馬内 | 前館 | 3.00 | 19 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0012 | 十和田山根 | 長土路 | 3.00 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0013 | 十和田上向 | 下四ッ谷 | 5.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0014 | 十和田山根 | 柳平 | 3.00 | 18 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0015 | 十和田山根 | 熊坂 | 10.00 | 17 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0016 | 十和田市山根 | 家の上 | 18.00 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0017 | 十和田山根 | 家の上 | 3.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0018 | 十和田山根 | 野鳥沢 | 44.00 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0019 | 十和田山根 | 向田 | 4.00 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0020 | 十和田山根 | 万養田 | 2.00 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0021 | 十和田毛馬内 | 番屋平 | 6.00 | 50 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0022 | 十和田毛馬内 | 古下 | 2.00 | 16 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0023 | 十和田毛馬内 | 古下 | 2.00 | 30 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0024 | 十和田毛馬内 | 三ノ丸 | 6.00 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0025 | 十和田岡田 | 蟹沢 | 5.00 | 18 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0026 | 十和田大湯 | 村下タ | 11.00 | 40 | 2 | 国 | |
| 〃 | 0027 | 十和田大湯 | 村下タ | 1.00 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0028 | 十和田大湯 | 腰廻 | 6.00 | 40 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0029 | 十和田大湯 | 室ノ沢口 | 2.00 | 15 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0030 | 十和田大湯 | 桂ノ沢 | 10.00 | 19 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0031 | 十和田大湯 | 五の岱 | 22.00 | 13 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0032 | 十和田大湯 | 赤川 | 10.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0033 | 十和田大湯 | 赤川 | 3.00 | 7 | 0 | 〃 | |

(2/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | (ha) | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0034 | 十和田大湯 | 箒畑 | 6.00 | 16 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0035 | 十和田大湯 | 行内 | 16.00 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0036 | 十和田大湯 | 大滝内沢 | 8.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0037 | 十和田大湯 | 大清水 | 2.00 | 1 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0038 | 十和田大湯 | 扇ノ平 | 3.00 | 7 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0039 | 十和田大湯 | 白山 | 7.00 | 7 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0040 | 十和田大湯 | 下折戸 | 5.00 | 5 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0041 | 十和田大湯 | 湯の沢 | 3.00 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0042 | 十和田大湯 | 大湯 | 6.00 | 40 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0043 | 十和田大湯 | 和町 | 5.00 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0044 | 十和田大湯 | 大湯 | 4.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0045 | 十和田大湯 | 下之湯 | 4.00 | 40 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0046 | 十和田大湯 | 下之湯 | 3.00 | 19 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0047 | 十和田錦木 | 五軒屋 | 8.00 | 40 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0048 | 十和田錦木 | 根下戸 | 9.00 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0049 | 花輪 | 寺坂 | 5.00 | 30 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0050 | 花輪 | 柴内熊堂 | 25.00 | 15 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0051 | 花輪 | 内山 | 2.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0052 | 花輪 | 内山 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0053 | 花輪 | 宮の平 | 6.00 | 4 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0054 | 花輪 | 不動沢 | 7.00 | 4 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0055 | 花輪 | 西町 | 4.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0056 | 花輪 | 水ノ目 | 7.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0057 | 花輪 | 大久保 | 38.00 | 10 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0058 | 花輪 | 下沢田 | 1.00 | 16 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0059 | 花輪 | 荒屋布 | 2.00 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0060 | 花輪 | 柏木森 | 4.00 | 4 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0061 | 八幡平 | 大里 | 2.00 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0062 | 八幡平 | 北林 | 68.00 | 0 | 0 | 林 | |
| 〃 | 0063 | 八幡平 | 下鷲の巣 | 2.00 | 17 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0064 | 八幡平 | 大柳 | 7.00 | 4 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0065 | 八幡平 | 尻無沢 | 3.00 | 0 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0066 | 八幡平 | 志和前 | 1.00 | 15 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0067 | 八幡平 | 志和前 | 6.00 | 3 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0068 | 八幡平 | 大地平 | 9.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0069 | 八幡平 | 大地平 | 5.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0070 | 八幡平 | 湯瀬堰根口 | 4.00 | 0 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0071 | 八幡平 | 湯瀬古館 | 20.00 | 100 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0072 | 八幡平 | 湯瀬大岩井 | 27.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0073 | 八幡平 | 湯瀬大岩井 | 11.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0074 | 八幡平 | 湯瀬才田 | 32.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0075 | 八幡平 | 湯瀬才田 | 47.00 | 12 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0076 | 八幡平 | 湯瀬石通 | 25.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0077 | 八幡平 | 湯瀬居熊井 | 3.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0078 | 八幡平 | 湯瀬湯の向 | 8.00 | 100 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0079 | 八幡平 | 湯瀬湯の向 | 18.00 | 6 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0080 | 八幡平 | 上山田 | 6.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0081 | 八幡平 | 上山田 | 7.00 | 0 | 0 | 〃 | |

(3/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0082 | 八幡平 | 小豆沢碇 | 7.00 | 0 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0083 | 八幡平 | 小旦沢碇 | 19.00 | 30 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0084 | 八幡平 | 長畑 | 2.00 | 4 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0085 | 八幡平 | 堂の前 | 6.00 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0086 | 八幡平 | カジカ沢 | 5.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0087 | 八幡平 | カジカ沢 | 9.00 | 5 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0088 | 八幡平 | 谷内下モ平 | 2.00 | 5 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0089 | 八幡平 | 八舛寺 | 6.00 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0090 | 八幡平 | 八舛寺 | 3.00 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0091 | 八幡平 | 谷内 | 5.00 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0092 | 八幡平 | 沼田 | 7.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0093 | 八幡平 | 上野 | 7.00 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0094 | 八幡平 | 永田下田表 | 8.00 | 5 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0095 | 八幡平 | 永田下田表 | 16.00 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0096 | 八幡平 | 上柳沢 | 5.00 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0097 | 八幡平 | 上柳沢 | 14.00 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0098 | 八幡平 | 上柳沢 | 13.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0099 | 八幡平 | 上柳沢 | 14.00 | 16 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0100 | 八幡平 | 赤平 | 15.00 | 15 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0101 | 八幡平 | 蛇沢 | 6.00 | 9 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0102 | 八幡平 | 蛇沢 | 5.00 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0103 | 八幡平 | 平 | 7.00 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0104 | 八幡平 | 湯坂 | 5.00 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0105 | 八幡平 | 湯坂 | 16.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0106 | 八幡平 | 切留平 | 6.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0107 | 八幡平 | 切留平 | 23.00 | 0 | 0 | 林 | |
| 〃 | 0108 | 八幡平 | 切留平 | 4.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0109 | 八幡平 | 切留平 | 9.00 | 4 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0110 | 八幡平 | 切留平 | 9.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0111 | 八幡平 | 老尺 | 1.00 | 4 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0112 | 八幡平 | 老沢 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0113 | 八幡平 | 杉谷地 | 7.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0114 | 八幡平 | 熊尺碇 | 3.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0115 | 八幡平 | 熊沢碇 | 1.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0116 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 8.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0117 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0118 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 22.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0119 | 八幡平 | 熊沢前田 | 20.00 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0120 | 八幡平 | 永田根瀬 | 9.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0121 | 八幡平 | 林崎根瀬 | 10.00 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0122 | 八幡平 | 田の沢 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0123 | 八幡平 | 田の沢 | 3.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0124 | 八幡平 | 樫内 | 3.00 | 3 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0125 | 八幡平 | 樫内 | 4.00 | 12 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0126 | 八幡平 | 大林 | 8.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0127 | 八幡平 | 日尊 | 3.00 | 8 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0128 | 八幡平 | 岩崎 | 3.00 | 1 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0129 | 八幡平 | 上堰 | 9.00 | 19 | 0 | 〃 | |

(4/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | (ha) | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0130 | 八幡平 | 下松ヶ沢 | 9.00 | 0 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0131 | 八幡平 | 下松ヶ沢 | 5.00 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0132 | 八幡平 | 指鳥 | 3.00 | 30 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0133 | 八幡平 | 八升地 | 19.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0134 | 八幡平 | 八升地 | 15.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0135 | 八幡平 | 桃枝平 | 13.00 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0136 | 八幡平 | 平尻 | 2.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0137 | 八幡平 | 白砂館 | 14.00 | 1 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0138 | 八幡平 | 中谷地 | 19.00 | 3 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0139 | 八幡平 | 黒尺 | 12.00 | 20 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0140 | 八幡平 | 狢沢 | 6.00 | 0 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0141 | 八幡平 | 狢沢 | 8.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0142 | 八幡平 | 松館下モ平 | 1.00 | 14 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0143 | 八幡平 | 小林 | 9.00 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0144 | 尾去尺 | 新堀 | 3.00 | 12 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0145 | 尾去沢 | 新堀 | 3.00 | 9 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0146 | 尾去沢 | 笹小屋 | 14.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0147 | 尾去沢 | 笹小屋 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0148 | 尾去沢 | 笹小屋 | 9.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0149 | 尾去沢 | 赤沢 | 7.00 | 16 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0150 | 尾去沢 | 笹小屋 | 18.00 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0151 | 尾去尺 | 笹小屋 | 6.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0152 | 尾去沢 | 新山 | 7.00 | 30 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0153 | 尾去沢 | 新山 | 4.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0154 | 尾去尺 | 一の坂 | 1.00 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0155 | 花輪 | 堪忍沢 | 3.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0156 | 花輪 | 用野目川向 | 6.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0157 | 花輪 | 前平 | 2.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0158 | 花輪 | 上ミ田表 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0159 | 花輪 | 曲尺 | 5.00 | 5 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0160 | 花輪 | 六郎沢 | 7.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0161 | 花輪 | 稲荷沢 | 5.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0162 | 花輪 | 三ッ権現 | 8.00 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0163 | 十和田末広 | 紀の国平 | 11.00 | 8 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0164 | 十和田末広 | 紀の元 | 6.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0165 | 十和田末広 | 八幡平 | 12.00 | 0 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0166 | 十和田末広 | 大開 | 12.00 | 0 | 1 | | |
| 〃 | 0167 | 十和田末広 | 葛峯 | 5.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0168 | 十和田末広 | 山谷 | 10.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0169 | 十和田末広 | 山谷 | 9.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0170 | 花輪 | 曲沢 | 4.00 | 7 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0171 | 花輪 | 曲沢 | 2.00 | 6 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0172 | 花輪 | 曲沢 | 2.00 | 7 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0173 | 十和田末広 | 山谷 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0174 | 十和田末広 | 山谷 | 11.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0175 | 十和田末広 | 山谷 | 1.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0176 | 十和田末広 | 十文字 | 6.00 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0177 | 十和田末広 | 長久保 | 7.00 | 8 | 2 | 〃 | |

(5/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0178 | 尾去沢 | 尾去沢 | 28.00 | 0 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0179 | 尾去沢 | 尾去沢 | 20.00 | 0 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0180 | 尾去沢 | 北森 | 33.00 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0181 | 尾去沢 | 仁兵エ平 | 5.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0182 | 尾去沢 | 九綱 | 2.00 | 0 | 0 | 林 | |
| 〃 | 0183 | 尾去沢 | 九綱 | 1.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0184 | 尾去沢 | 一の坂 | 4.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0185 | 尾去沢 | 一の坂 | 7.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0186 | 尾去沢 | 吉沢出口 | 1.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0187 | 尾去沢 | 吉沢出口 | 4.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0188 | 尾去沢 | 吉沢出口 | 3.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0189 | 尾去沢 | 吉沢出口 | 1.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0190 | 尾去沢 | 高畑 | 11.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0191 | 尾去沢 | 轆轤沢 | 2.00 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0192 | 尾去沢 | 中綱出口 | 10.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0193 | 尾去沢 | 中小畑 | 10.00 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0194 | 尾去沢 | 田綱 | 1.00 | 0 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0195 | 尾去沢 | 田綱 | 5.00 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0196 | 尾去沢 | 田綱 | 2.00 | 13 | 0 | 〃 | |

（2）崩壊土砂流出危険地

**東北森林管理局所管**

| 危険地区番号 | | 位　置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地　区 | 大　字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 209 | 1 | 大　湯 | 高　崩 | 0.45 | 2 | | 国 | |
| 〃 | 2 | 大　湯 | 中　滝 | 0.60 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 3 | 大　湯 | 大　清　水 | 0.45 | | | 〃 | |
| 〃 | 4 | 花　輪 | 花　輪　山 | 1.20 | | | 県 | |
| 〃 | 5 | 花　輪 | 外コウベ沢 | 5.40 | 15 | | 〃 | |
| 〃 | 6 | 八幡平 | 後生掛温泉 | 1.50 | 13 | | | |
| 〃 | 7 | 八幡平 | 立　又　沢 | 4.50 | 12 | | 市 | |
| 〃 | 8 | 八幡平 | 江　戸　川 | 2.94 | 2 | | 国 | |
| 〃 | 9 | 八幡平 | 馬三郎沢 | 0.45 | | | 〃 | |
| 〃 | １０ | 八幡平 | 赤川上流 | 4.68 | | 1 | 県 | |
| 〃 | １１ | 八幡平 | 源太郎沢 | 0.72 | 4 | | 市 | |

## 県森林整備課所管

(1/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0001 | 十和田瀬田石 | 下石野 | 0.60 | 2 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0002 | 十和田瀬田石 | 民部沢 | 1.35 | 4 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0003 | 十和田瀬田石 | 瀬田石沢 | 6.30 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0004 | 十和田瀬田石 | 茂谷前 | 1.20 | 7 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0005 | 十和田毛馬内 | 毛馬内沢 | 5.04 | 15 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0006 | 十和田山根 | 八森 | 0,90 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0007 | 十和田山根 | 上内の沢 | 0.18 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0008 | 十和田山根 | 上内の沢 | 0.45 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0009 | 十和田山根 | 上内の沢 | 0.63 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0010 | 十和田山根 | 間木ノ平 | 1.08 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0011 | 十和田山根 | 柳平 | 0.45 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0012 | 十和田山根 | 家の上 | 0.45 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0013 | 十和田山根 | 堂の上 | 2.10 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0014 | 十和田山根 | 根小屋 | 7.44 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0015 | 十和田山根 | 根小屋 | 4.32 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0016 | 十和田山根 | 根小屋 | 1.32 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0017 | 十和田山根 | 野鳥沢 | 3.42 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0018 | 十和田山根 | 野鳥沢 | 0.12 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0019 | 十和田山根 | 鳶ヶ平 | 4.68 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0020 | 十和田山根 | 上砂沢 | 1.50 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0021 | 十和田大湯 | 壁堀平 | 1.20 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0022 | 十和田大湯 | 壁堀平 | 0.40 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0023 | 十和田大湯 | 壁堀平 | 0.54 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0024 | 十和田大湯 | 上内野 | 3.99 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0025 | 十和田大湯 | 五の岱 | 0.50 | 12 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0026 | 十和田大湯 | 赤川 | 0.84 | 15 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0027 | 十和田大湯 | 赤川 | 0.63 | 15 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0028 | 十和田大湯 | 赤川 | 0.96 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0029 | 十和田大湯 | 赤川 | 0.15 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0030 | 十和田大湯 | 赤川 | 1.08 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0031 | 十和田大湯 | 赤川 | 8.64 | 20 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0032 | 十和田大湯 | 行内 | 3.96 | 20 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0033 | 十和田大湯 | 大滝内沢 | 0.96 | 3 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0034 | 十和田大湯 | 熊取 | 5.04 | 20 | 3 | 〃 | |
| 〃 | 0035 | 十和田大湯 | 熊取 | 6.30 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0036 | 十和田大湯 | 熊取 | 2.70 | 3 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0037 | 十和田大湯 | 田代平 | 6.00 | 6 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0038 | 十和田大湯 | 北野 | 4.32 | 6 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0039 | 十和田大湯 | 西の森 | 3.00 | 6 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0040 | 十和田大湯 | 西の森 | 0.45 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0041 | 十和田大湯 | 西の森 | 2.40 | 3 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0042 | 十和田大湯 | 西の森 | 0.96 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0043 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.45 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0044 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.60 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0045 | 十和田大湯 | 戸倉 | 8.40 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0046 | 十和田大湯 | 戸倉 | 7.68 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0047 | 十和田大湯 | 戸倉 | 1.08 | 1 | 0 | 〃 | |

(2/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0048 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.42 | 0 | 0 | 林 | |
| 〃 | 0049 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.54 | 1 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0050 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.18 | 0 | 0 | 国 | |
| 〃 | 0051 | 十和田大湯 | 戸倉 | 0.54 | 2 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0052 | 十和田大湯 | 川嶋 | 12.00 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0053 | 十和田大湯 | 川嶋 | 10.08 | 30 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0054 | 十和田大湯 | 白山 | 1.32 | 30 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0055 | 十和田大湯 | 白山 | 0.36 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0056 | 十和田大湯 | 下折戸 | 7.20 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0057 | 十和田大湯 | 下折戸 | 0.60 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0058 | 十和田大湯 | 下折戸 | 0.63 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0059 | 十和田大湯 | 湯の沢 | 0.60 | 70 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0060 | 十和田大湯 | 和町 | 2.25 | 80 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0061 | 十和田草木 | 妻の神 | 5.25 | 50 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0062 | 十和田草木 | 芦内 | 10.50 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0063 | 十和田草木 | 川向 | 1.08 | 8 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0064 | 十和田草木 | 川向 | 1.44 | 8 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0065 | 十和田草木 | 陣場下 | 1.44 | 17 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0066 | 花輪 | 雁府 | 0.45 | 16 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0067 | 花輪 | 雁府 | 0.99 | 18 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0068 | 花輪 | ヌクラコ | 1.44 | 60 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0069 | 花輪 | 平元向平 | 0.84 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0070 | 花輪 | 折ヶ内 | 0.36 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0071 | 花輪 | 折ヶ内 | 0.96 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0072 | 花輪 | 内山 | 0.45 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0073 | 花輪 | 内山 | 0.15 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0074 | 花輪 | 内山 | 0.27 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0075 | 花輪 | 内山 | 0.12 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0076 | 花輪 | 不動沢 | 0.72 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0077 | 花輪 | 柴内山 | 3.99 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0078 | 花輪 | 水ノ目 | 0.18 | 19 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0079 | 花輪 | 水ノ目 | 0.18 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0080 | 花輪 | 蟹沢 | 1.20 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0081 | 花輪 | 大久保 | 0.36 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0082 | 花輪 | 牛沢 | 0.45 | 7 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0083 | 花輪 | 牛沢 | 3.30 | 7 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0084 | 花輪 | 横沢 | 0.33 | 11 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0085 | 花輪 | 鎌柄沢 | 1.44 | 13 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0086 | 花輪 | 百合沢 | 0.54 | 8 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0087 | 花輪 | 甘蕗 | 16.50 | 30 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0088 | 八幡平 | 森鼻 | 9.60 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0089 | 八幡平 | 清水向 | 0.48 | 19 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0090 | 八幡平 | 下館 | 0.48 | 8 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0091 | 八幡平 | 鷲の巣 | 7.20 | 50 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0092 | 八幡平 | 小豆沢 | 0.09 | 8 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0093 | 八幡平 | 尻無沢 | 0.60 | 30 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0094 | 八幡平 | 尻無沢 | 0.72 | 20 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0095 | 八幡平 | 大地平 | 2.10 | 0 | 1 | 国 | |

(3/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0096 | 八幡平 | 大地平 | 2.85 | 0 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0097 | 八幡平 | 湯瀬堰根口 | 0.58 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0098 | 八幡平 | 湯瀬堰根口 | 0.72 | 0 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0099 | 八幡平 | 湯瀬古館 | 1.98 | 5 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0100 | 八幡平 | 上山田 | 11.88 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0101 | 八幡平 | 湯瀬才田 | 0.63 | 3 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0102 | 八幡平 | 遊佐非瀬田口 | 1.35 | 80 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0103 | 八幡平 | 上山田 | 0.54 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0104 | 八幡平 | 上山田 | 0.18 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0105 | 八幡平 | 小豆沢碇 | 0.12 | 16 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0105 | 八幡平 | 山堀沢 | 1.20 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0107 | 八幡平 | 上ミ野 | 2.16 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0108 | 八幡平 | 上野 | 2.55 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0109 | 八幡平 | 上野 | 2.40 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0110 | 八舛寺 | | 0.12 | 16 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0111 | 八幡平 | 下モ上野 | 2.70 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0112 | 八幡平 | 谷内 | 1.56 | 70 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0113 | 八幡平 | 谷内 | 1.17 | 60 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0114 | 八幡平 | 上野 | 2.16 | 70 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0115 | 八幡平 | 滝の畑 | 18.00 | 70 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0116 | 八幡平 | 赤平 | 0.45 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0117 | 八幡平 | 蛇沢 | 0.84 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0118 | 八幡平 | 蛇沢 | 0.36 | 20 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0119 | 八幡平 | 蛇沢 | 1.08 | 20 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0120 | 八幡平 | 下水沢 | 0.60 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0121 | 八幡平 | 下水沢 | 6.30 | 23 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0122 | 八幡平 | 上水沢 | 2.25 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0123 | 八幡平 | 深中田 | 3.24 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0124 | 八幡平 | 切留平 | 1.20 | 5 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0125 | 八幡平 | 老沢 | 4.50 | 20 | 0 | 林 | |
| 〃 | 0126 | 八幡平 | 老沢 | 1.80 | 20 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0127 | 八幡平 | 杉谷地 | 0.96 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0128 | 八幡平 | 杉谷地 | 0.24 | 9 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0129 | 八幡平 | 杉谷地 | 5.67 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0130 | 八幡平 | 熊沢碇 | 1.95 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0131 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 0.84 | 14 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0132 | 八幡平 | 熊沢這の上 | 0.84 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0133 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 0.45 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0134 | 八幡平 | 熊沢道の上 | 0.63 | 14 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0135 | 八幡平 | 熊沢前田 | 0.36 | 20 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0136 | 八幡平 | 永田根瀬 | 0.72 | 18 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0137 | 八幡平 | 永田根瀬 | 0.24 | 12 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0138 | 八幡平 | 東の又 | 16.56 | 30 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0139 | 八幡平 | 田の沢 | 2.55 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0140 | 八幡平 | 田の沢 | 0.18 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0141 | 八幡平 | 田の沢 | 0.36 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0142 | 八幡平 | 田の沢 | 0.18 | 11 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0143 | 八幡平 | 樫内 | 0.33 | 11 | 0 | 〃 | |

(4/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0144 | 八幡平 | 上ミ沢 | 0.60 | 2 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0145 | 八幡平 | 胸替平 | 1.98 | 40 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0146 | 八幡平 | ヌカリ谷地 | 0.90 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0147 | 八幡平 | ヌカリ谷地 | 0.90 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0148 | 八幡平 | 水沢 | 3.60 | 70 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0149 | 八幡平 | 大林 | 0.18 | 10 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0150 | 八幡平 | 林の外 | 5.76 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0151 | 八幡平 | 八升地 | 0.60 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0152 | 八幡平 | 八升地 | 0.96 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0153 | 八幡平 | 八升地 | 0.45 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0154 | 八幡平 | 杉沢 | 6.24 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0155 | 八幡平 | 平尻 | 2.10 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0156 | 八幡平 | 平尻 | 0.45 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0157 | 八幡平 | 平尻 | 1.95 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0158 | 八幡平 | 平尻 | 1.35 | 40 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0159 | 八幡平 | 黒沢頭 | 1.35 | 30 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0160 | 八幡平 | 黒沢頭 | 3.42 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0161 | 八幡平 | 黒沢頭 | 1.20 | 60 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0162 | 八幡平 | 黒沢頭 | 1.08 | 60 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0163 | 八幡平 | 狢沢 | 0.30 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0164 | 八幡平 | 狢沢 | 1.35 | 60 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0165 | 八幡平 | 三の岳 | 1.32 | 50 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0166 | 八幡平 | 三の岳 | 3.30 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0167 | 八幡平 | 三の岳 | 2.10 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0168 | 尾去沢 | 西の沢 | 0.96 | 30 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0169 | 尾去沢 | 小林 | 1.80 | 50 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0170 | 尾去沢 | 上山 | 0.09 | 20 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0171 | 尾去沢 | 新堀 | 1.44 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0172 | 尾去沢 | 元山 | 0.60 | 30 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0173 | 尾去沢 | 赤沢 | 0.60 | 18 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0174 | 尾去沢 | 笹小屋 | 0.32 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0175 | 尾去沢 | 新山 | 0.45 | 30 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0176 | 尾去沢 | 寺の沢 | 0.60 | 10 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0177 | 花輪 | 水沢 | 1.50 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0178 | 花輪 | 用野目川向 | 0.12 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0179 | 花輪 | 袖越 | 1.08 | 5 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0180 | 花輪 | 曲沢 | 2.52 | 40 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0181 | 花輪 | 笹見平 | 0.12 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0182 | 花輪 | 女平 | 1.62 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0183 | 花輪 | 七長根 | 0.12 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0184 | 花輪 | 太田谷地 | 0.09 | 20 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0185 | 花輪 | 坂ノ下 | 0.09 | 40 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0186 | 花輪 | 高屋 | 0.06 | 16 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0187 | 十和田湖末広 | 戸羽ノ沢 | 0.12 | 15 | 0 | 県 | |
| 〃 | 0188 | 十和田湖末広 | 板橋 | 4.32 | 40 | 1 | 国 | |
| 〃 | 0189 | 十和田湖末広 | 紀の国平 | 0.24 | 3 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0190 | 十和田湖末広 | 紀の元 | 0.54 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0191 | 十和田湖末広 | 高井沢 | 1.35 | 50 | 2 | 〃 | |

(5/5)

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村コード | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 2094 | 0192 | 十和田湖末広 | 向平 | 0.22 | 30 | 1 | 市 | |
| 〃 | 0193 | 十和田湖末広 | 向平 | 0.36 | 30 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0194 | 十和田湖末広 | 生手沢 | 2.70 | 3 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0195 | 十和田湖末広 | 山谷 | 0.27 | 3 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0196 | 花輪 | 曲沢 | 0.30 | 17 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0197 | 花輪 | 曲沢 | 0.60 | 17 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0198 | 花輪 | 曲沢 | 0.45 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0199 | 十和田湖末広 | 山谷 | 0.15 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0200 | 十和田湖末広 | 山谷 | 0.12 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0201 | 十和田湖末広 | 十文字 | 2.73 | 50 | 2 | 〃 | |
| 〃 | 0202 | 十和田湖末広 | 長久保 | 0.45 | 0 | 1 | 林 | |
| 〃 | 0203 | 十和田湖末広 | 姥ケ平 | 8.64 | 50 | 2 | 市 | |
| 〃 | 0204 | 尾去尺 | 麦沢 | 0.60 | 13 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0205 | 尾去沢 | 尾去沢 | 5.04 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0206 | 尾去沢 | 九綱 | 0.09 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0207 | 尾去尺 | 九綱 | 0.12 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0208 | 尾去沢 | 中綱出口 | 0.21 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0209 | 尾去沢 | 一の坂 | 0.18 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0210 | 尾去沢 | 一の坂 | 1.08 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0211 | 尾去尺 | 蟹子沢 | 0.18 | 6 | 0 | 市 | |
| 〃 | 0212 | 尾去沢 | 田郡 | 0.09 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0213 | 尾去沢 | 尾去沢 | 1.08 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0214 | 尾去沢 | 吉沢出口 | 0.15 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0215 | 尾去尺 | 高畑 | 0.12 | 6 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0216 | 尾去沢 | 水沢 | 5.28 | 13 | 1 | 県 | |
| 〃 | 0217 | 尾去沢 | 中綱沢 | 0.72 | 13 | 1 | 〃 | |
| 〃 | 0218 | 尾去沢 | 板割沢 | 0.96 | 0 | 0 | 〃 | |
| 〃 | 0219 | 尾去沢 | 田綱 | 0.45 | 0 | 0 | 〃 | |

# 8－7 雪崩危険地域等一覧表

（1）東北森林管理局所管

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地区 | 署名 | 林班 | | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 | |
| 209 | 1 | 鹿角 | 60 | | | | 国 | |
| 〃 | 2 | 〃 | 40 | | | 1 | | |
| 〃 | 3 | 〃 | 47 | | | | 国 | |
| 〃 | 4 | 〃 | 75 | | | | 林 | |
| 〃 | 5 | 〃 | 106 | | | | 県 | |
| 〃 | 6 | 〃 | 106 | | | | 〃 | |
| 〃 | 7 | 〃 | 112 | | | | 〃 | |
| 〃 | 8 | 〃 | 136 | | | | 国 | |
| 〃 | 9 | 〃 | 136 | | | | 〃 | |
| 〃 | １０ | 〃 | 139 | | | | 〃 | |
| 〃 | １１ | 〃 | 139 | | | | 〃 | |
| 〃 | １２ | 〃 | 130 | | | | 県 | |
| 〃 | １３ | 〃 | 130 | | | 1 | | |
| 〃 | １４ | 〃 | 130 | | | 4 | | |

（2）県森林整備課所管

| 危険地区番号 | | 位置 | | 面積 (ha) | 地区内保全対象 | | | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村 | 地区 | 大字 | 地区名 | | 人家 | 公共施設 | 道路 | |
| 209 | 02 | 十和田大湯 | 西の森 | | | | 市道 | |
| 209 | 03 | 十和田大湯 | 田代 | | | | 市道 | |
| 209 | 04 | 十和田大湯 | 箒畑 | | 5 | | | |
| 209 | 07 | 尾去沢 | 尾去沢 | | | | 県道 | |
| 209 | 09 | 花輪 | 東山 | | | | 県道 | |
| 209 | 12 | 八幡平 | 小豆沢碇 | | | | 国道 | |
| 209 | 13 | 八幡平 | 大岩井 | | | | 国道 | |
| 209 | 14 | 八幡平 | 古館 | | | | 国道 | |
| 209 | 16 | 八幡平 | カジカ沢 | | | | 国県道 | |
| 209 | 17 | 八幡平 | 岩崎 | | | | 市道 | |
| 209 | 18 | 八幡平 | 上柳沢 | | | | 国道 | |
| 209 | 19 | 八幡平 | 蛇沢 | | | | 国道 | |
| 209 | 20 | 八幡平 | 老沢 | | | | 市道 | |
| 209 | 27 | 十和田大湯 | 黒森山 | | | | 市道 | |
| 209 | 28 | 八幡平 | 老沢 | | | | 市道 | |
| 209 | 29 | 十和田大湯 | 田屋 | | | 1 | | |

（3）県砂防課所管

(1/2)

| 箇所番号 | 箇所名 | 地区名 | 人家戸数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 箒畑 | 十和田大湯字箒畑 | 11 | |
| 2 | 堀内 | 十和田大湯字堀内 | 14 | |
| 3 | 上芦名沢１号 | 十和田山根字上芦名沢 | 9 | |
| 4 | 上芦名沢２号 | 十和田山根字上芦名沢 | 7 | |
| 5 | 熊坂 | 十和田山根字熊坂 | 11 | |
| 6 | 坂の下 | 十和田山根字下芦名沢 | 13 | |

(2/2)

| 箇所番号 | 箇所名 | 地区名 | 人家戸数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 五の岱 | 十和田大湯字五の岱 | 72 | |
| 8 | 中岱 | 十和田大湯字中岱 | 7 | |
| 9 | 大橋向 | 十和田大湯字大橋向 | 0 | |
| 10 | 湯の岱 | 十和田大湯字湯の岱 | 10 | |
| 11 | 上の湯1号 | 十和田大湯字上の湯 | 6 | |
| 12 | 上の湯2号 | 十和田大湯字上の湯 | 11 | |
| 13 | 室の沢 | 十和田大湯字室の沢 | 7 | |
| 14 | 下の湯2号 | 十和田大湯字下の湯 | 21 | |
| 15 | 下の湯1号 | 十和田大湯字下の湯 | 40 | |
| 16 | 大湯 | 十和田大湯字大湯 | 7 | |
| 17 | 腰廻 | 十和田大湯字腰廻 | 26 | |
| 18 | 関上 | 十和田大湯字関上 | 15 | |
| 19 | 蟹沢 | 十和田岡田字蟹沢 | 6 | |
| 20 | 下小路 | 十和田毛馬内字下小路 | 20 | |
| 21 | 毛馬内 | 十和田毛馬内字毛馬内 | 40 | |
| 22 | 八幡平 | 十和田瀬田石字八幡平 | 14 | |
| 23 | 申ヶ野 | 十和田錦木字申ヶ野 | 8 | |
| 24 | 根市戸 | 十和田錦木字根市戸 | 29 | |
| 25 | 石野 | 十和田末広字石野 | 16 | |
| 26 | 末広 | 十和田末広字松山 | 19 | |
| 27 | 土深井 | 十和田末広字土深井 | 5 | |
| 28 | 曲谷地 | 十和田錦木字曲谷地 | 9 | |
| 29 | 高屋 | 花輪字高屋 | 5 | |
| 30 | 高市 | 花輪字高市 | 7 | |
| 31 | 西町 | 花輪字西町 | 10 | |
| 32 | 下タ町1号 | 花輪字下タ町 | 7 | |
| 33 | 下タ町2号 | 花輪字下タ町 | 13 | |
| 34 | 花輪 | 花輪字上花輪 | 15 | |
| 35 | 上花輪 | 花輪字上花輪 | 20 | |
| 36 | 高井田 | 花輪字高井田 | 17 | |
| 37 | 新山1号 | 尾去沢字新山 | 13 | |
| 38 | 新山2号 | 尾去沢字新山 | 14 | |
| 39 | 新山3号 | 尾去沢字新山 | 33 | |
| 40 | 水晶山 | 尾去沢字水晶山 | 10 | |
| 41 | 板割沢 | 尾去沢字板割沢 | 6 | |
| 42 | 中新田 | 尾去沢字中新田 | 16 | |
| 44 | 小豆沢 | 八幡平字小豆沢 | 112 | |
| 45 | 碇 | 八幡平字碇 | 37 | |
| 46 | 湯瀬1号 | 八幡平字湯瀬古館 | 53 | |
| 47 | 湯瀬2号 | 八幡平字湯瀬湯向 | 61 | |
| 48 | 志張 | 八幡平字志張 | 0 | |
| 49 | トロコ1号 | 八幡平字トロコ | 0 | |
| 50 | トロコ2号 | 八幡平字トロコ | 0 | |
| 51 | 赤川 | 八幡平字赤川 | 0 | |
| 52 | 澄川 | 八幡平字澄川 | 0 | |
| 53 | 蒸ノ湯 | 八幡平字蒸ノ湯 | 0 | |
| 54 | 後生掛 | 八幡平字後生掛 | 0 | |

## 8－8　重要水防区域

（1） 重要水防区域評定基準

| 種　別 | 重　要　度 | | 要　注　意　区　間 |
|---|---|---|---|
| | A　水防上最も重要な区間 | B　水防上重要な区間 | |
| 堤　防　高<br>（流下能力） | 計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）が現況の堤防高を超える箇所。 | 計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。 | |
| 堤防断面 | 現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の２分の１未満の箇所。 | 現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ２分の１以上確保されている箇所。 | |
| 法崩れ・すべり | 法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が未施工の箇所。 | 法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が暫定施工の箇所。法崩れ又はすべりの実績はないが、提体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて法崩れ又はすべりが発生するおそれがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。 | |
| 漏　　水 | 漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所。 | 漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。<br>漏水の履歴がないが、破提跡又は旧川跡の堤防で、漏水が発生するおそれがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。 | |
| 水衝・洗掘 | 水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。<br>橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ、一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。<br>波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。 | 水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。 | |
| 工　作　物 | 河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。<br>橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）以下となる箇所。 | 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。 | |
| 工　事　施　工 | | | 出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本提に影響を及ぼす箇所。 |
| 新堤防・破提跡・旧川跡 | | | 新堤防で築造後３年以内の箇所。<br>破提跡又は旧川跡の箇所。 |
| 陸　　閘 | | | 陸閘が設置されている箇所。 |

（２）重要水防箇所　　（秋田県重要水防区域一覧）

| 番号 | 水系名 | 河川名 | 担当水防管理団体名 | 重要水防区域 | | | | | | 延長(m) | 特に警戒を要する延長 | | | 危険数（戸）耕地(ha) | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 左右岸の別 | 位置 | | | 評定基準 | | | 延長(m) | 予想される危険概要 | 対策水防工法 | | |
| | | | | | 市町村 | 大字 | 字 | 種別 | 基準区分 | | | | | | |
| 1 | 米代川 | 米代川 | 鹿角市 | 左右 | 鹿角 | 十和田<br>｜<br>八幡平 | 毛馬内<br>｜<br>碇 | 堤防<br>断面<br>水衝 | A | 13,000<br><br>13,000 | －<br><br>8,000 | 河川断面狭いため堤防決壊氾濫 | 木流し<br>積土俵 | 500<br>600 | |
| 2 | 〃 | 大湯川 | 〃 | 〃 | 〃 | 十和田 | 毛馬内<br>｜<br>大湯 | 水衝 | B | 10,000<br><br>10,000 | 7,000<br><br>7,000 | 護岸古く深堀が生じた場合護岸決壊 | 継ぎ<br>筵張 | 100<br>100 | |
| 3 | 〃 | 根市川 | 〃 | 〃 | 〃 | 花輪<br>｜<br>十和田 | 鶴田<br>｜<br>二本柳 | 洗掘 | 〃 | 7,000<br><br>7,000 | 2,000<br><br>2,000 | 河床低下による護岸決壊 | 〃 | 50<br>100 | |
| 4 | 〃 | 間瀬川 | 〃 | 〃 | 〃 | 花輪 | 鶴田<br>｜<br>上台 | 〃 | 〃 | 5,000<br><br>5,000 | 2,500<br><br>2,500 | 〃 | 〃 | 50<br>100 | |
| 5 | 〃 | 福士川 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 下川原<br>｜<br>鏡田 | 堤防<br>断面<br>洗掘 | 〃 | 2,500<br><br>2,500 | 500<br><br>500 | 河川断面狭さくされているため氾濫 | 積土俵 | 300<br>150 | |
| 6 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 下タ町<br>｜<br>産土神 | | 〃 | 2,000<br><br>2,000 | 2,000<br><br>2,000 | 〃 | 〃 | 300<br>150 | |
| 7 | 〃 | 黒沢川 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 玉内 | 堤防<br>断面 | 〃 | 2,000<br><br>2,000 | 500<br><br>500 | 〃 | 〃 | 5<br>20 | |
| 8 | 〃 | 夜明島川 | 〃 | 〃 | 〃 | 八幡平 | 野尻<br>｜<br>白欠 | 水衝<br>洗掘 | 〃 | 2,500<br><br>2,500 | 2,500<br><br>2,500 | 護岸古く深堀が生じた場合護岸決壊 | 木流し<br>積土俵<br>筵張 | 50<br>100 | |
| 9 | 〃 | 熊沢川 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 長嶺<br>｜<br>永田 | 水衝 | 〃 | 6,000<br><br>6,000 | 1,000<br><br>－ | 〃 | 〃 | 50<br>100 | |
| 10 | 〃 | 小坂川 | 鹿角市<br>小坂町 | 〃 | 鹿角<br>｜<br>小坂 | 十和田<br>｜<br>小坂 | 毛馬内<br>｜<br>野口 | 水衝<br>洗掘 | 〃 | 15,000<br><br>15,000 | 7,000<br><br>2,500 | 河床低下及び護岸古く深堀が生じた場合護岸決壊 | 〃 | 150<br>200 | |
| 11 | 〃 | 夏井川 | 鹿角市 | 〃 | 鹿角 | 八幡平 | 夏井 | 水衝 | 〃 | 3,000<br><br>3,000 | 1,000<br><br>1,000 | 護岸古く深堀が生じた場合護岸決壊 | 積土俵<br>継ぎ<br>筵張 | 10<br>30 | |
| 12 | 〃 | 樫内川 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 樫内 | 〃 | 〃 | 2,500<br><br>2,500 | 1,500<br><br>1,500 | 〃 | 〃 | 10<br>30 | |
| 13 | 〃 | 汁毛川 | 〃 | 〃 | 〃 | 十和田 | 毛馬内 | 水衝<br>洗掘 | 〃 | 5,000<br><br>5,000 | 2,500<br><br>2,500 | 〃 | 木流し<br>積土俵<br>筵張 | 10<br>30 | |

# 第9 災害危険区域の災害予防に関する資料

## 9－1 災害危険住宅の移転助成制度

（1） り災住宅復興助成制度

- ○ 防災のための集団移転促進事業
- ○ がけ地近接危険住宅移転事業
- ○ 秋田県災害危険住宅移転促進事業
- ○ 住宅金融公庫・災害復興建設資金

（2） 住宅移転助成制度の適用順位

助成制度の適用順位は原則として①集団移転、②がけ地近接、③県単独移転とする。

（3） 助成制度のしくみ

（4） 助成制度のしくみ

| 助 成 制 度 | 住 宅 金 融 公 庫 資 金 |
|---|---|
| ・ 防災集団移転促進事業助成金<br>離 農 238.8 万円<br>そ の 他 76.0 万円<br>利子補給 234.0 万円<br>外市町村事業費を含め一戸当たりの補助<br>基準額 1,622.6 万円<br>（国 3/4、市 1/4） | ・ 災害復興建設資金<br>（木造） 1,100 万円<br>28 年（うち据置 3 年）償還<br>（元利均等月賦償還）<br>年 利 2.3%<br>175 ㎡但旧原型まで可<br>（融資額の加算の場合）<br>土地所得額 770 万円<br>整 地 費 380 万円<br>償還期間・利子は同じ |
| ・ がけ地近接移転事業費補助金<br>建物除去 78 万円<br>（利子補給相当額）<br>土地住宅資金 352 万円<br>住宅資金 256 万円 | ・ 個人住宅特別資金<br>（木造） 760 万円<br>25 年償還<br>年利 3.0～3.3%<br>土地取得加算 340 万円 |
| ・ 秋田県災害危険住宅移転促進事業<br>貸付金 300 万円<br>７年（うち１年以内据置）償還<br>年利 3% | ・ 災害復興補修資金<br>木造 590 万円<br>20 年（うち１年以内据置）償還<br>年利 2.3% |

## 9−2 災害危険住宅の定義

洪水、雪崩、地すべり等の災害を受けるおそれのある危険区域に所在する住宅で、その判定は、おおむね次によるものとする。

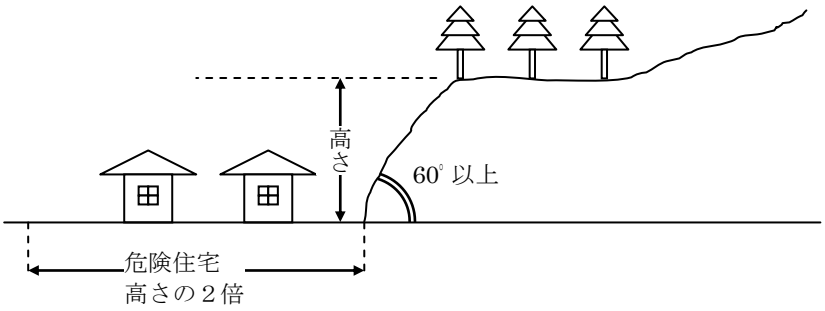
（1） 洪水、雪崩

過去に洪水又は、雪崩により被害をこうむっており、その後地形が変わっていないもの、あるいは、河川や山腹等の地形が変わって、今後洪水又は雪崩により被害をこうむる恐れのあるもの。

（2） 土砂崩れ等

① 山、がけ等の高さの倍の範囲内にある住宅で次の状態にあるもの。

(ア) がけ等の面がやわらかい岩盤の場合、つるはしなどで、簡単に岩盤が切り取れるようながけ等では、がけ等の勾配が 60° より急なもの



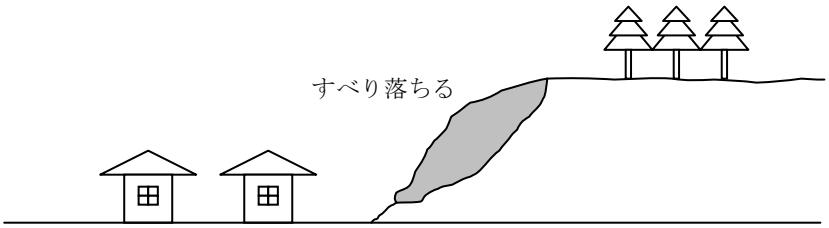

(イ) がけ等の面が長い間、雨、風の影響でぼろぼろになっている岩盤の場合、勾配が 40° 以上より急なもの

(ウ) がけ等の硬い粘土、ローム、砂利層の場合勾配が 35° 以上より急なもの

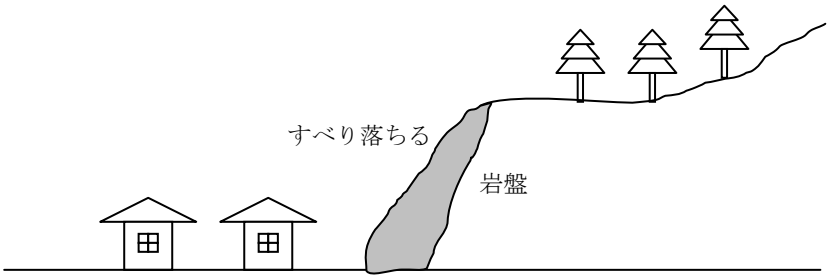
(エ) かたい赤土、砂質、真砂土の場合勾配が 30° 以上より急なもの

② 表層がすべり落ちる範囲内にある住家で、次の状態にあるもの

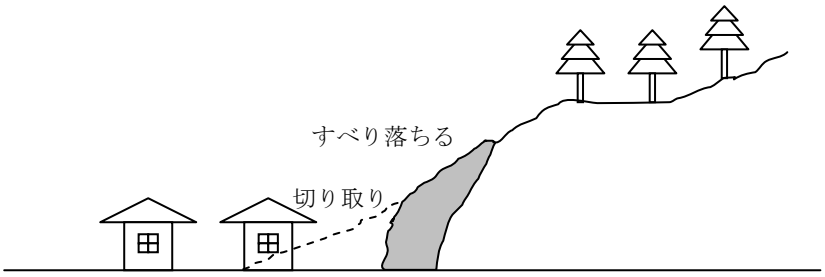
(ア) 岩盤が露出している場合




(イ) 岩盤又は不透水層の表層が雨水の浸水によってすべり落ちる場合



(ウ) 安定した斜面を人工的に切り取って斜面を不安定にした場合




（３） 地すべり

井戸水や湧水、あるいは地すべり凹地にあるため池の水が急に枯れたり、その付近の水田の水もちが悪くなったり、地すべり凹地の上のほうの急斜面に亀裂ができた区域にある住家

２ 緊急移転を要する危険住宅の定義

災害危険住宅のうちで、特に危険性が大きいもので、その判定は、おおむね次によるものとする。

（１） 洪水、雪崩

毎年１回以上洪水、あるいは、雪崩により被害をこうむっているものの、あるいは、河川や地形等の変化によって危険性が著しく大きくなったもの。

（２） 土砂崩れ、土石流

がけ等の表層が崩れてきており、被害を現にこうむっているもの、あるいは、崩壊のきざしがあり、危険性が著しく大きいもの。

（３） 地すべり

急傾斜面に亀裂が生じたり、地鳴りがしたりして、地すべりの兆候が顕著で危険性が著しく大きいもの。

（４） その他

落石、地盤沈下、高潮等により危険性が著しく大きいと認められるもの。

## 9－3 鹿角市災害危険住宅移転事業推進要綱

制定　平成 4 年 4 月 1 日

**（趣旨）**

**第１条**　この要綱は、市民の生命、身体又は財産を災害から保護するため、災害の常襲又は危険区域に所在する住宅の移転（当該住宅に代るべき住宅の建設を含む。）事業に対し、秋田県災害危険住宅移転事業推進要綱に基づき市がこれに必要な資金の一部を助成（補助金及び貸付金）することについて必要な事項を定めるものとする。

**（移転事業の助成の対象）**

**第２条**　市が資金の一部を助成できる事業は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 42 条の規定に基づく鹿角市防災計画で指定する災害危険区域内で被災の防止又は除去に有効かつ適切な工事及び措置のできない区域又は必要とする経費に対してその効果が著しく小さいため、工事及び措置ができない区域に係る住宅の移転事業で次に掲げるものとする。

(1) 災害により住宅が滅失し又は損傷したため、住宅を他に建設（購入を含む。）又は移転する事業

(2) 災害により住宅が滅失し又は損傷するおそれがあるために、住宅を他に建設（購入を含む。）又は移転する事業

**（補助金）**

**第３条**　補助は、毎年度予算の定めるところにより行うものとする。

2　補助額は、1 戸当たり移転事業費の 100 分の 50 以内とする。ただし、100 万円を超える場合は、100 万円を限度とする。

3　移転住宅が国又は県及び市の他の補助制度により移転に要する経費に対して補助金　を受けることとなる場合には、前項により交付する補助金の額から当該補助金の額を差し引くものとする。

**（移転事業の貸付）**

**第４条**　市は、第 2 条に規定する移転事業を行う者が希望する場合には、当該所要経費について、次に掲げるところにより移転促進資金（以下「移転資金」という。）を貸し付ける。

2 移転資金の貸付額は、移転住宅を自己建設するために要する経費（住宅を所得造成　及び住宅の建設に実際に要する経費）の 2 分の 1 以内とする。ただし、1 戸当たりの貸付額は 100 万円を限度とする。 3　貸付資金の貸付利率は、年 3 パーセントとする。ただし、措置期間（1 年以内）は無利子とする。

4　移転資金の貸付期間（措置期間を含む。）は、7 年とする。

5　移転資金の償還方法は、元利均等年賦償還とする。

**（補助金の申請手続）**

**第５条**　補助金の交付を受けようとする者は、災害危険住宅移転事業補助金交付申請書　に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(1) 移転又は再建設（住宅又は土地を購入する場合は、契約書又は予約を証明する書類）すべき設計図書

(2) 住民票謄本
(3) その他市長が必要と認める書類

**(決定通知)**

**第６条** 市長は、前条の申請があったときは、すみやかに審査し、補助金を交付すべきと認めたときは、申請者に対し、補助金交付決定通知書を交付するものとする。

**(変更中止等の手続)**

**第７条** 第 5 条の申請又は前条の通知後に事業を中止し、又は変更しようとするときは、直ちに市長に中止届又は変更申請書を提出しなければならない。

2 前項の変更申請書には、第 5 条第 1 号及び第 3 号に掲げる書類を添付しなければならない。

**(実績報告)**

**第８条** 補助金の決定を受けた者（以下「補助事業者」という。）は、事業が完了したときは、直ちに実績報告書を市長に提出しなければならない。

**(補助金の交付)**

**第９条** 市長は、実績報告書を受理したときは、その内容を調査し、適当と認めるときは、補助金を交付する。

**(補助金決定の取消)**

**第 10 条** 市長は、補助事業者が、次の各号の一に該当するときは、補助金交付の決定を変更又は取消しすることができる。

(1) 提出書類に虚偽の記載をしたとき。
(2) その他この要綱の規定に違反したとき。

**(補助金の返還)**

**第 11 条** 市長は、補助金交付の決定を変更又は取り消した場合において、すでに補助金が交付されているときは、期限を定めてその返還を命ずるものとする。

2 補助事業者は、前項の規定により補助金の返還を命ぜられたときは、補助金の交付を受けた日から納付の日までの日数に応じて、当該補助金の額 100 円につき 1 日 4 銭の割合で計算した加算金を市に納付しなければならない。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。

**(貸付の申請手続)**

**第 12 条** 移転資金の貸付を受けようとする者は（以下「借受人」という。）は、貸付金申込書に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(1) 工事見積書及び工事設計図
(2) 住民票抄本
(3) その他市長が認める書類

**(連帯保証人)**

**第 13 条** 借受人は、貸付を受け取るに当たって、連帯保証人 2 人を立てなければならない。

2 前項の連帯保証人は、借受人に代わり返済能力を有する者でなければならない。

3 借受人は、連帯保証人としての資格を欠くに至ったときは、遅滞なく新たに連帯保証人を立てなければならない。

4 借受人は、連帯保証人を変更しようとするときは、すみやかに連帯保証人変更届書を市長に

提出し、その許可を受けなければならない。

**（貸付の決定）**

**第 14 条** 市長は、貸付金申込書の提出を受けたときは、すみやかにこれを審査し、貸付の可否を決定し、借受人に貸付決定通知書を交付するものとする。

**（貸付金の交付）**

**第 15 条** 借受人は、前条の貸付決定通知書の交付を受けたときは、借用証書に印鑑証明書（連帯保証人を含む。）、償還年次計画書及び工事契約書又は予約を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の書類の提出を受けたときは、すみやかに貸付金を交付するものとする。

**（担保）**

**第 16 条** 移転資金の貸付を行うときは、貸付額に相当する金額以上の不動産又は有価証 券による担保を徴するものとする。

**（貸付金の償還）**

**第 17 条** 貸付金の返済は、貸付の日より 1 年据置き 6 年以内の元利均等償還とする。

2 借受人が償還期限まで貸付金の償還を行わなかったときは、償還期限の翌日から償還の日までの期限の日数に応じ、年 10.75 パーセントの割合を乗じて得た金額に相当する延滞金を徴収する。

**（繰上償還）**

**第 18 条** 市長は、借受人が移転資金を目的以外に使用したとき又は貸付条件に従わなかったときは、貸付金の全部又は一部を繰上償還させることができる。

**（補則）**

**第 19 条** この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

# 第10 消防に関する資料

## 10−1 消防車等機械器具の配備状況

### 消防車両等の配置状況

| 種　別 | 消防本部 | 消防署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 自動ポンプ自動車 | | 2 | | | 2 |
| 水槽付消防ポンプ自動車 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 化学消防ポンプ自動車 | | 1 | | | 1 |
| 救助工作車 | | 1 | | | 1 |
| 救急車 | | 2 | 1 | 1 | 4 |
| 指揮車・広報車 | 3 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 合　計 | 3 | 8 | 3 | 3 | 17 |

### 特殊機械器具配置状況（警防・救助器具 その1）

| 用途 | 保有機械器具 | 個数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 消防本部消防署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 合　計 |
| 一般救助器具 | かぎ付きはしご | 2 | | 1 | 3 |
| | 三連はしご | 4 | 1 | 1 | 6 |
| | 金属製折りたたみ梯子又はワイヤはしご | 3 | 1 | | 4 |
| | 空気式救助マット | 1 | | | 1 |
| | 救命索発射銃 | 1 | | | 1 |
| | サバイバースリング又は救助用縛帯 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| | 平担架 | 1 | | | 1 |
| 重量物排除器具 | 油圧ジャッキ | 3 | 1 | 2 | 5 |
| | 油圧スプレッター | 2 | 2 | | 4 |
| | 可搬ウィンチ | 2 | 1 | 1 | 4 |
| | マンホール救助器具 | 1 | | | 1 |
| | マット型空気ジャッキ | 3 | | | 3 |
| | 大型油圧スプレッター | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 切断断用器具 | 油圧切断機 | 2 | 1 | | 3 |
| | エンジンカッター | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | ガス溶断機 | 2 | | | 2 |
| | チェンソー | 5 | 1 | 1 | 7 |
| | 空気鋸 | 1 | 1 | | 2 |
| | 大型油圧切断機 | 4 | 1 | 1 | 6 |
| | 空気切断機 | 1 | | | 1 |
| 破壊器具 | 万能斧 | 4 | 1 | 1 | 6 |
| | 携帯用コンクリート破壊器具 | 1 | | | 1 |
| | 削岩機 | 1 | | | 1 |
| | ハンマドリル | 2 | | | 2 |
| 検知測定器 | 可燃性ガス測定器 | 1 | | | 1 |
| | 有毒ガス測定器 | 2 | | | 2 |
| | 酸素濃度測定器 | 1 | | | 1 |
| | 放射線測定器 | 7 | | | 7 |

## 特殊機械器具配置状況(警防･救助器具 その2)

| 用途 | 保有機械器具 | 個数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 消防本部消防署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 合計 |
| 呼吸保護用具 | 空気呼吸器 | 20 | 5 | 4 | 29 |
| | 空気補充用ボンベ | 2 | | | 2 |
| | 空気予備ボンベ | 38 | 7 | 7 | 52 |
| | 防毒マスク | 14 | 3 | 3 | 20 |
| | 防塵マスク | 9 | | | 9 |
| | 送排風機 | 2 | | | 2 |
| 隊員保護用器具 | 耐電手袋 | 2 | | | 2 |
| | 耐電衣 | 2 | | | 2 |
| | 耐電ズボン | 2 | | | 2 |
| | 耐電長靴 | 2 | | | 2 |
| | 防塵メガネ | 8 | 4 | | 12 |
| | 携帯警報器 | 13 | 4 | | 17 |
| | 化学防護服（陽圧式化学防護服を除く） | 5 | | | 5 |
| | 陽圧式化学防護服 | 5 | | | 5 |
| | 耐熱服 | 4 | | | 4 |
| | 個人線量計 | 16 | | | 16 |
| | 特殊ヘルメット | 2 | | | 2 |
| 除染 | 除染シャワー | 1 | | | 1 |
| | 除染剤散布機 | 2 | | | 2 |
| 水難山岳 | 救命胴衣 | 10 | 12 | 4 | 26 |
| | 救命浮環 | 2 | 1 | 1 | 4 |
| | 救命ボート | 1 | 1 | 1 | 3 |
| | バスケット担架 | 1 | | | 1 |
| その他の救助器具 | 投光器一式 | 5 | 2 | 2 | 9 |
| | 携帯投光器 | 10 | | | 10 |
| | 携帯拡声器 | 7 | 3 | 3 | 13 |
| | 応急処置用セット | 9 | 2 | 3 | 14 |
| | 緩降器 | 1 | | | 1 |
| | ロープ登降機 | 2 | | | 2 |
| | 発電機 | 7 | 2 | 3 | 12 |

## 特殊機械器具配置状況(山林火災用機材)

| 用途 | 保有機械器具 | 個数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 消防本部消防署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 合計 |
| 山林火災用 | 小型動力ポンプ | 2 | 1 | 2 | 5 |
| | 背負い式水のう | 11 | 11 | 7 | 29 |
| | 40㎜ホース | 18 | 22 | 10 | 50 |

## 化学消化剤等の保有状況

| 種　　類 | 消防本部消防署 | 十和田分署 | 小坂分署 | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|
| メガフォーム（水成膜泡） | 440（420）l | 12（4）l | 300（60）l | 752（484）l |
| ジェットフォーム（界面活性剤） | 340（340）l | | | 340（340）l |
| スノーラップ（界面活性剤） | | | 180（80）l | 180（80）l |
| AC ライト　10 kg | 53 袋 | 5 袋 | 7 袋 | 65 袋 |
| スミレイ | 7 袋 | 0 袋 | 8 袋 | 15 袋 |
| オイルブロッター | 499 枚 | 156 枚 | 154 枚 | 809 枚 |
| オイルハンター | 100 枚 | 100 枚 | 5 枚 | 205 枚 |

※（ ）内は積載保有量

# 第11 危険物等に関する資料

## 11－1 一般高圧ガス製造所及び販売所一覧表

### 一般高圧ガス第一種製造所

| 番号 | 事業所名 | 所在地 | 電話番号 | 製造ガス名 | 規　模 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ㈱柳澤鉄工所 | 花輪字六月田 28 | 23-2233 | 液化酸素<br>液化窒素 | 2.0t<br>2.9×2t | 鋼材溶断 |

## 11－2 LPガス供給所一覧表

| 番号 | 事業所名 | 所在地 | 電話番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ㈱山田商店 | 八幡平字谷内 1 | 34-2111 | 販　売 |
| 2 | 阿部毅商店㈱ | 八幡平字谷内 131 | 34-2626 | 〃 |
| 3 | 鹿角自動車整備㈱ | 八幡平字坂元 298-1 | 30-5153 | 〃 |
| 4 | ハタリキ㈱花輪販売所 | 花輪字下タ町 141 | 22-2121 | 〃 |
| 5 | 鹿角石炭販売（資） | 花輪字下花輪 43 | 22-1231 | 〃 |
| 6 | 角昌機械店㈱ | 花輪字中花輪 135 | 23-3728 | 〃 |
| 7 | 米田プロパン販売所 | 花輪字高市向 42-2 | 25-2422 | 〃 |
| 8 | ㈱山二鹿角営業所 | 花輪字下タ町 158 | 22-1088 | 〃 |
| 9 | 関安商店 | 花輪字上花輪 65 | 23-2067 | 〃 |
| 10 | ㈱アニモ | 花輪字下中島 132 | 30-3080 | 〃 |
| 11 | ㈱ナカムラ石油 | 十和田毛馬内字押出 49-2 | 35-3287 | 〃 |
| 12 | ㈱奈良ガス店 | 十和田大湯字上ノ湯 28-20 | 37-3315 | 〃 |
| 13 | ハタリキ㈱十和田販売所 | 十和田錦木字向谷地 9-1 | 35-2121 | 充填、オート、残ガス回収 |

# 第12 備蓄計画に関する資料

## 12－1 県と市町村の共同備蓄品目と備蓄すべき数量

| 区分 | 品目 | 県と市町村が備蓄すべき量 | 県分 | 鹿角市分 | 他市町村分 |
|---|---|---|---|---|---|
| 食料品等 | 主食 | 242,700 食 | 131,350 食 | 3,859 食 | 117,648 食 |
| | 主食（お粥等） | 46,800 食 | 23,400 食 | 745 食 | 22,697 食 |
| | 飲料水 | 292,400ℓ | 146,200ℓ | 4,650ℓ | 141,737ℓ |
| | 粉ミルク | 82,400g | 41,200g | 1,311g | 39,952g |
| | ほ乳瓶 | 220 本 | 110 本 | 4 本 | 117 本 |
| 防寒用品 | 毛布 | 65,000 枚 | 32,500 枚 | 1,034 枚 | 31,515 枚 |
| | 石油ストーブ | 660 台 | 330 台 | 11 台 | 330 台 |
| 衛生用品 | トイレ | 467,700 回 | 233,850 回 | 7,437 回 | 226,705 回 |
| | トイレットペーパー | 14,700 巻 | 7,350 巻 | 234 巻 | 7,135 巻 |
| | 紙おむつ（大人用） | 13,700 枚 | 6,850 枚 | 218 枚 | 6,652 枚 |
| | 紙おむつ（子供用） | 9,800 枚 | 4,900 枚 | 156 枚 | 4,760 枚 |
| | 生理用品 | 24,400 枚 | 12,200 枚 | 388 枚 | 11,837 枚 |
| 発電・照明機材 | 自家発電機 | 330 台 | 165 | 6 台 | 170 台 |
| | 投光器 | 660 台 | 330 台 | 11 台 | 330 台 |
| | コードリール | 660 台 | 330 台 | 11 台 | 330 台 |
| | 燃料タンク | 990 台 | 495 台 | 16 台 | 489 台 |
| その他 | タオル | 65,000 枚 | 32,500 枚 | 1,034 枚 | 31,515 枚 |
| | 給水タンク（袋） | 6,500 個 | 3,250 個 | 104 個 | 3,162 個 |
| | 医薬品セット | 330 個 | 165 個 | 6 個 | 170 個 |

# 12−2 防災備蓄備品整備状況

平成 26 年 3 月現在

| 備蓄備品 | 備蓄目標 | 備蓄実数 | 整備率 | 備蓄合計 | 配備状況 | | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 本庁舎 | 旧草木保育園 | 保健福祉センター | 各地区市民センター | | | | | | 柴平 | 交流センター | |
| | | | | | | | | 花輪 | 十和田 | 大湯地区 | 錦木地区 | 尾去沢 | 八幡平 | | | |
| 毛布(1箱10枚入) | 900 | 1312 | 290.22 | 1040 | 40 | | | 150 | 150 | 100 | 100 | 150 | 150 | 100 | 100 | |
| 毛布(1箱15枚入) | | | | 240 | 240 | | | | | | | | | | | |
| 毛布(1箱8枚入) | | | | 24 | 24 | | | | | | | | | | | |
| 毛布(1箱10枚入) | | | | 210 | 210 | | | | | | | | | | | |
| 毛布(1箱11枚入) | | 500 | | 286 | 286 | | | | | | | | | | | |
| 毛布(1箱10枚入) | | 200 | | 200 | 18 | 182 | | | | | | | | | | 18 枚は湯瀬へ |
| 毛布(1箱10枚入) | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| 毛布(単数) | | | | 12 | 12 | | | | | | | | | | | |
| 毛布合計 | | 2612 | | 2612 | | | | | | | | | | | | |
| タオルケット | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 暖房器具(石油ストーブ) | 9 | 96 | 1066.67 | 96 | 56 | | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 台は消防へ |
| タオル(1箱 100 枚入) | 900 | 400 | 111.11 | 400 | 400 | | | | | | | | | | | |
| 圧縮タオル | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| 圧縮バスタオル | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ(10 枚入×5 箱) | | 1000 | | 1000 | 1000 | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ(20 枚入×6 箱) | | 120 | | 120 | 120 | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ(20 枚入) | | 5120 | | 5120 | 5120 | | | | | | | | | | | H24 年度購入 |
| 和式便器用セット(20 回×8 セット) | | 160 | | 160 | 160 | | | | | | | | | | | H24 年度購入 |
| 洋式便器用セット(10 回×16 セット) | | 160 | | 160 | 160 | | | | | | | | | | | H24 年度購入 |
| 簡易トイレ(回分) | 6300 | 6560 | 104.13 | 6560 | | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ用テント | 100 | 110 | 110.00 | 110 | 110 | | | | | | | | | | | |
| 仮設トイレ(身障者用)(50回分) | 8 | 8 | 100.00 | 8 | | | | | | | | | | | | 50 回分×2 セット |
| パーソナルテント | 8 | 8 | 100.00 | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 紙おむつ(大人用)(1 袋 20 枚入り) | 180 | 600 | 333.33 | 600 | | 600 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 紙おむつ(新生児用)(88 枚入り) | 135 | 616 | 1847.41 | 616 | | 616 | | | | | | | | | | |
| 紙おむつ(幼児S)(80 枚入り) | | 640 | | 640 | | 640 | | | | | | | | | | |
| 紙おむつ(幼児M)(90 枚入り) | | 630 | | 630 | | 630 | | | | | | | | | | |
| 紙おむつ(幼児L)(76 枚入り) | | 608 | | 608 | | 608 | | | | | | | | | | |
| 紙おむつ(子供用合計) | | 2494 | | 2494 | | | | | | | | | | | | |
| 生理用品(1 袋 30 枚入り) | 360 | 600 | 166.67 | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| トイレットペーパー | 225 | 200 | 88.89 | 200 | 200 | | | | | | | | | | | |
| ポケットティッシュ | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| 肌着(男性用) | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 肌着(女性用) | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 肌着(子供用) | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 歯ブラシ(大人用) | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| 歯ブラシ(子ども用) | | 100 | | 100 | | 100 | | | | | | | | | | |
| 石けん | | 600 | | 600 | | 600 | | | | | | | | | | |
| サージカルマスク(箱数) | | 1877 | | 1877 | 1877 | | | | | | | | | | | 1 箱 50 枚入り |
| ファインフィットマスク(箱数) | | 100 | | 100 | 100 | | | | | | | | | | | |
| 光熱材料 | 100 | | | | 0 | | | | | | | | | | | |
| 安全キャンドル | 100 | 100 | 100.00 | 100 | 100 | | | | | | | | | | | |
| LED強力ライト | | 2 | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 懐中電灯(1箱12個入) | 100 | 204 | 204.00 | 204 | 204 | | | | | | | | | | | |
| LED ヘッドライト(防雨型) | | 10 | | 10 | 10 | | | | | | | | | | | 放送室保管 |
| ハロゲンライトセット | 9 | 8 | 177.78 | 14 | | | 6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 投光器 | | 8 | | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 発電機 | 4.5 | 18 | 400.00 | 18 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 蓄電池(ソーラーパネル付) | | 8 | | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ガソリン携行缶(20ﾘｯﾄﾙ) | 4.5 | 18 | 400.00 | 18 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| ガソリン缶詰(1L) | 64 | 256 | 400.00 | 256 | | | | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | |
| エンジンオイル(4L) | 8 | 8 | 100.00 | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| オイルジョッキ | 8 | 8 | 100.00 | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| じょうご | 8 | 8 | 100.00 | 8 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 灯油ポリタンク(灯油入) | 9 | 21 | 233.33 | 9 | 0 | | | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 2 | |
| 灯油ポリタンク(空) | | | | 12 | 7 | | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | |
| 防滴コードリール | 9 | 10 | 466.67 | 10 | 10 | | | | | | | | | | | |
| 屋内用コードリール | | 32 | | 32 | 0 | | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 2極変換アダプタ | 8 | 8 | 100.00 | 8 | 0 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 給水用ポリタンク(18ℓ) | 90 | 84 | 93.33 | 84 | 84 | | | | | | | | | | | |
| 給水袋(6ℓ) | | | | 100 | 100 | | | | | | | | | | | 上水道班保管 |
| 防水シート(3.6m×5.4m) | 52 | 104 | 200.00 | 104 | 104 | | | | | | | | | | | |
| 緊急畳 | 100 | 100 | 100.00 | 100 | 20 | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | |
| 災害用敷マット | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| ワンタッチパーテーション | 10 | 14 | 140.00 | 14 | 2 | | | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | |
| テント | | 3 | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | |
| 担架 | 11 | 11 | 100.00 | 11 | 5 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 軍手(1 ダース×20 組) | 500 | 720 | 144.00 | 720 | 720 | | | | | | | | | | | |
| スリッパ | | 400 | | 400 | 400 | | | | | | | | | | | |
| 長靴(27cm) | | 5 | | 5 | 5 | | | | | | | | | | | |
| 作業衣 | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 敷布 | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| メリヤス | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 湯沸かし | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 鍋 | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 荷役用ネット | | | | 0 | | | | | | | | | | | | |
| ネームストラップ | 4000 | 4000 | 100.00 | 4000 | 1800 | | | 300 | 350 | 400 | 300 | 200 | 250 | 150 | 250 | |
| 主食(健常者用)<br>30 食×135 セット | 3375 | 4060 | 120.00 | 4060 | | 4060 | | | | | | | | | | 1 箱 6 セット入り<br>期限 2006 年 |
| 主食(災害時要援護者用) | 630 | 630 | 100.00 | 630 | 630 | | | | | | | | | | | |
| 飲料水(1.5ℓ×10 本入) | 4050 | 4060 | 100.00 | 4060 | | 4060 | | | | | | | | | | |
| 粉ミルク | 1.35 | 0 | 0.00 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| ほ乳瓶 | 3.15 | 0 | 0.00 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 医薬品(救急セット20人用) | | 5 | | 5 | 5 | | | | | | | | | | | 健康増進班保管 |
| 高出力メガホン | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 放送室保管 |
| 下げ振り | | | | 5 | 5 | | | | | | | | | | | 建築班保管 |
| 水平測定器 | | | | 5 | 5 | | | | | | | | | | | 建築班保管 |
| 剣スコップ | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 軽トラ搭載 |
| 広報車用 IC レコーダー | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 総務課保管 |

# 12−3 燃料調達先一覧表

| 名　　称 | 所　在　地 | 電話番号 | 燃　料　区　分（リットル） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ガソリン | 灯油 | 重油 | 軽油 |
| ㈱アニモ花輪駅前給油所 | 花輪字下中島 122 | 23−2415 | 28,500 | 9,500 | | 19,000 |
| 大里恒三商店㈱市役所前給油所 | 花輪字小深田 282 | 23−5611 | 19,200 | 9,600 | | 9,600 |
| 大里恒三商店㈱花輪一中前給油所 | 花輪字下タ町 50 | 23−2987 | 13,000 | 9,600 | | 7,000 |
| 大里恒三商店㈱高井田給油所 | 花輪字六月田 5 | 23−2651 | 19,100 | 9,750 | 20,000 | 9,750 |
| 田口産業㈱花輪給油所 | 花輪字諏訪野 55−3 | 25−3305 | 10,074 | 9,500 | | 9,500 |
| 花輪Ｓ・Ａ上り線ガスステーション | 花輪字張渡 11−24 | 22−0851 | 20,000 | | | 10,000 |
| 花輪マルヘイ㈱ | 花輪字小坂 21−6 | 23−3666 | 40,000 | 30,000 | | 20,000 |
| 柳沢正吉商店 | 花輪字赤川端 7−4 | 25−2615 | 8,500 | | | 8,000 |
| ㈱オカモト鹿角給油所 | 花輪字高井田 61 | 30−0777 | 57,000 | 30,000 | | 9,000 |
| 奈良石油㈲ | 十和田大湯字湯ノ岱 2−52 | 37−2207 | 14,090 | 10,000 | | 6,000 |
| ㈱ナカムラ石油 | 十和田毛馬内字押出 49−2 | 35−3287 | 12,300 | 25,800 | | 9,500 |
| 大里恒三商店㈱十和田給油所 | 十和田毛馬内字上陣場 20−2 | 35−2638 | 20,700 | 10,000 | | 10,000 |
| ㈱アニモセルフ十和田給油所 | 十和田錦木字下野添 39−1 | 30−3080 | 58,000 | 10,000 | | 28,000 |
| ㈱アニモ八幡平給油所 | 八幡平字栃木川原 367 | 32−2080 | 28,800 | 45,000 | | 15,000 |

# 第13 給食、給水に関する資料

## 13−1 簡易水道、小規模水道一覧表

### 簡易水道

| 番号 | 施設名 | 経営別 | 給水人口 | 代表者氏名 | 竣工年月日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 後生掛 | 公 | 0 | 鹿角市 | S40.3 |
| 2 | 水沢 | 〃 | 288 | 〃 | S55.4 |
| 3 | 上谷内 | 組 | 126 | 斉藤正敏 | S28.4 |
| 4 | 下谷内 | 〃 | 237 | 阿部秀郎 | S36.8 |
| 5 | 上台 | 〃 | 260 | 児玉嘉一 | S36.12 |
| 6 | 長牛 | 〃 | 120 | 斉藤巖 | S50.9 |

### 小規模水道

| 番号 | 施設名 | 経営別 | 給水人口 | 代表者氏名 | 竣工年月日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 小割沢 | 組 | 58 | 斉藤貞治 | S35.4 |
| 2 | 谷内（大清水） | 〃 | 73 | 阿部隆吉 | S43.7 |
| 3 | 谷内（長花） | 〃 | 63 | 久住友勝 | S32.10 |
| 4 | 谷内（上苗代） | 〃 | 87 | 畠山敏美 | S53.8 |
| 5 | 中新田 | 〃 | 56 | 岩城勝義 | S35.4 |
| 6 | 下新田 | 〃 | 34 | 渡部寛 | S30.5 |
| 7 | 菩提野 | 〃 | 70 | 工藤茂 | S55.10 |
| 8 | 黒沢 | 〃 | 47 | 佐々木初市 | S58.10 |
| 9 | 夏井第2 | 〃 | 72 | 神田好利 | S40.4 |
| 10 | 夏井第1 | 〃 | 46 | 斉藤清好 | H15.11 |
| 11 | 玉内 | 〃 | 79 | 工藤幸一郎 | S40.5 |

## 13−2 飲料水の採水施設一覧表

| 採水箇所 | 給水量（1日） | 貯水量 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 花輪浄水場 | 4,797m³ | 4,490m³ | 尾去沢・八幡平を含む |
| 十和田浄水場 | 2,867m³ | 2,160m³ | |

## 13−3 給水機械、資材調達先

| 所有者 | ろ水機 | | 給水タンク | | 散水車 | | ドラム缶 | | ポリ容器 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 個数 | 容器 | 台数 | 容器 | 台数 | 容器 | 本数 | 容器 | 個数 | 容器 |
| 鹿角市上下水道課 | 台 | | 基<br>2<br>1 | リットル<br>2,000<br>500 | 台 | | 本 | | 個<br>30<br>100 | リットル<br>20<br>10 |

# 第14 防疫及び清掃に関する資料

## 14－1 防疫資機材および薬剤調達先一覧表

| 名　　称 | 所　　在　　地 | 電話番号 |
|---|---|---|
| 鹿角市保健センター | 花輪字下花輪 50 | 23-3313 |
| かづの農業協同組合　生産資材課 | 花輪字不動平 1-16 | 23-2491 |
| 東北ビル管財㈱鹿角営業所 | 花輪字諏訪野 92 | 25-3660 |

## 14－2 ごみ処理施設一覧表

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 処理能力 | 処理方法 |
|---|---|---|---|---|
| 鹿角ごみ処理場 | 十和田毛馬内字鹿倉崎 26 | 35-2958 | 60t/日 | 焼　却 |

## 14－3 し尿処理施設一覧表

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 処理能力 | 処理方法 |
|---|---|---|---|---|
| 鹿角し尿処理場 | 十和田毛馬内字鹿倉崎 26 | 35-4661 | 90kl/日 | |

## 14－4 し尿許可業者運搬車保有状況一覧表

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 台　数 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 鹿角衛生協業組合 | 花輪字蒼前平 6 | 23-7501 | 11 | し尿・汚泥 |

## 14－5 ごみ委託業者運搬車保有状況一覧表

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 特殊車<br>台　数 | ダンプ<br>台　数 | トラック<br>台　数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ㈲ホクセイ | 花輪字高沢 6-1 | 25-3751 | 4 | | |
| ㈲かづのクリーンサービス | 十和田山根字中ノ平 2-8 | 30-3570 | 4 | | |

## 14－6 ごみ許可業者運搬車保有状況一覧表

| 施　設　名 | 所　在　地 | 電話番号 | 特殊車<br>台　数 | ダンプ<br>台　数 | トラック<br>台　数 |
|---|---|---|---|---|---|
| ㈲ホクセイ | 花輪字高沢 6-1 | 25-3751 | 5 | 2 | 3 |
| ㈲かづのクリーンサービス | 十和田山根字中ノ平 2-8 | 30-3570 | 6 | 1 | 3 |
| 東北ビル管財㈱鹿角営業所 | 花輪字諏訪野 92 | 25-3660 | 4 | | 2 |

# 第15 文教対策に関する資料

## 15−1 国、県、市指定文化財一覧表

### 国指定文化財一覧

| 指定年月日 | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者又は管理者 |
|---|---|---|---|---|---|
| S6.8.31 | 天然記 | 秋田犬 | | 県北地方 | 秋田県 |
| S12.12.21 | 〃 | 声良鶏 | | 県北地方 | 秋田県 |
| S31.7.19 | 特史跡 | 大湯環状列石 | | 十和田大湯 | 鹿角市 |
| S51.5.4 | 重無民 | 大日堂舞楽 | | 八幡平 | 大日堂舞楽保存会 |
| H10.12.16 | 〃 | 毛馬内の盆踊 | | 十和田毛馬内 | 毛馬内盆踊保存会 |
| H18.3.27 | 建造物 | 渡部家住宅主屋 | 1棟 | 八幡平 | 個人 |
| H18.3.27 | 〃 | 渡部家土蔵 | 1棟 | 八幡平 | 個人 |
| H18.3.27 | 〃 | 渡部家住宅門 | 1棟 | 八幡平 | 個人 |
| H18.8.3 | 〃 | 関善酒店主屋 | 1棟 | 花輪 | 特定非営利活動法人関善賑わい屋敷 |
| H26.3.10 | 重無民 | 花輪祭の屋台行事 | | 花輪 | 花輪ばやし祭典委員会 |

### 県指定文化財一覧

| 指定年月日 | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者又は管理者 |
|---|---|---|---|---|---|
| S30.1.24 | 天然記 | 杉 | 1本 | 十和田大湯 | 大円寺 |
| S30.1.24 | 彫刻 | 木造弥陀三尊 | 3躯 | 花輪 | 恩徳寺 |
| S39.11.17 | 無民俗 | 大森親山獅子大権現舞 | | 尾去沢 | 大森親山獅子大権現舞保存会 |
| S41.3.22 | 有民俗 | 尾去沢鉱山資料（用具・絵図） | 79点 | 〃 | 尾去沢市民センター |
| S49.10.12 | 無民俗 | 大湯大太鼓 | | 十和田大湯 | 大湯大太鼓保存会 |
| S60.3.15 | 史跡 | 天照皇御祖神社境内の磨崖仏及び板碑 | | 八幡平 | 天照皇御祖神社 |
| S63.3.15 | 無民俗 | 花輪の町踊り | | 花輪 | 花輪町踊り保存会 |
| H2.3.20 | 彫刻 | 銅造阿弥陀如来立像 | 1躯 | 花輪 | 円福寺 |
| H5.6.18 | 無民俗 | 松館天満宮三台山獅子大権現舞 | | 八幡平 | 松館天満宮舞楽保存会 |

### 市指定文化財一覧

（1/2）

| 指定年月日 | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者又は管理者 |
|---|---|---|---|---|---|
| S49.3.19 | 有民俗 | 藍染の型紙 | 586枚 | 花輪 | 花輪図書館 |
| S49.3.19 | 〃 | 火事装束 | 4点1組 | 八幡平 | 個人 |
| S49.3.19 | 〃 | 葦名神社の絵馬 | 133点 | 十和田山根 | 葦名神社 |
| S49.3.19 | 〃 | 又鬼資料(熊槍・カンジキ・雪ベラ) | 3点 | 十和田大湯 | 個人 |
| S49.6.5 | 彫刻 | 木造千手十一面観音菩薩像 | 1躯 | 十和田毛馬内 | 誓願寺 |
| S52.2.4 | 絵画 | 親鸞聖人御絵伝 | 4幅 | 花輪 | 専正寺 |
| S52.2.4 | 〃 | 川口月嶺筆「双鶴図」 | 1幅 | 花輪 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 川口月嶺筆「鶏と牡丹」 | 1幅 | 花輪 | 個人 |
| S52.2.4 | 古文書 | 井上常鄰記諸御用留帳 | 1冊 | 花輪 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 中野家諸御用留帳 | 50冊 | 花輪 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 田中北嶺筆戊辰役図絵・スケッチ集 | 各1冊 | 十和田毛馬内 | 個人 |

(2/2)

| 指定年月日 | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者又は管理者 |
|---|---|---|---|---|---|
| S52.2.4 | 考古資 | 縄文土器 | 1点 | 十和田大湯 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 海沼家所蔵土器類 | 1式 | 尾去沢 | 個人 |
| S52.2.4 | 彫刻 | 木造三十三観音菩薩像 | 33躯 | 花輪 | 長福寺 |
| S52.2.4 | 〃 | 木造釈迦三尊 | 3躯 | 花輪 | 万松寺 |
| S52.2.4 | 〃 | 魚盤 | 1点 | 十和田大湯 | 大円寺 |
| S52.2.4 | 天然記 | シダレカツラ | 2本 | 花輪 | 鹿角市 |
| S52.2.4 | 〃 | 下川原トゲウオ生息地 | | 花輪 | 下川原自治会 |
| S52.2.4 | 〃 | シダレカツラ | 1本 | 八幡平 | 個人 |
| S52.2.4 | 無民俗 | 下川原駒踊 | | 花輪 | 下川原駒踊保存会 |
| S52.2.4 | 有民俗 | 細布織機（付　細布1巻、細布印2ｺ） | | 十和田錦木 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 又鬼用具(アマブタ) | 1点 | 十和田大湯 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 又鬼用具(熊槍・玉造り器) | 3点 | 十和田大湯 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 又鬼用具(火縄銃･鉛玉･煙硝入れ) | 5点 | 十和田大湯 | 個人 |
| S52.2.4 | 〃 | 百人一首献額 | 20枚 | 十和田毛馬内 | 月山神社 |
| S53.2.22 | 天然記 | 唐傘松（アカ松） | 1本 | 八幡平 | 湯瀬特別財産管理委員会 |
| S54.2.21 | 考古資 | 板碑 | 1基 | 八幡平 | 個人 |
| S54.2.21 | 〃 | 板碑 | 1基 | 八幡平 | 大日霊貴神社 |
| S58.7.15 | 建造物 | 月山神社本殿 | 1棟 | 十和田毛馬内 | 月山神社 |
| S58.7.15 | 天然記 | 神明社親杉 | 1本 | 十和田末広 | 神明社 |
| S61.1.16 | 彫刻 | 大徳寺金銅仏 | 1躯 | 八幡平 | 大徳寺 |
| S61.1.16 | 天然記 | 長嶺毘沙門神社の大公孫樹 | 1本 | 八幡平 | 長嶺自治会 |
| S61.1.16 | 〃 | 八幡平神社境内のミズナラ | 1本 | 八幡平 | 八幡平神社 |
| S61.1.16 | 無民俗 | 宮野平のオジナオバナ | | 十和田大湯 | 宮野平自治会 |
| S61.1.16 | 〃 | 土深井裸まいり | | 十和田末広 | 土深井自治会 |
| S61.1.16 | 〃 | 小豆沢のオジナオバナ | | 八幡平 | 小豆沢自治会 |
| S61.1.16 | 〃 | 湯瀬神明社先祓舞 | | 八幡平 | 湯瀬特別財産管理委員会 |
| S61.1.16 | 〃 | 谷内天照皇御祖神社先祓舞 | | 八幡平 | 天照皇御祖神社 |
| S61.1.16 | 〃 | 長嶺八幡神社先祓舞 | | 八幡平 | 長嶺自治会 |
| S61.1.16 | 〃 | 大里川原稲荷神社先祓舞 | | 八幡平 | 大里部落会 |
| S61.1.16 | 〃 | からめ節金山踊り | | 尾去沢 | 尾去沢からめ節保存会 |
| H1.3.24 | 史跡 | 中ノ渡り一里塚 | | 十和田大湯 | 個人 |
| H2.3.26 | 工芸 | 専正寺喚鐘 | 1口 | 花輪 | 専正寺 |
| H2.3.26 | 〃 | 花輪南館の時鐘 | 1口 | 花輪 | 長年寺 |
| H2.3.26 | 天然記 | 大欠千手観音堂の大ケヤキ | 1本 | 十和田末広 | 大欠自治会 |
| H3.3.26 | 建造物 | 旧鹿角郡公会堂 | 1棟 | 花輪 | 鹿角市 |
| H3.3.26 | 無民俗 | 川原大神楽 | | 十和田毛馬内 | 川原自治会 |
| H5.4.1 | 絵画 | 柴田春光筆「十和田路」 | 1双 | 十和田毛馬内 | 個人 |
| H6.4.1 | 有民俗 | 栗山家「古代かづの紫根染・茜染資料」（染物39点、道具37点） | | 花輪 | 個人 |
| H10.4.15 | 考古資 | 天戸森遺跡出土土器 | 4点 | 十和田大湯 | 鹿角市教育委員会 |
| H10.4.15 | 〃 | 鋒形石器(八幡平字根瀬出土) | 1点 | 十和田大湯 | 鹿角市教育委員会 |
| H10.4.15 | 〃 | 勾玉及び玉類(枯草坂古墳出土) | 39点 | 十和田大湯 | 鹿角市教育委員会 |
| H12.6.30 | 歴史資 | 奥州南部領図十郡 | 1幅 | 十和田大湯 | 個人 |
| H21.1.20 | 無民俗 | 芦名沢大太鼓 | | 十和田山根 | 芦名沢大太鼓保存会 |
| H22.3.12 | 考古資 | 大湯環状列石出土品 | 325点 | 十和田大湯 | 鹿角市教育委員会 |
| H24.5.28 | 無民俗 | 花輪ねぷた | | 花輪 | 花輪ばやし祭典委員会 |

# 第16 過去における災害に関する資料

## 16−1 鹿角市災害年表

(1/8)

| 西暦 | 年号 | 種 別 | 記 録 |
|---|---|---|---|
| 807 | 大同2年 | 噴 火 | 八幡平焼山大爆発。 |
| 1626 | 寛永3年 | 火 災 | 松館部落大火。 |
| 1652 | 承応2年 | 火 災 | 花輪の六日町大火。 |
| 1666 | 寛文6年 | 火 災 | 正月元旦、小豆沢の大日堂及び尊像全焼。 |
| 1725 | 亨保10年 | 火 災 | 7月22日、花輪大町、新町大火。 |
| 1728 | 亨保13年 | 洪 水 | 7月27日、米代川洪水、花輪用の目部落26名溺死 |
| 1745 | 延亨2年 | 火 災 | 5月6日、花輪仲小路、今泉、川原町大火。三ヶ寺(専正寺・長福寺・円徳寺)が類焼。 |
| 1751 | 宝暦元年 | 冷 害 | 鹿角郡内で大凶作、餓死者が多数出る。 |
| | | 洪 水 | 熊沢川流域8ヶ部落全戸滅ぼす。(湯坂シゴ・桂仮戸・ハツカミ沢・横欠・ヒナクボ・切留平オゾボノ沢各部落。) |
| 1755 | 宝暦5年 | 洪 水 | 5月23日～5月24日にかけ米代川大洪水に併せて大凶作のため稲の背立著しく悪く鹿角郡で餓死者が山をなした。 |
| 1756 | 宝暦6年 | 冷 害 | 大凶作により、大湯地区で 307人の餓死者がでる。 |
| 1768 | 明和5年 | 洪 水 | 大湯 大円寺、洪水により流出す。 |
| 1773 | 安永2年 | 火 災 | 小豆沢、別当寺全焼。 |
| 1777 | 安永6年 | 洪 水 | 7月8日、米代川大洪水により、稲村橋流出。 |
| 1805 | 文化2年 | 火 災 | 9月30日、毛馬内上町から出火、19軒焼失。 |
| 1824 | 文政7年 | 火 災 | 2月28日、 萱町から出火、11軒焼失。 |
| 1826 | 文政9年 | 火 災 | 3月20日、毛馬内五軒町から出火、68軒焼失。 |
| 1833 | 天保4年 | 火 災 | 2月20日、毛馬内萱町から出火、11軒焼失。 |
| | | 火 災 | 2月22日、毛馬内川原町から出火、4軒焼失。 |
| | | 火 災 | 3月12日、毛馬内川原町から出火、4軒焼失。番小屋をたて、夜回りを始める。 |
| | | 洪 水 | 6月4日、毛馬内大洪水、田圃流失。 |
| 1835 | 天保6年 | 火 災 | 2月12日、毛馬内五軒町から出火、20軒焼失。 |
| 1837 | 天保8年 | 火 災 | 5月18日、毛馬内代官所焼失。 |
| 1783 | 天明3年 | 冷 害 | 6月21日、土用中なるも雨天続きと寒さ続きで(綿入れ着物を着用)大凶作となり餓死者多数出る |
| | | 火 災 | 12月1日、花輪横丁大火(丁内半分焼失)。 |
| 1784 | 天明4年 | 火 災 | 4月12日、花輪六日町及び谷地田町大火。西側34棟全焼。 |
| 1785 | 天明5年 | 冷 害 | 大凶作により、 514人の餓死者がでる。 |
| 1868 | 明治元年 | 噴 火 | 八幡平焼山で噴火。 |
| 1878 | 明治11年 | 洪 水 | 6月1日、大湯村で大雷雨を伴い大湯川氾濫し付近一面が湖と化す。 |
| 1885 | 明治18年 | 洪 水 | 大湯川、腰廻付近堤防決壊し、大被害が出ると共に死者2名出る。 |
| 1886 | 明治19年 | 火 災 | 湯瀬村大火。 |
| 1887 | 明治20年 | 噴 火 | 八幡平焼山で噴火。 |
| 1887 | 明治20年 | 火 災 | 花輪大町7棟焼失。 |
| 1891 | 明治24年 | 火 災 | 3月30日、花輪町沢口大火で、花輪館に飛火し類焼した。(現在の花輪小学校) |
| 1896 | 明治29年 | 地 震 | 8月31日、仙北郡を震源地とする震度7.5 の地震が発生し、被害多数出る。 |
| 1898 | 明治31年 | 事 故 | 7月6日、大湯小学校の2階で幻燈会の最中、2階が抜け落ち負傷者多数出る。 |
| | | 火 災 | 5月1日、尾去沢村赤沢(水晶山)で12棟全焼す。 |
| | | 火 災 | 7月13日、花輪町恩徳寺怪火により焼失。 |
| 1899 | 明治32年 | 火 災 | 4月18日、柴内で大火、27棟全焼。 |
| | | 洪 水 | 6月20日、大湯寺の沢が出水し、中の橋流失。 |
| | | 火 災 | 7月12日、郡役所火元で花輪町横町大火、14棟全焼。(現在の鹿角市立花輪第一保育園) |
| 1901 | 明治34年 | 火 災 | 12月24日、大湯小学校1棟全焼。 |
| | | 地 震 | 8月5日、八戸近海で、M7､7 の地震があり、小坂鉱山大煙突が崩れる。 |

(2/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 1902 | 明治 35 年 | 落　　盤 | 尾去沢鉱山で落盤事故発生し、15 名の惨死が出る |
| 1903 | 明治 36 年 | 洪　　水 | 7月 20 日、花輪町で大雨により福士川氾濫し、袋丁・組丁・横丁で大被害が出る。 |
| 1905 | 明治 38 年 | 火　　災 | 5月 27 日、花輪町で大火、新田町・舟場。六日町谷地田町に類焼し、長年寺角で鎮火する。(住家 137 棟、土蔵・小屋 70 棟、合計 207 棟全焼す。) |
| | | 火　　災 | 大湯村で大火、中町で 70 棟焼失。 |
| 1906 | 明治 39 年 | 火　　災 | 6月 22 日、大湯村で大火、中町で 52 棟焼失。(大湯村役場も類焼。) |
| 1909 | 明治 42 年 | 火　　災 | 4月 26 日、大湯村で大火、川原ノ湯上町で 57 棟焼失。 |
| | | 火　　災 | 10 月、大湯不老倉鉱山で大火、長屋8棟 37 戸焼失 |
| 1914 | 大 正 3 年 | 洪　　水 | 7月 31 日、大湯川氾濫し、大和橋流出す。又、上ノ湯より川原ノ湯一帯が湖と化す。 |
| | | 強　　風 | 11 月4日、花輪尋常高等小学校新築中に施風で全倒壊。(1日に上棟式を上げた。長さ 40 間. 奥行4間半総2階造1棟) |
| 1916 | 大 正 5 年 | 火　　災 | 12 月 28 日、尾去沢尾去部落の長泉寺全焼。 |
| | | 火　　災 | 尾去沢鉱山選鉱場火災。 |
| | | 火　　災 | 1月 21 日、大湯村役場1棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 10 月5日、宮川村立宮麓小学校1棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 12 月 12 日、尾去沢笹小屋で庵寺外5棟焼失。 |
| 1919 | 大 正 8 年 | 火　　災 | 花輪町組丁より出火、11 棟焼失。 |
| 1921 | 大正 10 年 | 洪　　水 | 6月 11 日、夜明島川氾濫、松谷耕地整理大被害。 |
| | | 事　　故 | 6月 14 日、土深井鉱山の鉱毒流水のため、田圃 20 町歩被害が出る。 |
| 1930 | 昭 和 5 年 | 火　　災 | 錦木村土深井部落で 12 棟焼失。 |
| 1935 | 昭和 10 年 | 火　　災 | 4月9日、毛馬内萱町より出火、住家 36 棟、非住家 10 棟、合計 46 棟全焼。(川原の大火) |
| | | 洪　　水 | 8月、小坂川氾濫し大洪水となり、大被害が出る。 |
| 1935 | 昭和 10 年 | 決　　壊 | 8月 24 日、尾去沢鉱山用水取入口堤防決壊し、住家 12 棟流出し、全半壊住家 35 棟、合計 35 棟に被害が出る。又、田圃 135 町歩、畑2町歩流出。 |
| 1936 | 昭和 11 年 | ダ ム 決 壊 | 11 月 20 日、3時 40 分頃尾去沢鉱山中沢ダム決壊し、中沢・春木沢・瓜畑・笹小屋・新堀・新山・下モ平・蟹沢・西道口の9部落を流出し、死者 374 名、住家、非住家合わせて 310 棟流失。 |
| 1947 | 昭和 22 年 | 火　　災 | 3月 18 日、花輪町旭町の製材所の火災にて、延焼防止活動中、倒壊した建物の下敷きとなり死者4名、重軽傷者 30 名を出す。 |
| | | 洪　　水 | 8月4日、米代川大洪水となり堤防決壊 40 ケ所余、住家流失2棟、床上浸水多数、道路決壊、土砂崩多数の大被害。田畑の流失 23 町歩余、冠水耕地 60 町歩余の大被害が出る。(死亡者あり) |
| 1949 | 昭和 24 年 | 火　　災 | 3月 21 日、大湯小学校1棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 10 月2日、花輪駅機関区1棟全焼す。原因はストーブから飛び火。損害額 1,156 千円。 |
| | | 噴　　火 | 八幡平焼山爆発。泥流、火山灰を噴出す。 |
| | | 火　　災 | 11 月8日、宮川村小豆沢、大日堂神社全焼。原因は浮浪者が寒さしのぎの為、神社床下で暖をとったものによる。 |
| 1950 | 昭和 25 年 | 火　　災 | 柴平東町で大火、住家. 非住家 23 棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 花輪町川原町で6棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 尾去沢鉱山資材倉庫7棟全焼。 |
| | | 噴　　火 | 八幡平焼山で爆発。この噴火により泥土が熊沢川に流入し水田に大被害、曙村荒町、三ヶ田、大久保周辺の田圃 100 町歩堆積す。 |
| 1951 | 昭和 26 年 | 火　　災 | 1月 15 日、花輪町旭町で、住家2棟、非住家1棟合計3棟全焼。原因は子供の火遊び。 |
| | | 火　　災 | 3月柴平農協事務室から出火、132 坪全焼、米倉庫半焼、米 2000 俵焼失。 |

(3/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 1951 | 昭和 26 年 | 水　　害 | 7月 21 日、大湯川堤防決壊。民家7戸流失す。21 日降りだした雨で各河川が増水し、崖崩れ、道路決壊が続出した。中でも下の湯、川原の湯の被害が多く、床上浸水 260 棟、床下浸水 781 棟、田畑の流出 30 町歩、冠水 300 町歩、柴平以北橋梁破損流失 12 ケ所。 |
| | | 交 通 事 故 | 9月6日、第三回鹿角郡消防連合訓練大会(小坂町営グランド開催)出場途上小坂町白岩地区において毛馬内第3分団手引動力ポンプ1台と毛馬内第5分団腕用ポンプ1台(合計2台)積載の国鉄トラックが転落し乗車中の消防団員 17 名が振り落とされ死傷者を出す。(死者1名、重軽傷者 17 名) |
| | | 噴　　火 | 3月八幡平焼山で一部爆発。 |
| | | 山 林 火 災 | 花輪大久保天皇陛下記念造林地 15 町歩焼失。 |
| 1952 | 昭和 27 年 | 火　　災 | 花輪町用ノ目部落で、住家3棟・非住家2棟・合計5棟全焼。原因はストーブの火の不始末。損害額 5,340 千円。 |
| 1953 | 昭和 28 年 | 火　　災 | 花輪駅で、客車1両と待合室1棟全焼。損害額 2,250 千円。 |
| | | 火　　災 | 5月、柴平村小平で、住家3棟、非住家4棟全焼 |
| | | 火　　災 | 5月、毛馬内町高田で、住家8棟焼失。 |
| | | 火　　災 | 5月、大湯銚子発電所住宅5棟全焼。 |
| 1954 | 昭和 29 年 | 火　　災 | 花輪町新町で、放火により住家4棟全焼。損害額 7,480 千円。 |
| | | 火　　災 | 花輪町狐平で、製材所1棟、住家1棟焼失。 |
| | | 火　　災 | 柴平村鶴田高杉製材所 120 坪、材木その他資材焼失。損害額 5,000 千円。 |
| | | 落　　雷 | 9月 12 日、曙村杉山部落で落雷により、住家3棟・非住家2棟・合計5棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 12 月 19 日、尾去沢町下モ平で住家4棟・非住家1棟全焼。原因はオンドル過熱。 |
| | | 火　　災 | 12 月尾去沢町蟹沢で、バラック建長屋1棟(5世帯)焼失。 |
| | | 火　　災 | 宮川村小豆沢で、住家3棟、非住家4棟全焼。 |
| 1955 | 昭和 30 年 | 火　　災 | 7月 18 日、大湯川原ノ湯で住家6棟全焼。原因は煙草の不始末。 |
| | | 火　　災 | 8月 13 日、毛馬内高田で住家3棟・非住家1棟・合計4棟全焼。原因は風呂場残火。 |
| | | 火　　災 | 8月、十和田町錦木字申ケ野で住家9棟、非住家4棟計 13 棟全焼。損害額 1044 万円被災者 71 名。 |
| | | 水　　害 | 6月、八幡平村で水害が発生し、堤防決壊多数、床上浸水も多数出る。 |
| | | 火　　災 | 花輪町久保田で8棟全焼。 |
| | | 火　　災 | 大湯にて製材工場火災、工場と住家2棟8世帯焼失。損害 5,000 千円。 |
| 1956 | 昭和 31 年 | 火　　災 | 4月、十和田山根で山火事、民有林 103 町歩焼失。損害 7,000 千円。 |
| | | 山 林 火 災 | 5月 21 日、尾去沢十文字の山林から出火、花輪花軒田にかけて国有林、民有林 10 町歩焼失、原因は山採取りの煙草火の不始末。 |
| | | 水　　害 | 7月 23 日、花輪町 120 ﾐﾘ八幡平 200 ﾐﾘの豪雨になる。このため銭川温泉、玉川、両国両鉱山住宅2棟全壊す。夏井橋、長嶺橋、夜明島橋、水沢橋等熊沢川全橋 10 ケ所流失、栃木川原、赤淵等護岸決壊、水田 10 町歩以上冠水被害、長牛橋、用野目橋高屋橋が損傷、損害額 30,000 千円以上。 |
| 1957 | 昭和 32 年 | 山 林 火 災 | 十和田町崩森国有林で、山林火災発生、焼失面積8ha。 |
| 1958 | 昭和 33 年 | 火　　災 | 2月9日、十和田町毛馬内仁痩寺全焼、原因はコタツの火の不始末。 |
| 1958 | 昭和 33 年 | 火　　災 | 3月 24 日、八幡平村大里部落(上村)で、住家6棟・非住家7棟全焼。原因はコタツの残り火。 |
| | | 火　　災 | 4月5日、花輪町鶴田部落で、住家2棟・非住家2棟・合計4棟全焼。原因は七輪の残り火。 |
| 1959 | 昭和 34 年 | 火　　災 | 12 月 12 日、放火により花輪町小坂で、住家1棟全焼。 |
| 1960 | 昭和 35 年 | 火　　災 | 錦木申ケ野で大火。8棟全焼。 |

(4/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 1961 | 昭和 36 年 | 火　　災 | 4月3日、花輪町柴内高市部落で、住家2棟・非住家1棟全焼。死者1名。原因はコタツの不始末。損害額 1,383 千円。 |
| | | 火　　災 | 5月5日、八幡平村字蛇沢で、住家3棟非住家2棟全焼。原因は風呂場の残り火の不始末。 |
| | | 火　　災 | 5月 24 日、6月5日、連続放火により、花輪町小深田部落で火災(ボヤ)発生。 |
| | | 山林火災 | 5月 25 日、花輪町雁府で、山林火災発生。焼失面積 4.5ha 。 |
| | | 火　　災 | 5月 25 日、八幡平湯瀬、ユゼホテル本館食堂炊事場プロパンガス配管工事中ガス漏れによる爆発火災、1名死亡、5名重軽火傷。 |
| | | 火　　災 | 3月 20 日、花輪町新町で、住家2棟・工場1棟全焼。負傷者5名。原因は工場の灯油カマド。損害額 7,749 千円。 |
| 1961 | 昭和 36 年 | 洪　　水 | 4月4日、異常高温で春最高の雪解けと、暖風に豪雨が降ったため、花輪町用の目橋流失、若木立橋流失、狐平、下川原護岸決壊、八幡平村赤淵水田合計 40ha が冠水、合計損害額4千数百万円。 |
| | | 火　　災 | 8月 10 日、花輪町東山で、住家1棟・非住家2棟合計3棟全焼。原因は子供の火遊び。損害額 1,029 千円。 |
| 1962 | 昭和 37 年 | 山林火災 | 5月 12 日、大湯中滝で野火が 12 日から 14 日夜迄続き、4000ha焼失。 |
| | | 山林火災 | 5月 14 日、柴平村柴内で、野火が国有林5ha焼失。 |
| | | 火　　災 | 5月 17 日、尾去沢鉱山で、住家6棟全焼。 |
| 1963 | 昭和 38 年 | 火　　災 | 1月 11 日、十和田町大湯上町で、住家4棟全焼。原因はストーブの不始末。 |
| 1965 | 昭和 40 年 | 火　　災 | 2月、花輪町高屋で住家2棟、非住家1棟半焼、鶏 2000 羽、ヒナ鳥 13000 羽焼死。 |
| | | 山林火災 | 5月、大曲水無沢町有林 50ha 焼失。 |
| | | 火　　災 | 5月 25 日、連続放火により、花輪町舟場で住家1棟全焼、住家・非住家3棟半焼。負傷者1名。損害額 3,299 千円。 |
| | | 火　　災 | 6月 13 日、連続放火により、花輪町舟場で住家1棟全焼、住家・非住家4棟半焼。損害額 1,034 千円。 |
| 1965 | 昭和 40 年 | 火　　災 | 7月 10 日、連続放火により、花輪町立花輪第1中学校々舎2棟全焼。焼失面積 1,848 平方メートル損害額 17,000 千円。 |
| | | 台　　風 | 能代沖を通過した台風 23 号は、風速 20 メートルの強風により、稲の倒伏 45ha、果樹の落下2万箱、被害額 4000 万円。 |
| | | 火　　災 | 11 月 10 日、花輪町中町で、住家3棟全焼。住家2棟半焼。原因は風呂場の火の不始末。損害額 12,131 千円。 |
| 1966 | 昭和 41 年 | 火　　災 | 5月 23 日、花輪町谷地田町で、住家2棟・非住家1棟全焼。住家・非住家6棟半焼・合計8棟焼失死者1名。原因は風呂場のバーナー。損害額 3,389 千円。 |
| | | 火　　災 | 9月6日、花輪町立柴内小学校々舎1棟全焼。焼失面積 2,450 平方メートル。原因はカマドの煙突の破損。損害額 19,453 千円。 |
| | | 落　　雷 | 10 月 17 日、花輪町下タ町で、乾燥中の稲ハサに落雷し焼失。損害額 59 千円。 |
| 1967 | 昭和 42 年 | 火　　災 | 3月 24 日、花輪町下タ町で、整備工場火災(14 時 17 分頃)。焼死者3名。原因は、酸素溶接バーナーが、漏れたガソリンに引火。 |
| | | 火　　災 | 十和田浜田で住家1棟、金田一製材製品倉庫 185.6 ㎡全焼。損害額 250 万円、原因は煉炭火の不始末。 |
| | | 火　　災 | 5月 31 日、花輪町花軒田部落で住家3棟・非住家1棟・合計4棟全焼。原因は、煙草火。損害額 5,232 千円。 |
| | | 火　　災 | 10 月、花輪鶴田で、製材工場 330 ㎡1棟、住家 85 ㎡1棟全焼。原因はストーブの煙突の飛火。 |
| | | 火　　災 | 10 月、八幡平村大里で、住家1棟、非住家1棟全焼す。原因はアイロンの消し忘れ。 |
| | | 火　　災 | 十和田町大湯川原の湯でアパート火災。1棟 171.6 ㎡(6世帯)全焼。損害額 400 万円、原因は煙草の不始末。 |
| | | 火　　災 | 尾去沢町尾去で、鶏舎と作業小屋 396 ㎡全焼、鶏 300 羽、豚2頭焼死、原因は保温箱の過熱。 |

(5/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 1968 | 昭和 43 年 | 火　　災 | 2月 19 日、花輪町舟場で住家2棟全焼・住家2棟半焼・合計4棟焼失。この火災現場で、消火活動中の消防職員1名が殉職する。原因は、石油ストーブ。損害額　8,504 千円。 |
| | | 火　　災 | 八幡平村黒沢で住家1棟、非住家3棟全焼。損害額 400　万円、原因はごみ焼の飛び火。 |
| | | 地　　震 | 5月 16 日9時 50 分頃、北海道十勝沖を震源地として地震が発生し、秋田震度4を記録し当鹿角地区で1日に数十回の予震が1週間程度続く。又、花輪町の大堰水路の水が横揺れし川から道路に水が飛散る。又、花輪小学校をはじめ住家の一部破損及び土蔵等の壁が崩れるなどの破損が続出する。 |
| | | 火　　災 | 8月3日、尾去沢下モ平で住家7棟・非住家1棟・合計8棟全焼。原因は、寝煙草。損害額　29,750 千円。 |
| 1969 | 昭和 44 年 | 火　　災 | 4月 24 日、花輪町大町で6世帯全半焼。原因は煙草火の不始末。 |
| | | 山 林 火 災 | 5月4日、花輪町甘露の山林 15ha 焼失。 |
| | | 〃 | 5月7日、尾去沢町水晶山国有林植樹祭記念造林地2ha 焼失。 |
| | | 火　　災 | 花輪町横町で、3棟全半焼す。損害額 1500 万円、原因は、風呂釜の薪の不始末。 |
| | | 交 通 事 故 | 8月 15 日、花輪町新町の火災(ボヤ)にオートバイで現場に駆け付け途中、自家用車と接触し消防団員1名殉職する。 |
| | | 火　　災 | 10 月 11 日、花輪町東山で養畜舎1棟全焼し、焼死者2名負傷者1名を出す。又牛の焼死数 10 頭出す原因は、風呂場のボイラー。損害額　7,063　千円。 |
| | | 火　　災 | 10 月 23 日、尾去沢町西道口で住家1棟・非住家2棟・合計3棟全焼す。原因は、カマド火の不始末。損害額　1,510　千円。 |
| 1970 | 昭和 45 年 | 火　　災 | 9月 16 日、花輪町新町の醤油味噌醸造業、株式会社浅利佐助商店の麦乾燥室の過熱から出火、工場倉庫併せて 3260 ㎡全焼。損害額は1億円。 |
| | | 火　　災 | 11 月 24 日、花輪町谷地田町下駄製販売業、杉江清蔵方工場から出火、5棟 1150 ㎡全焼。 |
| 1971 | 昭和 46 年 | 火　　災 | 5月 29 日、毛馬内字下陣場で製材所(370m2 )1棟・住家2棟・非住家2棟・合計5棟全焼す。原因は、ゴミ焼却の飛火。 |
| 1972 | 昭和 47 年 | 水　　害 | 7月8日～9日にかけ大雨のため道路決壊 21 ケ所余り、堤防決壊 15 ケ所余り、田畑の流失等出る。又毛馬内下高田橋流失。 |
| 1973 | 昭和 48 年 | 火　　災 | 1月 30 日、八幡平松館部落で住家2棟全焼、又住家1棟・非住家2棟半焼・合計5棟焼失す。原因は、コタツの残火。損害額　2,583　千円。 |
| 1974 | 昭和 49 年 | 大　　雪 | 2月3日、前日からの大雪で八幡平地区で住家2棟全壊・半壊8棟・一部破損多数出る。 |
| | | 交 通 事 故 | 11 月 10 日、秋季防火週間初日花輪地区消防団で不時演習に出動途上、国道 282 号線の信号機のある交差点で大型トラックと衝突し、消防車は右側店舗に突っ込み、大型トラックは左側店舗に突っ込む。この時消防車に乗車中の 13 名は車より振り落とされ死傷者を出す。(死者3名・重傷者3名・軽傷者7名を出す。) |
| 1975 | 昭和 50 年 | 落　　盤 | 5月、花輪鉱山で落盤事故発生し、1名死亡。 |
| | | 火　　災 | 6月 10 日、花輪町古館で工場2棟・非住家1棟全焼・非住家1棟半焼、合計4棟焼失。原因は、モーターの過熱。損害額　4,700　千円。 |
| 1976 | 昭和 51 年 | 火　　災 | 2月 15 日、大湯上の湯で旅館1棟(739　m2 )　全焼し、負傷者3名を出す。原因は、石油ストーブ。損害額　8,644　千円。(自動火災報知設備の警報ベルが作動したのに無視しベル停止したもの。) |
| | | 落　　盤 | 8月、尾去沢鉱山で落盤事故発生し、2名の死傷者を出す。 |
| 1977 | 昭和 52 年 | 火　　災 | 2月6日、旧毛馬内小学校々舎1棟全焼す。負傷者(団員)3名を出す。焼失面積 2,646 ㎡ 。原因は、焚火の不始末。損害額　6,453　千円。 |
| 1977 | 昭和 52 年 | 火　　災 | 4月 22 日、八幡平谷内部落で非住家5棟全焼す。原因は、子供の火遊び。損害額 3,897　千円。 |
| | | 火　　災 | 6月4日、花輪旭町で工場2棟全焼・住家2棟非住家2棟・合計6棟焼失す。原因は、木工乾燥機損害額　12,496 千円。 |

(6/8)

| 西暦 | 年号 | 種別 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1978 | 昭和 53 年 | 火災 | 3月9日、花輪柴内の不動尊神社1棟全焼す。原因は参拝者の焚火の不始末。 |
| | | 火災 | 4月 23 日、八幡平碇で住家2棟全焼・1棟半焼・合計3棟焼失す。消防職員1名負傷。原因は、プロパンガスコンロの消し忘れ。損害額 82,841 千円。 |
| | | 火災 | 9月 22 日、鉛山鉱山 ( 株 )大湯破砕場1棟全焼す。団員1名負傷。焼失面積643m、損害額 8,964 千円。原因は、硫火鉱の自然発火。 |
| 1979 | 昭和 54 年 | 大雨 | 3月 31 日、鹿角市全域暴風雨にみまわれ、土木施設 33 件、農林水産施設 26 件、文化施設 11 件、建物の破損 80 棟余りの大被害が発生する。 |
| | | 落雷 | 5月3日、十和田岡田中野で落雷により住家1棟全焼。損害額 980 千円。 |
| | | 山火事 | 5月6日、十和田毛馬内山根地区で山林火災発生。焼失面積 2,396 a、損害額 18,574 千円。 |
| 1980 | 昭和 55 年 | 大雨 | 4月6日、鹿角市全域に大雨及び融雪により、堤防決壊 25 件、道路決壊3件、家屋の一部破損2件、田圃の流出3町歩の被害が出る。 |
| | | 火災 | 6月 12 日、尾去沢鉱山( 株) で選鉱所の一部焼失。焼失面積 1,342 ㎡、損害額 442 千円、原因は酸素アセチレンガスの溶断火花。 |
| 1981 | 昭和 56 年 | 火災 | 6月 12 日、花輪旭町で住家半焼し、死者1名、負傷者1名が出る。損害額 4,294 千円。原因は、灯油による自損行為。 |
| | | 台風 | 8月 23 日、台風 15 号により、家屋全壊 15 棟・半壊 10 棟・一部破損 100 件以上の被害が出る。 |
| 1983 | 昭和 58 年 | 地震 | 日本海中部地震で当鹿角市にて震度4を記録する。1日に数回の余震が続き住家・水田・道路等に被害が出る。被害額2億円(5月 26 日) |
| | | 車両火災 | 10 月9日、早朝鹿角市花輪東山国有林地内で乗用車が焼失し、車内から親子4人の焼死者がでる。この外、自損行為で1名、5月4日の車両火災で1名の計6名の焼死者がでる。 |
| 1984 | 昭和 59 年 | 火災 | 4月 20 日、花輪字葉ノ木谷地で住家全焼。死者1名。損害額 15,245 千円。 |
| | | 火災 | 5月 10 日、十和田毛馬内字三の丸で住家全焼。死者1名。損害額 2,008 千円。原因は、豆炭コタツの不始末。 |
| | | 火災 | 5月 14 日、花輪字諏訪野で住家部分焼。死者1名損害額 260 千円。原因は、灯油による自損行為 |
| | | 火災 | 6月5日、花輪字上中島で放火により住家半焼。死者1名。損害額 589 千円。 |
| | | 火災 | 6月 18 日、八幡平字谷内で延命寺 826 ㎡ 、林野7a全焼。損害額 64,476 千円。 |
| 1985 | 昭和 60 年 | 火災 | 7月 17 日、八幡平字湯瀬で住家全焼。死者2名、損害額 2,344 千円。原因は、調査中。 |
| 1986 | 昭和 61 年 | 水害 | 8月5日、台風 10 号豪雨により河川が増水し、床下浸水住家2棟・非住家1棟・工場及び事務所各1棟の被害が出る。通算雨量 103.5 ㍉ |
| 1987 | 昭和 62 年 | 火災 | 2月6日、尾去沢字下モ平で放火自殺により、住家1棟全焼。死者1名、損害額 3,794 千円。 |
| 1988 | 昭和 63 年 | 高速交通事故 | 1月 31 日、東北自動車道上り線 588KP 付近において、普通乗用車に普通ﾄﾗｯｸ追突、3名重軽傷。内1名は五の宮橋から約 14m下へ転落。 |
| 1988 | 昭和 63 年 | 火災 | 5月8日、十和田大湯字川原の湯で、住家非住家計2棟全焼。損害額 46,090 千円。原因は電灯コードの短絡。 |
| 1988 | 昭和 63 年 | 火災 | 7月 31 日、花輪字合ノ野、竹中被服花輪工場全焼。損害額 29,329 千円。原因は不明。 |
| | | 火災 | 9月 22 日、十和田毛馬内字中台地で住家部分焼。死者1名、損害額 297 千円。原因は煙草の不始末 |
| 1989 | 平成元年 | 火災 | 5月 26 日、花輪案内で住家2棟・非住家1棟全焼。焼失面積191㎡、損害額 9,390 千円。ガスコンロの消し忘れ。 |
| 1990 | 平成 2 年 | 火災 | 1月 13 日、花輪長野地内で住家1棟全焼。死者1名、消火活動で職員1名負傷、焼失面積 432 ㎡、損害額 5,020 千円 |
| | | 火災 | 4月9日、八幡平玉内地内で放火焼身自殺、死者1名 |
| | | 火災 | 12 月 28 日、花輪下タ町地内で住家1棟全焼、延焼により店舗併用住宅1棟半焼。死者1名、焼失面積 269 ㎡、損害額 10,410 千円。 |

(7/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 1991 | 平成3年 | 風　　害 | 9月28日、台風19号による暴風により市内全域で大きな被害を受ける。重傷1名、軽傷12名。住家被害918棟など、被害総額4,890,442千円 |
| | | 火　　災 | 11月20日、尾去沢中沢地内で住家(円通寺)1棟全焼。死者1名、焼失面積513㎡、損害額68,067千円、原因不明。 |
| 1993 | 平成5年 | 火　　災 | 12月21日、十和田錦木山谷地内で住家1棟全焼。死者1名、焼失面積162㎡、損害額9,026千円。石油ストーブに置いた豆炭の取扱不注意。 |
| 1994 | 平成6年 | 火　　災 | 4月16日、十和田大湯狐崎地内で住家1棟全焼。死者1名、焼失面積215㎡、損害額8,153千円。反射式石油ストーブの取扱不注意。 |
| | | 火　　災 | 10月27日、花輪荒屋敷地内で住家2棟全焼。死者1名、焼失面積295㎡、損害額11,589千円。原因不明。 |
| 1996 | 平成8年 | 火　　災 | 1月20日、花輪新田町地内で住家1棟小火。死者1名。損害物:ベッド、布団。寝タバコの不始末。 |
| | | 火　　災 | 10月12日、八幡平湯瀬一羽根地内で非住家1棟全焼、延焼により、住家1棟全焼。焼失面積260㎡、損害額6,082千円。乾燥機の整備不良。 |
| 1997 | 平成9年 | 土砂災害 | 5月11日、八幡平熊沢国有林澄川温泉付近において、大規模な地すべり発生。土塊が澄川温泉を押し流し土石流となって下流の赤川温泉も押し流す。人的被害なし、澄川・赤川両温泉全壊、国道341号赤川橋埋没など損害額2,452,430千円。融雪に局地的豪雨が重なったのが原因。 |
| 1998 | 平成10年 | 火　　災 | 1月18日、十和田毛馬内下陣場地内で住家1棟半焼。死者1名、焼失面積112㎡、損害額10,782千円。電気コタツ周辺から出火。 |
| | | 火　　災 | 6月3日、花輪狐平で住家1棟全焼。死者1名、焼失面積236㎡、損害額2,721千円。原因不明。 |
| 1999 | 平成11年 | 火　　災 | 1月6日、花輪狐平で放火焼身自殺。死者1名。 |
| | | 火　　災 | 3月27日、尾去沢土沢で放火焼身自殺。死者1名。 |
| 2001 | 平成13年 | 火　　災 | 4月21日、花輪諏訪野地内で住家1棟全焼。延焼により、住家1棟半焼。焼失面積542㎡、損害額5,297千円。仏壇のローソクの不始末。 |
| 2004 | 平成16年 | 危険物漏洩 | 1月18日　小坂町尾樽部で工場から苛性ソーダが24㎥流出。原因は貯蔵タンクの腐食。 |
| | | 建物火災 | 3月4日尾去沢新堀で住宅1棟全焼、車両1台全焼。死者1名。 |
| 2005 | 平成17年 | 建物火災 | 2月7日錦木冠田で住家全焼。死者2名。 |
| | | 建物火災 | 9月中に毛馬内押出で連続火災。住家1棟全焼、車両1台全焼。 |
| | | 危険物漏洩 | 4月16日尾去沢蟹沢の危険物施設で重油2,100ℓが米代川へ流出。 |
| 2006 | 平成18年 | 建物火災 | 5月13日毛馬内押出で住家1棟全焼。死者1名。 |
| | | 建物火災 | 8月23日小坂町尾樽部で工場火災。工場部分焼、損害額302,208千円。 |
| | | 建物火災 | 10月25日毛馬内鹿倉崎の環境衛生センターごみ処理場で爆発火災。負傷者無し、損害額21,000千円。 |
| | | 建物火災 | 12月9日草木二本柳で住家1棟全焼。死者1名。 |
| 2007 | 平成19年 | 集中豪雨 | 9月16日から17日にかけ、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量が260㎜に達し過去最高を観測。<br>鹿角市では避難勧告(377世帯1,175名)、避難指示(519世帯1,228名)。<br>住家被害は住家半壊3棟、一部損壊1棟。床上浸水は住家9棟、非住家1棟。 床下浸水は住家72棟、非住家30棟。農業被害は水田の流失・埋没21.6ha、冠水156ha。畑の流失・埋没2.5ha、冠水3.5ha。その他に水道66戸、農地・農業用施設220箇所、道路40箇所、橋りょう2箇所、河川46箇所など合わせて農林水産業施設815,800千円、公共土木施設374,215千円、農産物等被害42,895千円となり、総額1,232,910千円の被害を出す。人的被害なし。 |
| 2008 | 平成20年 | 林野火災 | 4月から5月にかけて林野火災が多発。特に4月5日は1日5件を記録する。 |
| | | 建物火災 | 5月1日　八幡平谷内の製材工場で火災。製材工場、事務所、倉庫の3棟を全焼。損害額46,519千円。この火災で鹿角市消防団は28年ぶりとなる特命出動を発令。消防団員400名が出動する。 |
| 2009 | 平成21年 | 警　　戒 | 4月5日　北朝鮮の飛翔体発射に係る特別警戒本部を設置。被害無し。 |

(8/8)

| 西暦 | 年号 | 種　別 | 記　　録 |
|---|---|---|---|
| 2010 | 平成 22 年 | 集中豪雨 | 7 月 29 日から 30 日にかけ、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量は 157 ㎜に達する。鹿角市では、住家被害が床上浸水 1 棟、床下浸水 15 棟、農地・農業用施設 71 箇所、道路 37 箇所、河川 13 箇所の被害を出す。人的被害なし。 |
| 2011 | 平成 23 年 | 雪　　害 | 1 月 1 日　前日からの大雪で鹿角市十和田地区で倒木 2 件、溢水 4 件、小坂町で溢水 3 件発生する。倒木による交通障害なし。溢水により冠水及び床上・床下浸水したが実害なし。 |
| | | 建物火災 | 1 月 3 日　末広上屋布で住家 1 棟全焼。死者 2 名、負傷者 4 名、り災世帯 1 世帯、り災者 7 名。 |
| | | 地　　震 | 3 月 11 日　東北地方太平洋沖地震発生。鹿角市では震度 4、小坂町では震度 3 を記録する。鹿角市は全域が停電となったが、人的被害、倒壊等の被害はなし。小坂町は小坂製錬及び関連建物以外が停電となったが、人的被害倒壊等の被害はなし。 |
| | | 集中豪雨 | 8 月 17 日　秋田県全域に大雨による被害が発生。降り始めからの総雨量は鹿角市 123.5 ㎜、小坂町 97.5 ㎜。住家被害は鹿角市で床上浸水 1 棟、床下浸水 2 棟、人的被害なし。小坂町で鉄砲水による住家 1 棟一部破損。り災世帯 1 世帯、り災者 5 名、人的被害なし。 |
| 2012 | 平成 24 年 | 暴　　風 | 4 月 4 日　強い寒気の影響による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家 7 棟、非住 4 棟、倒木 7 件、信号機 1 件、電線・電柱 2 件、消防標識 1 件。<br>小坂町で住家 1 棟、倒木 1 件。人的被害なし。 |
| | | そ　の　他 | 4 月 20 日　八幡平クマ牧場で熊 38 頭の内、4 頭が檻外へ脱走。飼育員 2 名が襲われ、2 名とも社会死状態で発見される。脱走した熊 4 頭は、猟友会により射殺される。 |
| | | 建物火災 | 5 月 10 日　小坂町横道の町営住宅 1 棟全焼、1 棟半焼。り災世帯 1 世帯、り災者 3 名。 |
| | | 危険物漏洩 | 5 月 19 日　小坂町大稲坪の工場より灯油 12，000 ﾘｯﾄﾙ流出。周囲への影響等なし。 |
| | | 建物火災 | 12 月 26 日　尾去沢新山で市営住宅 1 棟部分焼。り災者 3 世帯、り災者 4 名。 |
| 2013 | 平成 25 年 | 暴　　風 | 4 月 7 日　発達中の低気圧による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家 2 棟、非住 12 棟、倒木 2 件、人的被害なし。小坂町で倒木等被害なし。 |
| | | 車両火災 | 6 月 2 日　十和田湖生出地内国道 103 号上で車両 1 台全焼。死者 1 名。 |
| | | 建物火災 | 8 月 7 日　八幡平谷内の木材加工工場で火災。木材加工工場 1 棟を全焼。 |
| | | 集中豪雨 | 8 月 9 日　秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では、10 時 52 分までの 1 時間に 108.5 ㎜を記録、土砂災害や浸水害が多数発生した。<br>鹿角市で避難勧告（1,150 世帯 2,707 名）住家被害は鹿角市で住家 3 棟半壊非住家 1 棟全壊、床上浸水 23 棟、床下浸水 187 棟、人的被害なし。<br>小坂町で床上浸水 1 棟、床下浸水 2 棟、人的被害なし。 |
| | | 台　　風 | 9 月 16 日　台風 18 号による大雨により、鹿角市で避難勧告（316 世帯 860 名）避難指示（2,118 世帯 5,435 名）、住家被害は鹿角市で床上浸水 1 棟、床下浸水 26 棟、人的被害なし。小坂町で被害なし。 |
| | | 建物火災 | 11 月 8 日　花輪鶴田の自動車リサイクル工場で火災。自動車リサイクル工場 1 棟を半焼。負傷者 1 名。 |
| | | 建物火災 | 12 月 15 日　大湯川原ノ湯で住家 1 棟全焼。り災世帯 1 世帯、死者 1 名。 |

# 第17 鹿角広域行政組合本部における業務協定等に関する資料

## 17－1 秋田県広域消防相互応援協定

**○締 結 日** 平成 22 年 12 月 22 日

**○締結機関** 秋田市、横手市、大館市、由利本荘市、北秋田市、にかほ市、五城目町、湯沢雄勝広域市町村圏組合、能代山本広域広域市町村圏組合、大曲仙北広域市町村圏組合、男鹿地区消防一部事務組合、湖東地区行政一部事務組合

**○締結内容**

**（目的）**

**第１条** この協定は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号以下「法」という。）第 39 条第 2 項の規定に基づき、秋田県内の市町、消防の一部事務組合および消防を含む一部事務組合（以下「市町等」という。）相互の消防広域応援体制を確立し、大規模災害等に対処することを目的とする。

２ 平成 6 年 12 月 1 日付で締結した秋田県広域消防相互応援協定は、廃止する。

**（大規模災害等）**

**第２条** この協定において、「大規模災害等」とは、次の各号に掲げるもののうち応援活動（市町等の消防隊、救助隊及び救急隊が自ら又は資機材を利用して行う応援の活動をいう。以下同じ。）を必要とするものをいう。

(1) 大規模林野火災、高層建築物火災、危険物火災その他特殊火災
(2) 地震、風水害その他大規模な自然災害
(3) 航空機事故、列車事故等で、大規模又は特殊なもの
(4) 毒性物質、生物剤又は放射性物質に係る事故による災害
(5) 前各号に掲げるもの以外の大規模若しくは特殊な災害又は事故

**（代表消防機関及び代行消防機関の設置）**

**第３条** この協定による相互の応援活動を円滑に実施するため、代表消防機関を置く。

２ 前項の代表消防機関は、秋田県消防長会会長の所属する消防機関とする。

３ 代表消防機関に事故がある場合は、当該機関の機能を代行するため代行消防機関を置く。

４ 前項の代行消防機関は、秋田県消防長会副会長の所属する消防機関とする。

**（応援隊等の登録）**

**第４条** 各市町等は、第２条に規定する大規模災害等が発生した場合において行われる応援活動の要請（以下「応援要請」という。）に備え、応援出動のための出動が可能な消防隊、救助隊及び救急隊（以下「応援隊」という。）並びに資機材を整備しておくものとする。

**（応援要請の方法）**

**第５条** 応援要請は、大規模災害等が発生した市町等（以下、「要請側」という。）の長又は消防長から他の市町等（以下「応援側」という。）の長又は消防長に対し、応援活動に必要な事項を明確にして行うものとする。

２ 前項の応援要請は災害時においては電話等により迅速に行うものとし、当該応援要請後にお

いては、遅滞なくその内容を書面にするものとする。

3　要請側の長又は消防長は、応援要請の内容について、速やかに代表消防機関を経由し、秋田県知事に通報するものとする。

**（応援隊の派遣）**

**第６条**　前条第１項の規定により応援要請を受けた応援側の長又は消防長は、応援隊を派遣するものとする。

2　応援隊の派遣を決定したとき、又は特別な事情により派遣し難いときは、応援側の長又は消防長は、その旨を速やかに代表消防機関を経由し要請側の長又は消防長に通知するとともに、秋田県知事に通知するものとする。

**（応援の中断）**

**第７条**　応援隊の都合により応援隊を帰還させるべき特別の事態が生じた場合においては、応援側の長又は消防長は、要請側の長又は消防長と協議の上、応援活動を中断することができるものとする。

**（応援隊の指揮）**

**第８条**　応援隊は、法第 47 条第１項の規定の基づき、要請側の長の指揮の下に行動ものとする。

**（経費の負担）**

**第９条**　応援に要する費用の負担は、次の各号に定めるところによるものとする。

(1) 応援側の負担する経費は、次に掲げるものとする。

ア　旅費及び出動手当等の人件費

イ　公務災害補償に要する経費

ウ　車両及び機械器具の修理費（現地における補給燃料に係る経費を除く。）

エ　車両及び機械器具の修理費

オ　要請側との間の移動中に第三者に与えた損害の賠償費等

(2) 要請側が負担する経費は、次に掲げるものとする。

ア　応援活動中に調達した車両及び機械器具の燃料費

イ　宿泊費及び食糧費

ウ　応援活動中に第三者に与えた損害の賠償費等（応援側の故意又は重大な過失に基づく損害賠償費を除く。）

エ　化学消火薬剤等の資機材費

(3) 前 2 号に掲げる費用以外の費用については、当該大規模災害等に関係する市町等相互がその都度協議して定めるものとする。

**（協定の発効）**

**第 10 条**　この協定は、この協定締結の日から発効する。

**（協議）**

**第 11 条**　この協定書に定めのない事項又は疑義を生じた事項については、その都度市町等相互が協議の上、決定するものとする。

**（委任）**

**第 12 条**　この協定の実施に関し必要な事項は、市町等の消防長が協議し別に定めるものとする。

本協定の締結を証するため、協定書 13 通を作成し、市町等において各 1 通を保有するものとする。

## 17－2 秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書

**〇締 結 日** 平成 22 年 12 月 22 日

**〇締結機関** 秋田市、横手市、大館市、由利本荘市、北秋田市、にかほ市、五城目町、湯沢雄勝広域市町村圏組合、能代山本広域市町村圏組合、大曲仙北広域市町村圏組合、男鹿地区消防一部事務組合、湖東地区行政一部事務組合

**〇締結内容**

この確認書は、秋田県広域消防相互応援協定書（平成 22 年 12 月 22 日締結。以下「協定書」という。）第 12 条の規定に基づき、消防相互応援について必要な事項を定めるものとする。

1 本協定書は消防組織法第 43 条及び同法第 44 条に規定する「非常事態」においても適用する。
2 協定書第 3 条第 4 項の代行消防機関は、あらかじめ指定しておくものとする。
3 協定書第 9 条に定める応援側の負担する経費のうち、要請側が特別地方交付税として交付を受けた額については、要請側の負担とする。
4 協定書第 9 条⑴エに定める修理費は、破損の程度にかかわらず応援側の負担とする。
5 協定書第 9 条⑴オに定める「移動中」とは、要請を受けて要請側指揮下に入るまで、又応援活動を終了して要請側指揮下を離れてからをいう。
6 協定書第 9 条⑵ア、ウに定める「応援活動中」とは、要請側指揮下において応援活動を実施している間をいい、要請側指揮下内の移動も含むものとする。
7 協定書第 9 条⑵ウに定める「賠償費等」のうち、交通事故に関する賠償費等については、その都度協議して定めるものとする。
8 この覚書に定めのない事項又は疑義を生じたときは、その都度協議して定めるものとする。
9 平成 6 年 12 月 1 日付けで定めた秋田県広域消防相互応援協定に基づく覚書は、廃止する。

この確認書の成立を証するため、確認書 13 通を作成し、消防本部において各 1 通を保有するものとする。

## 17－3 十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定

**〇締 結 日** 平成 26 年 3 月 27 日

**〇締結機関** 大曲仙北広域市町村圏組合

**〇締結内容**

鹿角広域行政組合及び大曲仙北広域市町村圏組合は、消防組織法（昭和 22 年法律第 26 号）第 39 条の規定に基づき、消防相互応援に関して次のとおり協定を締結する。

**（目的）**

**第１条** この協定は、この協定を締結する組合（以下「協定組合」という。）の各行政区域内にある十和田八幡平国立公園のうち、八幡平地域（以下「協定区域」という。）において発生した火災、救急及び救助その他の災害事案（以下「災害等」という。）について協定組合相互の応援協力体制を確立し、災害等による被害の軽減を図ることを目的とする。

**（適用）**

**第２条** この協定は、秋田県広域消防相互応援協定（平成22年12月22日締結）に定める大規模災害等を除く災害等について適用する。

**（応援の要請）**

**第３条** 災害等が発生した区域を管轄する協定組合（以下「管轄組合」という。）は、次の各号のいずれかに該当する場合には、相手方組合（以下「応援組合」という。）に対して応援の要請を行うものとする。

(1) その災害等が協定区域に拡大し、又は影響を与えるおそれのある場合

(2) 管轄組合の消防力では対応が著しく困難である場合

(3) その災害等に対応するため協定組合が保有する特殊車両等及び資機材が必要である場合 (4) 管轄組合が当該区域内の災害等の現場に到着できない場合又は到着までに相当の時間を要する場合

２ 前項の規定による応援要請は、電話等により次の事項を明らかにして行うものとする。

(1) 災害の種別

(2) 災害発生の場所及び被害の状況

(3) 要請する車両等の種別及び資機材の数量

(4) その他必要な事項

**（応援隊の派遣）**

**第４条** 応援組合の長は、特別の事情がない限り、消防隊、救急隊、救助隊等（以下「応援隊」という。）を災害等の現場へ派遣するものとする。

２ 応援組合の長は、協定区域内において災害等が発生したことを覚知し、かつ応援の必要があると認めるときは、前条の要請を待たずに必要な応援を行うことができるものとする。この場合において、応援組合は、同条の応援の要請を受けたものとみなす。

**（応援隊派遣の通報）**

**第５条** 応援組合の長は、前条の規定により応援隊を派遣させるとき又は応援隊を派遣させることができないときは、その旨を速やかに管轄組合の長に通報するものとする。

（指揮）

**第６条**　災害等の現場の指揮は、管轄組合の現場にある最高指揮者の指揮の下に活動するものとする。ただし、管轄組合が災害等の現場に到着できない場合又は管轄組合が現場に到着するまでの指揮は、応援組合が行うものとする。

（費用の負担）

**第７条**　応援に要した費用の負担は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 管轄組合が負担する費用

ア　応援が長時間にわたる場合の燃料の補給及び食糧並びに宿泊に要する経費

イ　応援組合が応援活動中に第三者に損害を与えた場合の賠償費等（交通事故及び応援隊の故意又は重大な過失に基づく損害賠償費を除く。）

(2) 応援組合が負担する費用

ア　旅費、出動手当等の人件費

イ　公務上の災害補償費

ウ　車両及び機械器具の燃料費（現地で調達したものを除く。）

エ　車両及び機械器具の修理費

オ　応援隊が管轄組合への往復途中において、第三者に損害を与えた場合の賠償費等

(3) 前２号に定めるもの以外の費用の負担については、その都度協議して定めるものとする。

（調査協力）

**第８条**　応援組合は、災害等の事後処理及び調査等について協力し、管轄組合に引き継ぐものとする。

（情報の共有）

**第９条**　協定組合は、この協定に基づく相互応援を円滑に行うため、必要な資料及び情報を相互に共有するものとする。

（協議）

**第10条**　この協定に定めのない事項又は疑義を生じた事項については、その都度協定組合が協議して決定するものとする。

（委任）

**第11条**　この協定の実施に必要な事項は、協定組合の消防長が協議し別に定める。

本協定の成立を証するため協定書２通を作成し、協定組合の長が記名押印のうえ各自1通を保有するものとする。

附　則

１　この協定は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

２　平成 11 年 11 月 1 日に締結した、秋田県広域消防相互応援協定に基づく「覚書」及び秋田県広域消防相互応援協定に基づく「覚書に関する確認書」は、これを廃止する。

## 17－4 十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書

**〇締 結 日** 平成 26 年 3 月 27 日

**〇締結機関** 大曲仙北広域市町村圏組合

**〇締結内容**

鹿角広域行政組合及び大曲仙北広域市町村圏組合との間に締結した、十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定（以下「応援協定」という。）第１１条に基づき、業務実施に必要な事項に関し覚書を締結する。

**（用語）**

**第１条** 使用する用語については応援協定に基づくものとする。

**（協定区域の適用範囲）**

**第２条** 協定区域の適用範囲は、次に掲げる地域とする。

(1) 玉川地内
(2) 大深地内
(3) 大沼地内
(4) 後生掛地内
(5) 蒸ノ湯地内
(6) その他の周辺地域

**（直接通報による応援出動）**

**第３条** 協定組合は、協定区域内において直接通報（遭難者等の捜索に関わるものを除く。）があった場合は、状況に応じて応援出動するものとする。この場合、応援要請があったものと見なす。

**（温泉施設等からの直接救急要請）**

**第４条** 協定区域内における温泉施設等から応援組合に直接救急要請があり、かつ応援組合の管轄区域内に所在する医療機関に搬送の必要がある場合は、状況に応じて応援組合が出動するものとする。この場合、応援要請があったものと見なす。

**（要請及び通報の連絡先）**

**第５条** 応援にかかる要請及び通報の連絡先は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める部署とする。

(1) 鹿角広域行政組合消防本部　　消防署通信指令室
(2) 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　　通信指令課指令センター

**（航空機の要請判断）**

**第６条** 応援協定第 3 条第 1 項第 4 号及び前第 3 条において、航空機による搬送が必要であり、かつ、管轄組合の到着を待ついとまがない場合、及び応援組合のみで災害に対応する場合、応援組合の判断により航空機の要請を行うことができる。 ただし、要請手続きは、事案発生時、その都度協定組合間で協議する。

**（その他）**

**第７条** 応援協定第 3 条第 1 項第 4 号に定める場合とは、管轄組合が他の災害対応等により通常

時に比べ現場到着に大幅に時間を要する場合又は道路の通行止め等により管轄組合が通常時に比べ現場到着に大幅に時間を要する場合等をいう。

**（協議）**

**第８条**　この覚書に定めない事項又は疑義が生じたときは、その都度協定組合の消防長が協議して定める。

この覚書の証として本書２通を作成し、押印のうえ、各自１通を保有するものとする。

附　則

この覚書は、平成 26 年４月１日から施行する。

## 17－5 秋田県消防防災ヘリコプター応援協定

**〇締 結 日** 平成 11 年 4 月 1 日

**〇締結機関** 秋田県、秋田市、五城目町、大館周辺広域市町村圏組合
鷹巣阿仁広域市町村圏組合、二ツ井町藤里町消防一部事務組合
能代地区消防一部事務組合、山本郡南部地区消防一部事務組合
湖東地区行政一部事務組合、男鹿地区消防一部事務組合
河辺雄和地区消防一部事務組合、本荘地区消防事務組合、仁賀保地区消防組合
矢島地区消防組合、大曲仙北広域市町村圏組合、横手平鹿広域市町村圏組合
湯沢雄勝広域市町村圏組合

**〇締結内容**

**（目的）**

**第１条** この協定は、秋田県内の市町、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合（以下「市町等」という。）が、災害による被害を最小限に防止するため、秋田県が所有する消防防災ヘリコプター（以下「消防防災ヘリ」という。）の応援を求めることについて、必要な事項を定めるものとする。

**（協定区域）**

**第２条** この協定に基づき市町等が消防防災ヘリの応援を求めることができる地域は、当該市町村の区域とする。

**（災害の範囲）**

**第３条** この協定において、災害とは、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 1 条に規定する災害をいう。

**（応援要請）**

**第４条** この協定による応援要請は、災害発生の市町等の長が、消防防災ヘリの特性を十分に発揮することができると認められる場合で、原則として、次に掲げる要件を満たす場合に秋田県知事（以下「知事」という。）に対して行うものとする。

(1) 公 共 性　災害等から住民の生命及び財産を保護し、被害の軽減を図るものであること。
(2) 緊 急 性　差し迫った必要性があること
(3) 非代替性　消防防災ヘリによる活動が最も有効であること。

**第５条** 応援要請は、秋田県消防防災航空隊（以下「消防防災航空隊」という。）に電話等により、次の事項を明らかにして行うものとする。

(1) 災害の種類
(2) 災害発生の日時及び場所並びに災害の状況
(3) 災害発生現場の気象状況
(4) 災害現場の最高指揮者の職及び氏名並びに連絡方法
(5) 飛行現場離着陸上の所在地及び地上支援体制
(6) 応援に要する資機材の品目及び数量
(7) その他必要な事項

（消防防災航空隊の派遣）

**第６条**　知事は、前条の規定により応援要請を受けたときは、災害発生現場の気象状況等を確認の上、消防防災航空隊を派遣することができる。

２　知事は、応援要請に応じることができない場合は、その旨を速やかに、災害発生市町等の長に通報するものとする。

（消防防災航空隊の隊員の指揮）

**第７条**　前条第１項の規定により消防防災空港隊を派遣する場合において、災害現場における消防防災航空隊の隊員の指揮は、災害発生の市町等の消防長が行うものとする。ただし、緊急の場合は災害現場の最高指揮者が行うことができるものとする。

（消防活動に従事する場合の特例）

**第８号**　応援要請に基づき消防防災航空隊の隊員が消防活動に従事する場合においては、災害発生の市町等の長から秋田県消防相互応援協定書（平成６年 12 月１日締結。以下「相互応援協定」という。）第５条の規定に基づき応援要請があったものとみなす。

（その他）

**第９条**　この協定に定めるもののほか、この協定の実施に関し必要な事項は、秋田県及び市町等が協議して定めるものとする。

この協定を証するため、正本 18 通を作成し、知事及び市町等の長が記名捺印の上、各自その１通を所持する。

附　則

この協定は平成 11 年４月１日から施行する。

## 17－6 十和田地域広域消防事務組合と鹿角広域行政組合における消防応援協定

**〇締 結 日** 平成 24 年 4 月 1 日

**〇締結機関** 青森県十和田地区消防事務組合

**〇締結内容**

十和田地域広域事務組合（以下「甲」という。）と鹿角広域行政組合（以下「乙」という。）との間に次の条項により、消防応援協定を締結する。

**（目的）**

**第１条** この協定は、乙の区域内で発生した災害について、甲の施設及び人員を活用して、住民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを目的とする。

**（応援活動の区域）**

**第２条** 甲の応援活動の区域は、乙の管理に属する区域のうち、休平、中ノ平、生出（発荷峠展望台を含む。）、鉛山、大川岱、銀山、滝ノ沢、ムジシ及び十和田湖の区域（以下「区域内」という。）とする。（別紙図面参照）

**（災害の範囲）**

**第３条** この協定における災害とは、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 1 条に規定する災害とする。

**（応援の種別）**

**第４条** この協定による応援は、第 2 条に規定する区域内で災害が発生した場合に、乙の消防長の要請を待たずに出動する応援とする。

**（応援出動）**

**第５条** 甲の消防長は、区域内で第 3 条に規定する災害が発生した場合は、直ちに甲の管理に属する消防部隊（警防活動を行うため消防車両等をもって編成した消防隊、救助隊及び救急隊の総称をいう。）を出動させ、警戒、鎮圧、救護等の警防活動（火災原因調査等の災害原因調査事務を除く。）を行うものとする。

2 甲の消防長は、前項の規定により消防部隊を出動させたときは、直ちに災害の種別、災害発生場所、出動時刻、出動車両及び出動人員等を乙の消防長に通報するものとする。

**（応援出動の報告）**

**第６条** 甲の消防長は、前条第 1 項の規定により出動したときは、次の事項を明確にして、事後速やかに別に定める様式をもって乙の消防長等に報告するものとする。

(1) 災害の種別
(2) 災害発生場所
(3) 出動車両
(4) 出動人員
(5) 災害の状況
(6) 死傷者の状況

（7）その他必要事項

**（乙の消防部隊の出動）**

**第７条**　甲の消防長は、区域内で発生した災害において、消防部隊の増強を必要とするとき、又は甲の消防部隊が出動できないときは、乙の消防長に乙の消防部隊の出動を求めるものとする。

２　乙の消防長は、前項の要請を受けたときは、その管理に属する消防部隊を直ちに出動させるものとする。

３　乙の消防長等は、前２項の規定にかかわらず、必要と認めたときは、その管理に属する消防部隊を出動させるものとする。

**（指揮）**

**第８条**　消防部隊の指揮は、原則として甲の現場最高指揮者の指揮によるものとする。ただし、乙の消防部隊が出動したときは、乙の現場最高指揮者の指揮によるものとする。

**（費用の負担）**

**第９条**　乙は、甲が行う応援活動に要する費用を負担するものとする。

２　前項の費用は、別記算定資料の額とする。

３　前項の規定による乙の負担すべき費用については、11月末日までに請求書類を乙に送付するものとする。

**（費用の支払）**

**第10条**　前条の費用は、乙が12月末日までに遅滞なく甲に支払うものとする。

**（損失及び損害の補償）**

**第11条**　応援活動に際して、甲の管理に属する職員及び消防車両等が損害を受けたときは、甲がその損害を負担するものとする。

２　消防法（昭和23年法律第186号）第29条第3項の規定による損失の補償は、甲乙協議のうえ処理するものとする。

３　前２項に規定するもののほか、第3者に与えた損害については、交通事故の場合は、自動車損害賠償責任保険及び任意保険（以下「保険」という。）の範囲内においては甲の負担とし、保険の範囲を超えるもの及びその他の事故については前項の例による。

**（消防団に係る現場活動）**

**第12条**　乙の消防団は、第2条に規定する区域内の災害時において、現場活動を行う場合は、甲の消防長又は消防署長の所轄のもとに行動するものとする。ただし、乙の消防部隊が出動したときは、乙の消防長又は消防署長の所管のもとに行動するものとする。

**（水利施設）**

**第13条**　乙は、水利施設を設置し、変更し、又は撤去するときは、速やかに甲に通知するものとする。

**（協定期間）**

**第14条**　この協定期間は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までとする。

ただし、この期間満了6月前までに甲乙いずれかから何らの意思表示がないときは、この期間を1年間延長するものとし、その後において期間満了したときも、また同様とする。

**（疑義の調整）**

**第15条**　この協定に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、その都度甲乙協議のうえ処理するものとする。

この協定書の証として、本書2通を作成し、記名捺印のうえ甲乙各1通を保有する。

別記

算　定　基　準

協定書第9条第2項に規定する費用の算定は、次によるものとする。

**（警防活動を維持管理するために必要な経費）**

**第１条**　区域内の警防活動を維持するために必要な経費は、次に掲げる費用とする。

(1) 人件費
(2) 旅費
(3) 需要費
(4) 役務費
(5) 使用料及び貸借料
(6) 原材料費
(7) 公課費

**（費用の算定）**

**第２条**　協定書第9条第2項に規定する費用は、次の各号に掲げるところにより算定した人件費と物件費（前条第2号から第7号までに掲げる経費をいう。以下同じ。）の合計額の2分の1の額（10万円未満は切り捨てる。）とする。

(1) 人件費　当該年度当初の甲の消防職員の予算人員の平均給与（地方自治法施行規則別記予算に関する説明書の２の（３）の平均給与月額をいう。）及び共済費に十和田湖消防署湖畔出張所に配置する職員数及び人口割を乗じて得た額。
(2) 物件費　物件費の総額に人口割を乗じて得た額。

２　前項の算定の基礎となる人口、人口割、配置職員数、配置車両は、次の各号に掲げるところによる。

(1) 人口は、当該年度の９月末日現在の人口（住民基本台帳人口）とする。
(2) 人口割は次の算式により求める。

$$\frac{\text{小坂町}}{\text{（組合＋小坂町）人口}} = \text{人口割}$$

(3) 職員数は、水槽付消防ポンプ自動車と救急車の乗換え兼務とし、次の算定により求める。

5人×2部×1.367＝14人

## 17－7 東北自動車道消防相互応援協定（小坂JTC～碇ヶ関IC間）

**〇締 結 日** 平成 25 年 11 月 29 日

**〇締結機関** 青森県弘前地区消防事務組合

**〇締結内容**

消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 39 条の規定の基づき、弘前地区消防事務組合、鹿角広域行政組合（以下「事務組合等」という。）は、東北自動車道碇ヶ関インターチェンジから小坂ジャンクションまで（以下「高速道路」という。）における消防に関する相互応援について、次のとおり協定する。

**（目的）**

**第１条** この協定は、高速道路において、火災、救急及びその他の災害（以下「災害等」という。）が発生した場合に、事務組合等が相互の消防力を活用して、災害による被害の軽減を図ることを目的とする。

**（応援）**

**第２条** 応援は、別表に定める応援区域の区分に基づき行うものとする。

２ 事務組合等は、前条の目的を達成するため相互に応援の要請があった場合は、消防隊又は救急隊（以下「消防隊等」という。）の派遣を行うものとする。

**（出動消防隊等）**

**第３条** この協定により出動する消防隊等は、原則として常備消防機関の消防隊等とする。

**（出動区域）**

**第４条** 事務組合等は、この協定に係わる全区域において応援を行うものとする。

**（応援に要する経費等の負担）**

**第５条** 応援に要した経費等は、次のとおりとする。

1）経常経費は、原則として、応援を行った事務組合等の負担とする。

2）応援隊員が受けた損害の補償は、地方公務員災害補償法によるものとする。

3）応援隊員が第三者に与えた損害は、交通事故の場合、自動車損害賠償責任保険によるものとし、その範囲を超えるもの及びその他の損害については、協議のうえ決定するものとする。

**（委任）**

**第６条** この協定の業務実施に関し、必要な細目は事務組合等の消防長が協議の上定める。

**（協議）**

**第７条** この協定書に定めのない事項又はこの協定の実施に関し、疑義を生じた事項については、その都度協議のうえ決定するものとする。

**（発効）**

**第８条** この協定は、平成 25 年 11 月 30 日から発効する。

**（協定書の保有）**

**第９条** この協定の成立を証するため、この協定書を 2 部作成し、おのおの記名押印のうえ各 1 通ずつ保管する。

附　則

平成2年10月8日弘前地区消防事務組合、小坂町で締結した東北自動車道消防相互応援協定書は廃止する。

附　則

平成6年6月1日弘前地区消防事務組合、鹿角広域行政組合で協定した東北自動車道消防相互応援協定書は廃止する。

別　表

| 事　務　組　合　等 | 応　援　区　域 |
|---|---|
| 弘前地区消防事務組合 | 高速道路上り線のうち、碇ヶ関インターチェンジと小坂ジャンクションの間 |
| 鹿角広域行政組合 | 高速道路下り線のうち、小坂ジャンクションと碇ヶ関インターチェンジの間 |

## 17－8 東北自動車道消防相互応援協定(鹿角八幡平IC～安代IC間)

**〇締 結 日** 平成６年６月１日

**〇締結機関** 岩手県盛岡地区広域行政事務組合

**〇締結内容**

消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 21 条の規定の基づき、盛岡地区広域行政事務組合及び鹿角広域行政組合（以下「事務組合等」という。）は、事務組合等の行政区域のうち、東北自動車道（以下「高速道路」という。）における消防及び救急業務に関する相互応援について、次のとおり協定する。

**（目的）**

**第１条** この協定は、高速道路において、火災、救急事故その他の災害（以下「災害等」という。）が発生した場合に消防及び救急業務について事務組合等が相互に応援することにより、災害等による被害の軽減を図ることを目的とする。

**（応援）**

**第２条** 応援は、別表に定める応援区域の区分に基づき行うものとする。

２ 前項に規定する応援区域内において災害等の発生を覚知したときの消防救助活動は、事務組合等の応援要請の有無にかかわらず、当該応援区域を所管する事務組合等から消防隊又は救急隊（以下「消防隊等」という。）を出動させるものとする。

３ 前 2 項に定めるほか、災害等が発生し、消防力の増強を必要とするときは、災害等発生区域（別表に規定する応援区域を含む。以下同じ。）を管轄する事務組合等の代表者から要請を受けた事務組合等（以下「応援事務組合等」という。）が消防隊等を派遣するものとする。

**（応援要請）**

**第３条** 前条第 3 項の応援要請は、災害等により消防隊等及び資機材の増強を必要とするときに災害等発生区域を管轄する事務組合等の代表者から応援事務組合等の代表者に行うものとする。

２ 応援要請は、次の事項を明らかにして行うものとする。

(1) 災害等の発生日時、場所及び概要

(2) 応援を要する消防隊等の種類及び隊数

(3) 必要とする資機材その他活動内容等必要な事項

**（応援の通報）**

**第４条** 事務組合等は、第 2 条に規定する応援に出動したときは、直ちに災害発生地の事務組合等に通報するものとする。

**（指揮）**

**第５条** 応援のため出動した消防隊等の指揮は、当該応援を要請した事務組合等の現場にある最高指揮者が行うものとする。

**（災害等の事務処理）**

**第６条** 火災が鎮火した後の処理及び救急事故の事務処理は、災害等発生区域を管轄する事務組合等が行うものとする。

２ 前項の事務処理を行う場合において、火災の原因、損害又は被救護者の調査事務が長時間を

要するときは、当該災害等発生地を管轄する事務組合等に事務処理の一部を引き継ぐものとする。

**（応援に要する経費負担）**

**第７条**　第２条第２項の応援活動に要する経費は、化学消化薬剤に要した経費を除き、応援事務組合等の負担とする。

２　第２条第３項の応援活動に要する経費のうち、次に掲げるものは、応援要請をした事務組合等（以下「要請事務組合等」という。）の負担とする。

(1) 応援職員の手当等

(2) 応援職員が応援業務に従事したことにより負傷し、疾病にかかり又は死亡した場合の災害補償に要する経費

(3) 化学消火薬剤に要した経費

(4) 燃料費

(5) 車両及び機械器具等に破損又は故障を生じた場合の経費

３　前項第１号に掲げる経費は応援事務組合等の条例、規則等の規定により算定するものとする。

**（第三者に対する損害補償に要する経費負担）**

**第８条**　第２条第２項の応援活動に従事した応援職員が第三者に与えた損害又は第２条第３項の応援活動に従事した応援職員が往路及び帰路において与えた損害については応援事務組合等が、第２条第３項の応援活動中に与えた損害については、要請事務組合等が負担する。

**（経費の支払い方法）**

**第９条**　応援を受けた場合の応援措置に要する経費は応援事務組合等の請求に基づいて要請事務組合等が支払うものとする。

**（経費の負担等の特例）**

**第 10 条**　応援に要する経費負担、第三者に対する損害補償に要する経費負担又は経費の支払方法について、前３条により難いときは、双方が協議して定める。

**（実施細目）**

**第 11 条**　この協定に特別の定めがあるものを除くほか、この協定の実施について必要な事項は、事務組合等の消防長が協議して定めるものとする。

**（疑義）**

**第 12 条**　この協定の実施について疑義が生じたときは、との都度双方が協議し決定するものとする。

この協定を証するため本書２通を作成し、事務組合等の代表者が記名捺印のうえそれぞれその１通を保管するものとする。

## 17－9 東北自動車道における救急業務の実施についての覚書

**〇締 結 日** 平成 25 年 11 月 30 日

**〇締結機関** 東日本高速道路株式会社

**〇締結内容**

鹿角広域行政組合（以下「甲」という。）と東日本高速道路株式会社（以下「乙」という。）とは、東北自動車道における救急業務の実施について協議した結果、「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」（昭和 55 年 12 月 1 日付、以下「救急覚書」という。）に基づき、次のとおり合意に達したので、覚書を締結する。

なお、平成 6 年 4 月 28 日付けで鹿角広域行政組合、日本道路公団仙台管理局で秋田県生活環境部長を立会人として締結した覚書はこの覚書の実施日を持って廃止する。

1．甲は、東北自動車道（安代 IC～碇ヶ関 IC 間）における救急業務を別図のとおり実施する。
2．乙は、救急覚書の規定に基づき財政措置等を講ずるものとする。
3．救急業務の実施にあたり必要な細部事項については、その都度、甲、乙、協議して定めるものとする。
4．この覚書を変更する場合又は覚書に疑義が生じた場合は、甲、乙協議して定めるものとする。
5．この覚書は、平成 25 年 11 月 30 日から実施する。

この覚書の証として、本書 2 通を作成し、甲、乙の記名押印のうえ、各自 1 通を保有する。

## 17－10 秋田自動車道消防相互応援協定（大館北IC～小坂北IC）

**〇締 結 日**　平成 25 年 11 月 19 日

**〇締結機関**　大館市

**〇締結内容**

消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 39 条の規定に基づき、大館市と鹿角広域行政組合（以下「協定市等」という。）は、秋田自動車道の大館北インターチェンジから小坂北インターチェンジまでの区間（以下「相互応援区間」という。）における消防の相互応援について、次のとおり協定を締結する。

**（目的）**

**第１条**　この協定は、相互応援区間において、火災、救急事故、救助事故及びその他の災害（以下「災害等」という。）が発生した場合に、協定市等が相互に災害等による被害の軽減を図ることを目的とする。

**（応援要請による派遣）**

**第２条**　協定市等は、前条の目的を達成するため、相互に応援の要請があった場合は、消防隊、救急隊及び救助隊（以下「消防隊等」という。）を災害等の現場へ派遣するものとする。

**（出動消防隊等）**

**第３条**　この協定により出動する消防隊等は、常備消防機関の消防隊等とする。

**（担当区間）**

**第４条**　協定市等の担当区間は、それぞれの行政区域とする。

**（応援に要した経費等の負担）**

**第５条**　応援に要した経費等の負担は、次のとおりとする。

(1) 応援のために要した経費及び事故により生じた経費は、応援要請を受けた協定市等の負担とする。ただし、前記以外の経費は、応援要請を行った協定市等の負担とする。

(2) 応援要請を受けた協定市等の隊員が受けた損害の補償は、地方公務員災害補償法（昭和 42 年法律第 121 号）によるものとする。

(3) 応援要請を受けた協定市等の隊員が第三者に与えた損害は、交通事故の場合は自動車損害賠償責任保険によるものとし、その範囲を越えるもの及びその他の損害（故意又は重大な過失に基づく損害賠償費等）については、応援要請を行った協定市等と協議のうえ決定するものとする。

**（委任）**

**第６条**　この協定の業務実施に関し必要な事項は、協定市等の消防長が協議のうえ定める。

**（施行期日）**

**第７条**　この協定は、相互応援区間供用開始の平成 25 年 11 月 30 日から施行する。

この協定の成立を証するため本協定書２通を作成し、記名捺印のうえ各自１通を保有する。

## 17－11 秋田自動車道消防相互応援協定覚書（大館北IC～小坂北IC）

**〇締 結 日** 平成 25 年 11 月 19 日

**〇締結機関** 大館市消防本部

**〇締結内容**

大館市と鹿角広域行政組合（以下「協定市等」という。）との間に締結した、秋田自動車道の大館北インターチェンジから小坂北インターチェンジまでの区間（以下「相互応援区間」という。）における、秋田自動車道（大館北ＩＣから小坂北ＩＣ）消防相互応援協定書第６条に基づき、業務実施に必要な事項に関し、覚書を締結する。

**（消防、救急及び救助業務の適用範囲）**

**第１条** 消防、救急及び救助業務の適用範囲は、相互応援区間内で次に掲げる部分において発生した火災、救急事故、救助事故及びその他の災害（以下「災害等」という。）とする。

(1) 車両通行路部分

(2) インターチェンジ部分

(3) 車両通行路の築堤部分

(4) その他前各号に準じる部分

**（災害等出動手続）**

**第２条** 相互応援区間における災害等の出動手続は、次の各号による。

(1) 災害の通報を受けた協定市等の消防長は、直ちに所要の消防隊、救急隊及び救助隊（以下「消防隊等」という。）を出動させるとともに、関係消防長に通報するものとする。

(2) 協定市等の消防長は、当該災害を自己の消防機関のみで対応できない場合は、関係消防長に対し応援を要請するものとする。

(3) 前号の要請を受けた消防長は、内容に応じ所要の消防隊等を出動させるものとする。

**（指揮）**

**第３条** 応援要請を受けた協定市等の消防隊等は、応援要請を行った協定市等の現場にある最高指揮者の指揮に従うものとする。

**（現場活動の原則）**

**第４条** 消防隊等が現場活動を行うにあたり、相互応援区間上の消防隊等が主体となって活動するものとし、他の消防隊等はそれを支援するものとする。

**（災害等の事務処理）**

**第５条** 災害等の事務処理は、災害発生行政区域の協定市等の消防長が行うものとする。

２ 前項の事務処理を行う場合において、協定市等の消防長は、行政区域外の災害事務処理について調査協力するものとする。

**（無線の運用）**

**第６条** 無線の運用は、共通波をもって行う。

**（消防隊等の留意事項）**

**第７条** 消防隊等は、現場活動に際して次の各号に留意しなければならない。

(1) 警察官が行う交通規制状況の確認

(2) 隊員の安全管理

(3) 警察官、国土交通省職員及び東日本高速道路職員との緊密な連絡

**（協議）**

**第８条**　この覚書に定めない事項又は疑義が生じたときは、その都度協定市等の消防長が協議して定める。

**（施行期日）**

**第９条**　この覚書は、相互応援区間供用開始の平成 25 年 11 月 30 日から施行する。

この覚書の成立を証するため本覚書 2 通を作成し、消防長が記名捺印のうえそれぞれ各自 1 通を保有する。

## 17－12　鉄道災害発生時における消防活動に関する協定

**〇締 結 日**　平成 20 年 9 月 17 日

**〇締結機関**　消防機関（甲）秋田市消防本部、横手市消防本部、大館市消防本部、由利本荘市消防本部、北秋田市消防本部、にかほ市消防本部、五城目町消防本部、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部、能代山本広域市町村圏組合消防本部、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部、男鹿地区消防一部事務組合消防本部、湖東地区行政一部事務組合消防本部

鉄道事業者（乙）東日本旅客鉄道株式会社秋田支社、日本旅客鉄道株式会社盛岡支社

**〇締結内容**

秋田県内の消防機関（以下「甲」という。）および鉄道事業者（以下「乙」という。）は、秋田県内を運行する鉄道の駅構内および軌道敷内における災害ならびに鉄道沿線における火災（以下「鉄道災害」という。）への対応について、次のとおり協定する。

**（目的）**

**第１条**　この協定は、秋田県内において発生した鉄道災害に際し、甲と乙が、緊密な協力のもとに一貫した活動を実施し､安全かつ迅速な災害対応および公共交通機関の早期運転再開を図ることを目的とする。

**（災害発生の通報）**

**第２条**　甲および乙は、鉄道災害が発生し、または鉄道災害が発生するおそれがあると認める情報を覚知したときは、速やかに相互の緊急連絡先に通報するものとする。

２　乙は、前項の通報に際して、甲が消防活動を行うために必要な次の事項について、可能な限り甲に伝達するものとする。甲が災害発生場所に到着するまでの間に新たに判明した情報についても同様とする。

(1) 災害の種別および発生状況
(2) 発生場所および進入経路
(3) 乗客数、死傷者数および避難状況
(4) 列車の運行状況
(5) 活動危険および活動障害に関する情報
(6) 積載物の名称、性状および数量
(7) 現地責任者の氏名および連絡先
(8) 乙が実施済みの事項

３　甲は、鉄道災害の発生を覚知した場合に、当該災害の発生場所が管轄区域外におけるものであるときは、速やかに発生場所を管轄する消防機関に連絡するものとする。

４　甲および乙の緊急連絡先は、別に定める。

**（情報の共有）**

**第３条**　甲および乙は､現地責任者を明確にし､共通の認識のもとで災害対応を行うものとする。

２　甲および乙の現地責任者は、災害発生現場に到着した際、相互に把握している情報を伝達す

るものとする。

3　甲の現地責任者は、消防活動を実施するにあたり、活動方針を乙の現地責任者に説明し、必要に応じて消防活動に対する協力を要請するものとする。

4　乙の現地責任者は、必要に応じてアナウンス等により乗客に災害の状況を説明し、動揺を押さえるとともに、甲と協力して円滑な避難誘導に努めるものとする。

5　甲の現地責任者は、消防活動が終了した場合、速やかに乙の現地責任者に連絡するものとする。

**（現場誘導）**

**第４条**　甲が消防活動を実施するために駅構内および軌道敷内に立ち入る際、乙は安全確保のため必要な社員を同行させて甲を誘導するとともに、必要に応じて監視員を配置して列車の監視にあたるものとする。

2　高架、鉄橋、トンネル等、徒歩で進入することが危険かつ困難を伴う場所で鉄道災害が発生した場合、甲はこれらの場所への進入方法について乙と協議し、乙は安全が確保される範囲内において、可能な限り消防隊および必要な資機材を発生場所または発生場所付近まで搬送するための措置を講じるものとする。

**（二次災害の防止）**

**第５条**　乙は、災害の発生を覚知した場合、災害発生場所に社員を派遣し、必要に応じて、災害発生区間の列車の運行停止、電源遮断、監視員の配置、退避場所の確保等の安全措置を講じ、駅構内および軌道敷内における消防隊の安全確保について協力するものとする。

2　甲は、災害現場において消防活動を開始する前に、乙の現地責任者に列車の運行状況および乙が実施した安全措置の状況を確認し、活動隊員の安全を確保してから軌道敷内に進入するものとする。

3　乙は、甲の消防活動が終了した後、甲と協議し、活動隊員全員が軌道敷外に退避し、安全確認を行った後、運行を再開するものとする。

**（消防活動に対する支援）**

**第６条**　乙は、消防活動を安全かつ効率的に実施するため、乙の保有する資機材および技術者に関する情報を甲に提供するものとし、甲から資機材の提供および技術者の派遣について要請があった場合は、可能な限りこれに協力するものとする。

2　消防活動に際して、鉄道車両の破壊や挙上を行う場合、乙は甲に対して鉄道車両に関する技術的助言を行い、甲は乙の助言のもとに活動するものとする。

**（応援要請）**

**第７条**　甲は、出動した消防隊のみでは対応が困難と判断した場合には、速やかに応援要請等の措置を図るものとする。

2　前項の応援要請を行った場合、甲は乙に対して情報提供するとともに、応援部隊の受け入れについて協力を要請するものとする。

**（訓練の実施）**

**第８条**　甲および乙は、相互に定期的な合同訓練の実施に努めるものとする。

（情報の交換）

**第９条**　甲および乙は、路線の状況、鉄道車両の構造、救助方法、資機材の整備状況等、鉄道災害発生時の対応に必要と認める事項について、平素から相互に情報交換を行うよう努めるものとする。

（その他）

**第10条**　この協定に定めのない事項またはこの協定について疑義が生じたときは、その都度、甲および乙が協議のうえ定める。

附　則

この協定の締結を証するため、協定書15通を作成し、それぞれ記名押印のうえ各自1通を保有するものとする。

## 17－13　大館能代空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定

**〇締 結 日**　平成 10 年 7 月 16 日

**〇締結機関**　秋田県、大館周辺広域市市町村圏組合、鷹巣阿仁広域市町村圏組合、二ツ井町藤里町消防一部事務組合、能代地区消防一部事務組合、山本郡南部地区消防一部事務組合、五城目町

**〇締結内容**

秋田県と鹿角広域行政組合、大館周辺広域市町村圏組合、鷹巣阿仁広域市町村圏組合、二ツ井町藤里町消防一部事務組合、能代地区消防一部事務組合、山本郡南部地区消防一部事務組合及び五城目町は、大館能代空港（以下「空港」という。）及びその周辺における消火救難活動について、次のとおり協定する。

**（目 的）**

**第１条**　この協定は、空港及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災、又はそれらの発生のおそれのある事態（以下「緊急事態」という。）に際し、秋田県大館能代空港管理事務所（以下「甲」という。）と鹿角広域行政組合、大館周辺広域市町村圏組合、鷹巣阿仁広域市町村圏組合、二ツ井町藤里町消防一部事務組合、能代地区消防一部事務組合、山本郡南部地区消防一部事務組合及び五城目町の各消防機関（以下「乙」という。）が緊密な協力のもとに一貫した消火救難活動を実施し、被害の防止又は軽減を図ることを目的とする。

**（出動要請）**

**第２条**　緊急事態が発生した場合又は発生の恐れがある場合において、甲の出動要請があったときは、乙はすみやかに消防隊及び救急隊を出動させるものとする。

２　前項の出動要請は、電話その他の方法により、次の事項を明確にして行う。

(1) 災害の種類

(2) 当該航空機の機種及び搭乗員

(3) 災害発生の場所及び時刻

(4) 消防隊及び救急隊の到着すべき場所

(5) その他必要な事項

**（費用の負担）**

**第３条**　消火救難活動のために要する費用の負担については、別に両者協議して定めるものとする。

**（事故調査に対する協力）**

**第４条**　甲及び乙は消火救難業務を実施するにあたっては、当該航空機の状態、現場における痕跡その他事故の原因調査に必要な資料の保存に留意するものとする。

**（訓 練）**

**第５条**　甲及び乙は、両者協議のもとに立案計画して緊急事態における消火救難に関する総合訓練を定期的に実施するものとする。

（資料の交換）

**第６条**　甲及び乙は、空港に発着する航空機、空港における諸施設、相互の消防機器、人員等消火救難活動に必要な資料を交換するものとする。

（その他）

**第７条**　この協定に定めるもののほか、大館能代空港における消火救難業務に関し必要な事項は、甲及び乙が協議して定める。

**第８章**　災害派遣・応援 秋田県地域防災計画（資料編）

附 則

本協定の発効は平成 10 年 7 月 18 日とする。

## 17－14 鹿角市小坂町消防団相互応援協定書

（目的）

**第１条** この協定は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号。以下「法」という。）第 39 条の規定に基づき、鹿角市又は小坂町（以下「鹿角広域行政組合消防本部管内」という。）において災害が発生したとき、鹿角広域行政組合消防本部管内の消防団の消防力を活用し、その被害を最小限度に防止するため、相互に応援することに関し必要な事項を定めることを目的とする。

（災害の範囲）

**第２条** この協定において「災害」とは、法第１条に定める災害とする。

（応援の区域）

**第３条** 応援の区域は、鹿角広域行政組合消防本部管内とする。

（応援の種別）

**第４条** この協定による応援は、次のとおりとする。

(1) 普通応援　　鹿角広域行政組合消防本部管内において、市町境界近隣地域で災害を認知または覚知した場合に、当該災害の発生地の市町の長の要請を待たずに応援出動することをいう。

(2) 特別応援　　鹿角広域行政組合消防本部管内において、大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、当該災害が発生し、又は発生するおそれがある市町の長の要請に基づいて応援出動することをいう。

（応援養成の方法）

**第５条** この協定に基づく特別応援要請は、発生地の市町の長から電話その他の方法により、次の事項を明確にして応援側の市町の長に対して行うものとする。ただし、緊急を要する場合には、鹿角広域行政組合消防長が直接応援側の消防団長に対して出動要請をすることにより、発生地の市町の長の要請に代えることができるものとする。

(1) 災害の種別

(2) 災害発生日時、場所及び状況

(3) 必要人数、資機材等の種類及び数量

(4) その他必要とする事項

（応援隊の派遣）

**第６条** 前条の規定により特別応援の要請を受けた市町の長は、消防団業務に支障のない範囲において速やかに応援隊を派遣するものとする。

２　応援側の市町の長は、応援要請に応ずることができない場合は、その旨を速やかに応援を要請した市町の長に連絡するものとする。

（応援隊の指揮）

**第７条** 応援隊は、すべての要請側最高指揮者の指揮のもとに行動するものとする。

（応援隊の報告）

**第８条** 応援隊の長は、相貌行動について速やかに要請側最高指揮者に報告するものとする。

（応援に要した経費の負担）

第９条　応援に要した経費は、次の区分により負担するものとする。

(1) 応援業務による機械器具の破損修理、消火薬剤、燃料及び手当等に関する経常的経費は、応援側の負担とする。

(2) 応援業務による消防団員の公務災害補償及び発生地への往復途中において第三者に損害を与えた場合の賠償等は、応援側の負担とする。

(3) 消防法（昭和２３年法律第１８６号）第２９条第３項の規定による損失の補償は、要請側の負担とし、全豪を除き重大な損失の補償が発生した場合については、関係当事者間で協議の上処理するものとする。

（疑義等の協議）

第 10 条　この協定の実施について、必要な事項または疑義が生じた場合には、その都度関係当事者間において協議のうえ決定するものとする。

（協定書の保有）

第 11 条　この協定を証するため本協定書を 2 通作成し、関係当事者が各 1 通を保管するものとする。

附　則

1　この協定は、平成 20 年 4 月 1 日から適用する。

2　平成 2 年 10 月 5 日に締結した、鹿角市と小坂町の消防相互応援協定は廃止する。

# 第18 鹿角市における防災業務協定等に関する資料

## 18－1 災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定書

**（趣旨）**

**第１条** この協定は、災害対策基本法（昭和３６年法律第２２３号）の規定に基づき、秋田県内において大規模な災害が発生した場合等において、被災した市町村（以下「被災市町村」という。）独自では被災者の救援等が十分に実施できない場合に、秋田県（以下「県」という。）及び市町村相互の応援による応急活動等を迅速かつ円滑に遂行するため、必要な事項を定めるものとする。

**（応援の種類）**

**第２条** この協定に基づく応援の内容は、次のとおりとする。

(1) 食料、飲料、生活必需品等の備蓄物資の提供

(2) 避難所の開設及び避難者の受け入れ

(3) 廃棄物処理や火葬の実施等の応急活動に必要な施設や資機材の提供

(4) 応急活動に必要な職員の派遣

(5) 前各号に掲げるもののほか、被災市町村から特に要請のあったもの

**（応援の要請）**

**第３条** 被災市町村は、当該市町村の地域にかかる災害が発生した場合等において、応急活動等を実施するため必要があるときは、県に対して応援を要請することができる。

２ 前項の規定による要請をしようとする被災市町村（以下「応援要請市町村」という。）は、次に掲げる事項を明らかにして、県に要請するものとする。

(1) 被害の状況

(2) 要請する応援の内容

ア 前条第１号に掲げる応援の場合は、物資の品目、数量、搬入先等

イ 前条第２号に掲げる応援の場合は、避難者数、避難期間等

ウ 前条第３号に掲げる応援の場合は、応急活動の種類、数量、期間等

エ 前条第４号に掲げる応援の場合は、職種、人数、活動内容、派遣期間等

(3) 前２号に掲げるもののほか必要な事項

３ 第１項の規定にかかわらず、応援要請市町村は、県に要請するいとまがないときは、他の市町村に直接要請できるものとし、事後速やかに県に報告するものとする。

**（要請を受けた県及び市町村の役割）**

**第４条** 県は、前条第２項の規定による要請を受けたときは、速やかに他の市町村に応援の要請を通知するものとする。

２ 前項の規定による通知を受けた市町村は、応援が可能な場合には、その内容を速やかに県に報告するものとする。

３ 前項の規定による報告を受けた県は、速やかに応援内容を調整し、その結果を前項の規定により報告した市町村及び応援要請市町村に通知するものとする。

４　前条第３項の規定による要請又は前項の規定による調整により応援を行う市町村は、直ちに応援を実施するものとする。

５　前４項の規定にかかわらず、県は、前条第２項の規定による要請の内容を踏まえ、県自ら実施することが適当と判断した場合には、直ちに応援を実施するものとし、その内容を応援要請市町村に通知するものとする。

**（自主応援）**

**第５条**　県及び市町村は、災害の状況に鑑み、特に緊急を要し、かつ、被災市町村が第３条第２項の規定による要請を行うことができない状況にあると判断した場合には、自主的に応援を実施することができるものとし、この場合には、同項の規定による要請があったものとみなす。

２　前項の規定による応援を実施した市町村は、その内容を事後速やかに県に報告するものとする。

**（要請等の手段）**

**第６条**　第３条から前条までの規定による要請等は、電話等により行うことができるものとし、事後速やかに、次表に定める区分に従い、当該各号に規定する様式による文書を送付するものとする。

| 区　　分 | 様　　式 |
|---|---|
| 第３条第２項及び第３項に規定する応援要請 | 第１号 |
| 第３条第３項に規定する直接応援要請の報告 | 第２号 |
| 第４条第１項に規定する応援要請の通知 | 第３号 |
| 第４条第２項に規定する応援内容の報告 | 第４号 |
| 第４条第３項及び第５項に規定する応援実施の通知 | 第５号 |
| 第５条第２項に規定する自主応援の報告 | 第６号 |

**（経費の負担）**

**第７条**　応援に要した経費は、災害救助法（昭和２２年法律第１１８号）その他の法令の規定により国又は県が負担する部分を除き、応援要請市町村の負担とする。

**（その他）**

**第８条**　この協定書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、県及び市町村がその都度協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書２６通を作成し、県及び各市町村が記名押印の上、それぞれ１通を保有する。

## 18－2 災害時における相互援助に関する協定書（秋田県内13市）

**〇締 結 日** 平成 18 年 4 月 26 日

**〇締結機関** 秋田市、能代市、横手市、大館市、由利本荘市、男鹿市、湯沢市、大仙市、潟上市、北秋田市、仙北市、にかほ市

**〇締結内容**

**（趣旨）**

**第１条** この協定書は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）の規定の趣旨にのっとり、秋田県市長会を構成する各市（以下「各都市」という。）の市長の協議により、各都市の全部又は一部において大規模な災害は発生し、これにより被災した都市（以下「被災都市」という。）のみでは十分な救護等の応急措置が実施できない場合に、都市間の相互援助協力（以下「援助」という。）について必要な事項を定めるものとする。

**（援助の種類）**

**第２条** 援助の種類は、次のとおりとする。

(1) 食糧および生活必需品ならびにこれらの供給に必要な資機材および物資の提　　供

(2) 救援および救助に必要な車両等の提供

(3) 被災者の救出、医療および防疫ならびに施設の応急復旧等に必要な資機材の提供

(4) 被災者を一時入所させるための施設の提供

(5) 救助および応急復旧に必要な職員の派遣

(6) 前各号に定めるもののほか、被災都市が特に必要があると認められるもの

**（援助要請の手続）**

**第３条** 援助を受けようとする被災都市は、次の各号に掲げる事項を明らかにした電話等による要請を行い、後日速やかに別記様式第 1 号による文書を提出するものとする。

(1) 被害の状況

(2) 援助を受ける場所およびその経路

(3) 援助を受ける期間

(4) 前条第 1 号から第 4 号までに掲げるものを要請する場合は、品名、規格、数量等

(5) 前条第 5 号に掲げる職員の派遣要請をする場合は、事務職、技術職、技能職の職種別および人員

(6) 前各号に掲げるもののほか必要な事項

**（緊急援助活動の実施）**

**第４条** 各都市のいずれかにおいて大規模な災害が発生したことが明らかな場合は、前条に規定する援助の要請を受けないときであっても、当該被災都市のほかの市は、直ちに自主的な判断により緊急援助活動を実施することができるものとする。

**（調整都市）**

**第５条** 災害時における援助に係る事務を迅速かつ円滑に実施するため、第２条に規定する援助又は前条に規定する緊急援助活動（以下「援助業務」という。）を行う都市（以下「援助都市」という。）と被害都市との総合的な調整を行うための都市（以下「調整都市」という。）を置く。

２　前項の調整都市は、各被災都市に応じて、別紙に定めるとおりとする。

**（経費の負担）**

**第６条**　援助業務に要した経費は、原則として被災都市の負担とする。ただし、これにより難い場合は、関係都市が協議して定めるものとする。

**（賠償責任）**

**第７条**　援助活動に従事した職員が、その活動により死亡し、負傷し、もしくは疾病にかかり、又はその活動に従事したことによる負傷もしくは疾病により死亡し、もしくは重度障害者となった場合においては、本人又はその遺族に被った損害は、援助都市がその賠償の責めを負うものとする。

２　援助都市の職員が援助業務を実施している際に、第三者に損害を与えた場合（その損害が被災都市との援助都市との往復途上に生じた場合を除く。）は、被災都市がその倍賞の責めを負うものとする。

**（連絡体制等）**

**第８条**　各都市は、別記様式第２号のとおり、この協定書に係る連絡担当部課（室）を定め、大規模な災害が発生したときは、速やかに相互に連絡を取り合うものとする。

２　各都市は、この協定の実効性を高めるため、秋田県都市間災害時相互援助協定連絡会議（以下「会議」という。）を設置する。

３　会議は、必要に応じて大規模災害時における相互援助に関する対策を研究し、又は協議するものとする。

**（効力の発生日）**

**第９条**　この協定書は、平成 18 年４月 26 日から効力を発生するものとする。

**（協議）**

**第 10 条**　この協定書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書 13 通を作成し、各都市記名押印の上、それぞれ１通を保有する。

# 18－3 災害時応援協定一覧

| 相手方 | 協定名称 | 締結先 | 締結日 | 協定内容 | 団体等数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 自治体 | 災害時における秋田県及び市町村相互の応援に関する協定 | 秋田県及び県内25市町村 | H24.1.20 | 相互応援 | 26 |
| | 災害時における相互援助に関する協定 | 秋田県13市 | H18.4.26 | 相互応援 | 13 |
| 団体等 | 災害時の情報交換に関する協定 | 国土交通省東北地方整備局 | H22.11.16 | 情報交換 | 1 |
| | 災害時における協力に関する覚書 | 花輪郵便局(市内郵便局) | H10.3.5 | 情報交換 | 6 |
| | 災害時における水道施設の応急対策業務の応援活動に関する協定 | 鹿角管工事業協会 | H20.5.13 | 水道施設の応急対策 | 1 |
| | 災害復旧時の協力に関する協定 | 東日本電信電話㈱秋田支店 | H21.11.19 | 職員派遣、通信設備の復旧協力、特設公衆電話の設置 | 1 |
| | 災害時の協力に関する協定 | 東北電力㈱鹿角営業所 | H21.11.19 | 職員派遣、電力設備の復旧協力 | 1 |
| | 災害時における電気設備等復旧応援に関する協定 | 北鹿電気工事業協同組合 | H23.9.30 | 電気施設の応急復旧工事 | 13 |
| | 鹿角市における災害協力に関する協定 | ㈱秋田銀行市内各支店 | H25.3.21 | インフラ提供、復旧融資制度、緊急支援物資集積場所の提供 | 3 |
| | 鹿角市における災害協力に関する協定 | ㈱北都銀行市内各支店 | H25.3.21 | インフラ提供、復旧融資制度、緊急支援物資集積場所の提供 | 2 |
| 民間 | 災害時における緊急物資輸送及び緊急物資拠点の運営等に関する協定 | ヤマト運輸㈱秋田主管支店 | H25.6.3 | 避難所等への防災用備品及び支援物資の配送、支援物資拠点の運営等 | 1 |
| | 災害時における避難所運営資機材の確保に関する協定 | ㈱カナモト鹿角営業所 | H25.1.24 | 避難所運営資機材の確保 | 1 |
| | 災害時における避難所運営資機材の確保に関する協定 | 幸和リース㈱鹿角営業所 | H25.1.24 | 避難所運営資機材の確保 | 1 |
| | 災害時における避難所運営資機材の確保に関する協定 | 蔵王リース㈱ | H25.1.24 | 避難所運営資機材の確保 | 1 |
| | 災害時における避難所運営資機材の確保に関する協定 | ㈱フジモト | H25.1.24 | 避難所運営資機材の確保 | 1 |
| | 災害時における避難所運営資機材の確保に関する協定 | ㈱ほくとう鹿角店 | H25.1.24 | 避難所運営資機材の確保 | 1 |
| | 災害時生活物資供給等に関する協定 | ㈱いとく | H9.11.20 | 生活物資全般 | 2 |
| | 災害時生活物資供給等に関する協定 | かづの農業協同組合 | H9.11.20 | 生活物資(米・衣料品のみ) | 1 |
| | 災害時生活物資供給等に関する協定 | ㈱ユニバース | H14.3.12 | 生活物資全般 | 1 |
| | 災害時生活物資供給等に関する協定 | イオンスーパーセンター㈱ | H23.6.29 | 生活物資全般 | 1 |
| | 災害時生活物資供給等に関する協定 | ㈱Aコープ北東北 | H24.5.7 | 生活物資全般 | 1 |
| | 災害時における燃料の優先供給等に関する協定 | ㈱アニモ | H24.4.27 | 燃料の優先供給 | 3 |
| | 災害時における飲料水等の供給協力に関する協定 | ダイドードリンコ㈱東北第一営業部 | H25.10.6 | 飲料水等の供給協力 | 1 |

# 第19 鹿角市の状況に関する資料

## 19−1 気象状況

### 年ごとの値（鹿角地域気象観測所）

| 年 | 降水量(mm) | | | | 気温(℃) | | | | | 風向・風速(m/s) | | | | | 日照時間(h) | 雪(寒候年・cm) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 日最大 | 最大 | | 平均 | | | 最高 | 最低 | 平均風速 | 最大風速 | | 最大瞬間風速 | | | 降雪の合計 | 日降雪の最大 | 最深積雪 |
| | | | 1時間 | 10分間 | 日平均 | 日最高 | 日最低 | | | | 風速 | 風向 | 風速 | 風向 | | | | |
| 1976 | 903.0 | 48.0 | 16.0 | − | −1.2 | 2.3 | −5.0 | 10.2 | −14.8 | 2.1 | 10.0 | 西南西 | − | − | 107.8 | − | − | − |
| 1977 | 1188.0 | 73.0 | 15.0 | − | 7.8 | 12.6 | 3.1 | 31.1 | −22.4 | 2.1 | 12.0 | 西南西 | − | − | 2009.6 | − | − | − |
| 1978 | 1224.0 | 48.0 | 25.0 | − | 9.3 | 14.4 | 4.5 | 36.1 | −19.0 | 1.9 | 13.0 | 西南西 | − | − | 1880.0 | − | − | − |
| 1979 | 1844.0 | 83.0 | 29.0 | − | 9.6 | 14.3 | 5.1 | 34.3 | −16.4 | 2.0 | 15.0 | 西南西 | − | − | 1652.0 | − | − | − |
| 1980 | 1345.0 | 88.0 | 15.0 | − | 8.8 | 13.5 | 4.2 | 33.2 | −16.0 | 2.0 | 10.0 | 西南西 | − | − | 1773.5 | 374 | 16 | 43 |
| 1981 | 1689.0 | 70.0 | 35.0 | − | 8.4 | 12.9 | 4.0 | 34.0 | −19.2 | 2.0 | 11.0 | 南西 | − | − | 1924.6 | 496 | 34 | 71 |
| 1982 | 1305.0 | 106.0 | 21.0 | − | 9.4 | 14.3 | 4.6 | 32.5 | −16.6 | 2.0 | 11.0 | 南西 | − | − | 2165.8 | 486 | 30 | 60 |
| 1983 | 1362.0 | 58.0 | 22.0 | − | 8.9 | 13.6 | 4.2 | 33.2 | −16.1 | 2.1 | 13.0 | 南西 | − | − | 2054.9 | 991 | 40 | 89 |
| 1984 | 1032.0 | 64.0 | 18.0 | − | 8.5 | 13.2 | 3.9 | 34.8 | −18.2 | 1.9 | 10.0 | 西南西 | − | − | 2155.9 | 844 | 25 | 66 |
| 1985 | 1098.0 | 37.0 | 10.0 | − | 9.1 | 13.7 | 4.5 | 34.8 | −19.1 | 1.9 | 12.0 | 西南西 | − | − | 1940.2 | 626 | 27 | 73 |
| 1986 | 1107.0 | 90.0 | 13.0 | − | 8.7 | 13.2 | 4.3 | 34.6 | −16.8 | 2.0 | 10.0 | 西 | − | − | 1892.3 | 794 | 34 | 76 |
| 1987 | 1293.0 | 79.0 | 19.0 | − | 9.2 | 14.0 | 4.5 | 33.1 | −16.2 | 2.0 | 10.0 | 南西 | − | − | 473.2 | 672 | 24 | 57 |
| 1988 | 870.0 | 29.0 | 10.0 | − | 8.8 | 13.2 | 4.8 | 33.5 | −16.2 | 2.1 | 9.0 | 西南西 | − | − | 1225.4 | 900 | 32 | 60 |
| 1989 | 1054.0 | 60.0 | 13.0 | − | 10.1 | 14.9 | 5.6 | 33.8 | −12.8 | 1.9 | 9.0 | 西南西 | − | − | 1363.0 | 409 | 21 | 30 |
| 1990 | 1430.0 | 74.0 | 23.0 | − | 10.6 | 15.5 | 5.9 | 35.1 | −17.7 | 1.9 | 10.0 | 南西 | − | − | 1428.2 | 376 | 19 | 33 |
| 1991 | 1587.0 | 81.0 | 23.0 | − | 9.8 | 14.5 | 5.4 | 34.4 | −13.8 | 1.8 | 19.0 | − | − | − | 1350.7 | 746 | 32 | 54 |
| 1992 | 1216.0 | 54.0 | 26.0 | − | 9.3 | 14.1 | 4.9 | 33.5 | −15.1 | 1.7 | 10.0 | 南南西 | − | − | 1323.1 | 960 | 38 | 83 |
| 1993 | 1404.0 | 110.0 | 21.0 | − | 8.8 | 13.4 | 4.6 | 32.3 | −14.2 | 1.9 | 10.0 | 南西 | − | − | 1130.5 | 418 | 29 | 39 |
| 1994 | 1005.0 | 64.0 | 33.0 | − | 9.8 | 14.6 | 5.3 | 35.5 | −14.7 | 1.9 | 12.0 | 南西 | − | − | 1400.7 | 511 | 22 | 51 |
| 1995 | 1475.0 | 85.0 | 14.0 | − | 9.4 | 13.9 | 5.1 | 31.0 | −16.7 | 1.7 | 12.0 | 南西 | − | − | 1167.1 | 554 | 27 | 49 |
| 1996 | 1279.0 | 86.0 | 24.0 | − | 8.7 | 13.3 | 4.4 | 34.0 | −14.3 | 1.8 | 9.0 | 南西 | − | − | 1212.8 | 608 | 22 | 62 |
| 1997 | 1354.0 | 54.0 | 16.0 | − | 9.6 | 14.3 | 5.2 | 34.0 | −13.6 | 1.8 | 12.0 | 西南西 | − | − | 1296.4 | 506 | 23 | 65 |
| 1998 | 1677.0 | 67.0 | 16.0 | − | 9.9 | 14.6 | 5.5 | 33.3 | −17.8 | 1.6 | 9.0 | 南西 | − | − | 1421.9 | 444 | 22 | 61 |
| 1999 | 1329.0 | 57.0 | 14.0 | − | 9.9 | 14.7 | 5.3 | 36.9 | −19.6 | 1.4 | 11.0 | 南西 | − | − | 1526.0 | 576 | 29 | 81 |
| 2000 | 1305.0 | 90.0 | 23.0 | − | 9.7 | 14.3 | 5.5 | 37.0 | −19.6 | 1.4 | 10.0 | 西南西 | − | − | 1467.3 | 692 | 32 | 79 |
| 2001 | 1189.0 | 58.0 | 15.0 | − | 9.0 | 13.7 | 4.6 | 33.3 | −14.5 | 1.6 | 10.0 | 西南西 | − | − | 1504.3 | 634 | 23 | 74 |
| 2002 | 1484.0 | 54.0 | 21.0 | − | 9.5 | 14.0 | 5.2 | 34.1 | −16.4 | 1.5 | 10.0 | 南西 | − | − | 1295.0 | 606 | 38 | 66 |
| 2003 | 1207.0 | 64.0 | 17.0 | − | 9.4 | 14.5 | 4.7 | 32.3 | −15.0 | 1.6 | 10.0 | 西南西 | − | − | 1320.8 | 563 | 25 | 64 |
| 2004 | 1674.0 | 85.0 | 35.0 | − | 10.2 | 15.2 | 5.5 | 35.7 | −17.2 | 1.7 | 11.0 | 西南西 | − | − | 1357.9 | 513 | 28 | 72 |
| 2005 | 1499.0 | 64.0 | 20.0 | − | 9.4 | 13.9 | 5.1 | 33.4 | −13.9 | 1.7 | 11.0 | 南西 | − | − | 1317.3 | 667 | 30 | 101 |
| 2006 | 1239.0 | 117.0 | 48.0 | − | 9.5 | 14.4 | 5.2 | 35.0 | −18.1 | 1.6 | 10.0 | 西 | − | − | 1299.1 | 769 | 38 | 90 |
| 2007 | 1462.0 | 137.0 | 24.0 | − | 9.6 | 14.4 | 5.1 | 36.1 | −13.4 | 1.5 | 9.0 | 南西 | − | − | 1337.1 | 455 | 35 | 61 |
| 2008 | 1105.0 | 65.0 | 33.0 | 12.5 | 9.7 | 14.9 | 4.9 | 32.9 | −15.4 | 1.8 | 12.5 | 西南西 | 24.2 | 南西 | 1531.9 | 408 | 31 | 44 |
| 2009 | 1488.0 | 60.0 | 22.5 | 13.0 | 9.4 | 14.6 | 4.5 | 33.1 | −17.3 | 1.8 | 12.4 | 南西 | 24.4 | 南南西 | 1465.7 | 551 | 33 | 58 |
| 2010 | 1866.5 | 100.5 | 53.5 | 20.5 | 9.9 | 14.7 | 5.5 | 34.0 | −14.8 | 1.8 | 11.7 | 西 | 20.3 | 南西 | 1350.5 | 566 | 31 | 77 |
| 2011 | 1760.5 | 123.5 | 40.5 | 13.0 | 9.2 | 14.0 | 4.7 | 33.2 | −16.5 | 1.8 | 10.4 | 西南西 | 21.8 | 西南西 | 1404.2 | 645 | 31 | 102 |
| 2012 | 1257.0 | 134.5 | 35.5 | 12.5 | 9.3 | 14.2 | 4.6 | 33.8 | −18.0 | 1.7 | 16.8 | 南西 | 25.3 | 南南西 | 1564.1 | 512 | 15 | 72 |
| 2013 | 1998.0 | 293.0 | 108.5 | 25.5 | 9.2 | 13.9 | 4.8 | 33.1 | −15.5 | 1.7 | 12.0 | 南南西 | 20.6 | 西北西 | 1342.5 | 486 | 21 | 100 |

出典：過去の気象データ検索（気象庁 HP）

## 降水量の詳細(鹿角地域気象観測所)

| 年 | 降水量(mm) | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 日最大 | | 1時間最大 | | 10分間最大 | | 各階級の日数 | | | | | |
| | | 値 | 月日 | 値 | 月日 | 値 | 月日 | ≧1mm | ≧10mm | ≧30mm | ≧50mm | ≧70mm | ≧100mm |
| 1976 | 903.0 | 48.0 | 9月11日 | 16.0 | 8月11日 | − | − | 108 | 35 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 1977 | 1188.0 | 73.0 | 8月5日 | 15.0 | 8月28日 | − | − | 159 | 39 | 6 | 2 | 1 | 0 |
| 1978 | 1224.0 | 48.0 | 6月21日 | 25.0 | 8月14日 | − | − | 160 | 45 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 1979 | 1844.0 | 83.0 | 8月7日 | 29.0 | 8月7日 | − | − | 189 | 57 | 16 | 6 | 1 | 0 |
| 1980 | 1345.0 | 88.0 | 6月17日 | 15.0 | 7月8日 | − | − | 174 | 47 | 5 | 2 | 2 | 0 |
| 1981 | 1689.0 | 70.0 | 6月23日 | 35.0 | 7月21日 | − | − | 183 | 57 | 10 | 5 | 1 | 0 |
| 1982 | 1305.0 | 106.0 | 5月13日 | 21.0 | 5月13日 | − | − | 157 | 45 | 8 | 1 | 1 | 1 |
| 1983 | 1362.0 | 58.0 | 7月1日 | 22.0 | 9月6日 | − | − | 177 | 49 | 8 | 1 | 0 | 0 |
| 1984 | 1032.0 | 64.0 | 7月9日 | 18.0 | 7月25日 | − | − | 170 | 27 | 4 | 2 | 0 | 0 |
| 1985 | 1098.0 | 37.0 | 7月1日 | 10.0 | 10月13日 | − | − | 176 | 34 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 1986 | 1107.0 | 90.0 | 8月5日 | 13.0 | 8月5日 | − | − | 175 | 36 | 5 | 1 | 1 | 0 |
| 1987 | 1293.0 | 79.0 | 7月22日 | 19.0 | 7月31日 | − | − | 163 | 37 | 9 | 3 | 1 | 0 |
| 1988 | 870.0 | 29.0 | 9月20日 | 10.0 | 8月27日 | − | − | 148 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1989 | 1054.0 | 60.0 | 9月10日 | 13.0 | 9月18日 | − | − | 143 | 38 | 3 | 2 | 0 | 0 |
| 1990 | 1430.0 | 74.0 | 10月26日 | 23.0 | 8月21日 | − | − | 159 | 48 | 10 | 2 | 1 | 0 |
| 1991 | 1587.0 | 81.0 | 6月12日 | 23.0 | 7月31日 | − | − | 175 | 50 | 10 | 3 | 2 | 0 |
| 1992 | 1216.0 | 54.0 | 8月13日 | 26.0 | 8月16日 | − | − | 173 | 43 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 1993 | 1404.0 | 110.0 | 7月28日 | 21.0 | 7月26日 | − | − | 177 | 46 | 6 | 2 | 2 | 1 |
| 1994 | 1005.0 | 64.0 | 8月31日 | 33.0 | 8月31日 | − | − | 148 | 34 | 4 | 1 | 0 | 0 |
| 1995 | 1475.0 | 85.0 | 8月5日 | 14.0 | 8月5日 | − | − | 187 | 44 | 7 | 3 | 2 | 0 |
| 1996 | 1279.0 | 86.0 | 7月3日 | 24.0 | 7月3日 | − | − | 185 | 40 | 7 | 2 | 1 | 0 |
| 1997 | 1354.0 | 54.0 | 5月8日 | 16.0 | 6月21日 | − | − | 171 | 50 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 1998 | 1677.0 | 67.0 | 6月26日 | 16.0 | 9月8日 | − | − | 167 | 54 | 12 | 2 | 0 | 0 |
| 1999 | 1329.0 | 57.0 | 9月1日 | 14.0 | 9月1日 | − | − | 184 | 40 | 8 | 1 | 0 | 0 |
| 2000 | 1305.0 | 90.0 | 7月18日 | 23.0 | 7月18日 | − | − | 176 | 47 | 3 | 1 | 1 | 0 |
| 2001 | 1189.0 | 58.0 | 7月12日 | 15.0 | 9月11日 | − | − | 167 | 36 | 8 | 1 | 0 | 0 |
| 2002 | 1484.0 | 54.0 | 7月11日 | 21.0 | 8月11日 | − | − | 176 | 49 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| 2003 | 1207.0 | 64.0 | 7月10日 | 17.0 | 9月6日 | − | − | 159 | 41 | 6 | 1 | 0 | 0 |
| 2004 | 1674.0 | 85.0 | 9月30日 | 35.0 | 7月11日 | − | − | 186 | 54 | 9 | 7 | 3 | 0 |
| 2005 | 1499.0 | 64.0 | 7月6日 | 20.0 | 8月3日 | − | − | 193 | 43 | 9 | 3 | 0 | 0 |
| 2006 | 1239.0 | 117.0 | 10月7日 | 48.0 | 8月21日 | − | − | 178 | 28 | 6 | 3 | 2 | 1 |
| 2007 | 1462.0 | 137.0 | 9月17日 | 24.0 | 9月16日 | − | − | 159 | 51 | 5 | 2 | 1 | 1 |
| 2008 | 1105.0 | 65.0 | 7月28日 | 33.0 | 8月29日 | 12.5 | 7月28日 | 142 | 40 | 7 | 1 | 0 | 0 |
| 2009 | 1488.0 | 60.0 | 10月8日 | 22.5 | 7月25日 | 13.0 | 8月10日 | 162 | 43 | 11 | 3 | 0 | 0 |
| 2010 | 1866.5 | 100.5 | 7月30日 | 53.5 | 7月24日 | 20.5 | 7月15日 | 170 | 56 | 13 | 5 | 3 | 1 |
| 2011 | 1760.5 | 123.5 | 8月17日 | 40.5 | 8月17日 | 13.0 | 8月17日 | 169 | 49 | 15 | 9 | 1 | 1 |
| 2012 | 1257.0 | 134.5 | 7月16日 | 35.5 | 7月16日 | 12.5 | 7月16日 | 156 | 35 | 6 | 2 | 1 | 1 |
| 2013 | 1998.0 | 293.0 | 8月9日 | 108.5 | 8月9日 | 25.5 | 8月9日 | 176 | 49 | 9 | 7 | 4 | 2 |

出典：過去の気象データ検索（気象庁HP）

## 気温の詳細(鹿角地域気象観測所)

| 年 | 気温(℃) | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均 | | | 最高 | | 最低 | | 積算 | 各階級の日数(平均) | | 各階級の日数(最低) | | 各階級の日数(最高) | | | |
| | 日平均 | 日最高 | 日最低 | 値 | 月日 | 値 | 月日 | | ＜0℃ | ≧25℃ | ＜0℃ | ≧25℃ | ＜0℃ | ≧25℃ | ≧30℃ | ≧35℃ |
| 1976 | −1.2 | 2.3 | −5.0 | 10.2 | 11月26日 | −14.8 | 12月29日 | 0 | 22 | 0 | 34 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 1977 | 7.8 | 12.6 | 3.1 | 31.1 | 6月28日 | −22.4 | 1月27日 | 2930 | 71 | 4 | 125 | 0 | 49 | 59 | 6 | 0 |
| 1978 | 9.3 | 14.4 | 4.5 | 36.1 | 8月3日 | −19.0 | 2月16日 | 3195 | 81 | 23 | 137 | 0 | 46 | 88 | 33 | 3 |
| 1979 | 9.6 | 14.3 | 5.1 | 34.3 | 8月18日 | −16.4 | 1月24日 | 3030 | 65 | 5 | 130 | 0 | 17 | 58 | 8 | 0 |
| 1980 | 8.8 | 13.5 | 4.2 | 33.2 | 6月7日 | −16.0 | 2月17日 | 3015 | 89 | 0 | 137 | 0 | 37 | 52 | 4 | 0 |
| 1981 | 8.4 | 12.9 | 4.0 | 34.0 | 7月30日 | −19.2 | 1月14日 | 2845 | 87 | 9 | 142 | 0 | 43 | 51 | 9 | 0 |
| 1982 | 9.4 | 14.3 | 4.6 | 32.5 | 8月20日 | −16.6 | 2月2日 | 3202 | 77 | 8 | 130 | 1 | 28 | 73 | 11 | 0 |
| 1983 | 8.9 | 13.6 | 4.2 | 33.2 | 8月14日 | −16.1 | 2月15日 | 3016 | 89 | 8 | 147 | 2 | 36 | 56 | 10 | 0 |
| 1984 | 8.5 | 13.2 | 3.9 | 34.8 | 8月15日 | −18.2 | 1月28日 | 3075 | 103 | 22 | 152 | 0 | 59 | 71 | 27 | 0 |
| 1985 | 9.1 | 13.7 | 4.5 | 34.8 | 8月9日 | −19.1 | 1月5日 | 3271 | 96 | 22 | 137 | 0 | 44 | 62 | 27 | 0 |
| 1986 | 8.7 | 13.2 | 4.3 | 34.6 | 8月2日 | −16.8 | 3月4日 | 3040 | 81 | 7 | 137 | 0 | 44 | 55 | 16 | 0 |
| 1987 | 9.2 | 14.0 | 4.5 | 33.1 | 8月31日 | −16.2 | 1月21日 | 3233 | 88 | 5 | 144 | 0 | 46 | 68 | 9 | 0 |
| 1988 | 8.8 | 13.2 | 4.8 | 33.5 | 8月14日 | −16.2 | 2月16日 | 2999 | 81 | 11 | 144 | 0 | 45 | 52 | 15 | 0 |
| 1989 | 10.1 | 14.9 | 5.6 | 33.8 | 8月4日 | −12.8 | 1月26日 | 3254 | 52 | 19 | 117 | 0 | 10 | 67 | 24 | 0 |
| 1990 | 10.6 | 15.5 | 5.9 | 35.1 | 8月22日 | −17.7 | 1月24日 | 3392 | 52 | 13 | 109 | 0 | 16 | 84 | 17 | 1 |
| 1991 | 9.8 | 14.5 | 5.4 | 34.4 | 8月20日 | −13.8 | 2月20日 | 3255 | 78 | 3 | 135 | 0 | 21 | 73 | 8 | 0 |
| 1992 | 9.3 | 14.1 | 4.9 | 33.5 | 8月17日 | −15.1 | 1月27日 | 3012 | 83 | 5 | 130 | 0 | 24 | 65 | 6 | 0 |
| 1993 | 8.8 | 13.4 | 4.6 | 32.3 | 8月27日 | −14.2 | 12月20日 | 2834 | 71 | 1 | 134 | 0 | 13 | 34 | 4 | 0 |
| 1994 | 9.8 | 14.6 | 5.3 | 35.5 | 8月10日 | −14.7 | 1月31日 | 3387 | 79 | 29 | 143 | 0 | 35 | 79 | 33 | 1 |
| 1995 | 9.4 | 13.9 | 5.1 | 31.0 | 8月14日 | −16.7 | 1月13日 | 3236 | 74 | 6 | 132 | 0 | 24 | 56 | 3 | 0 |
| 1996 | 8.7 | 13.3 | 4.4 | 34.0 | 8月14日 | −14.3 | 1月3日 | 3008 | 88 | 9 | 138 | 0 | 31 | 61 | 9 | 0 |
| 1997 | 9.6 | 14.3 | 5.2 | 34.0 | 7月24日 | −13.6 | 2月3日 | 3070 | 74 | 12 | 128 | 0 | 22 | 63 | 14 | 0 |
| 1998 | 9.9 | 14.6 | 5.5 | 33.3 | 7月26日 | −17.8 | 2月7日 | 3545 | 82 | 4 | 133 | 0 | 32 | 72 | 8 | 0 |
| 1999 | 9.9 | 14.7 | 5.3 | 36.9 | 8月9日 | −19.6 | 2月4日 | 3470 | 87 | 27 | 143 | 0 | 30 | 86 | 27 | 4 |
| 2000 | 9.7 | 14.3 | 5.5 | 37.0 | 7月31日 | −19.6 | 1月27日 | 3365 | 84 | 18 | 138 | 0 | 31 | 88 | 25 | 1 |
| 2001 | 9.0 | 13.7 | 4.6 | 33.3 | 9月9日 | −14.5 | 1月9日 | 3211 | 95 | 4 | 141 | 0 | 64 | 64 | 9 | 0 |
| 2002 | 9.5 | 14.0 | 5.2 | 34.1 | 7月25日 | −16.4 | 2月13日 | 3292 | 77 | 7 | 138 | 0 | 27 | 56 | 12 | 0 |
| 2003 | 9.4 | 14.5 | 4.7 | 32.3 | 9月13日 | −15.0 | 1月3日 | 3149 | 74 | 1 | 130 | 0 | 27 | 57 | 5 | 0 |
| 2004 | 10.2 | 15.2 | 5.5 | 35.7 | 7月30日 | −17.2 | 1月26日 | 3413 | 69 | 12 | 121 | 0 | 24 | 72 | 16 | 1 |
| 2005 | 9.4 | 13.9 | 5.1 | 33.4 | 8月1日 | −13.9 | 1月15日 | 3291 | 89 | 15 | 143 | 0 | 48 | 80 | 18 | 0 |
| 2006 | 9.5 | 14.4 | 5.2 | 35.0 | 8月8日 | −18.1 | 1月10日 | 3271 | 75 | 16 | 134 | 0 | 32 | 73 | 21 | 1 |
| 2007 | 9.6 | 14.4 | 5.1 | 36.1 | 8月14日 | −13.4 | 3月19日 | 3232 | 80 | 8 | 137 | 0 | 16 | 78 | 10 | 2 |
| 2008 | 9.7 | 14.9 | 4.9 | 32.9 | 8月13日 | −15.4 | 1月19日 | 3267 | 79 | 2 | 127 | 0 | 38 | 81 | 11 | 0 |
| 2009 | 9.4 | 14.6 | 4.5 | 33.1 | 6月28日 | −17.3 | 1月28日 | 3195 | 80 | 0 | 142 | 0 | 22 | 68 | 5 | 0 |
| 2010 | 9.9 | 14.7 | 5.5 | 34.0 | 9月2日 | −14.8 | 2月18日 | 3373 | 80 | 22 | 139 | 0 | 26 | 91 | 25 | 0 |
| 2011 | 9.2 | 14.0 | 4.7 | 33.2 | 9月3日 | −16.5 | 1月16日 | 3233 | 100 | 19 | 147 | 0 | 43 | 78 | 19 | 0 |
| 2012 | 9.3 | 14.2 | 4.6 | 33.8 | 8月28日 | −18.0 | 1月28日 | 3427 | 102 | 26 | 142 | 0 | 51 | 88 | 39 | 0 |
| 2013 | 9.2 | 13.9 | 4.8 | 33.1 | 6月14日 | −15.5 | 1月27日 | 3205 | 86 | 4 | 143 | 0 | 42 | 78 | 10 | 0 |

出典：過去の気象データ検索（気象庁HP）

## 風・日照の詳細（鹿角地域気象観測所）

| 年 | 風向・風速(m/s) | | | | | | | | | | | | 日照時間(h) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均風速 | 最大風速 | | | 最大瞬間風速 | | | 最多風向 | 各階級の日数(最大風速) | | | | 合計 | 各階級の日数 |
| | | 風速 | 風向 | 月日 | 風速 | 風向 | 月日時分 | | 10m/s | 15m/s | 20m/s | 30m/s | | ＜0.1h |
| 1976 | 2.1 | 10.0 | 西南西 | 12月19日 | — | — | — | 西南西 | 1 | 0 | 0 | 0 | 107.8 | 3 |
| 1977 | 2.1 | 12.0 | 西南西 | 4月28日 | — | — | — | 西南西 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2009.6 | 28 |
| 1978 | 1.9 | 13.0 | 西南西 | 4月8日 | — | — | — | 西南西 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1880.0 | 39 |
| 1979 | 2.0 | 15.0 | 西南西 | 3月31日 | — | — | — | 西南西 | 5 | 1 | 0 | 0 | 1652.0 | 39 |
| 1980 | 2.0 | 10.0 | 西南西 | 10月31日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1773.5 | 39 |
| 1981 | 2.0 | 11.0 | 南西 | 11月3日 | — | — | — | 西南西 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1924.6 | 28 |
| 1982 | 2.0 | 11.0 | 南西 | 10月25日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2165.8 | 31 |
| 1983 | 2.1 | 13.0 | 南西 | 4月27日 | — | — | — | 西南西 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2054.9 | 26 |
| 1984 | 1.9 | 10.0 | 西南西 | 3月11日 | — | — | — | 西南西 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2155.9 | 29 |
| 1985 | 1.9 | 12.0 | 西南西 | 2月23日 | — | — | — | 西南西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1940.2 | 43 |
| 1986 | 2.0 | 10.0 | 西 | 4月12日 | — | — | — | 西南西 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1892.3 | 20 |
| 1987 | 2.0 | 10.0 | 南西 | 3月25日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 473.2 | 20 |
| 1988 | 2.1 | 9.0 | 西南西 | 11月7日 | — | — | — | 西南西 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1225.4 | 73 |
| 1989 | 1.9 | 9.0 | 西南西 | 9月28日 | — | — | — | 西南西 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1363.0 | 58 |
| 1990 | 1.9 | 10.0 | 南西 | 12月1日 | — | — | — | 西南西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1428.2 | 62 |
| 1991 | 1.8 | 19.0 | — | 9月28日 | — | — | — | 西南西 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1350.7 | 57 |
| 1992 | 1.7 | 10.0 | 南南西 | 4月24日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1323.1 | 61 |
| 1993 | 1.9 | 10.0 | 南西 | 4月23日 | — | — | — | 西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1130.5 | 70 |
| 1994 | 1.9 | 12.0 | 南西 | 5月7日 | — | — | — | 西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1400.7 | 55 |
| 1995 | 1.7 | 12.0 | 南西 | 11月8日 | — | — | — | 西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1167.1 | 59 |
| 1996 | 1.8 | 9.0 | 南西 | 2月12日 | — | — | — | 西 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1212.8 | 75 |
| 1997 | 1.8 | 12.0 | 西南西 | 3月30日 | — | — | — | 西南西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1296.4 | 55 |
| 1998 | 1.6 | 9.0 | 南西 | 4月13日 | — | — | — | 西 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1421.9 | 61 |
| 1999 | 1.4 | 11.0 | 南西 | 6月24日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1526.0 | 49 |
| 2000 | 1.4 | 10.0 | 西南西 | 12月24日 | — | — | — | 西 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1467.3 | 50 |
| 2001 | 1.6 | 10.0 | 西南西 | 4月13日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1504.3 | 54 |
| 2002 | 1.5 | 10.0 | 南西 | 3月10日 | — | — | — | 西南西 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1295.0 | 74 |
| 2003 | 1.6 | 10.0 | 西南西 | 11月22日 | — | — | — | 西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1320.8 | 55 |
| 2004 | 1.7 | 11.0 | 西南西 | 11月27日 | — | — | — | 西南西 | 7 | 0 | 0 | 0 | 1357.9 | 61 |
| 2005 | 1.7 | 11.0 | 南西 | 5月19日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1317.3 | 60 |
| 2006 | 1.6 | 10.0 | 西 | 4月20日 | — | — | — | 西南西 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1299.1 | 63 |
| 2007 | 1.5 | 9.0 | 南西 | 11月26日 | — | — | — | 西南西 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1337.1 | 65 |
| 2008 | 1.8 | 12.5 | 西南西 | 5月20日 | 24.2 | 南西 | 5月7日 | 西 | 7 | 0 | 0 | 0 | 1531.9 | 28 |
| 2009 | 1.8 | 12.4 | 南西 | 5月18日 | 24.4 | 南南西 | 5月18日 | 西南西 | 11 | 0 | 0 | 0 | 1465.7 | 58 |
| 2010 | 1.8 | 11.7 | 西 | 4月13日 | 20.3 | 南西 | 4月14日 | 西南西 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1350.5 | 69 |
| 2011 | 1.8 | 10.4 | 西南西 | 5月2日 | 21.8 | 西南西 | 12月4日 | 西南西 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1404.2 | 51 |
| 2012 | 1.7 | 16.8 | 南西 | 4月4日 | 25.3 | 南南西 | 4月4日 | 西南西 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1564.1 | 46 |
| 2013 | 1.7 | 12.0 | 南南西 | 4月14日 | 20.6 | 西北西 | 4月8日 | 西南西 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1342.5 | 53 |

出典：過去の気象データ検索（気象庁 HP）

## 雪の詳細（鹿角地域気象観測所）

| 年 | 雪(寒候年・cm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 降雪 | 日降雪の最大 | | 最深積雪 | | 各階級の日数(降雪) | | | | | | 各階級の日数(最深積雪) | | | | | | |
| | 合計 | 値 | 月日 | 値 | 月日 | ≧3cm | ≧5cm | ≧10cm | ≧20cm | ≧50cm | ≧100cm | ≧3cm | ≧5cm | ≧10cm | ≧20cm | ≧50cm | ≧100cm | ≧200cm |
| 1976 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1977 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1978 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1979 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1980 | 374 | 16 | 1/10 | 43 | 1/24 | 48 | 29 | 10 | 0 | 0 | 0 | 82 | 73 | 65 | 52 | 0 | 0 | 0 |
| 1981 | 496 | 34 | 2/25 | 71 | 2/26 | 58 | 39 | 16 | 3 | 0 | 0 | 101 | 100 | 91 | 80 | 18 | 0 | 0 |
| 1982 | 486 | 30 | 1/20 | 60 | 2/11 | 58 | 35 | 15 | 4 | 0 | 0 | 108 | 102 | 92 | 65 | 18 | 0 | 0 |
| 1983 | 991 | 40 | 2/19 | 89 | 2/20 | 88 | 68 | 43 | 11 | 0 | 0 | 100 | 93 | 72 | 68 | 43 | 0 | 0 |
| 1984 | 844 | 25 | 12/16 | 66 | 3/1 | 107 | 78 | 26 | 1 | 0 | 0 | 130 | 126 | 119 | 109 | 24 | 0 | 0 |
| 1985 | 626 | 27 | 2/22 | 73 | 2/22 | 74 | 52 | 22 | 2 | 0 | 0 | 99 | 99 | 98 | 92 | 38 | 0 | 0 |
| 1986 | 794 | 34 | 1/27 | 76 | 2/26 | 76 | 60 | 31 | 9 | 0 | 0 | 105 | 101 | 92 | 74 | 31 | 0 | 0 |
| 1987 | 672 | 24 | 2/3 | 57 | 2/27 | 73 | 57 | 24 | 2 | 0 | 0 | 98 | 92 | 81 | 69 | 2 | 0 | 0 |
| 1988 | 900 | 32 | 2/15 | 60 | 2/15 | 82 | 68 | 38 | 7 | 0 | 0 | 91 | 85 | 64 | 44 | 6 | 0 | 0 |
| 1989 | 409 | 21 | 12/15 | 30 | 12/17 | 56 | 35 | 12 | 1 | 0 | 0 | 74 | 68 | 59 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| 1990 | 376 | 19 | 1/27 | 33 | 1/28 | 46 | 29 | 14 | 0 | 0 | 0 | 59 | 52 | 36 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| 1991 | 746 | 32 | 2/1 | 54 | 2/6 | 78 | 64 | 28 | 3 | 0 | 0 | 84 | 81 | 76 | 48 | 5 | 0 | 0 |
| 1992 | 960 | 38 | 2/19 | 83 | 2/23 | 99 | 84 | 38 | 7 | 0 | 0 | 105 | 100 | 82 | 74 | 19 | 0 | 0 |
| 1993 | 418 | 29 | 1/20 | 39 | 2/25 | 50 | 34 | 15 | 2 | 0 | 0 | 65 | 59 | 51 | 39 | 0 | 0 | 0 |
| 1994 | 511 | 22 | 2/10 | 51 | 2/10 | 75 | 39 | 12 | 2 | 0 | 0 | 102 | 98 | 91 | 59 | 3 | 0 | 0 |
| 1995 | 554 | 27 | 12/3 | 49 | 2/1 | 75 | 45 | 15 | 3 | 0 | 0 | 103 | 100 | 93 | 77 | 0 | 0 | 0 |
| 1996 | 608 | 22 | 3/11 | 62 | 2/3 | 79 | 50 | 16 | 3 | 0 | 0 | 109 | 106 | 103 | 90 | 7 | 0 | 0 |
| 1997 | 506 | 23 | 1/3 | 65 | 2/22 | 67 | 42 | 12 | 3 | 0 | 0 | 98 | 96 | 86 | 59 | 4 | 0 | 0 |
| 1998 | 444 | 22 | 1/20 | 61 | 1/21 | 56 | 33 | 7 | 2 | 0 | 0 | 85 | 81 | 69 | 50 | 20 | 0 | 0 |
| 1999 | 576 | 29 | 2/13 | 81 | 2/15 | 60 | 42 | 20 | 4 | 0 | 0 | 97 | 93 | 85 | 74 | 29 | 0 | 0 |
| 2000 | 692 | 32 | 2/22 | 79 | 2/25 | 81 | 52 | 20 | 5 | 0 | 0 | 116 | 113 | 96 | 78 | 23 | 0 | 0 |
| 2001 | 634 | 23 | 12/11 | 74 | 2/14 | 78 | 51 | 20 | 1 | 0 | 0 | 111 | 108 | 102 | 93 | 29 | 0 | 0 |
| 2002 | 606 | 38 | 1/27 | 66 | 1/28 | 76 | 41 | 17 | 4 | 0 | 0 | 102 | 98 | 92 | 78 | 14 | 0 | 0 |
| 2003 | 563 | 25 | 1/5 | 64 | 1/31 | 69 | 47 | 15 | 4 | 0 | 0 | 104 | 101 | 96 | 86 | 14 | 0 | 0 |
| 2004 | 513 | 28 | 12/26 | 72 | 2/9 | 61 | 38 | 14 | 3 | 0 | 0 | 87 | 81 | 74 | 55 | 17 | 0 | 0 |
| 2005 | 667 | 30 | 1/31 | 101 | 3/2 | 79 | 53 | 22 | 6 | 0 | 0 | 104 | 104 | 101 | 95 | 54 | 1 | 0 |
| 2006 | 769 | 38 | 12/23 | 90 | 2/12 | 91 | 61 | 26 | 6 | 0 | 0 | 114 | 114 | 107 | 99 | 68 | 0 | 0 |
| 2007 | 455 | 35 | 2/1 | 61 | 2/2 | 48 | 33 | 13 | 5 | 0 | 0 | 85 | 81 | 77 | 60 | 3 | 0 | 0 |
| 2008 | 408 | 31 | 12/31 | 44 | 2/15 | 51 | 26 | 11 | 2 | 0 | 0 | 104 | 99 | 88 | 76 | 0 | 0 | 0 |
| 2009 | 551 | 33 | 1/25 | 58 | 2/3 | 62 | 45 | 17 | 2 | 0 | 0 | 103 | 97 | 92 | 68 | 12 | 0 | 0 |
| 2010 | 566 | 31 | 12/15 | 77 | 2/6 | 56 | 46 | 19 | 4 | 0 | 0 | 100 | 98 | 95 | 90 | 48 | 0 | 0 |
| 2011 | 645 | 31 | 12/31 | 102 | 2/1 | 76 | 45 | 24 | 4 | 0 | 0 | 112 | 109 | 103 | 95 | 57 | 2 | 0 |
| 2012 | 512 | 15 | 3/12 | 72 | 2/21 | 70 | 49 | 13 | 0 | 0 | 0 | 123 | 120 | 113 | 104 | 53 | 0 | 0 |
| 2013 | 486 | 21 | 2/7 | 100 | 2/24 | 57 | 35 | 21 | 2 | 0 | 0 | 115 | 110 | 108 | 93 | 58 | 1 | 0 |

出典：過去の気象データ検索（気象庁 HP）